

第六次越生町長期総合計画・後期基本計画の策定に係る

住民意識調査 結果報告書

令和7年3月

越 生 町

目次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の概要	2
1 調査の目的	2
2 調査対象者	2
3 調査方法及び調査期間	2
4 回収結果	2
5 報告書を見る際の留意点	2
第2章 調査結果の内容	5
第1節 回答者自身の状況について	6
1-1 性別（問1(1)）	6
1-2 年齢（問1(2)）	7
1-3 家族構成（問1(3)）	8
1-4 職業（問1(4)）	9
1-5 出身地（問1(5)）	10
1-6 居住年数（問1(6)）	11
1-7 居住地域（問1(7)）	12
第2節 住みごこち・愛着度・定住意向について	13
2-1 町の住みごこち（問2）	13
2-2 町への愛着度（問3）	17
2-3 今後の定住意向（問4）	21
2-4 町の魅力（問5）	25
2-5 町に不足していること（問6）	33
第3節 町の現状と今後の取組について	41
3-1 現状の満足度（問7(1)）	41
3-2 今後の重要度（問7(2)）	68
3-3 今後のまちづくりの特色（問8）	95
第4節 日頃の行動等について	102
4-1 町の情報の入手先（問9）	102
4-2 町政への関心の有無（問10）	110
4-3 町の観光名所（問11）	113
4-4 生涯学習活動の状況（問12）	120
4-5 目的別の外出先（問13）	123
4-6 生活環境の変化（問14）	126
第5章 社会情勢の変化に伴う今後の町の取組について	129
5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）	129
5-2 行財政改革の重点項目（問16）	137
5-3 デジタル化推進のための取組（問17）	145
5-4 今後の公共施設のあり方（問18）	152
5-5 広域的な行政のあり方（問19）	155
5-6 あなたが考える10年後の越生町について（問20）	158
資料 調査票	160

第1章

調査の概要

第1節 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、「第六次越生町長期総合計画・後期基本計画」（計画期間：令和8年度～令和12年度）策定のための基礎資料を得るために実施しました。

2 調査対象者

町内在住の18歳以上の方から無作為に選んだ1,500人

3 調査方法及び調査期間

調査方法： 郵送配布・郵送回収

調査期間： 令和6年8月7日～8月20日

※締切日に対象者全員に調査協力をお願いを兼ねた礼状はがきを発送

4 回収結果

対象者数1,500人、有効回答数725人、有効回答率48.3%

5 報告書を見る際の留意点

(1) 回答率について

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、比率の合計は100%を上下することがあります。
- ②1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問（複数回答）では、比率の合計が100%を上回ることがあります。

(2) 表記について

- ①図表及び文章中で、選択肢を一部省略して用いています。
- ②文章中で選択肢を引用する場合は「 」を用いています。また、いくつかの選択肢を合わせて一つのまとまりとする場合は“ ”で囲んで表記しています。
- ③属性別分析における帯グラフにおいては、可読性を高めるため3%未満の数値を省略しています。
- ④属性別分析における性・年齢別分析では、性別（問1（1））で「回答しない」が11人と少人数であるため、属性としては掲載していません。
- ⑤図中では、回答者総数をnで表記しています。
- ⑥令和元年度に実施した調査（以下、「前回調査」という。）と共通する設問については、時系列比較を行っています。前回調査の回答者総数は705人であるため、図中では(n=705人)と表記しています。

第2章

調査結果の内容

第1節 回答者自身の状況について

1-1 性別 (問1(1))

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。
 (1) あなたの性別

「女性」が55.4%

性別については、「男性」が41.9%、「女性」が55.4%となっています。

図 性別

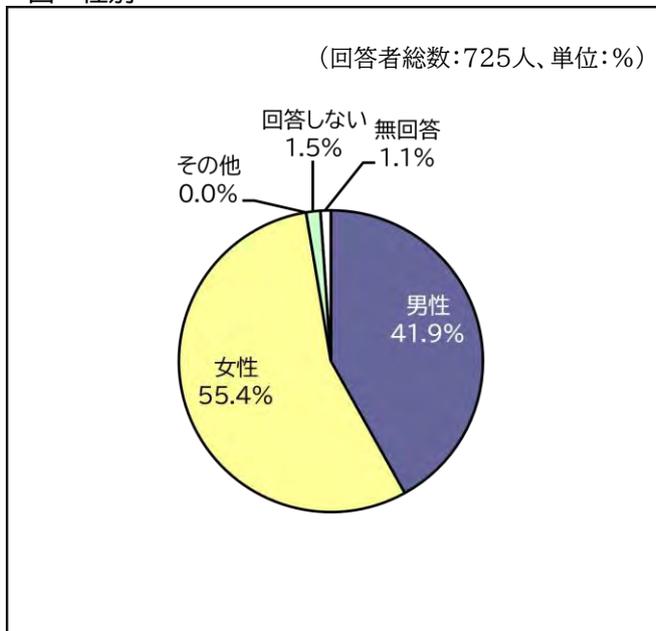


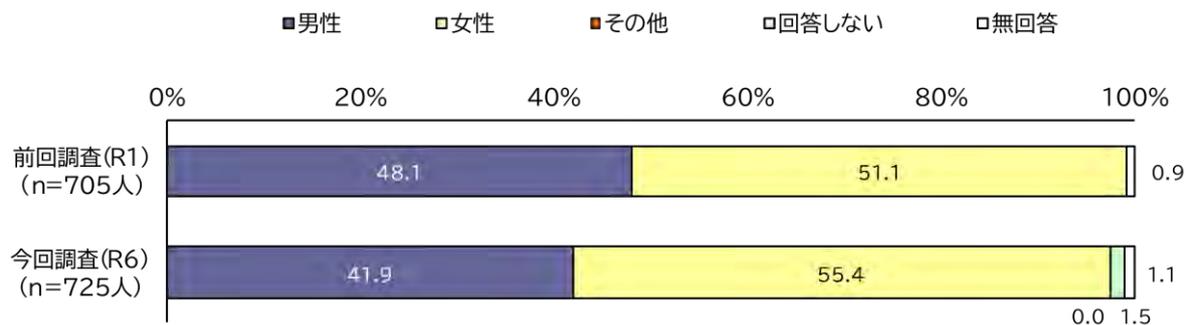
表 性別

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
男性	304 (41.9)
女性	402 (55.4)
その他	0 (0.0)
回答しない	11 (1.5)
無回答	8 (1.1)

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「男性」の割合が低くなっています。

図 時系列でみた性別



1-2 年齢 (問1(2))

(2) あなたの年齢

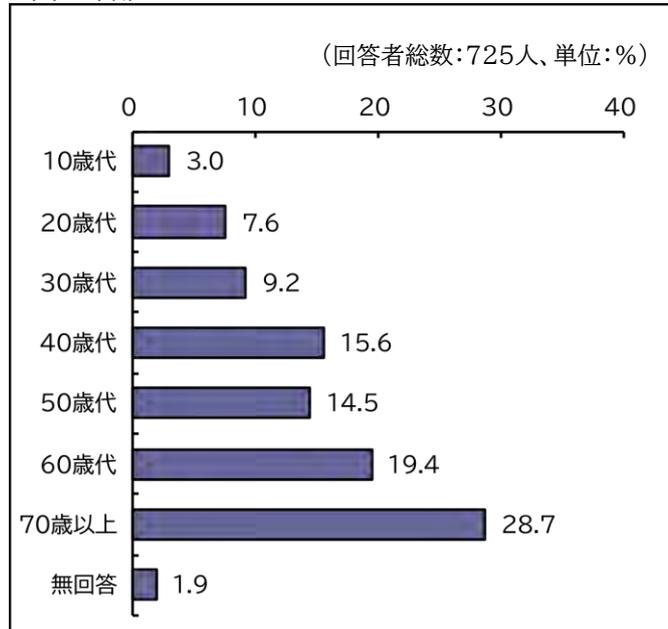
「70歳以上」が28.7%

年齢については、「70歳以上」が28.7%で最も多く、次いで「60歳代」が19.4%、「40歳代」が15.6%が続いています。

表 年齢

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
10歳代	22 (3.0)
20歳代	55 (7.6)
30歳代	67 (9.2)
40歳代	113 (15.6)
50歳代	105 (14.5)
60歳代	141 (19.4)
70歳以上	208 (28.7)
無回答	14 (1.9)

図 年齢

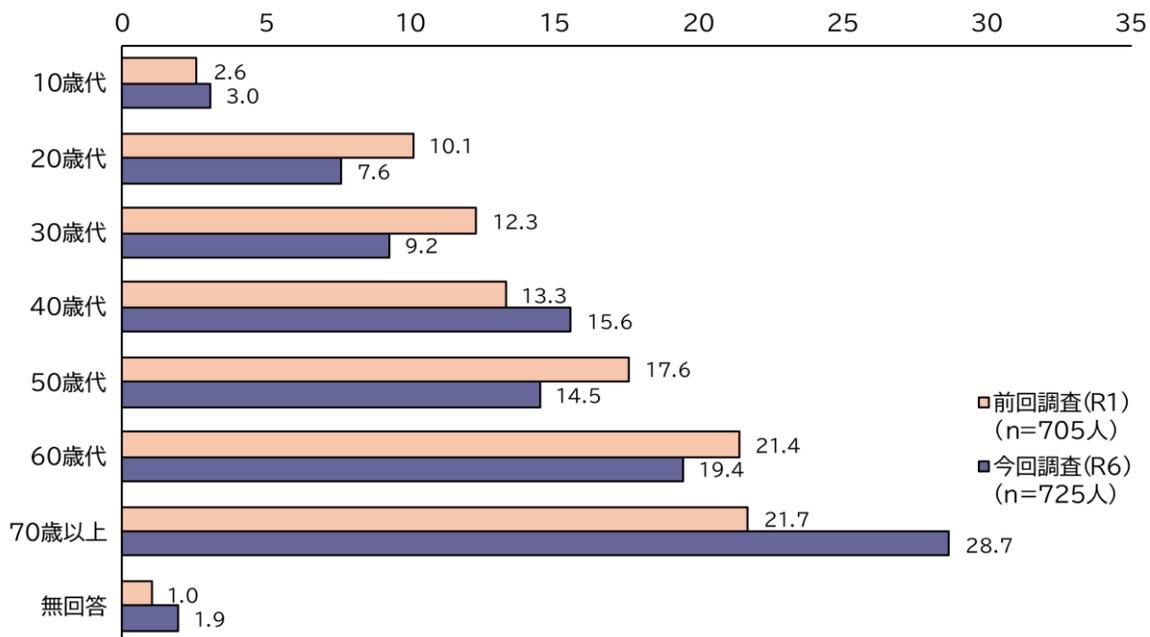


【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「70歳以上」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた年齢

(単位:%)



1-3 家族構成（問1(3)）

(3) 現在一緒に住んでいる家族

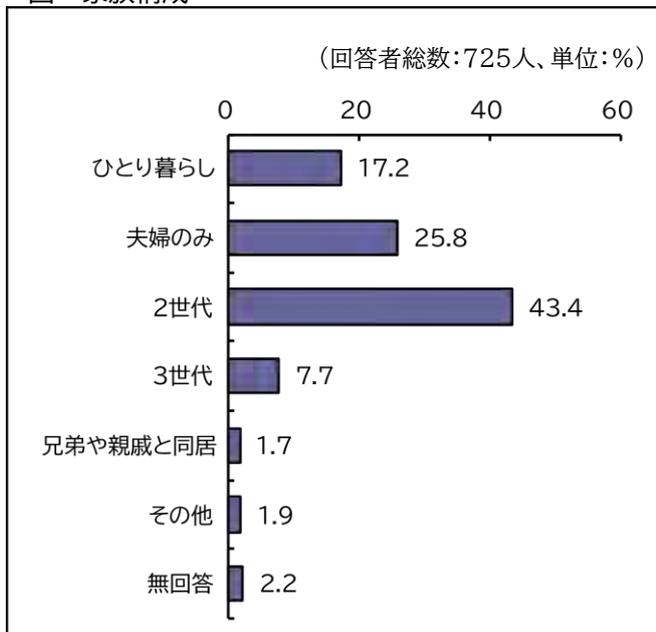
「2世代」が最も多い

家族構成については、「2世代」が43.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が25.8%、「ひとり暮らし」が17.2%が続いています。

表 家族構成

区 分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
ひとり暮らし	125 (17.2)
夫婦のみ	187 (25.8)
2世代	315 (43.4)
3世代	56 (7.7)
兄弟や親戚と同居	12 (1.7)
その他	14 (1.9)
無回答	16 (2.2)

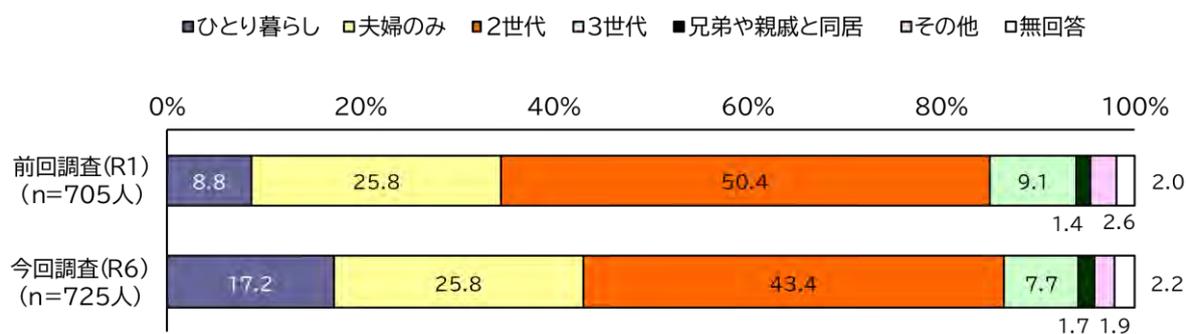
図 家族構成



【時系列比較】

これを時系列で見ると、前回調査から今回調査にかけて「ひとり暮らし」の割合が高く、「2世代」の割合が低くなっています。

図 時系列でみた家族構成



1-4 職業 (問1(4))

(4) あなたの職業 (※主たるもの)

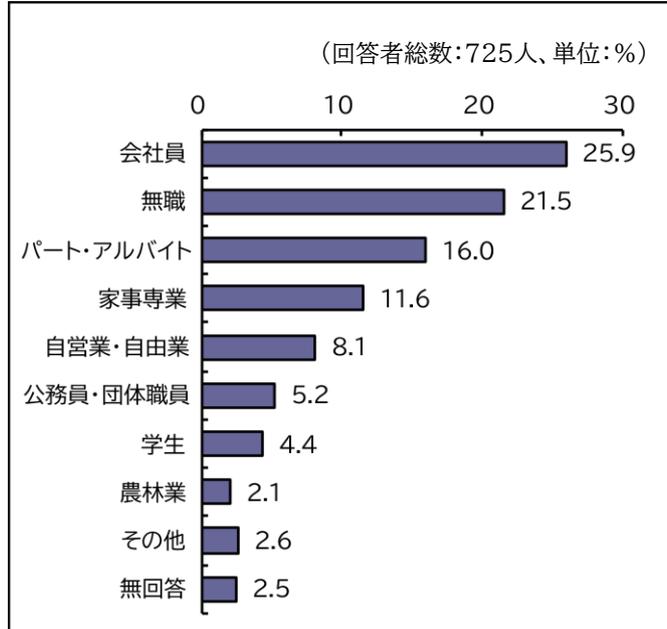
「会社員」が最も多い

職業については、「会社員」が25.9%で最も多く、次いで「無職」が21.5%、「パート・アルバイト」が16.0%が続いています。

表 職業

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
会社員	188 (25.9)
無職	156 (21.5)
パート・アルバイト	116 (16.0)
家事専業	84 (11.6)
自営業・自由業	59 (8.1)
公務員・団体職員	38 (5.2)
学生	32 (4.4)
農林業	15 (2.1)
その他	19 (2.6)
無回答	18 (2.5)

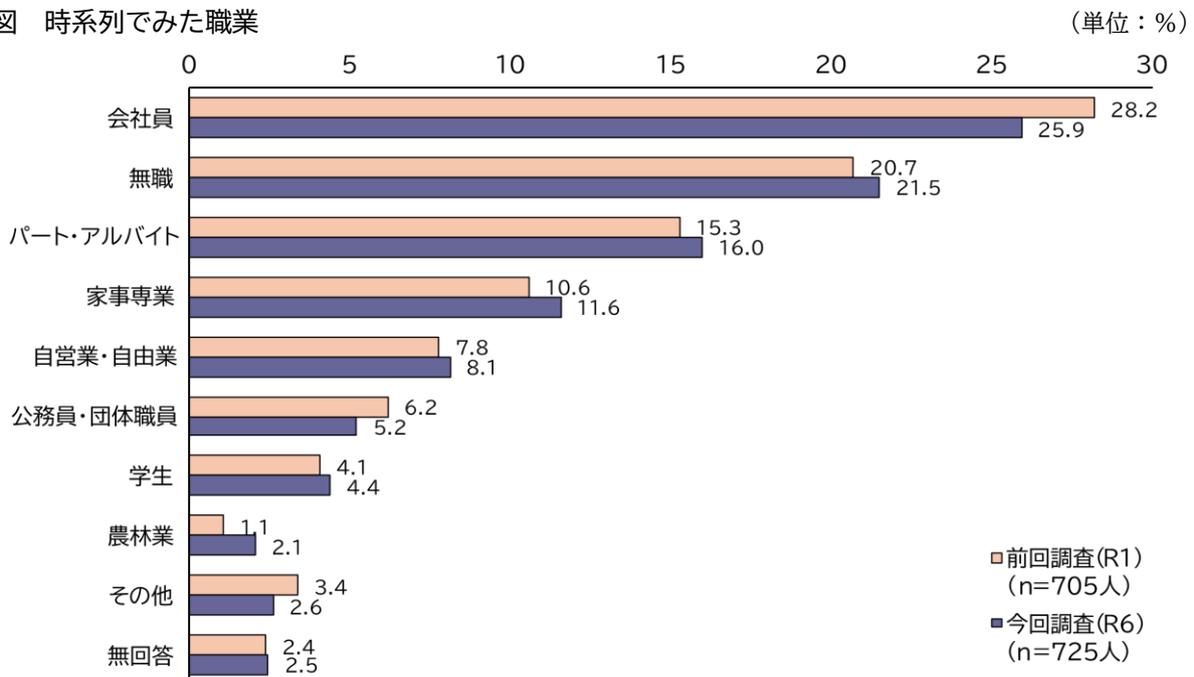
図 職業



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「会社員」の割合が低くなっています。

図 時系列でみた職業



1-5 出身地 (問1(5))

(5) あなたの出身地

“越生町出身” が42.5%

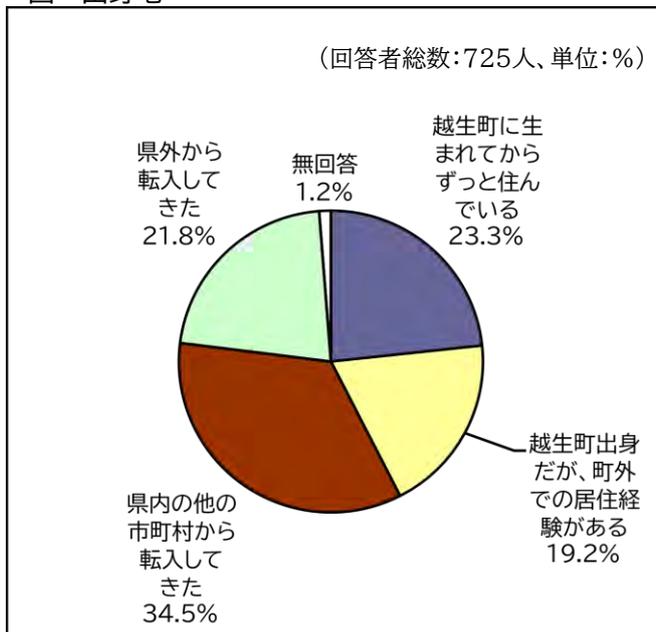
出身地については、「越生町に生まれてからずっと住んでいる」が23.3%、「越生町出身だが、町外での居住経験がある」が19.2%であり、これらを合わせると42.5%が“越生町出身”と回答しています。

一方、「県内の他の市町村から転入してきた」が34.5%、「県外から転入してきた」が21.8%であり、これらを合わせると56.3%が“転入してきた”と回答しています。

表 出身地

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
越生町に生まれてからずっと住んでいる	169 (23.3)
越生町出身だが、町外での居住経験がある	139 (19.2)
県内の他の市町村から転入してきた	250 (34.5)
県外から転入してきた	158 (21.8)
無回答	9 (1.2)

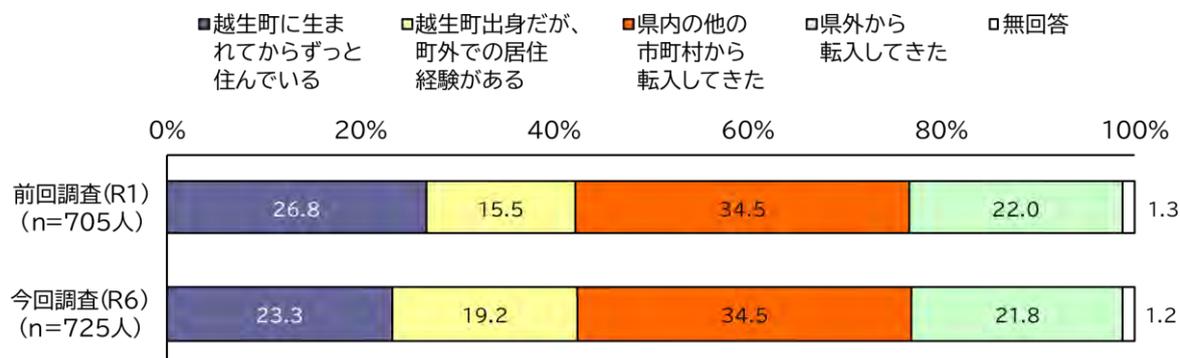
図 出身地



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「越生町出身だが、町外での居住経験がある」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた出身地



1-6 居住年数 (問1(6))

(6) あなたの居住年数

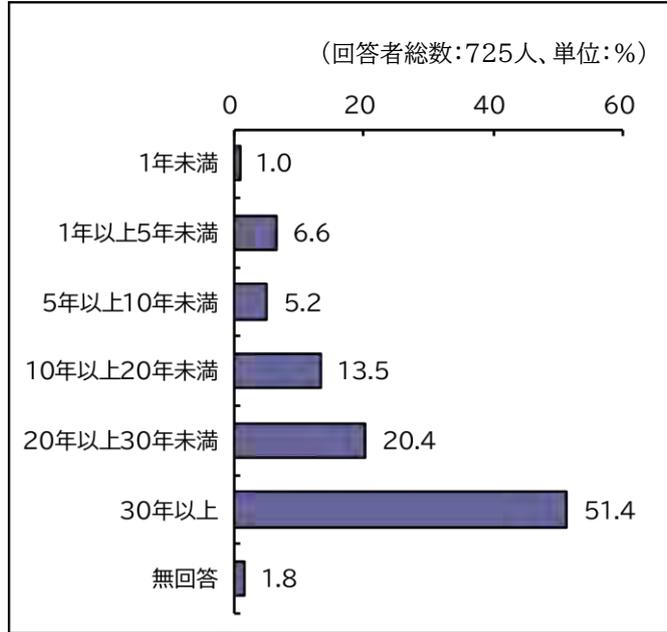
「30年以上」が51.4%

居住年数については、「30年以上」が51.4%で最も多く、次いで「20年以上30年未満」が20.4%、「10年以上20年未満」が13.5%で続いています。

表 居住年数

区 分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
1年未満	7 (1.0)
1年以上5年未満	48 (6.6)
5年以上10年未満	38 (5.2)
10年以上20年未満	98 (13.5)
20年以上30年未満	148 (20.4)
30年以上	373 (51.4)
無回答	13 (1.8)

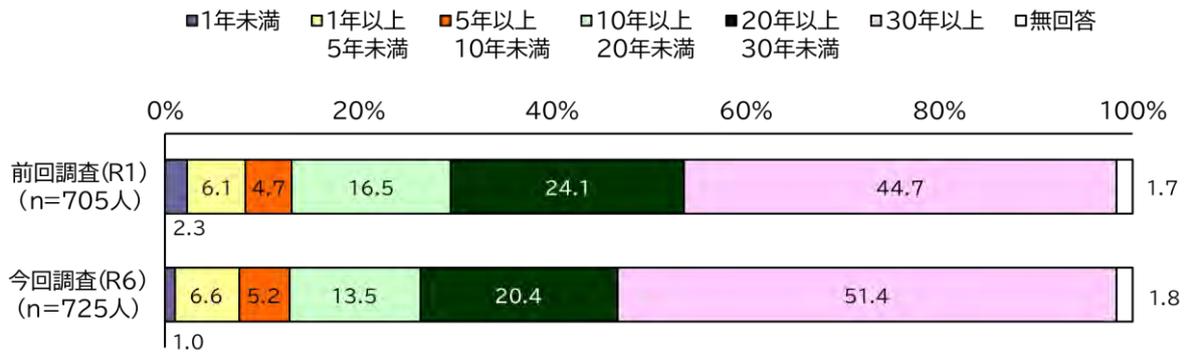
図 居住年数



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「30年以上」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた居住年数



1-7 居住地域（問1(7)）

(7) あなたの居住地域

「中央部地域」が最も多い

居住地域については、「中央部地域」が44.0%で最も多く、次いで「西部地域」が16.1%、「南東部地域」が14.6%が続いています。

図 居住地域

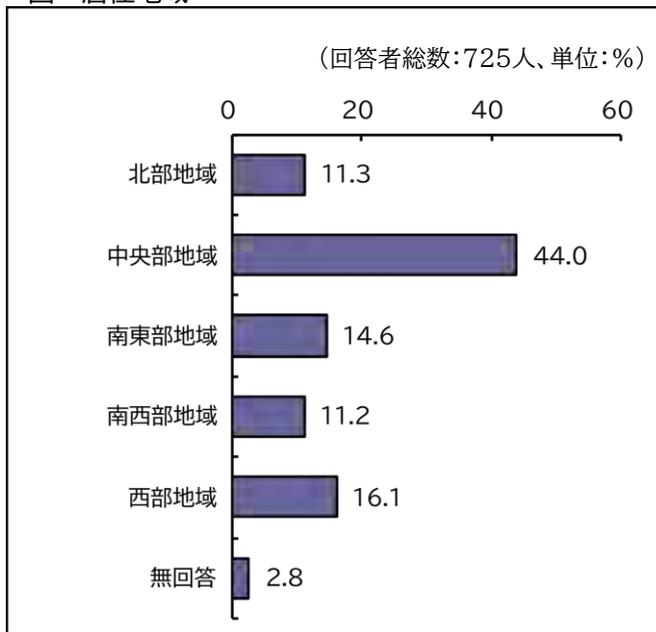


表 居住地域

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
北部地域	82 (11.3)
中央部地域	319 (44.0)
南東部地域	106 (14.6)
南西部地域	81 (11.2)
西部地域	117 (16.1)
無回答	20 (2.8)

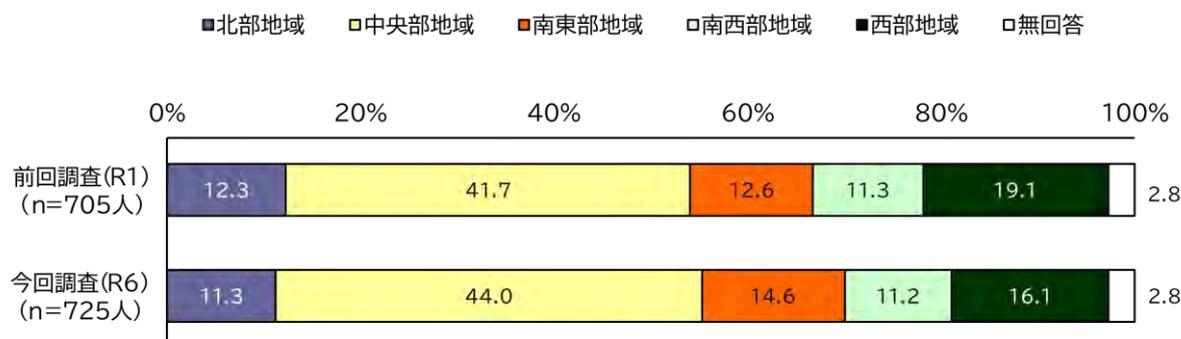
※居住地域の定義は次の通りとなっています。

区分	行政区
北部地域	大谷、鹿下、古池、成瀬、津久根
中央部地域	河原町、新宿、上町、仲町、本町、上台、越生東1、越生東2、唐沢、上野東、黒岩
南東部地域	如意、如意東、しらさぎ、西和田
南西部地域	上野1、上野2
西部地域	小杉、大満、黒山、龍ヶ谷、麦原、上谷、堂山

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「中央部地域」及び「南東部地域」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた居住地域



第2節 住みごこち・愛着度・定住意向について

2-1 町の住みごこち（問2）

問2 あなたにとって、現在の越生町の住みごこちはいかがですか。（1つに○印）

“よい”が48.3%

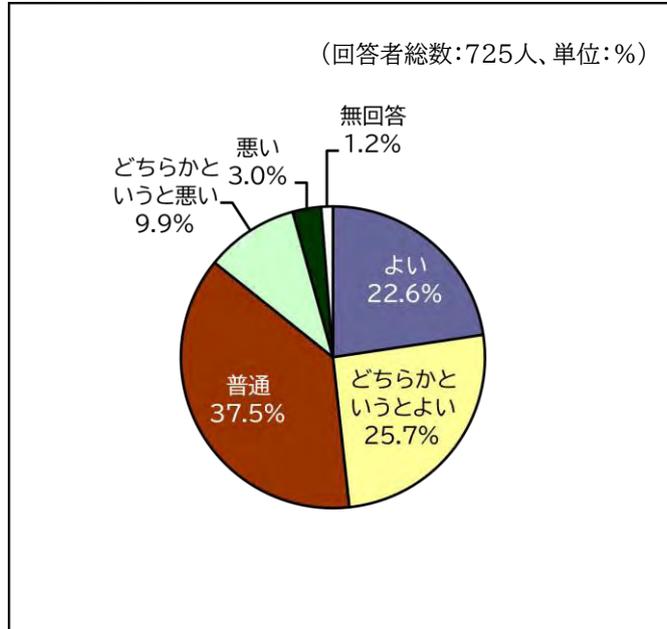
町の住みごこちについては、「よい」が22.6%、「どちらかというといよい」が25.7%であり、これらを合わせると48.3%が“よい”と回答しています。

一方、「どちらかというとい悪い」が9.9%、「悪い」が3.0%であり、これらを合わせると12.9%が“悪い”と回答しています。

表 町の住みごこち

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
よい	164 (22.6)
どちらかというといよい	186 (25.7)
普通	272 (37.5)
どちらかというとい悪い	72 (9.9)
悪い	22 (3.0)
無回答	9 (1.2)

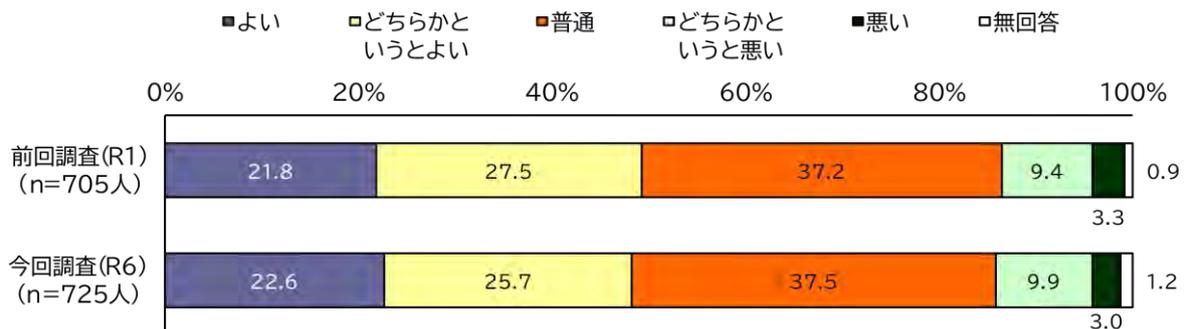
図 町の住みごこち



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

図 時系列でみた町の住みごこち

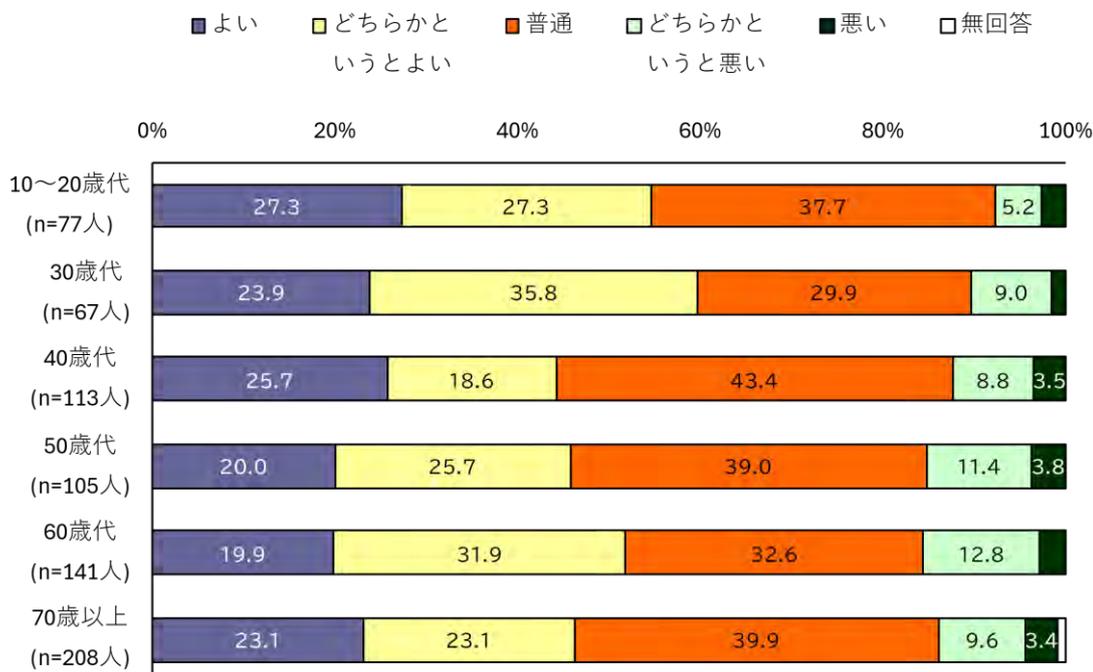


2-1 町の住みごち（問2）

【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて“よい”の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた町の住みごち

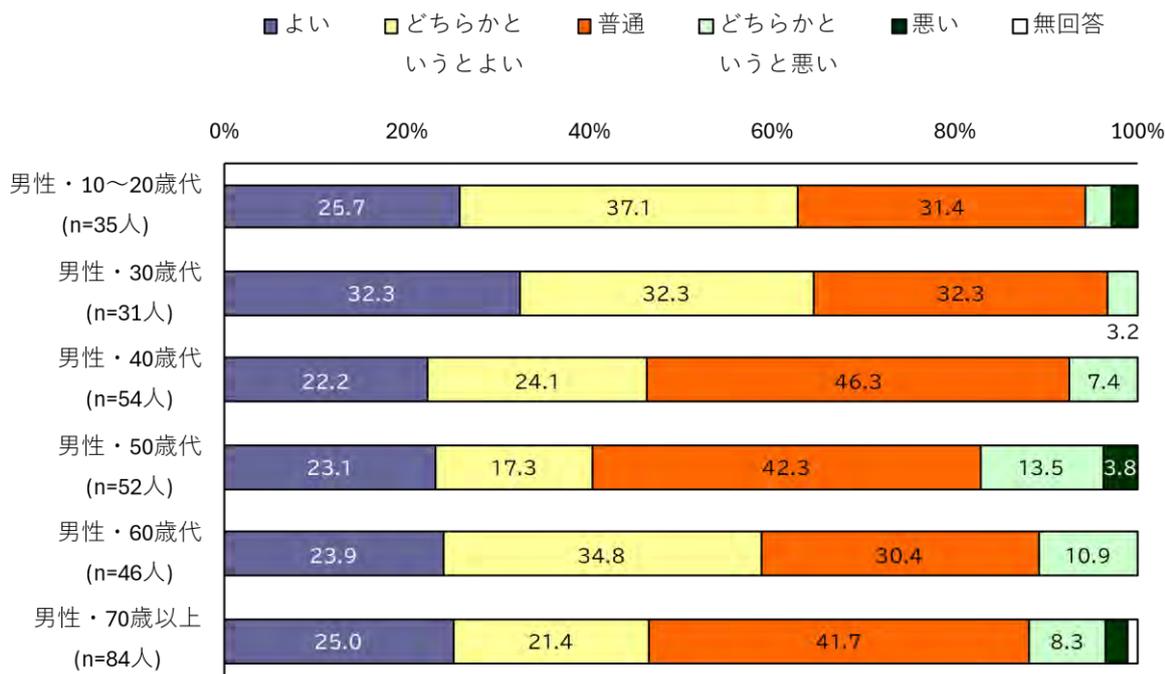


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【性・年齢別】

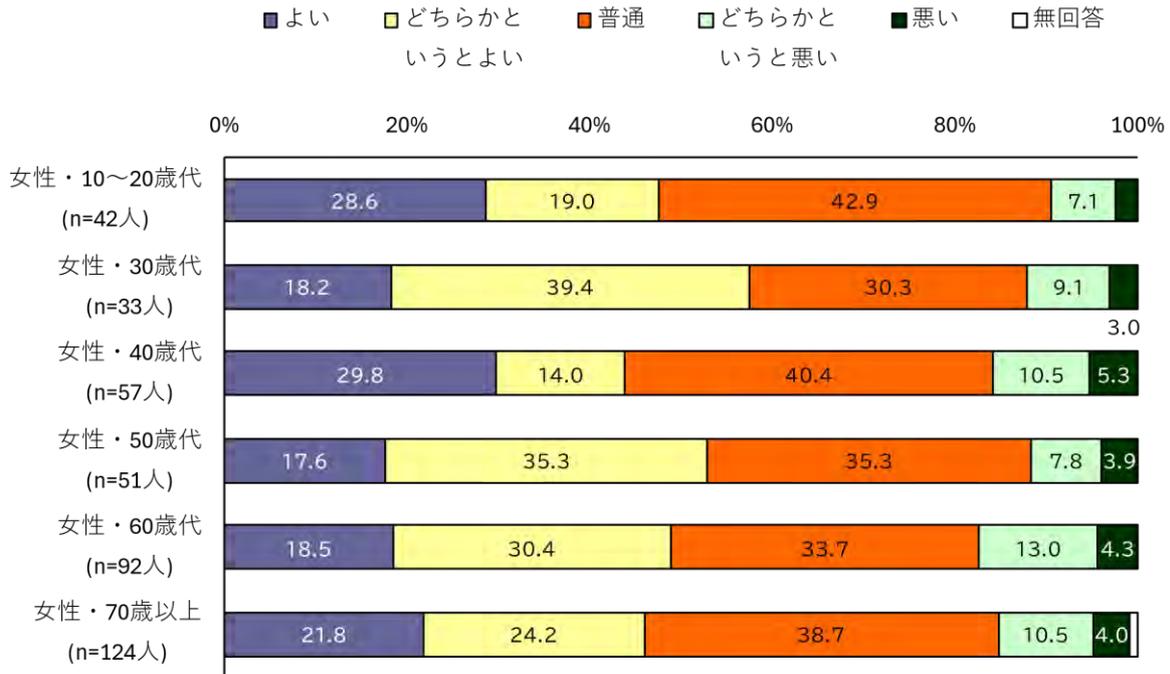
これを性・年齢別にみると、男性・10～20歳代、男性・30歳代及び女性・30歳代は他の回答者に比べて“よい”の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた町の住みごち（①男性）



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

図 性・年齢別でみた町の住みごち（②女性）

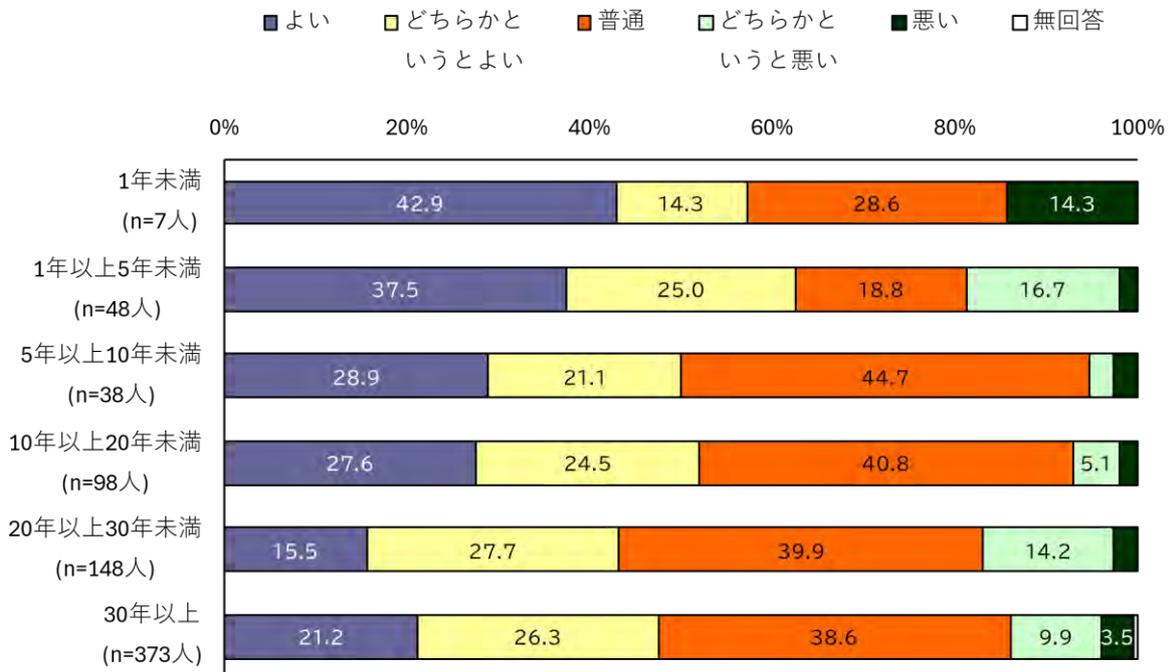


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住年数別】

これを居住地域別にみると、居住年数が短くなるにつれて「よい」の割合が高くなる傾向がみられます。

図 居住年数別でみた町の住みごち



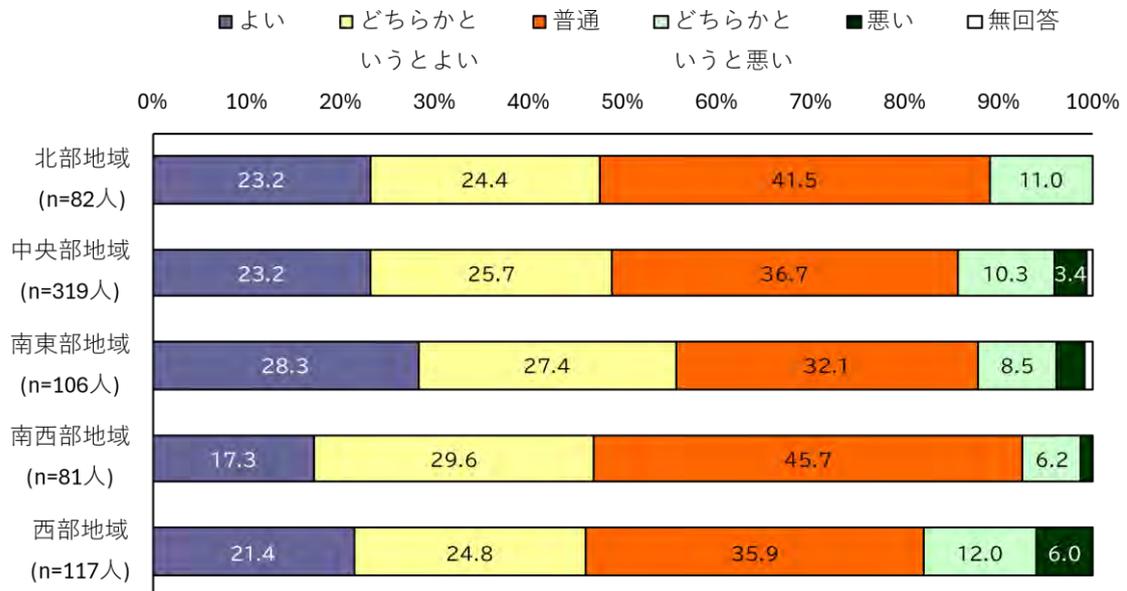
※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

2-1 町の住みごち（問2）

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、南東部地域は他の地域に比べて“よい”の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた町の住みごち



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

2-2 町への愛着度（問3）

問3 あなたは、越生町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。（1つに○印）

“感じている”が60.1%

町への愛着度については、「とても感じている」が19.3%、「どちらかというと感じている」が40.8%であり、これらを合わせると60.1%が“感じている”と回答しています。

一方、「あまり感じていない」が9.8%、「感じていない」が3.6%であり、これらを合わせると13.4%が“感じていない”と回答しています。

図 町への愛着度

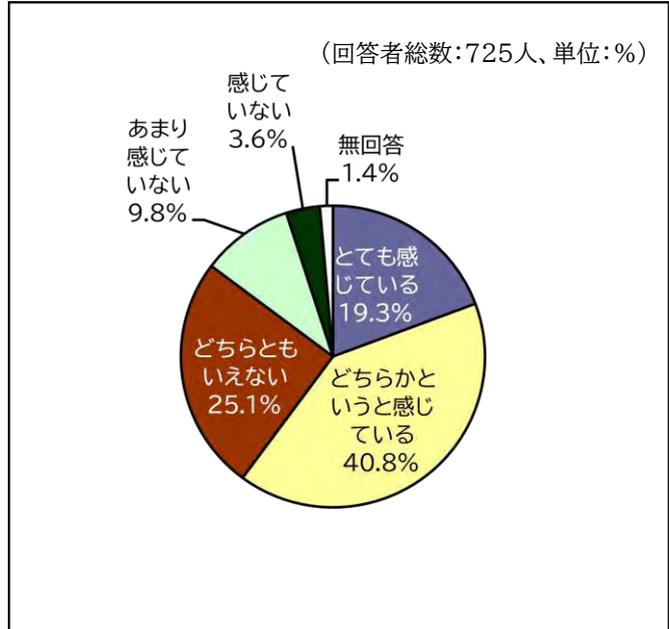


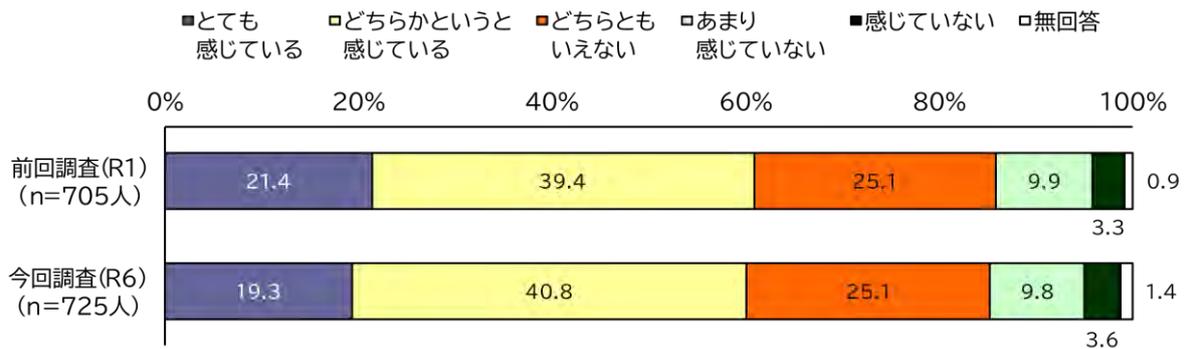
表 町への愛着度

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
とても感じている	140 (19.3)
どちらかというと感じている	296 (40.8)
どちらともいえない	182 (25.1)
あまり感じていない	71 (9.8)
感じていない	26 (3.6)
無回答	10 (1.4)

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

図 時系列でみた町への愛着度

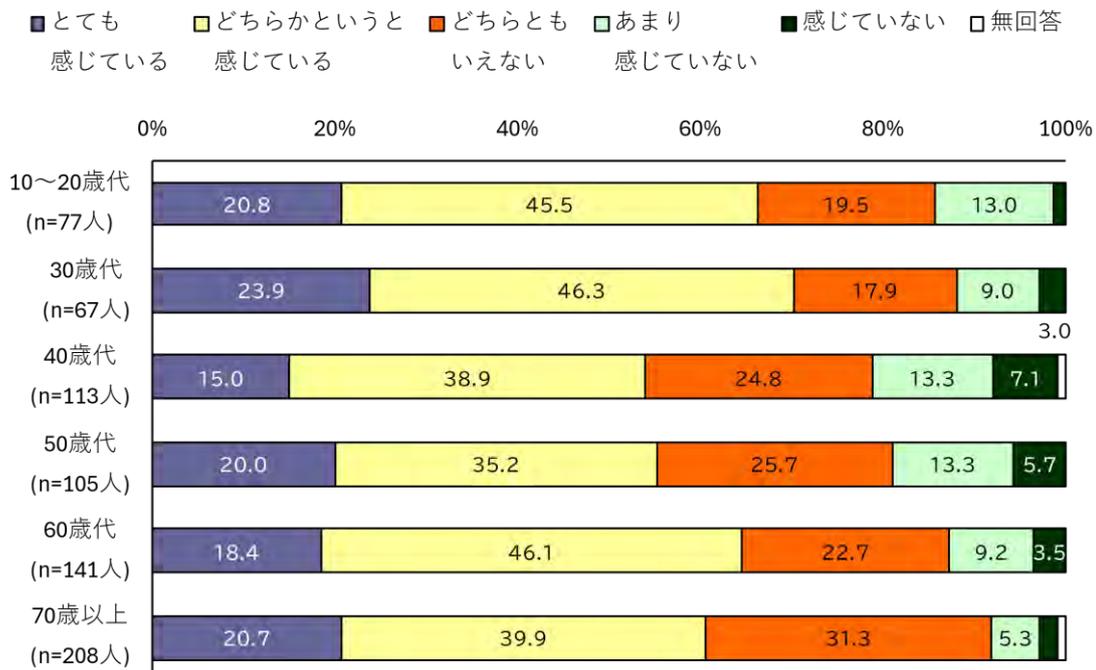


2-2 町への愛着度（問3）

【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて“感じている”の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた町への愛着度

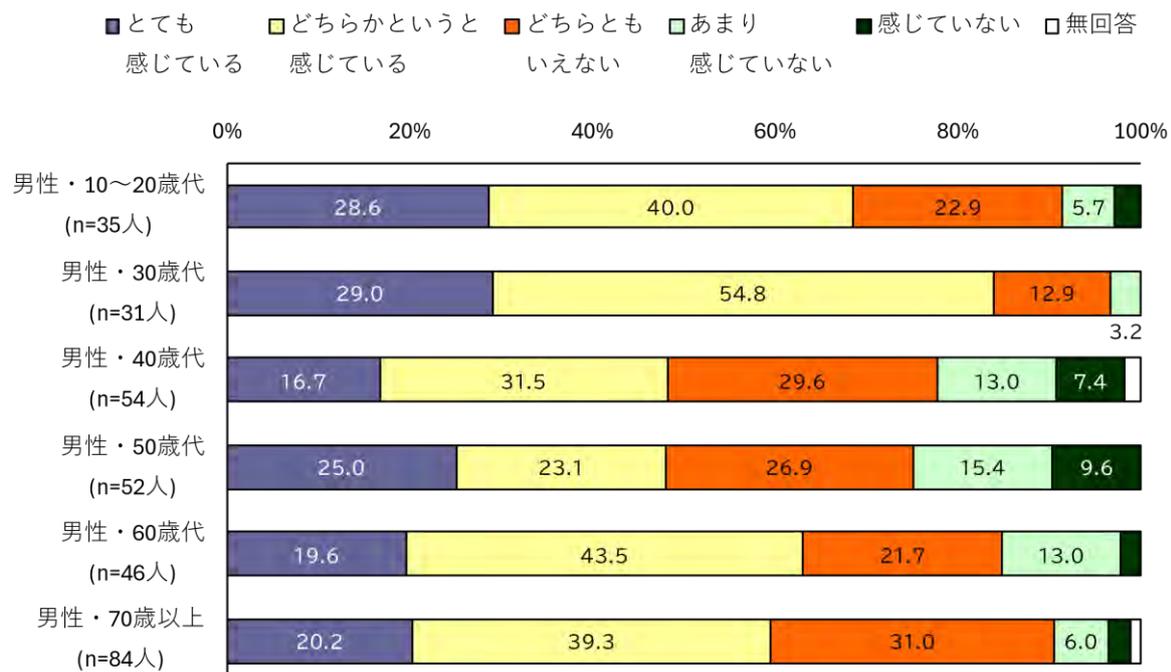


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【性・年齢別】

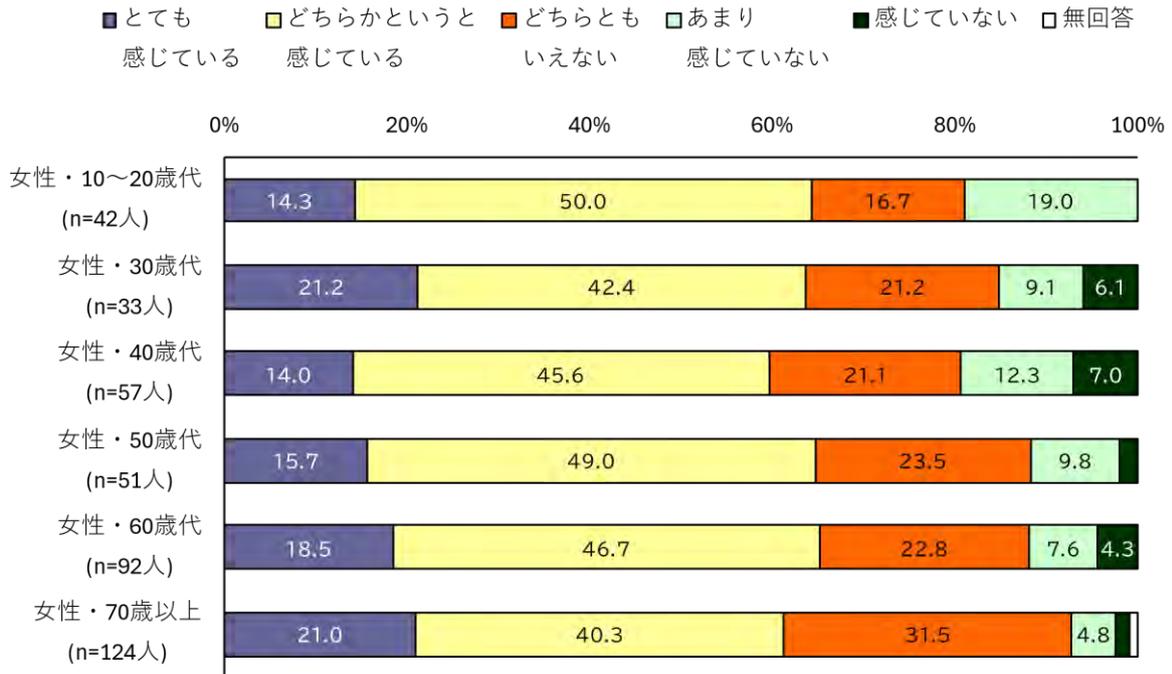
これを性・年齢別にみると、男性・30歳代は他の回答者に比べて“感じている”の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた町への愛着度（①男性）



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

図 性・年齢別でみた町への愛着度（②女性）

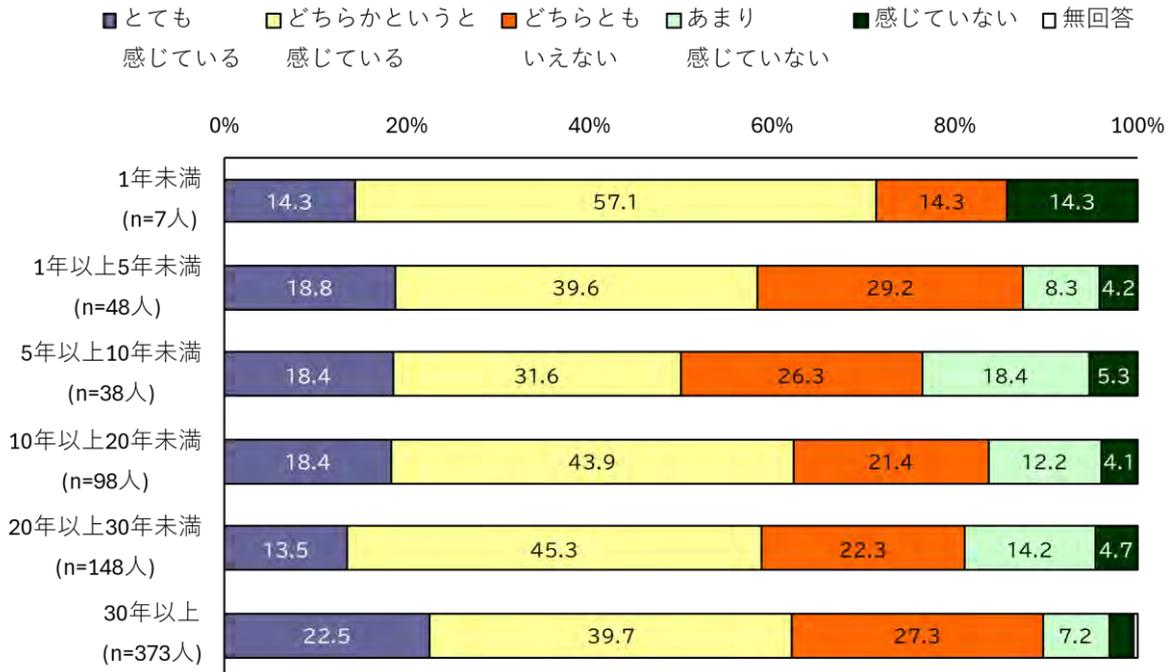


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住年数別】

これを居住年数別にみると、1年未満は他の回答者に比べて“感じている”の割合が高くなっています。

図 居住年数別でみた町への愛着度



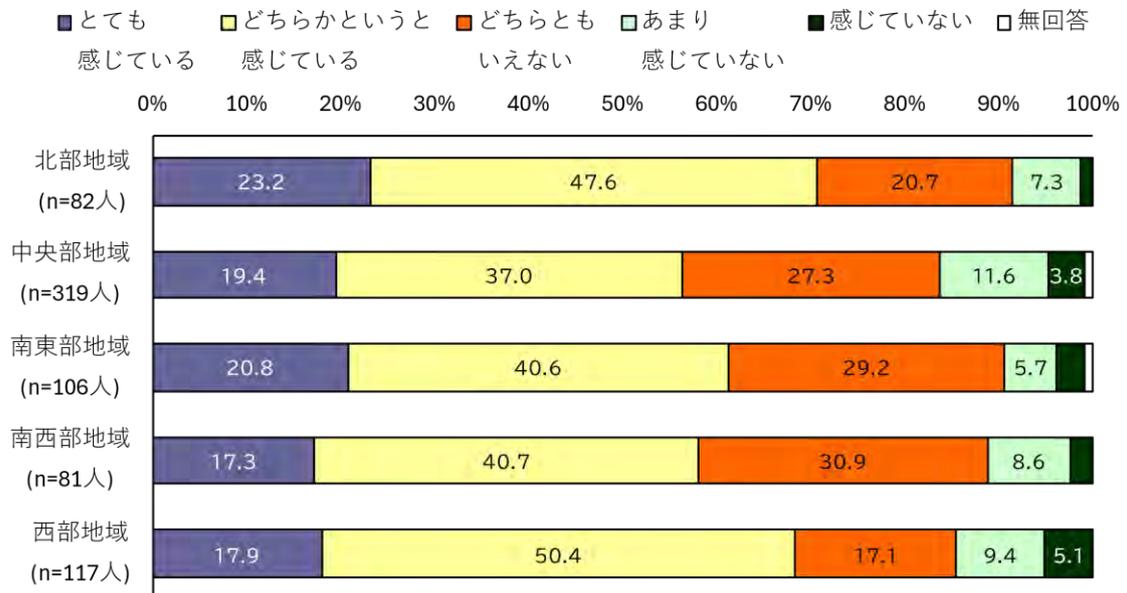
※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

2-2 町への愛着度（問3）

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域及び西部地域は他の地域に比べて“感じている”の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた町への愛着度



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

2-3 今後の定住意向（問4）

問4 あなたは、今後も越生町に住みたいと思いますか。（1つに○印）

“住みたい”が58.2%

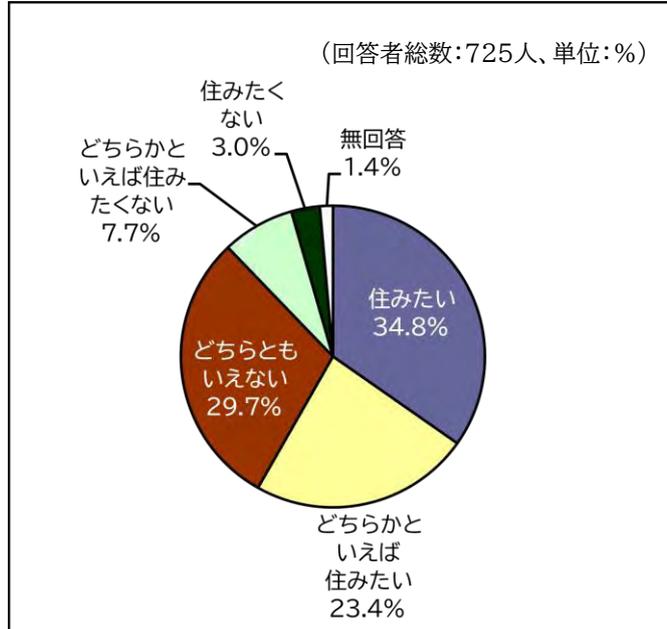
今後の定住意向については、「住みたい」が34.8%、「どちらかといえば住みたい」が23.4%であり、これらを合わせると58.2%が“住みたい”と回答しています。

一方、「どちらかといえば住みたくない」が7.7%、「住みたくない」が3.0%であり、これらを合わせると10.7%が“住みたくない”と回答しています。

表 今後の定住意向

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
住みたい	252 (34.8)
どちらかといえば住みたい	170 (23.4)
どちらともいえない	215 (29.7)
どちらかといえば住みたくない	56 (7.7)
住みたくない	22 (3.0)
無回答	10 (1.4)

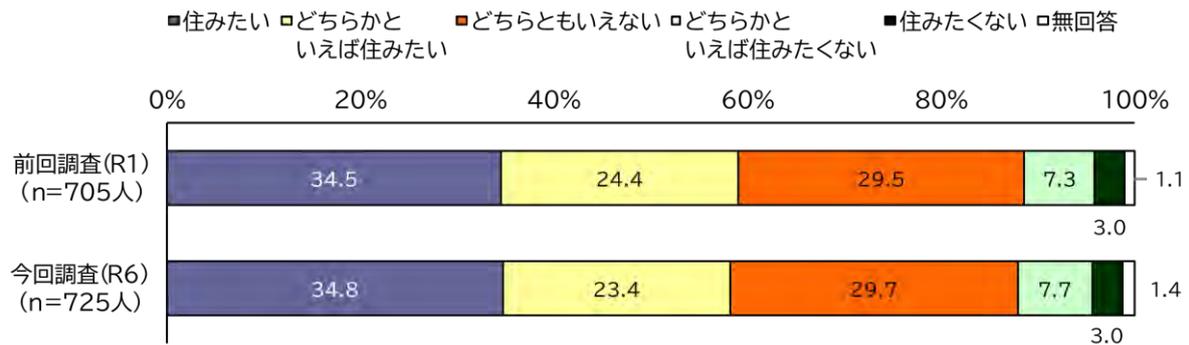
図 今後の定住意向



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

図 時系列でみた今後の定住意向

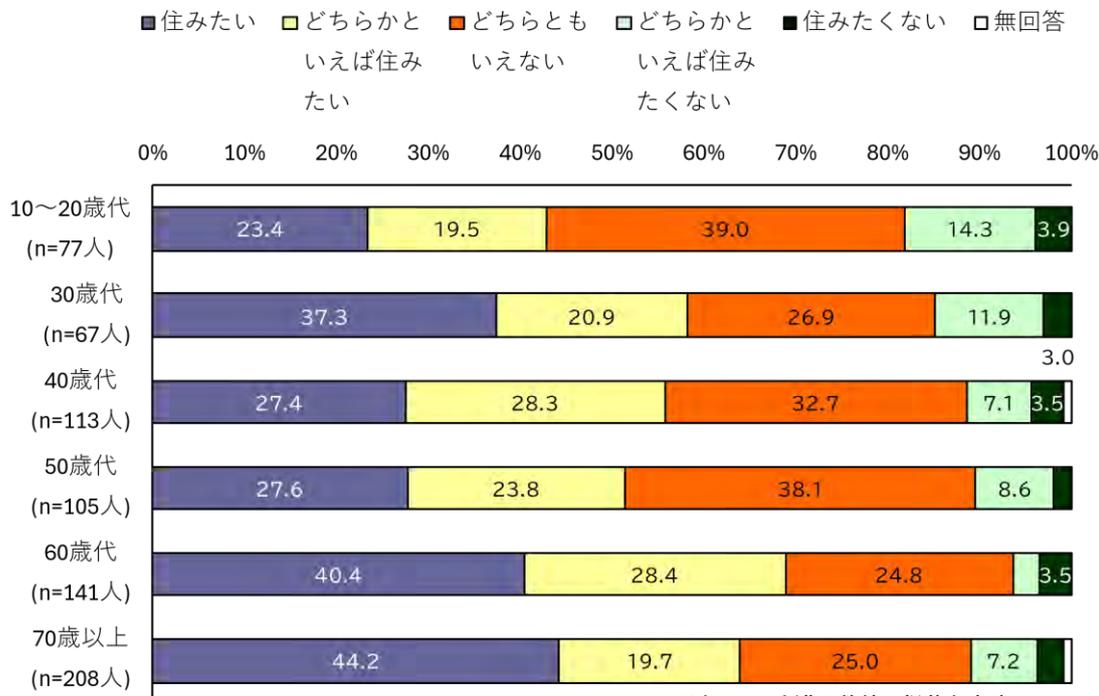


2-3 今後の定住意向（問4）

【年齢別】

これを年齢別にみると、60歳代は他の回答者に比べて“住みたい”の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた今後の定住意向

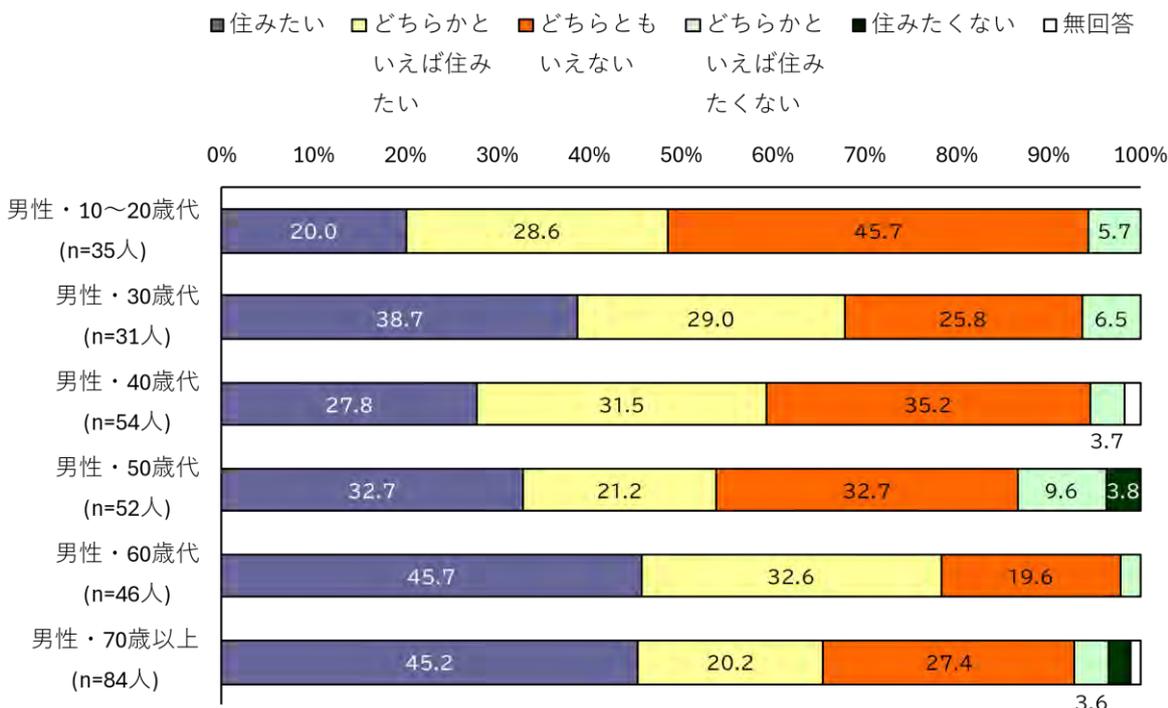


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【性・年齢別】

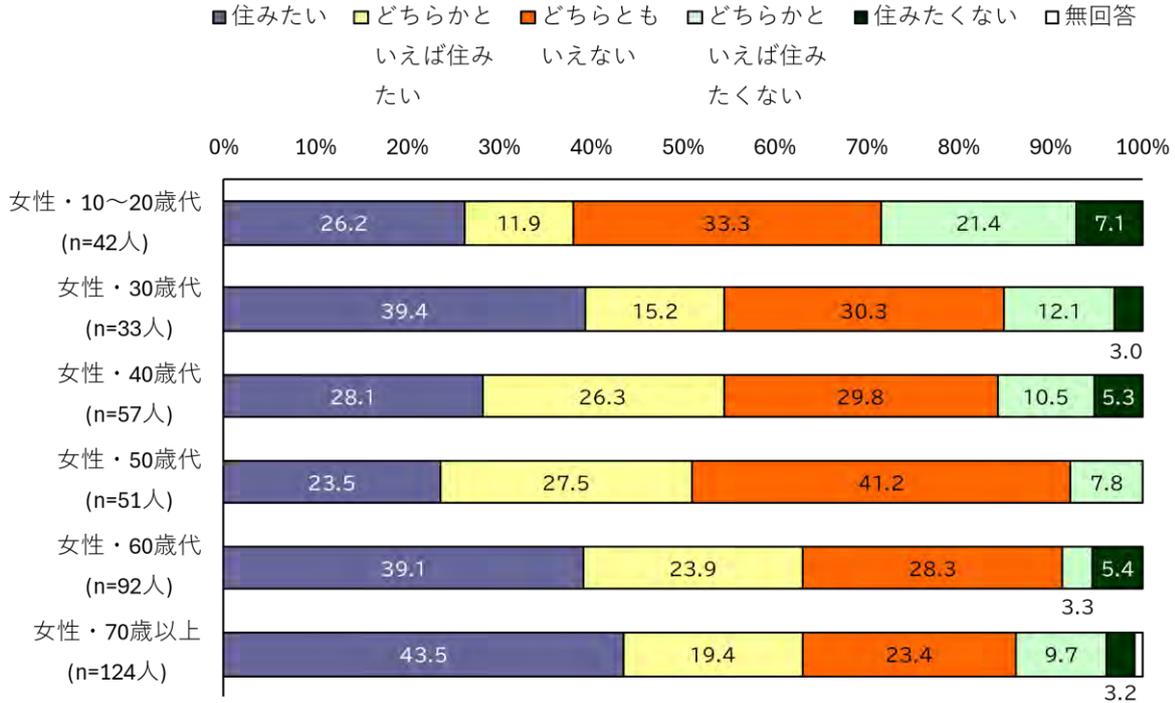
これを性・年齢別にみると、男性・60歳代は他の回答者に比べて“住みたい”の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた今後の定住意向（①男性）



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

図 性・年齢別でみた今後の定住意向（②女性）

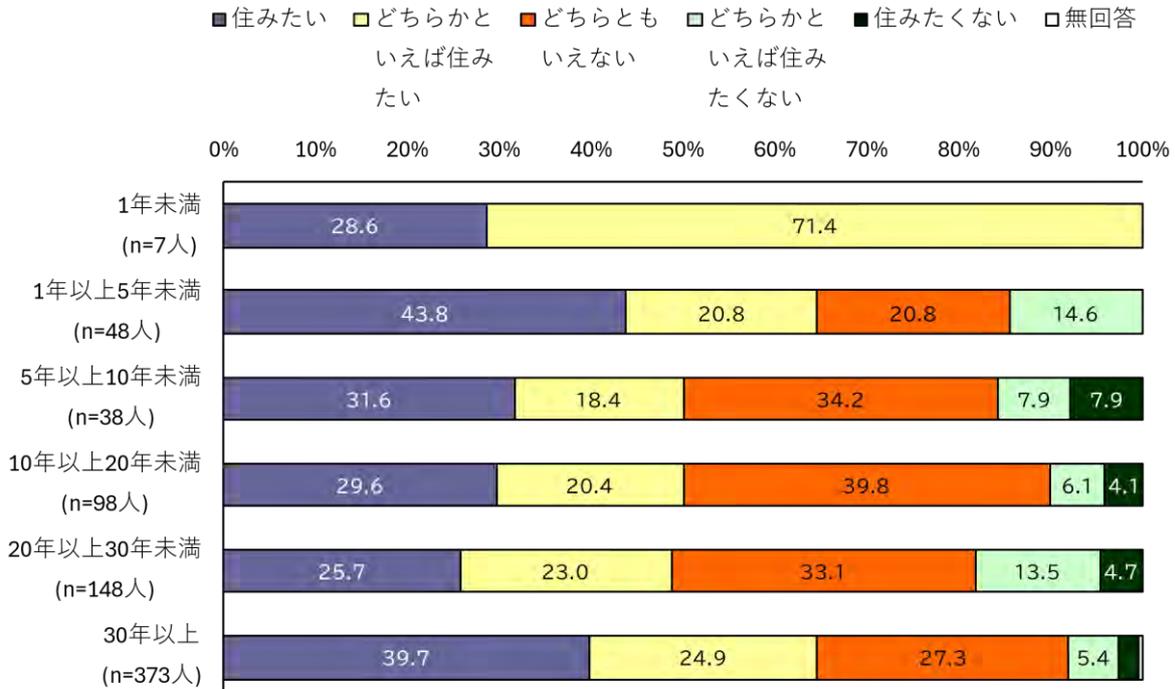


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住年数別】

これを居住年数別にみると、1年以上5年未満及び30年以上は他の回答者に比べて「住みたい」の割合が高くなっています。

図 居住年数別でみた今後の定住意向



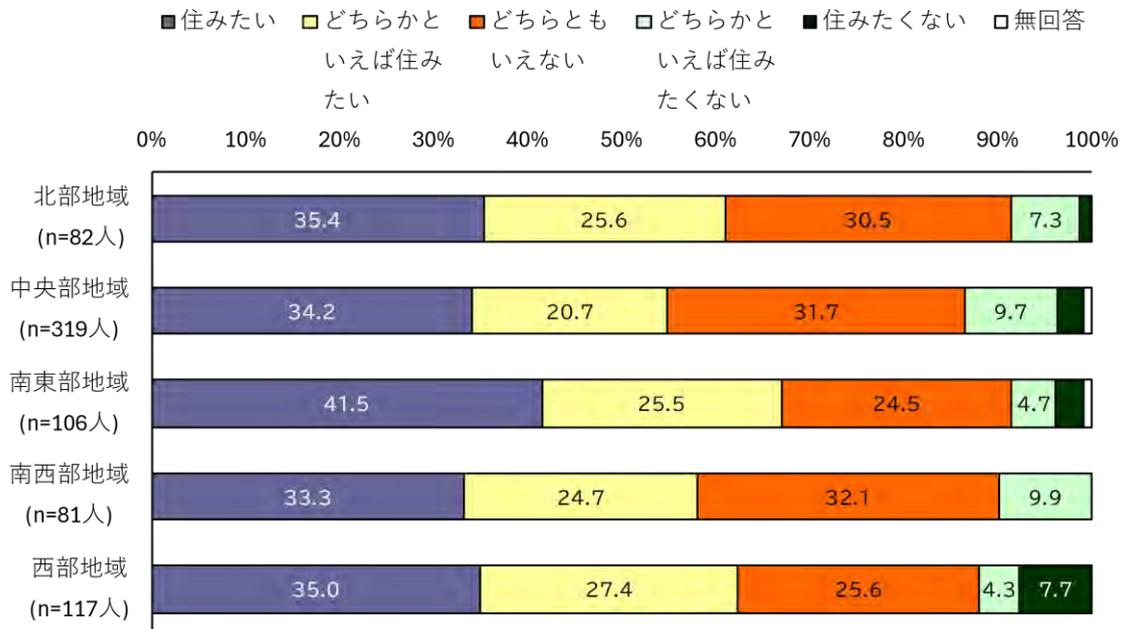
※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

2-3 今後の定住意向（問4）

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、南東部地域は他の地域に比べて“住みたい”の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた今後の定住意向



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

2-4 町の魅力（問5）

問5 あなたは、越生町のどのようなところが魅力だと思いますか。（3 つまで○印）

「自然環境・景観が豊かである」が最も多い

町の魅力については、「自然環境・景観が豊かである」が62.9%で、他の項目に比べて特に多く、次いで「人情味や地域の連帯感がある」が18.3%、「おいしい農産物・特産品がある」が15.3%で続いています。

図 町の魅力（複数回答）

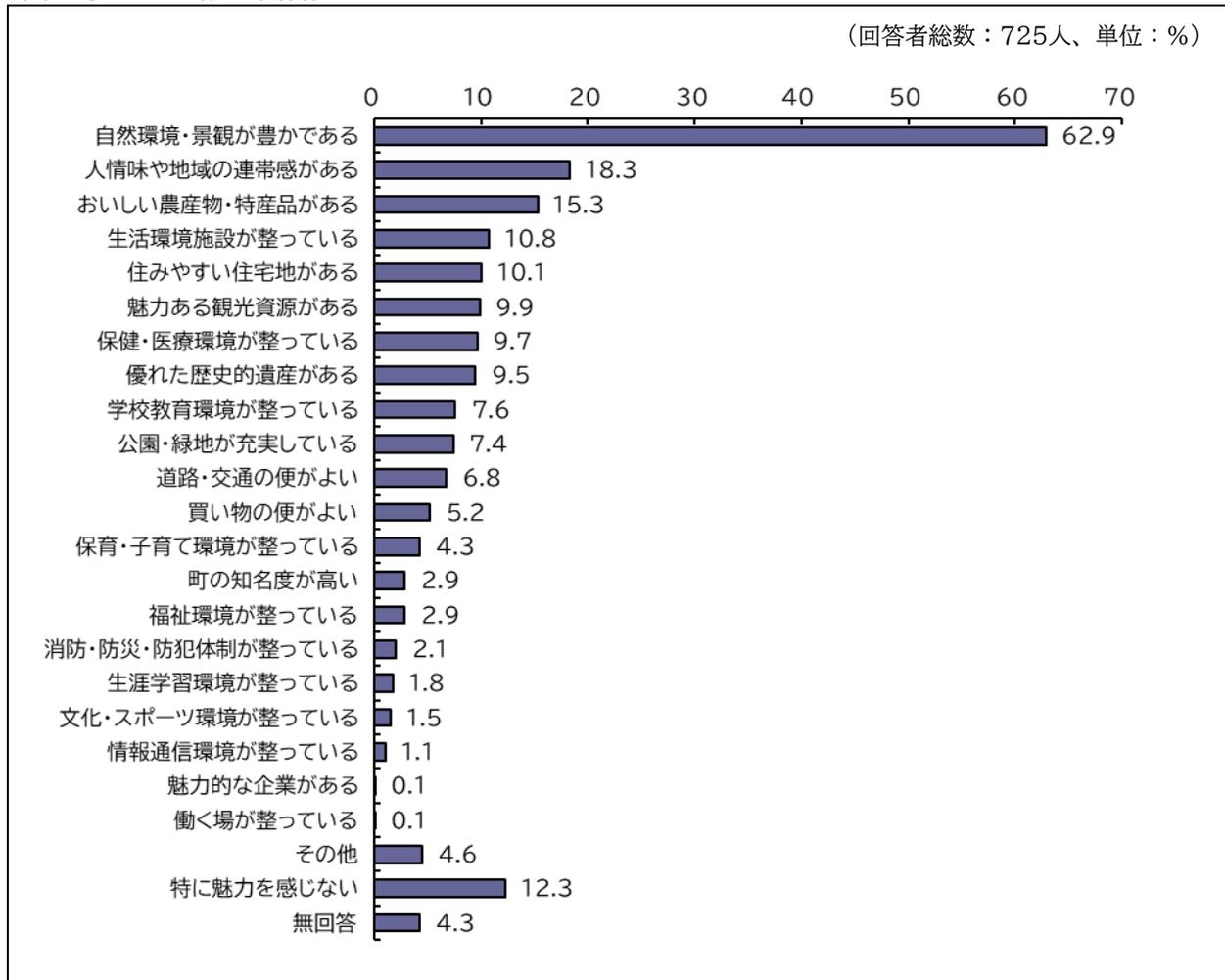


表 町の魅力（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
自然環境・景観が豊かである	456 (62.9)
人情味や地域の連帯感がある	133 (18.3)
おいしい農産物・特産品がある	111 (15.3)
生活環境施設が整っている	78 (10.8)
住みやすい住宅地がある	73 (10.1)
魅力ある観光資源がある	72 (9.9)
保健・医療環境が整っている	70 (9.7)
優れた歴史的遺産がある	69 (9.5)
学校教育環境が整っている	55 (7.6)
公園・緑地が充実している	54 (7.4)
道路・交通の便がよい	49 (6.8)
買い物の便がよい	38 (5.2)

区分	人 (%)
保育・子育て環境が整っている	31 (4.3)
町の知名度が高い	21 (2.9)
福祉環境が整っている	21 (2.9)
消防・防災・防犯体制が整っている	15 (2.1)
生涯学習環境が整っている	13 (1.8)
文化・スポーツ環境が整っている	11 (1.5)
情報通信環境が整っている	8 (1.1)
魅力的な企業がある	1 (0.1)
働く場が整っている	1 (0.1)
その他	33 (4.6)
特に魅力を感じない	89 (12.3)
無回答	31 (4.3)

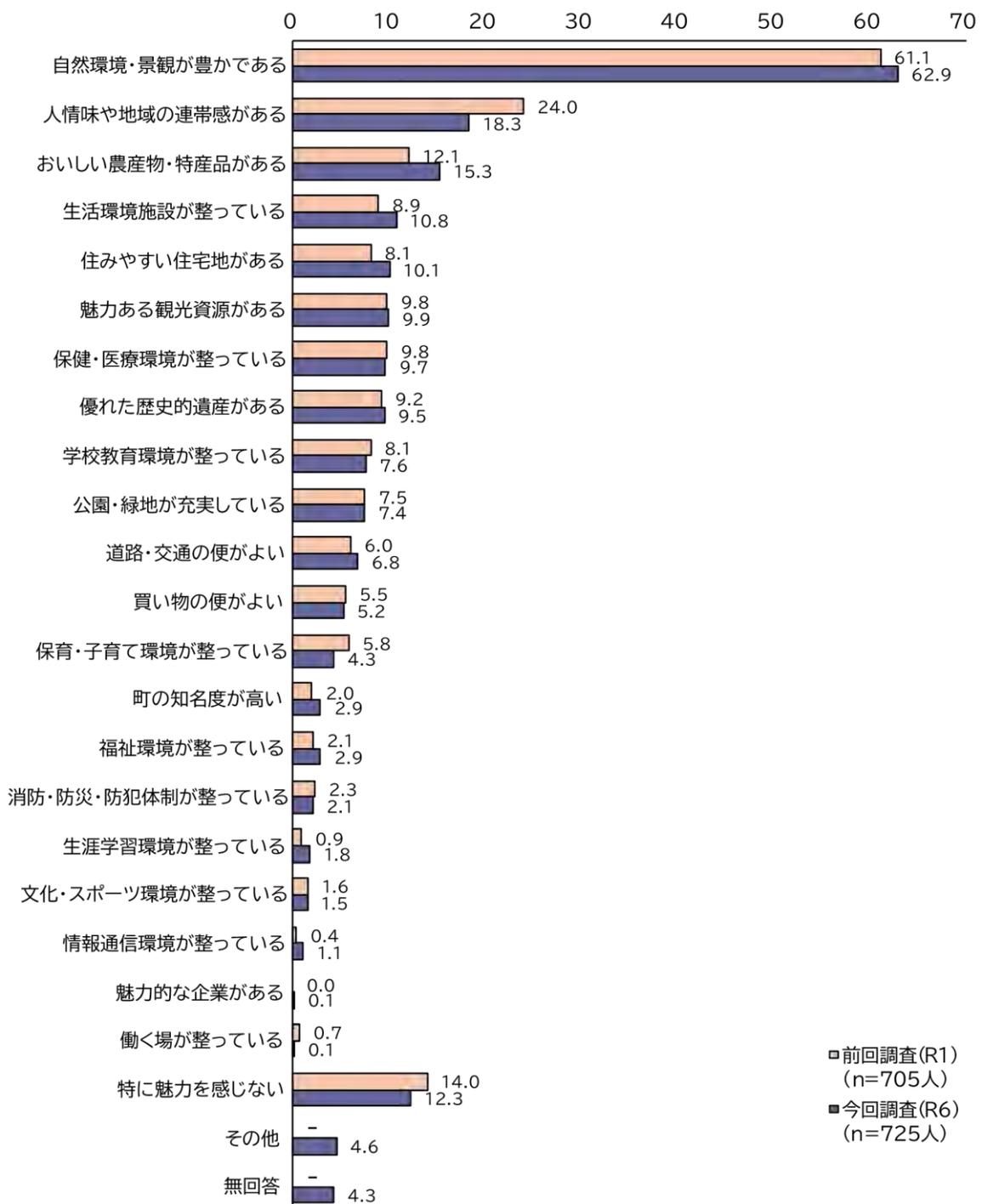
※この設問は複数回答であるため、構成比の和は100%を超えることがあります。

2-4 町の魅力（問5）

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「人情味や地域の連帯感がある」の割合が低く、「おいしい農産物・特産品がある」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた町の魅力（複数回答） (単位：%)



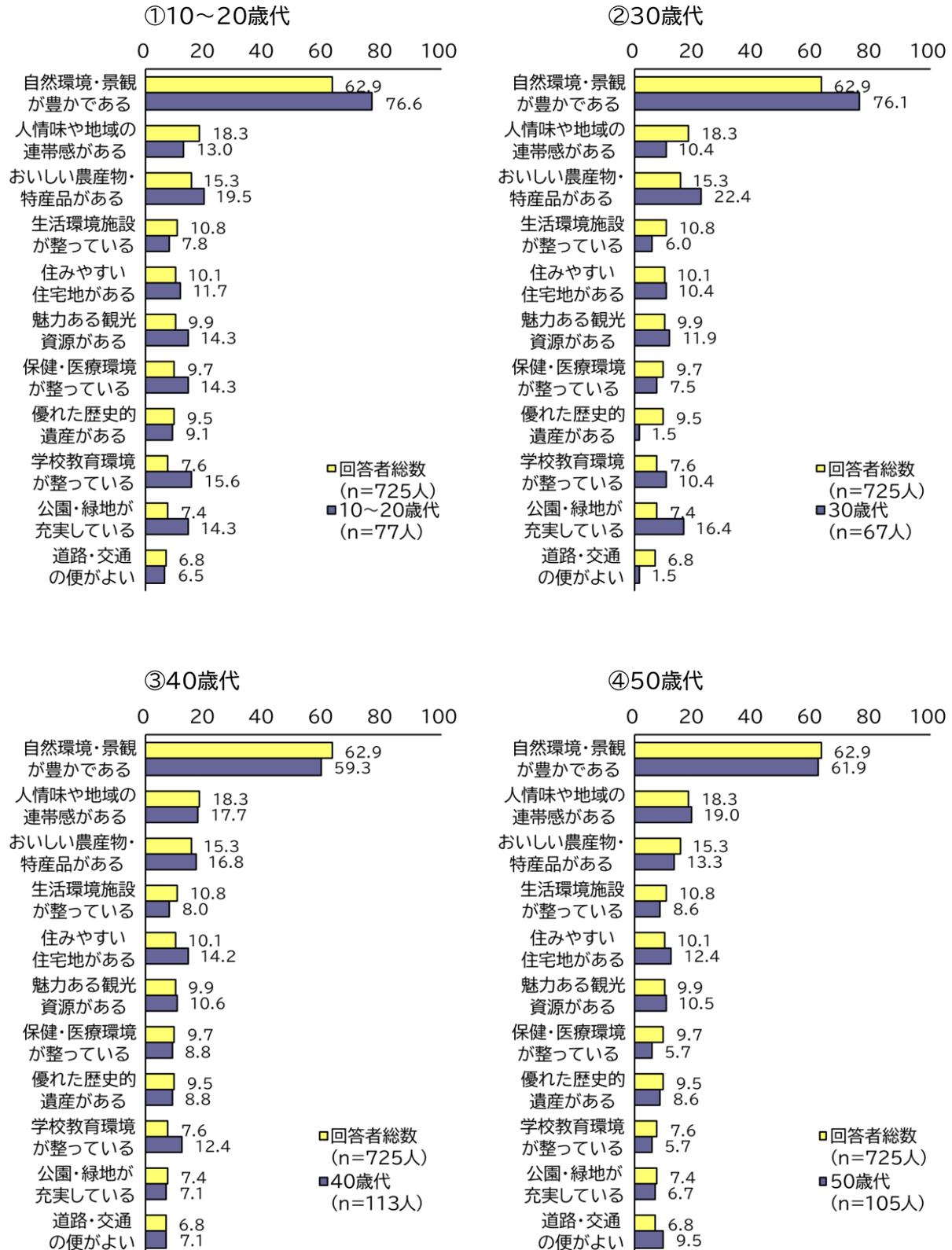
※図中、前回調査になかった項目は、数値を「-」と表示しています。

【年齢別】

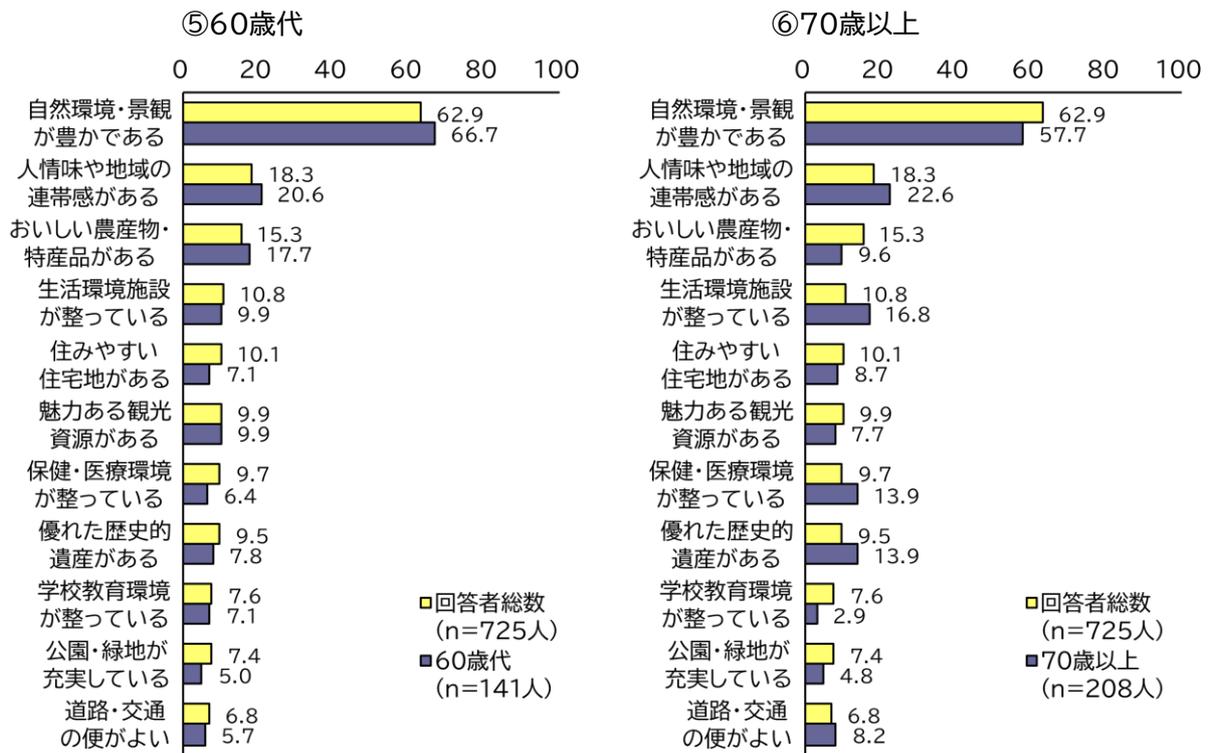
これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「自然環境・景観が豊かである」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた町の魅力（複数回答）

（単位：％）



2-4 町の魅力（問5）

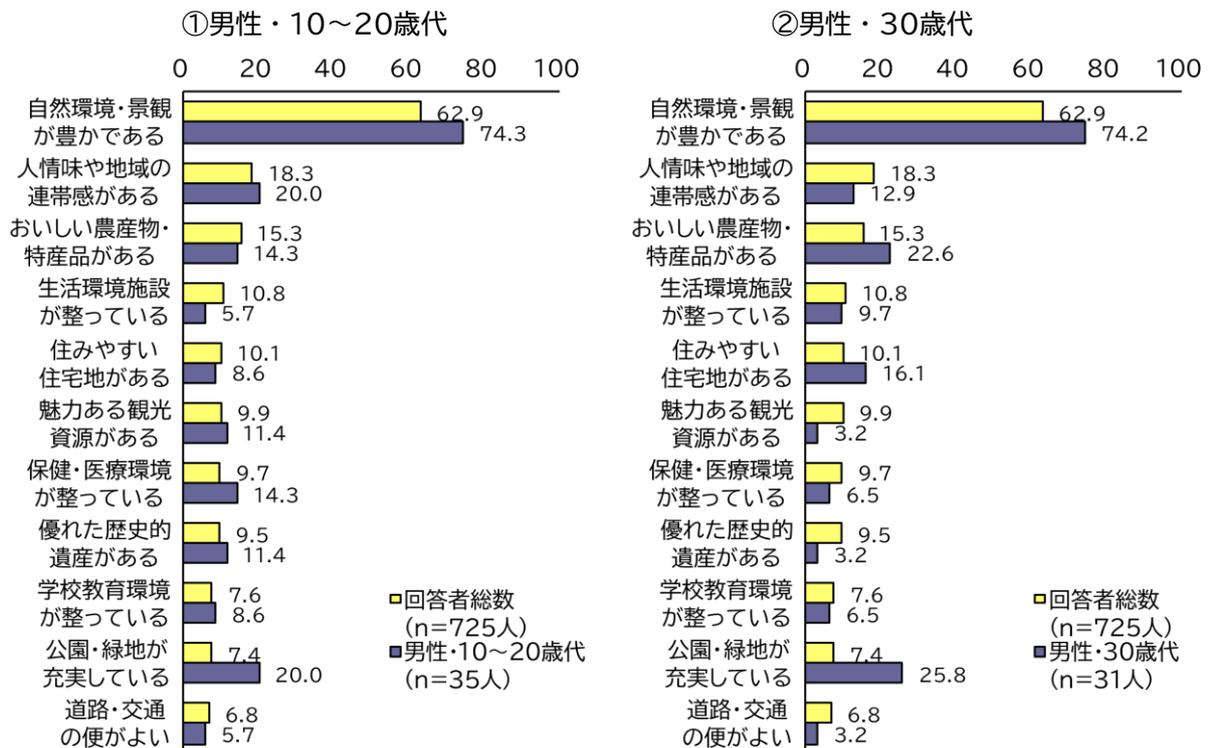


【性・年齢別】

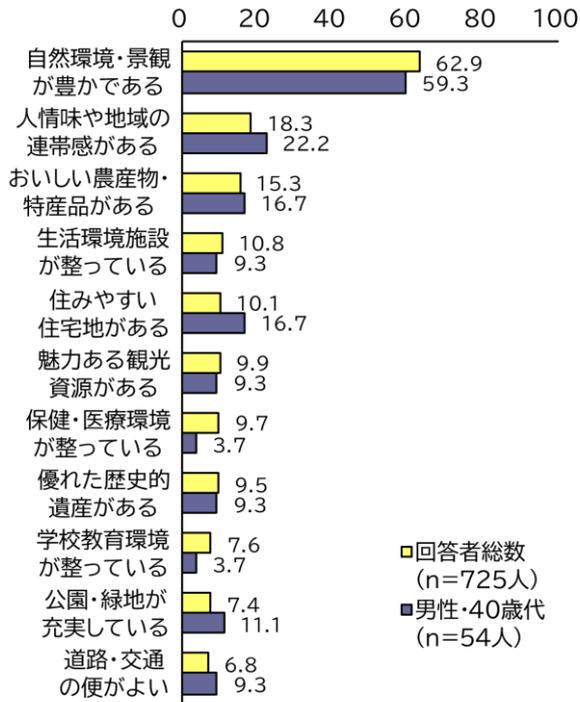
これを性・年齢別にみると、男性、女性ともに10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「自然環境・景観が豊かである」の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた町の魅力（複数回答）

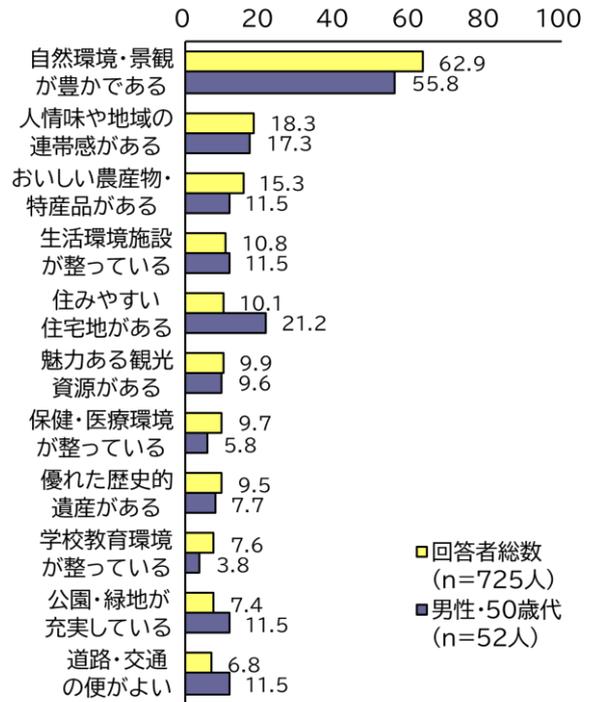
（単位：％）



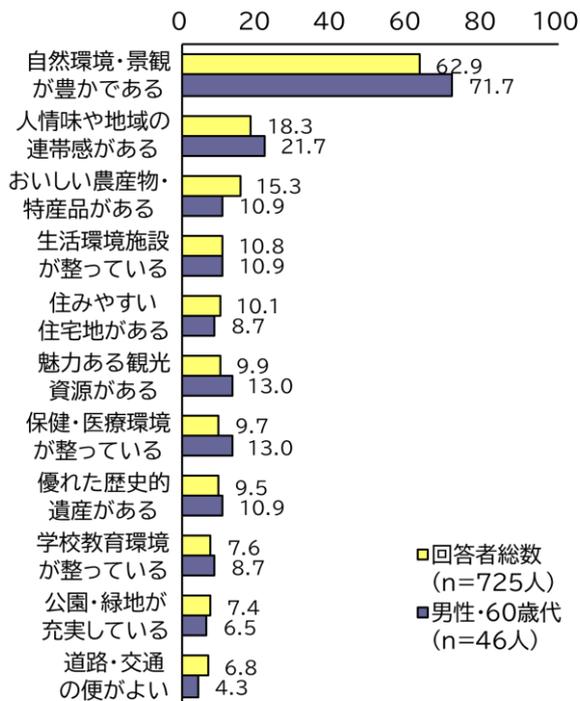
③男性・40歳代



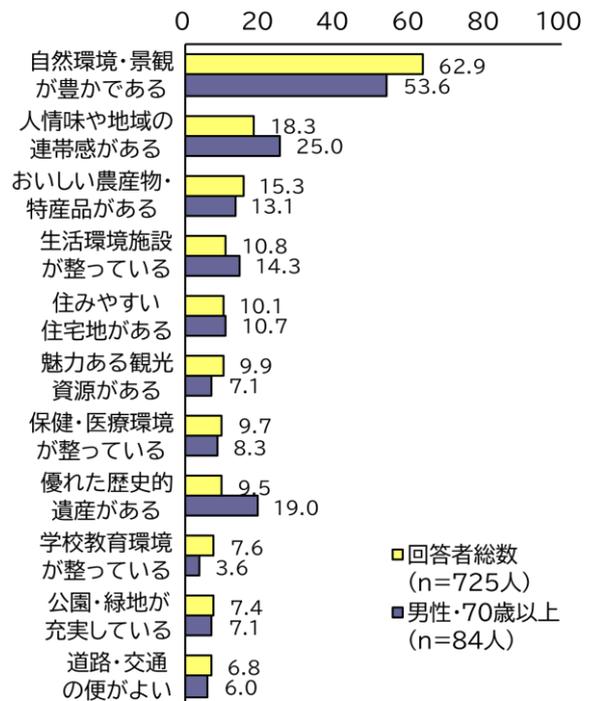
④男性・50歳代



⑤男性・60歳代

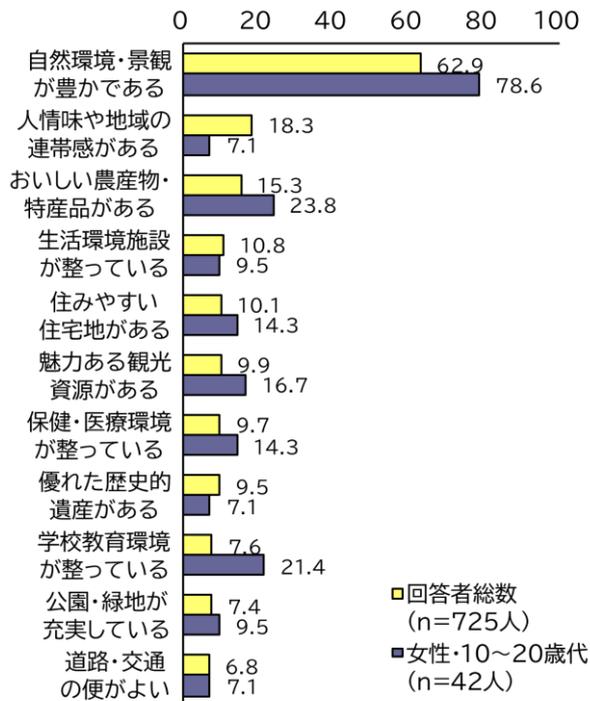


⑥男性・70歳以上

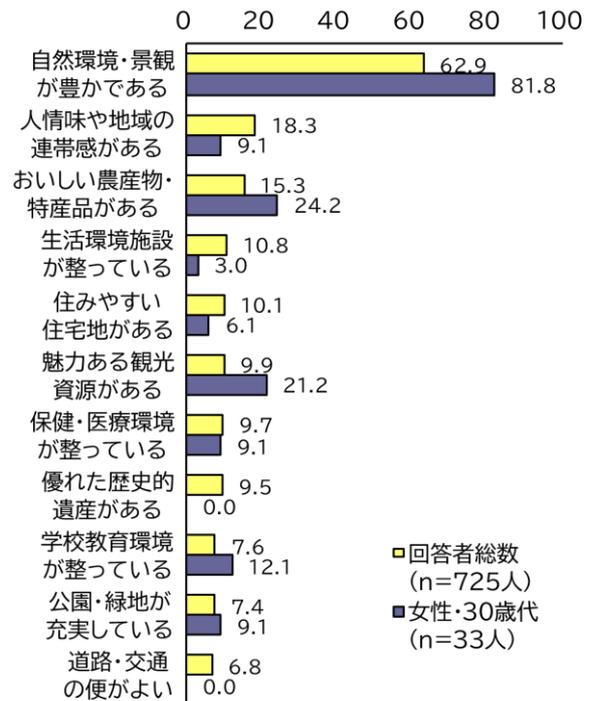


2-4 町の魅力（問5）

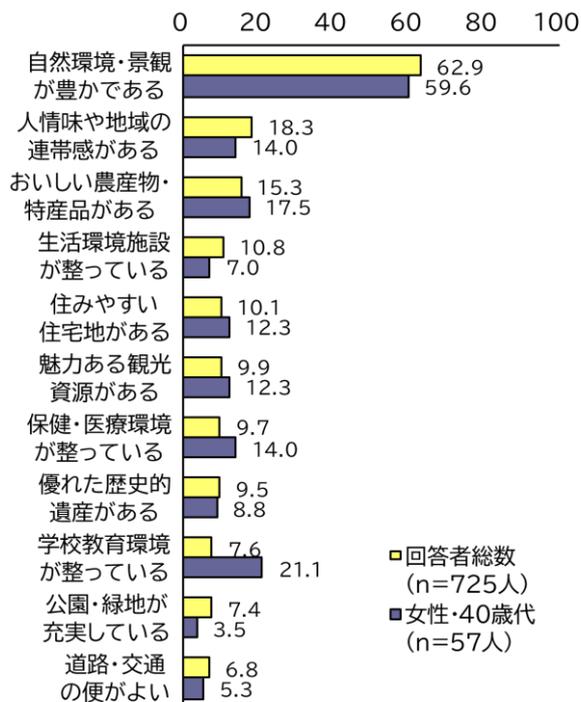
⑦女性・10～20歳代



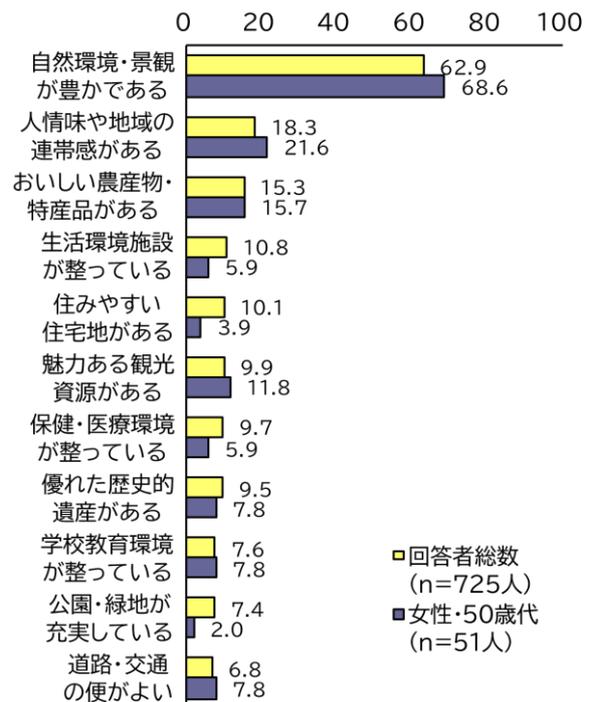
⑧女性・30歳代

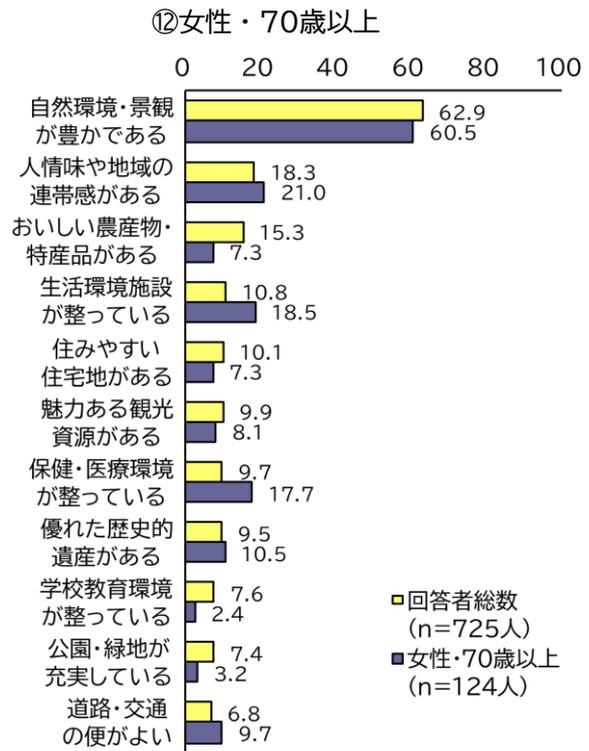
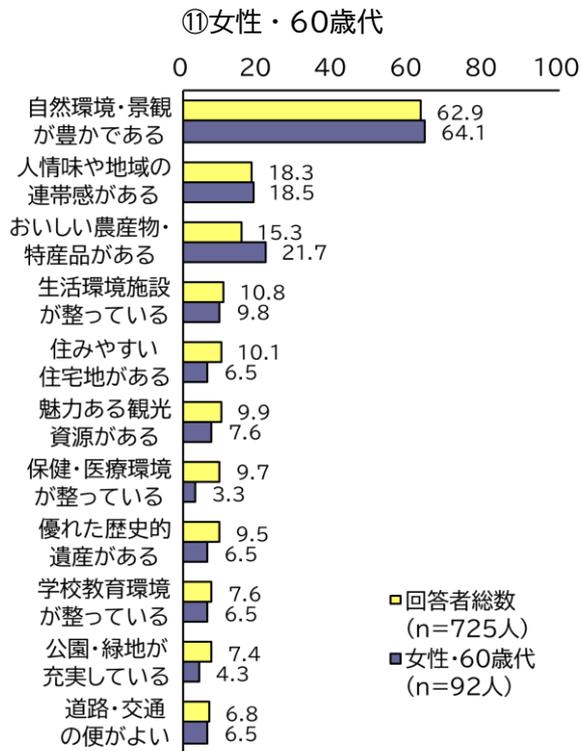


⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



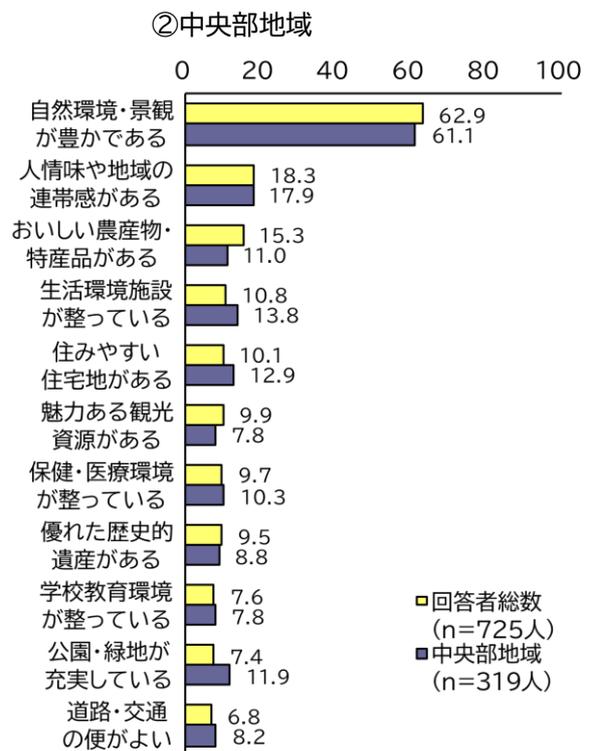
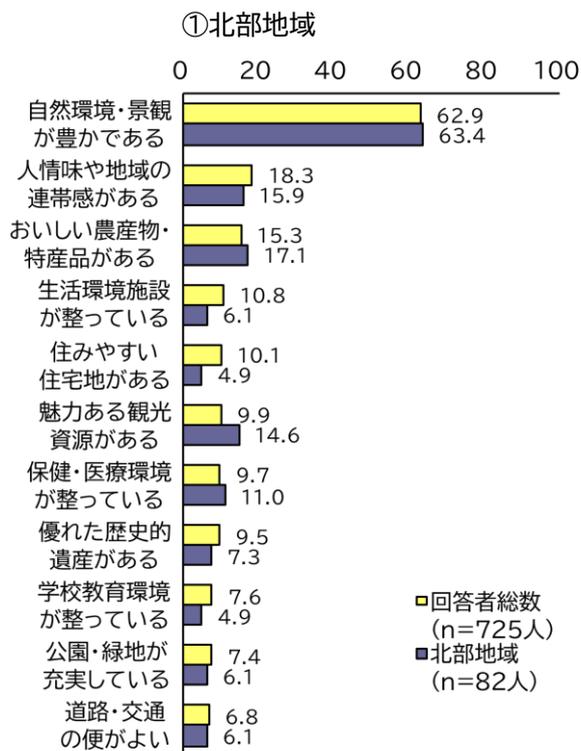


【居住地域別】

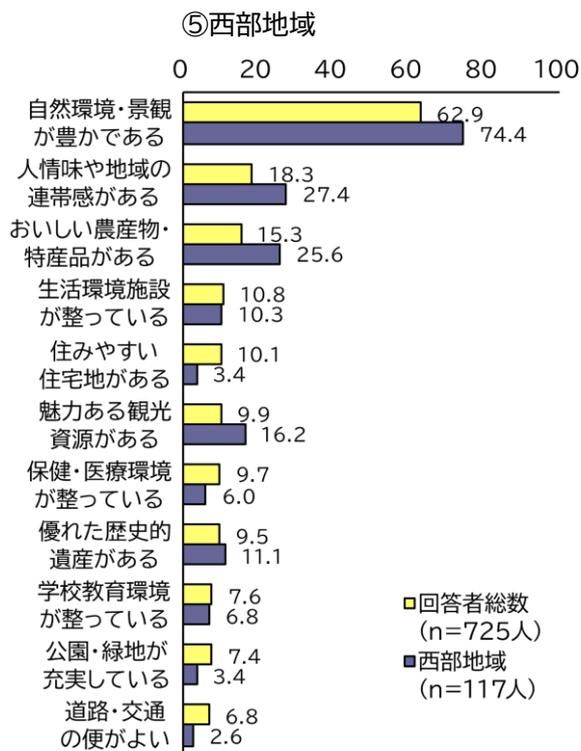
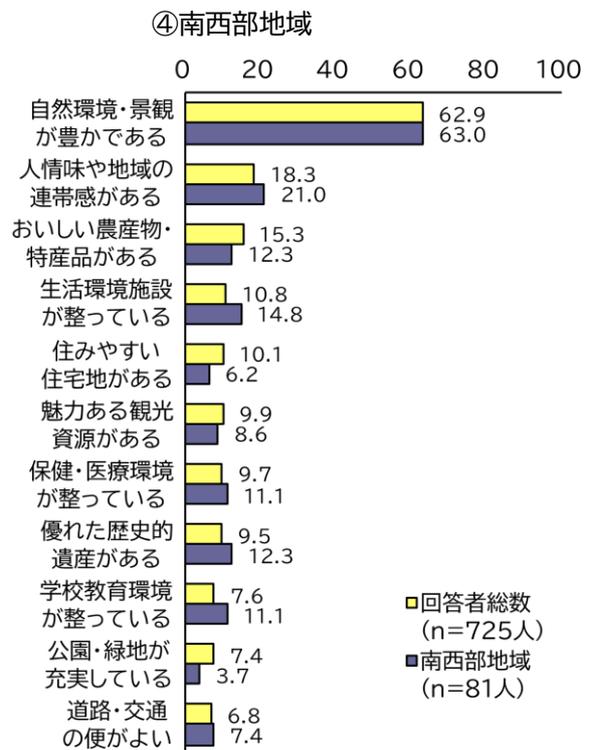
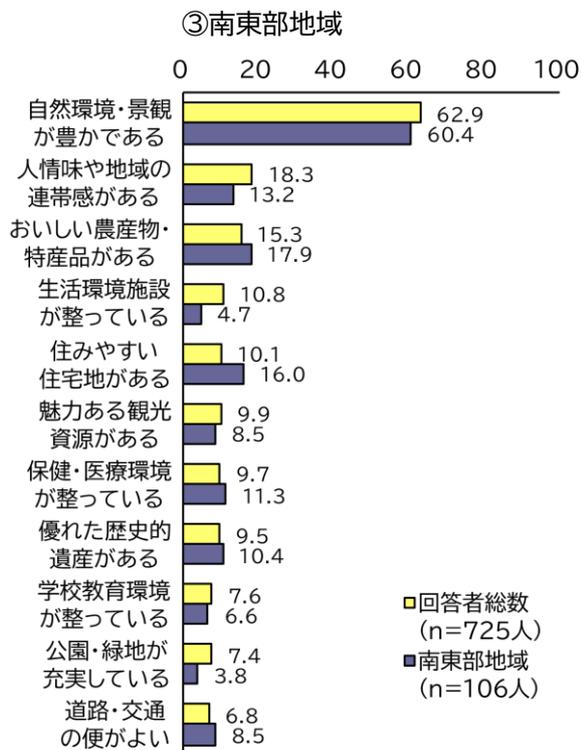
これを居住地域別にみると、西部地域では他の地域に比べて「自然環境・景観が豊かである」の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた町の魅力（複数回答）

（単位：％）



2-4 町の魅力（問5）



2-5 町に不足していること（問6）

問6 あなたは、越生町のどのようなところが不足していると思いますか。（3 つまで○印）

「買い物の便が悪い」が最も多い

町に不足していることについては、「買い物の便が悪い」が56.8%で最も多く、次いで「魅力的な企業が少ない」が35.4%、「働く場が不十分」が34.8%が続いています。

図 町に不足していること（複数回答）

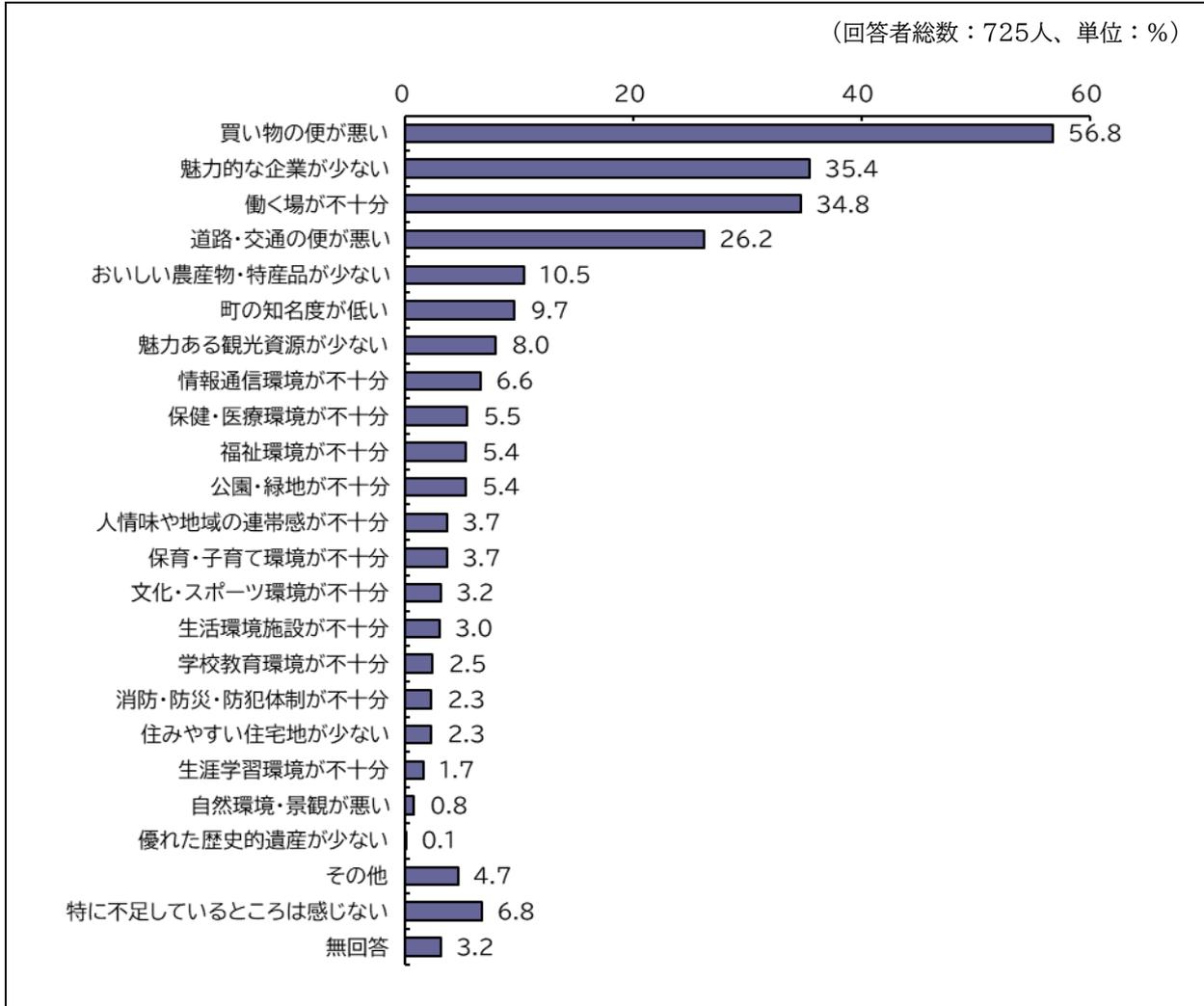


表 町に不足していること（複数回答）

区分	人（％）
回答者総数	725（100.0）
買い物の便が悪い	412（56.8）
魅力的な企業が少ない	257（35.4）
働く場が不十分	252（34.8）
道路・交通の便が悪い	190（26.2）
おいしい農産物・特産品が少ない	76（10.5）
町の知名度が低い	70（9.7）
魅力ある観光資源が少ない	58（8.0）
情報通信環境が不十分	48（6.6）
保健・医療環境が不十分	40（5.5）
福祉環境が不十分	39（5.4）
公園・緑地が不十分	39（5.4）
人情味や地域の連帯感が不十分	27（3.7）

区分	人（％）
保育・子育て環境が不十分	27（3.7）
文化・スポーツ環境が不十分	23（3.2）
生活環境施設が不十分	22（3.0）
学校教育環境が不十分	18（2.5）
消防・防災・防犯体制が不十分	17（2.3）
住みやすい住宅地が少ない	17（2.3）
生涯学習環境が不十分	12（1.7）
自然環境・景観が悪い	6（0.8）
優れた歴史的遺産が少ない	1（0.1）
その他	34（4.7）
特に不足しているところは感じない	49（6.8）
無回答	23（3.2）

※この設問は複数回答であるため、構成比の和は100%を超えることがあります。

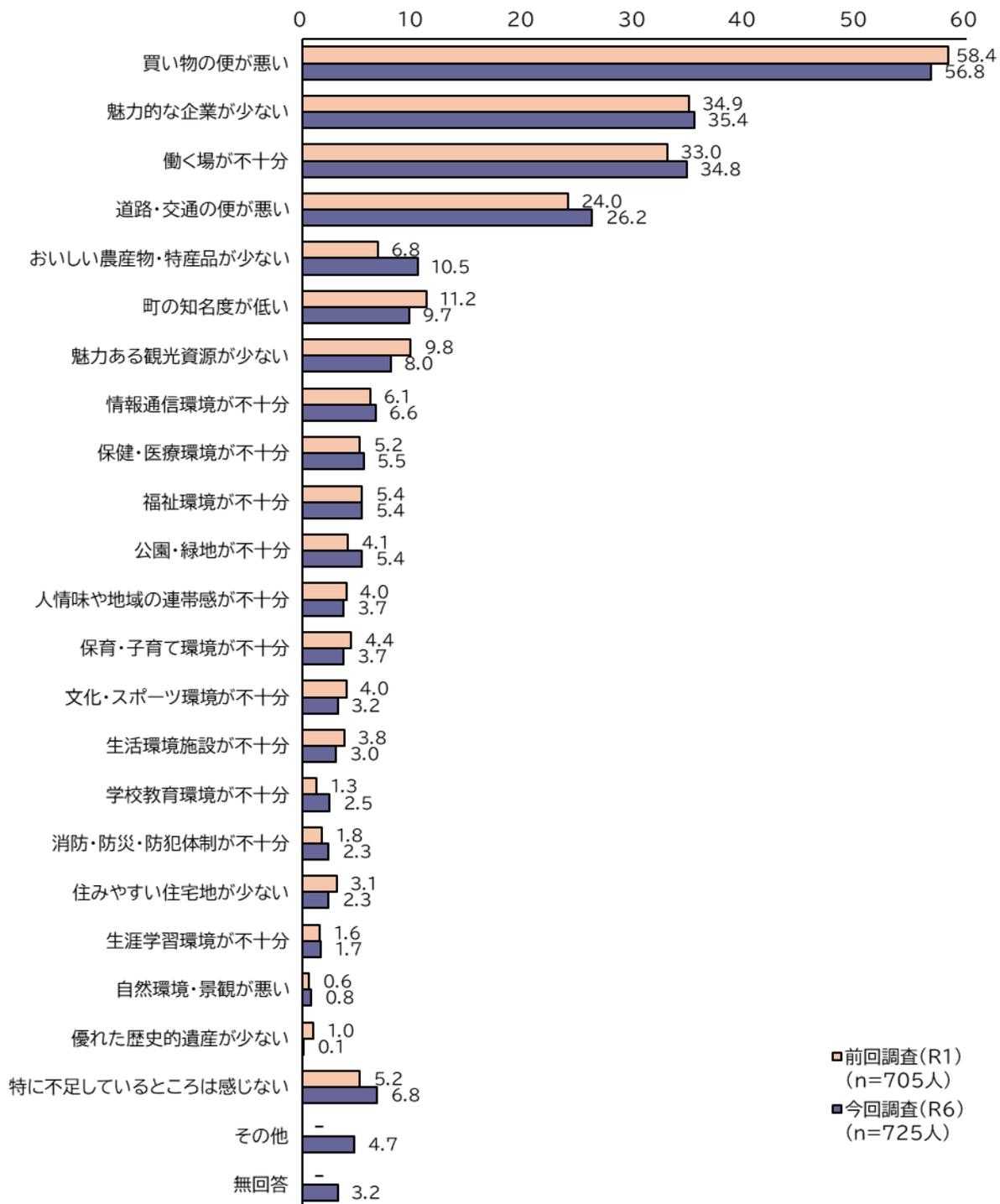
2-5 町に不足していること（問6）

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

図 時系列でみた町に不足していること（複数回答）

（単位：％）



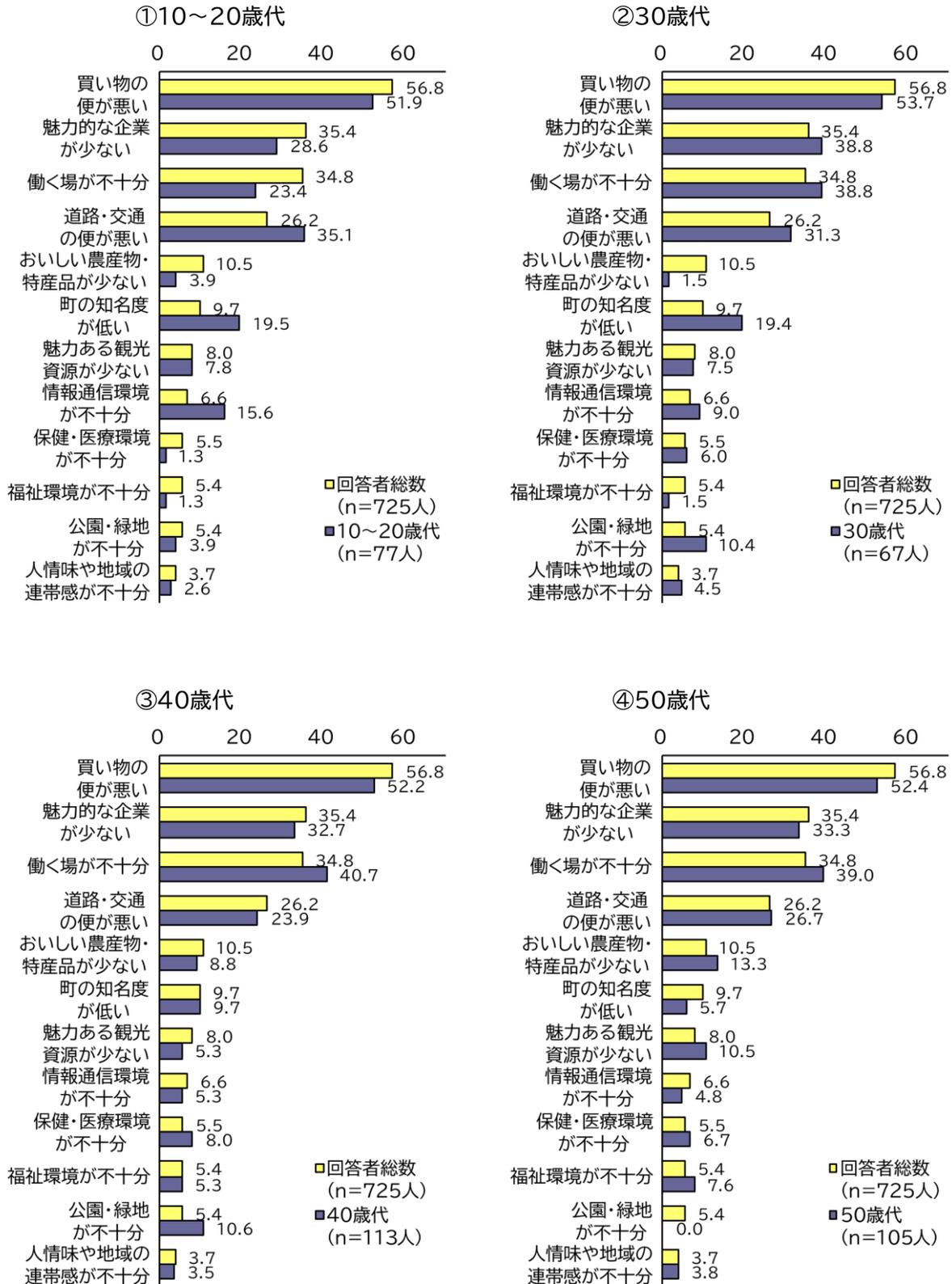
※図中、前回調査になかった項目は、数値を「-」と表示しています。

【年齢別】

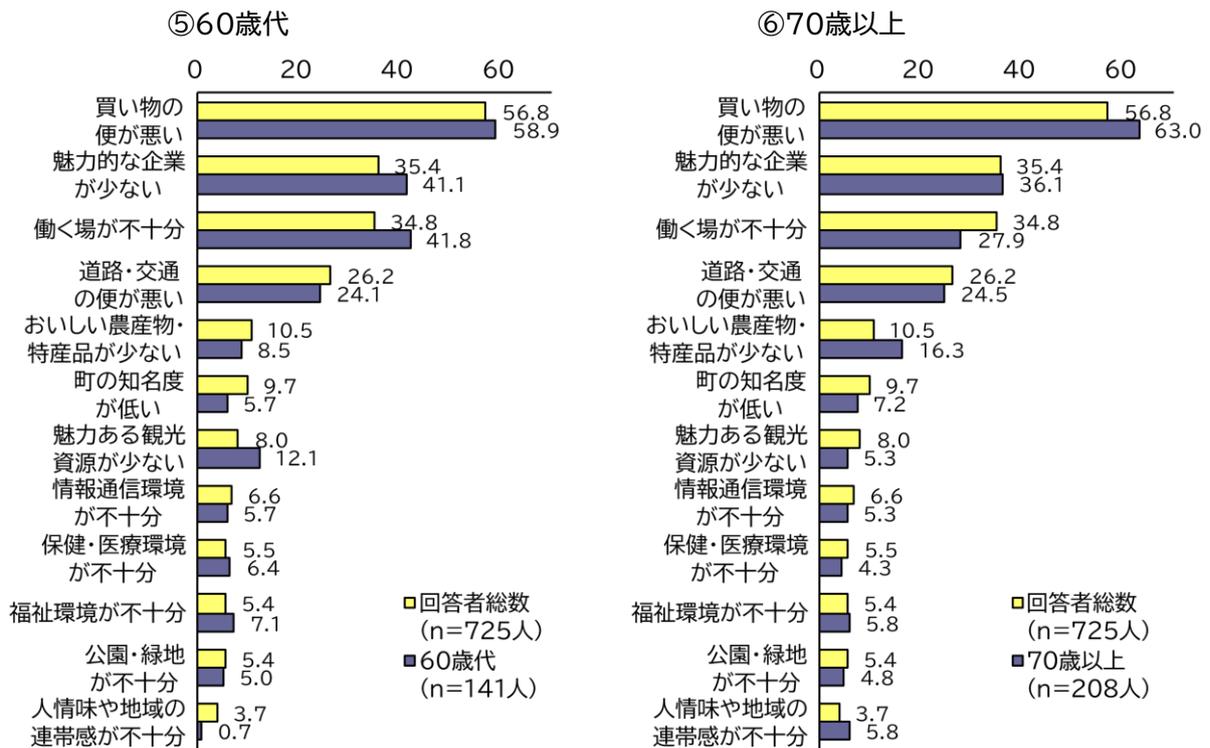
これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「道路・交通の便が悪い」の割合が高く、30歳代～60歳代は「働く場が不十分」の割合が高くなっています。また、70歳以上は「買い物の便が悪い」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた町に不足していること（複数回答）

（単位：％）



2-5 町に不足していること（問6）

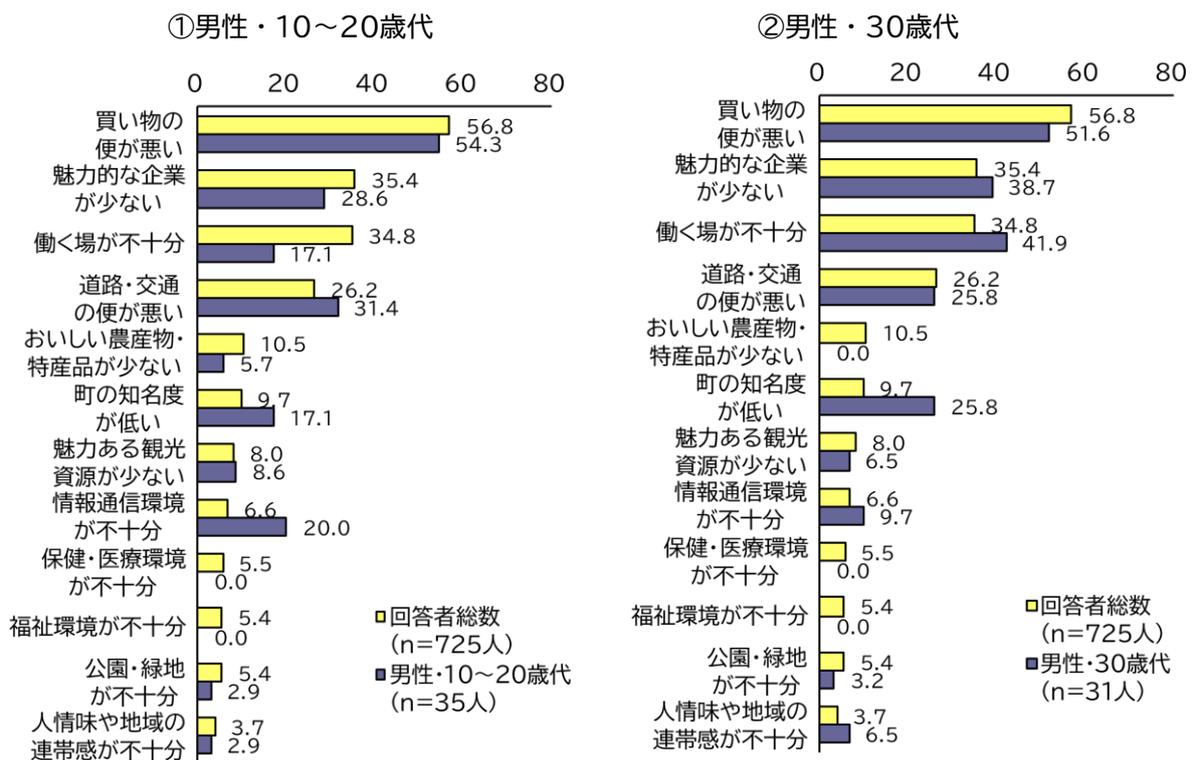


【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性・10～20歳代は他の回答者に比べて「情報通信環境が不十分」の割合が高く、男性の30歳代は「町の知名度が低い」、男性・60歳代、女性・40歳代及び女性・50歳代は「働く場が不十分」、女性・10～20歳代は「道路・交通の便が悪い」の割合が高いなど、性・年齢による違いがみられます。

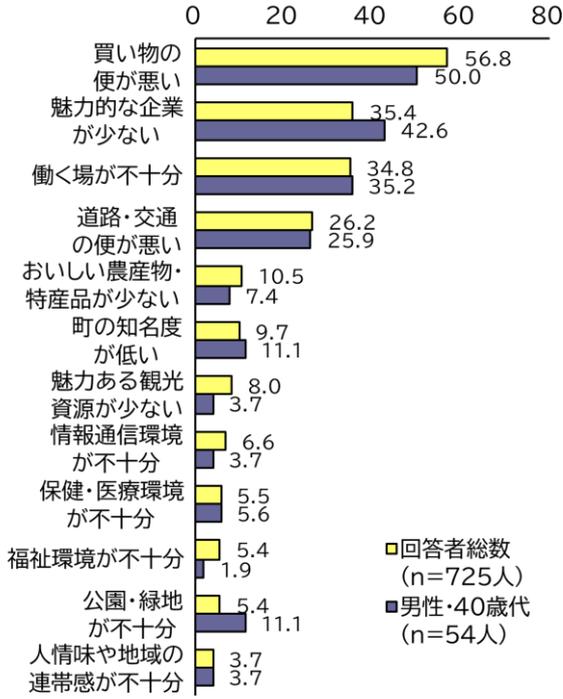
図 性・年齢別でみた町に不足していること（複数回答）

（単位：％）

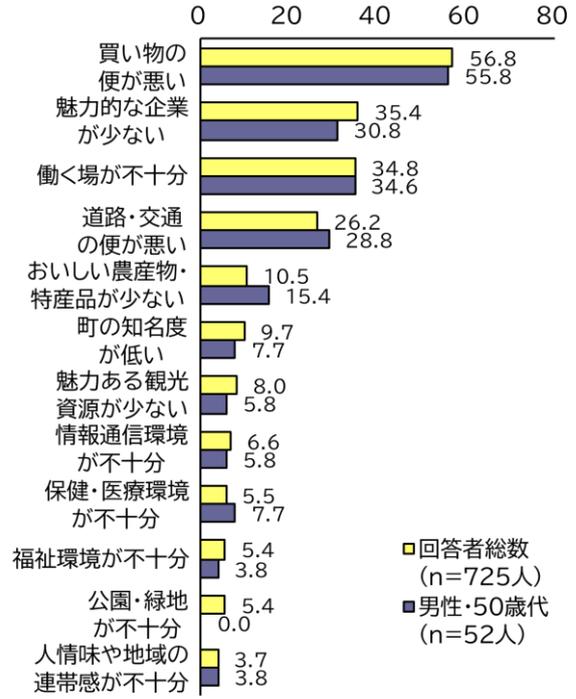


2-5 町に不足していること（問6）

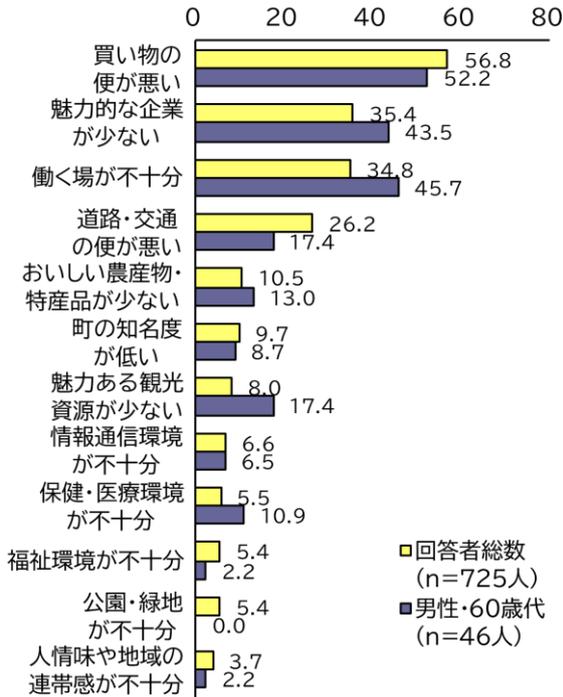
③男性・40歳代



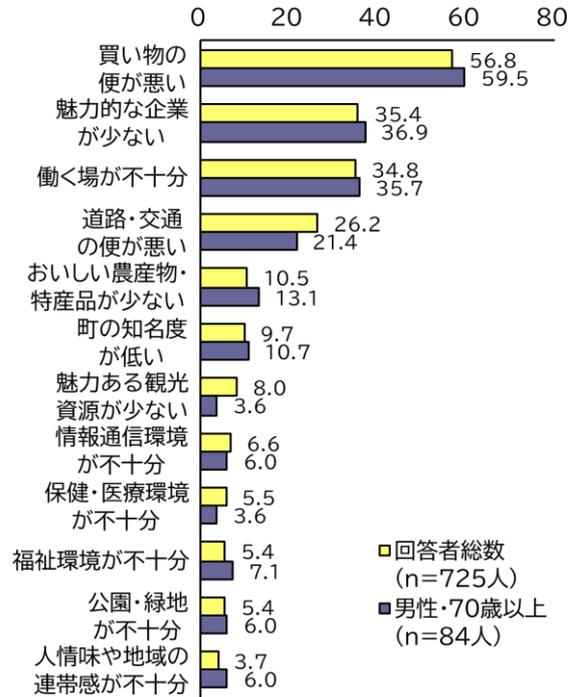
④男性・50歳代



⑤男性・60歳代

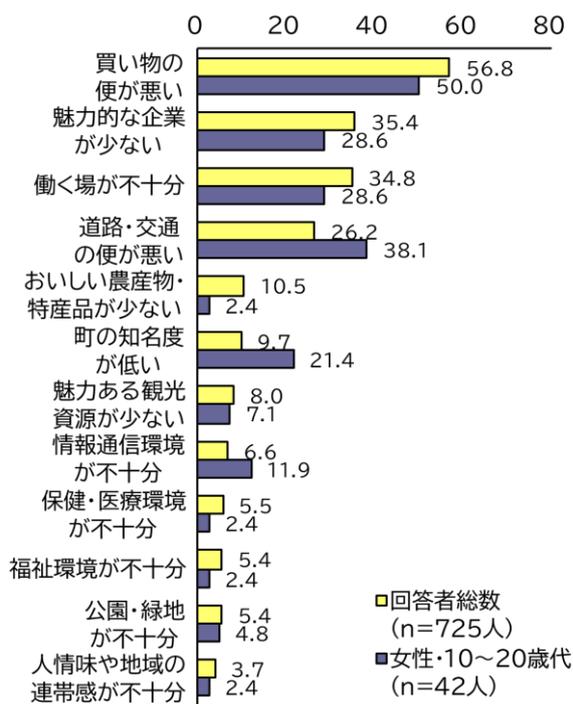


⑥男性・70歳以上

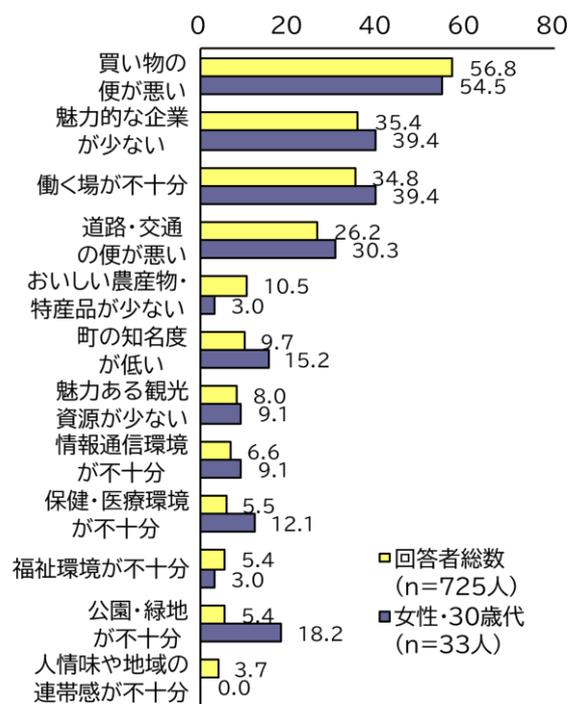


2-5 町に不足していること (問6)

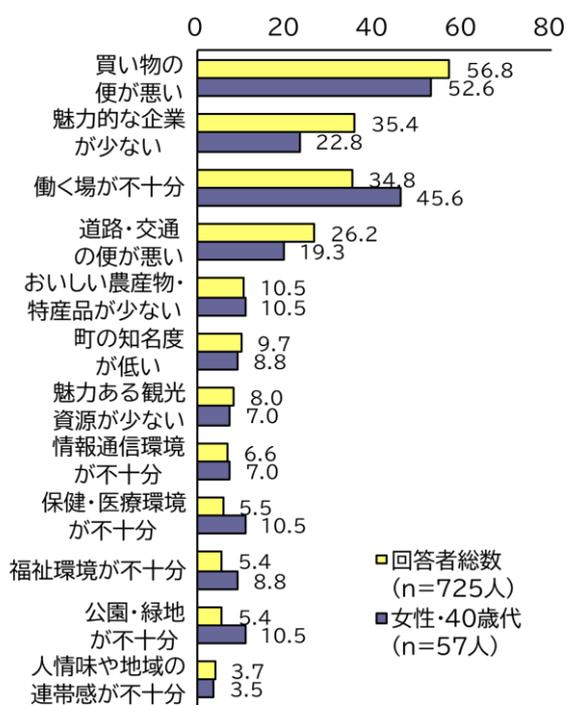
⑦女性・10～20歳代



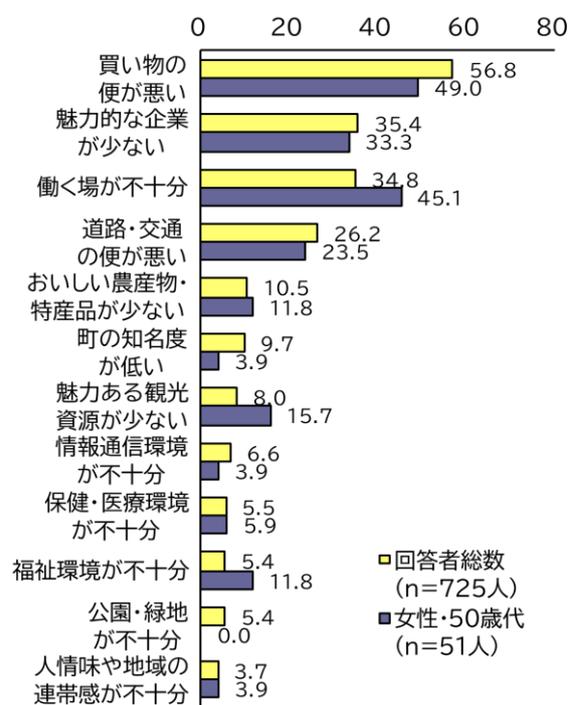
⑧女性・30歳代

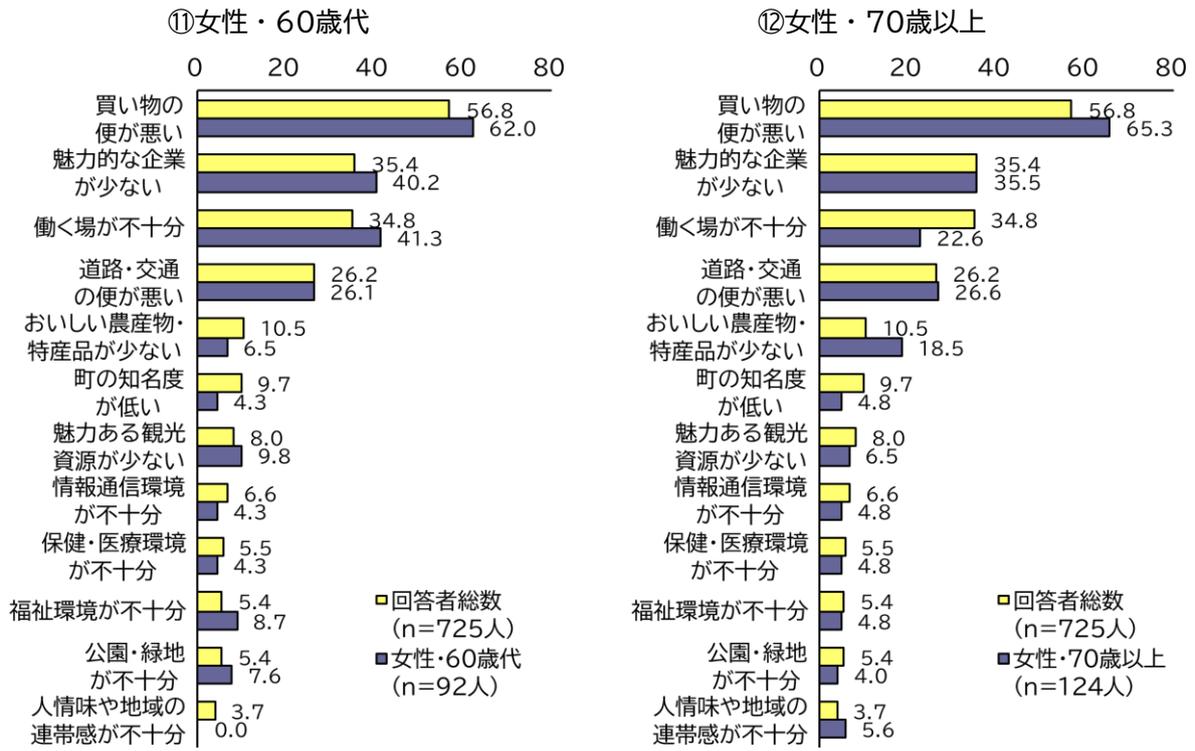


⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



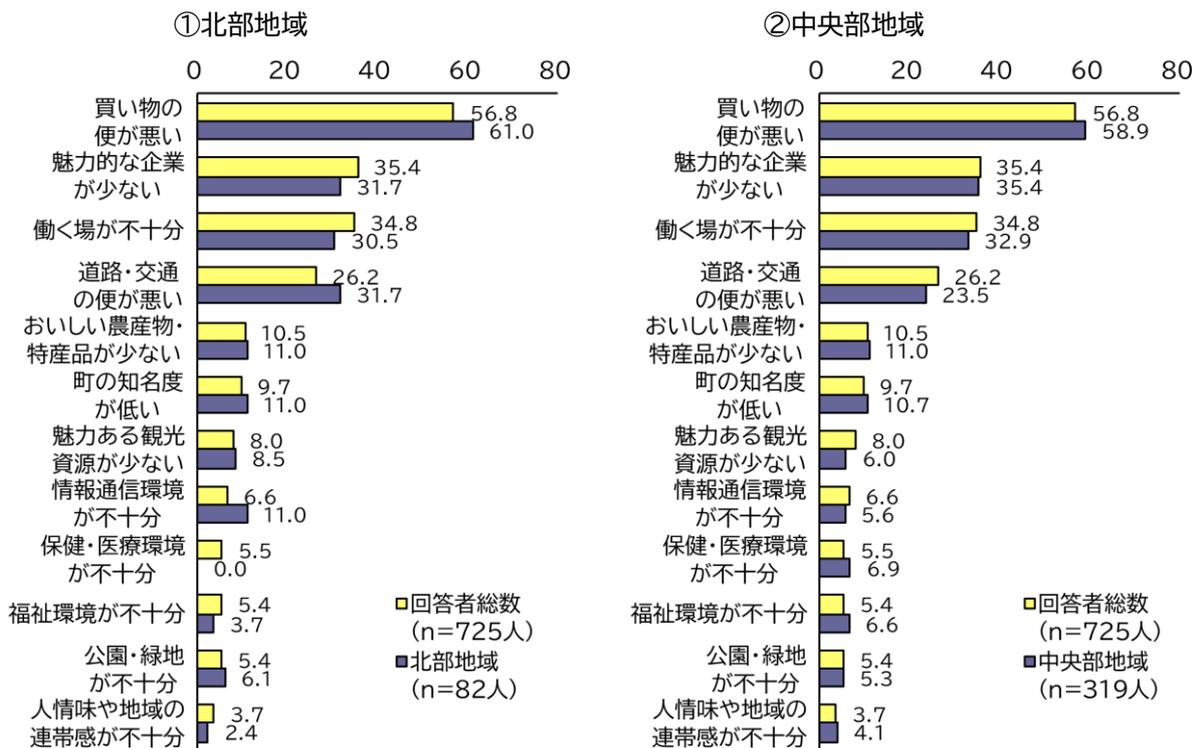


【居住地域別】

これを居住地域別にみると、南西部地域は他の地域に比べて「魅力的な企業が少ない」の割合が高く、西部地域は「買い物の便が悪い」、「働く場が不十分」及び「道路・交通の便が悪い」の割合が高くなっています。

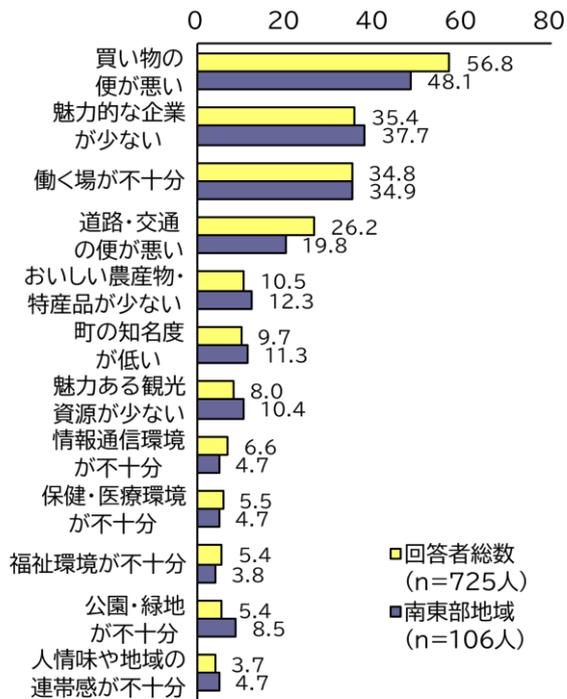
図 居住地域別でみた町に不足していること（複数回答）

（単位：％）

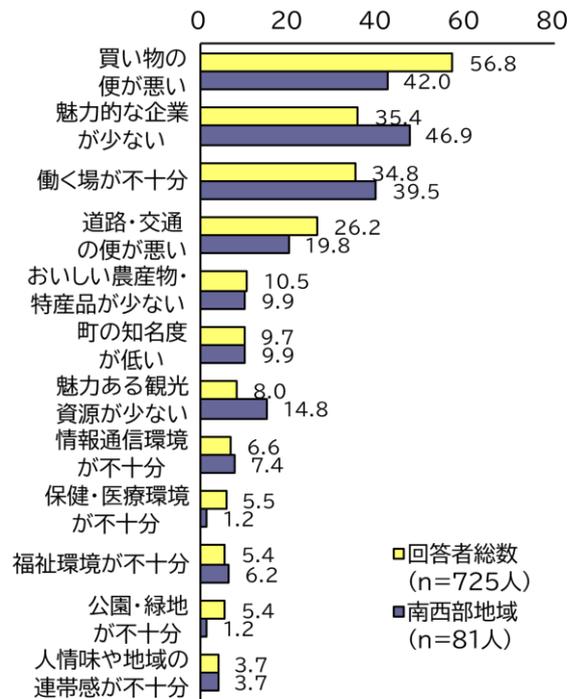


2-5 町に不足していること (問6)

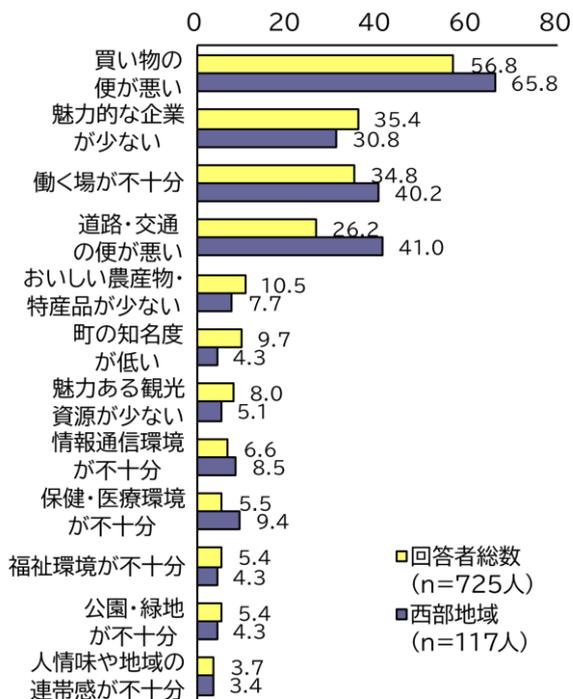
③南東部地域



④南西部地域



⑤西部地域



第3節 町の現状と今後の取組について

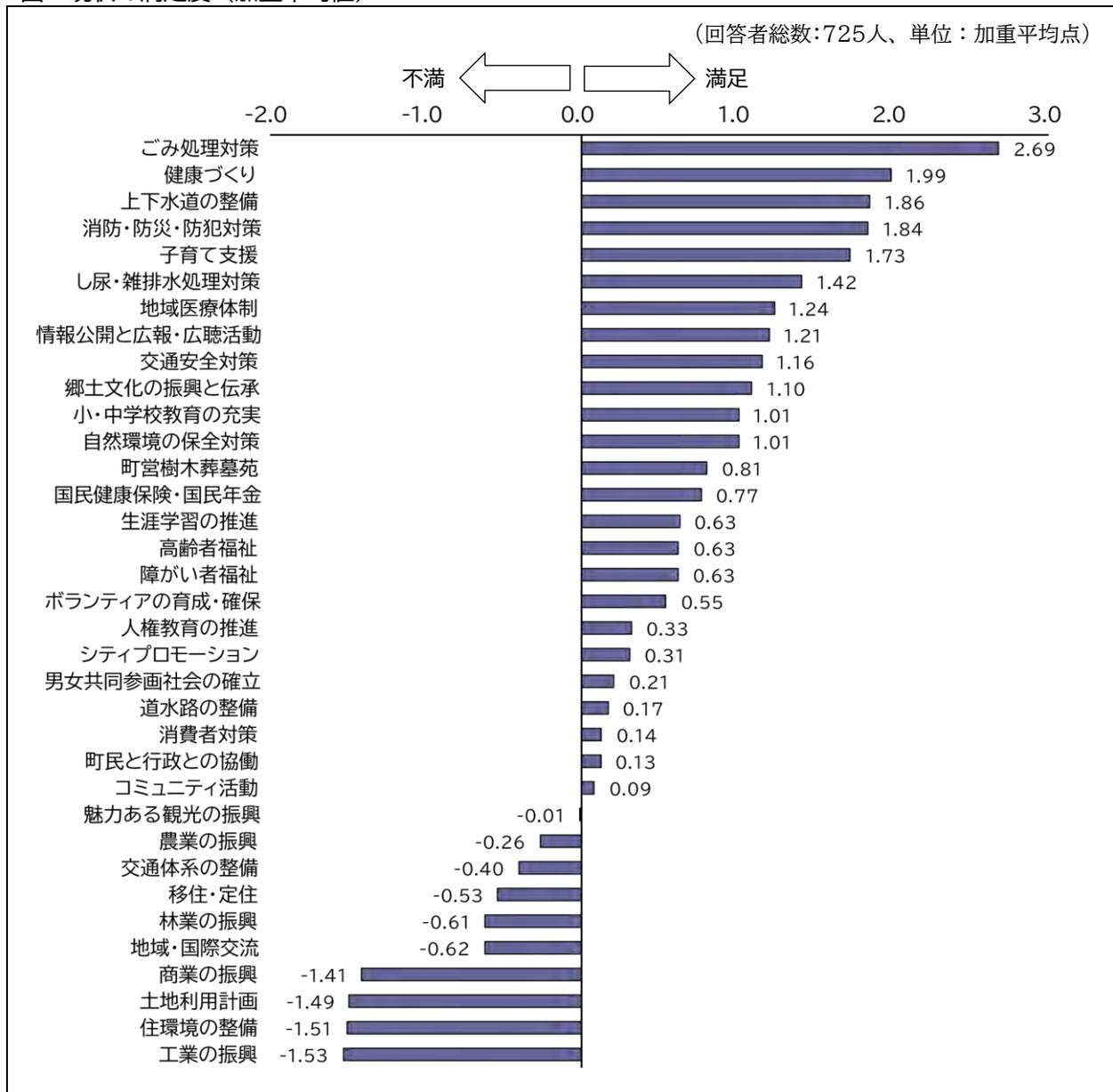
3-1 現状の満足度（問7(1)）

問7 越生町では、第六次越生町長期総合計画・前期基本計画（令和3年度～令和7年度）に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めています。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。(1) あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

「ごみ処理対策」や「健康づくり」、「上下水道の整備」で満足の度合いが強い

現状の満足度について、加重平均値*を求め比較したところ、「ごみ処理対策」（2.69点）や「健康づくり」（1.99点）、「上下水道の整備」（1.86点）などが満足の度合いが強い項目となっています。一方、「工業の振興」（-1.53点）や「住環境の整備」（-1.51点）、「土地利用計画」（-1.49点）などは不満の度合いが強い項目となっています。

図 現状の満足度（加重平均値）



* 「加重平均値」の考え方と方法については、次ページを参照してください。

3-1 現状の満足度（問7(1)）

【加重平均値について】

加重平均とは、ある設問における回答構成の平均値を算出する際に、項目の内容に応じて+10点、+5点、-5点、-10点といった重みを加えて計算する手法のことです。

問7では、調査結果をわかりやすく表現するため、加重平均による点数化を行いました。各項目における計算方法は次のとおりです。計算の結果得られる値はいずれも「+10」～「-10」の値となり、0点を中心に「+10」に近くなるほど満足の度合いが強く、「-10」に近くなるほど不満の度合いが強いことを表します。

A：「満足している」の回答数	(+10点)	→	$\frac{(A \times 10) + (B \times 5) - (D \times 5) - (E \times 10)}{A + B + C + D + E}$
B：「やや満足している」の回答数	(+5点)		
C：「どちらともいえない」の回答数	(0点)		
D：「やや不満である」の回答数	(-5点)		
E：「不満である」の回答数	(-10点)		

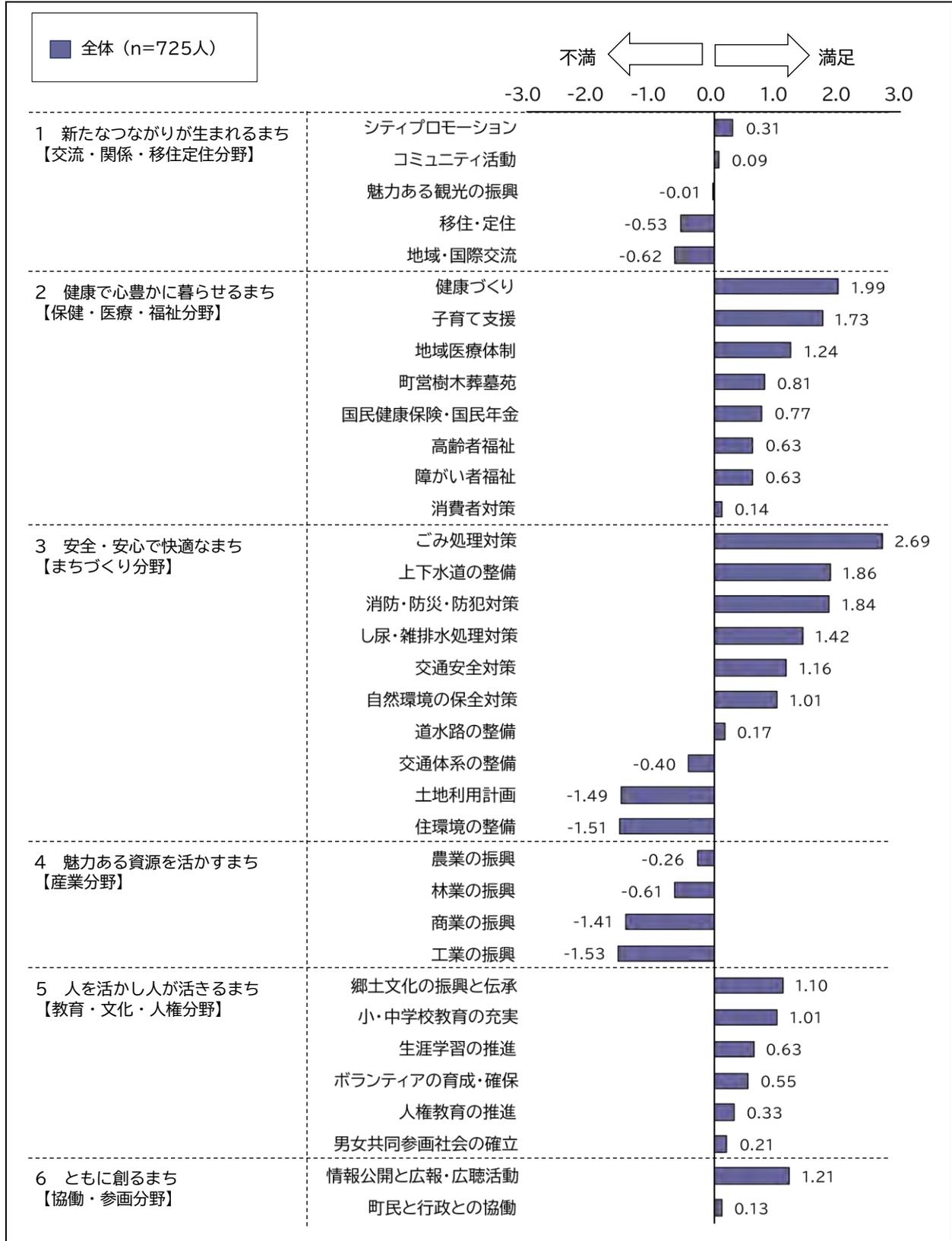
表 現状の満足度

回答者総数：725人、単位：人（％）

区分	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	加重平均値(点)
ごみ処理対策	102 (14.1)	229 (31.6)	309 (42.6)	35 (4.8)	14 (1.9)	36 (5.0)	2.69
健康づくり	54 (7.4)	232 (32.0)	337 (46.5)	38 (5.2)	16 (2.2)	48 (6.6)	1.99
上下水道の整備	90 (12.4)	191 (26.3)	309 (42.6)	64 (8.8)	27 (3.7)	44 (6.1)	1.86
消防・防災・防犯対策	68 (9.4)	185 (25.5)	381 (52.6)	36 (5.0)	16 (2.2)	39 (5.4)	1.84
子育て支援	72 (9.9)	163 (22.5)	373 (51.4)	35 (4.8)	21 (2.9)	61 (8.4)	1.73
し尿・雑排水処理対策	66 (9.1)	133 (18.3)	423 (58.3)	35 (4.8)	19 (2.6)	49 (6.8)	1.42
地域医療体制	62 (8.6)	182 (25.1)	324 (44.7)	89 (12.3)	24 (3.3)	44 (6.1)	1.24
情報公開と広報・広聴活動	40 (5.5)	172 (23.7)	387 (53.4)	54 (7.4)	18 (2.5)	54 (7.4)	1.21
交通安全対策	50 (6.9)	130 (17.9)	439 (60.6)	41 (5.7)	16 (2.2)	49 (6.8)	1.16
郷土文化の振興と伝承	35 (4.8)	138 (19.0)	444 (61.2)	32 (4.4)	15 (2.1)	61 (8.4)	1.10
小・中学校教育の充実	44 (6.1)	115 (15.9)	441 (60.8)	35 (4.8)	18 (2.5)	72 (9.9)	1.01
自然環境の保全対策	42 (5.8)	132 (18.2)	437 (60.3)	44 (6.1)	18 (2.5)	52 (7.2)	1.01
町営樹木葬墓苑	44 (6.1)	102 (14.1)	467 (64.4)	35 (4.8)	23 (3.2)	54 (7.4)	0.81
国民健康保険・国民年金	42 (5.8)	136 (18.8)	404 (55.7)	64 (8.8)	26 (3.6)	53 (7.3)	0.77
生涯学習の推進	29 (4.0)	104 (14.3)	467 (64.4)	46 (6.3)	16 (2.2)	63 (8.7)	0.63
高齢者福祉	38 (5.2)	127 (17.5)	425 (58.6)	69 (9.5)	24 (3.3)	42 (5.8)	0.63
障がい者福祉	24 (3.3)	98 (13.5)	490 (67.6)	39 (5.4)	12 (1.7)	62 (8.6)	0.63
ボランティアの育成・確保	24 (3.3)	84 (11.6)	511 (70.5)	31 (4.3)	14 (1.9)	61 (8.4)	0.55
人権教育の推進	21 (2.9)	57 (7.9)	536 (73.9)	34 (4.7)	11 (1.5)	66 (9.1)	0.33
シティプロモーション	36 (5.0)	116 (16.0)	403 (55.6)	78 (10.8)	34 (4.7)	58 (8.0)	0.31
男女共同参画社会の確立	20 (2.8)	49 (6.8)	534 (73.7)	37 (5.1)	12 (1.7)	73 (10.1)	0.21
道水路の整備	44 (6.1)	173 (23.9)	285 (39.3)	133 (18.3)	52 (7.2)	38 (5.2)	0.17
消費者対策	16 (2.2)	60 (8.3)	530 (73.1)	46 (6.3)	14 (1.9)	59 (8.1)	0.14
町民と行政との協働	17 (2.3)	72 (9.9)	506 (69.8)	51 (7.0)	19 (2.6)	60 (8.3)	0.13
コミュニティ活動	27 (3.7)	93 (12.8)	448 (61.8)	75 (10.3)	30 (4.1)	52 (7.2)	0.09
魅力ある観光の振興	35 (4.8)	137 (18.9)	350 (48.3)	114 (15.7)	47 (6.5)	42 (5.8)	-0.01
農業の振興	24 (3.3)	89 (12.3)	424 (58.5)	94 (13.0)	39 (5.4)	55 (7.6)	-0.26
交通体系の整備	40 (5.5)	134 (18.5)	299 (41.2)	146 (20.1)	61 (8.4)	45 (6.2)	-0.40
移住・定住	21 (2.9)	51 (7.0)	475 (65.5)	95 (13.1)	35 (4.8)	48 (6.6)	-0.53
林業の振興	23 (3.2)	45 (6.2)	459 (63.3)	92 (12.7)	40 (5.5)	66 (9.1)	-0.61
地域・国際交流	16 (2.2)	38 (5.2)	490 (67.6)	86 (11.9)	33 (4.6)	62 (8.6)	-0.62
商業の振興	17 (2.3)	48 (6.6)	392 (54.1)	145 (20.0)	62 (8.6)	61 (8.4)	-1.41
土地利用計画	9 (1.2)	47 (6.5)	423 (58.3)	123 (17.0)	71 (9.8)	52 (7.2)	-1.49
住環境の整備	11 (1.5)	45 (6.2)	411 (56.7)	139 (19.2)	65 (9.0)	54 (7.4)	-1.51
工業の振興	12 (1.7)	35 (4.8)	416 (57.4)	133 (18.3)	64 (8.8)	65 (9.0)	-1.53

図 項目ごとにみた現状の満足度（全体）

（単位：加重平均点）

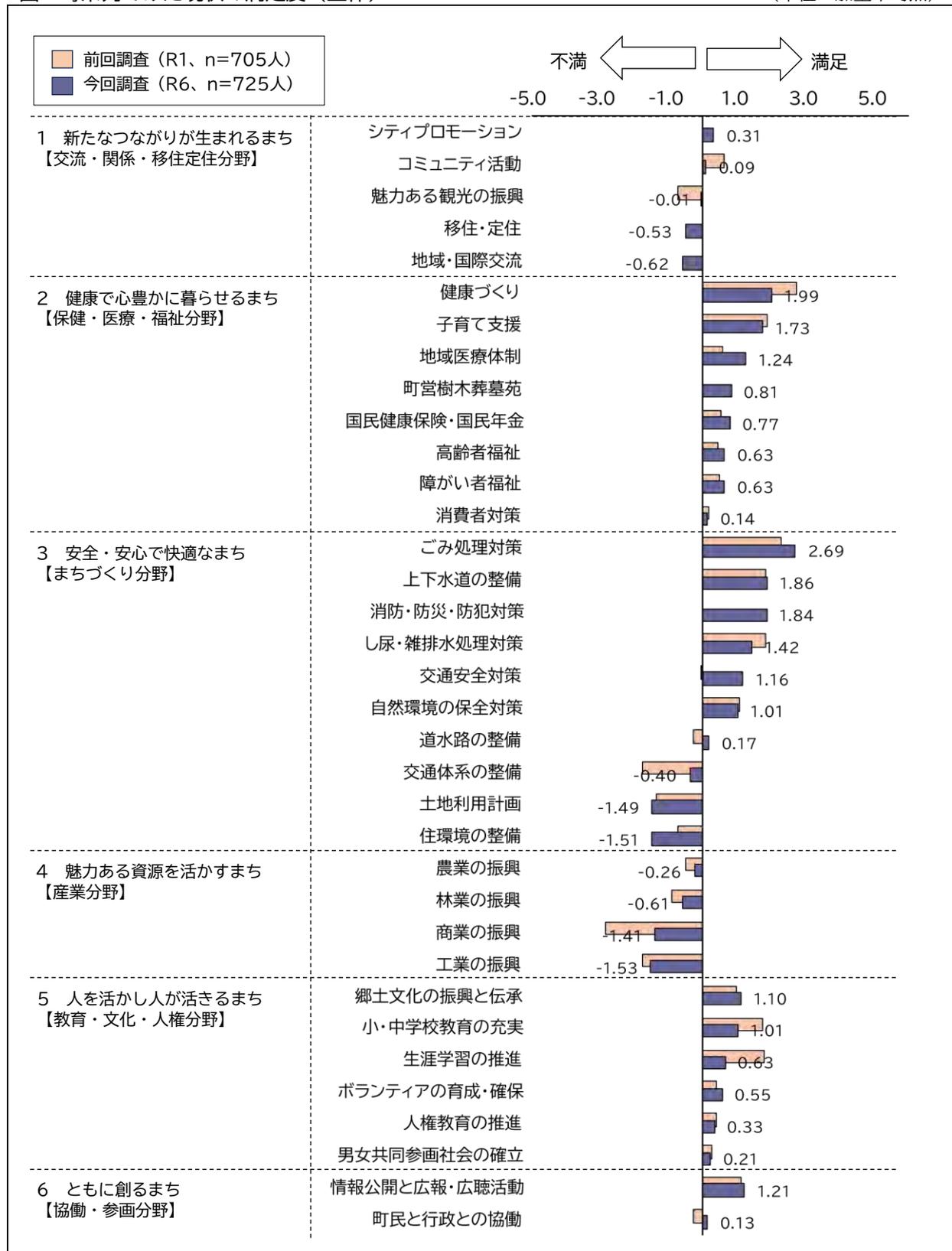


3-1 現状の満足度（問7(1)）

【時系列比較】

これを時系列で見ると、前回調査から今回調査にかけて「地域医療体制」、「交通安全対策」は正の点数が大きくなっており、満足の度合いが強くなっています。また、「魅力ある観光の振興」、「交通体系の整備」、「商業の振興」などで負の点数が小さくなっており、不満の度合いが弱くなっています。

図 時系列でみた現状の満足度（全体）（単位：加重平均点）

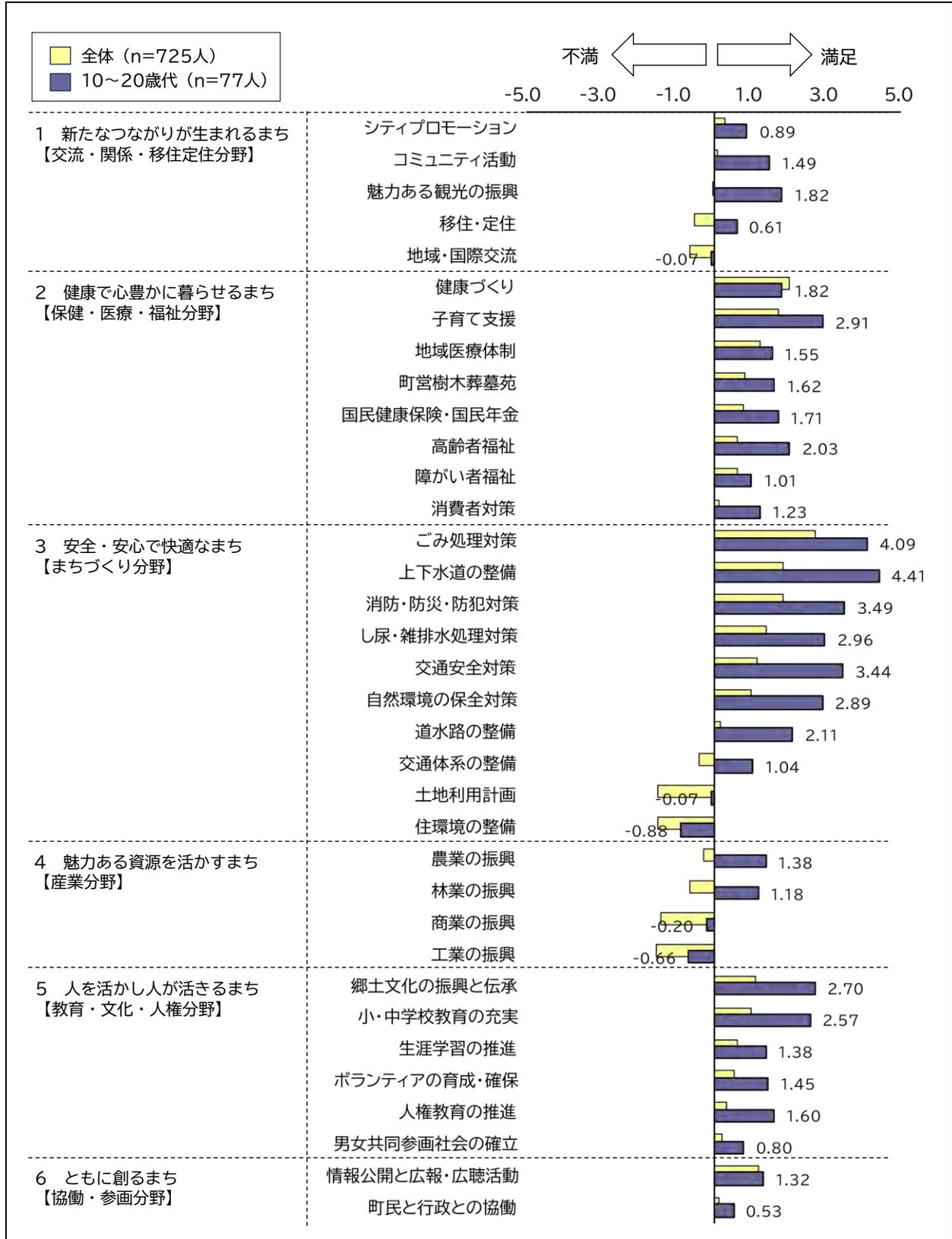


【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代は他の回答者に比べて「ごみ処理対策」や「上下水道の整備」をはじめ、多くの項目で満足の度合いが強く、また不満の度合いが弱くなっています。これに対し、50歳代は満足度の度合いが弱く、不満の度合いが強い項目が多くみられます。

図 年齢別でみた現状の満足度（①10～20歳代）

（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 年齢別でみた現状の満足度（②30歳代）

（単位：加重平均点）

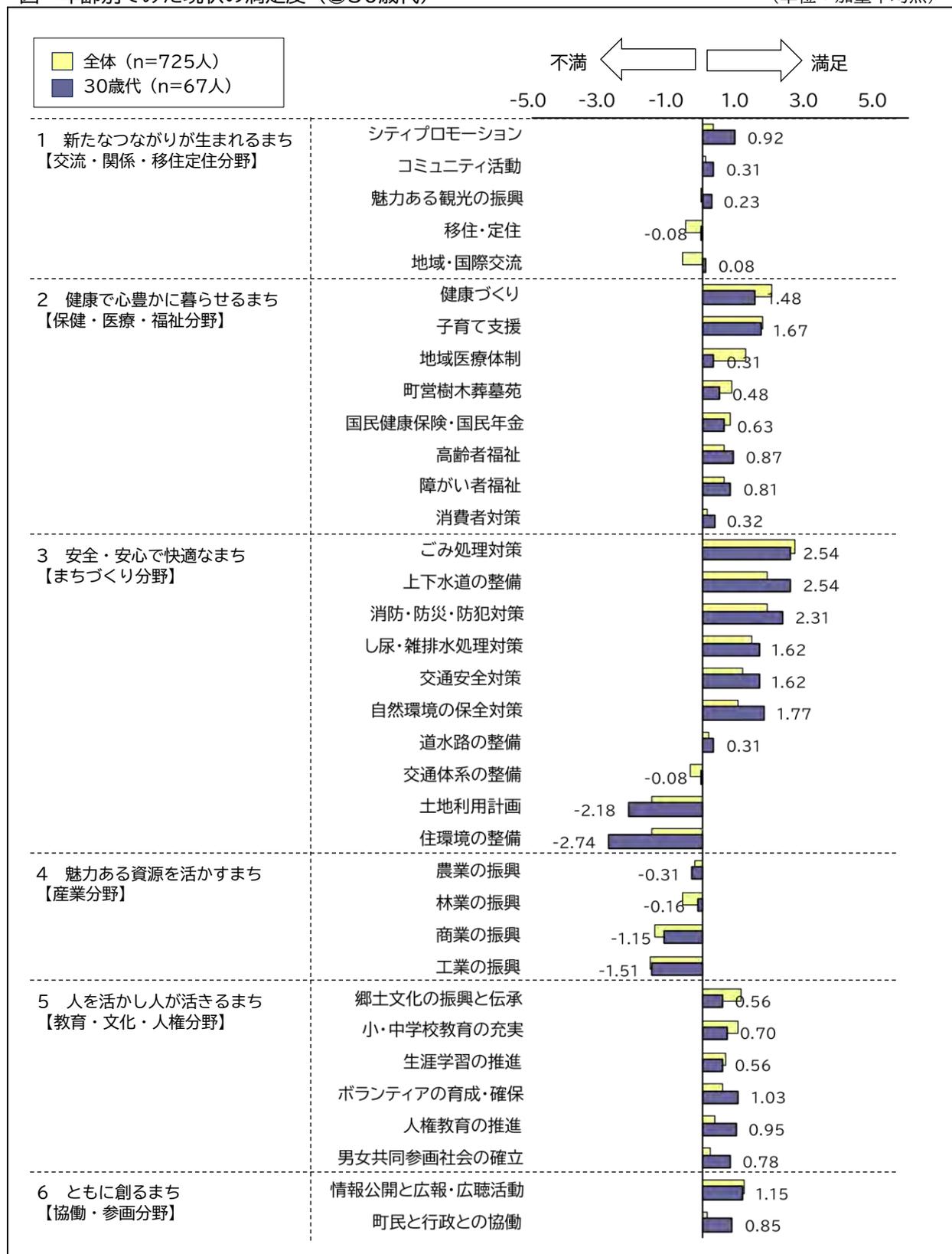
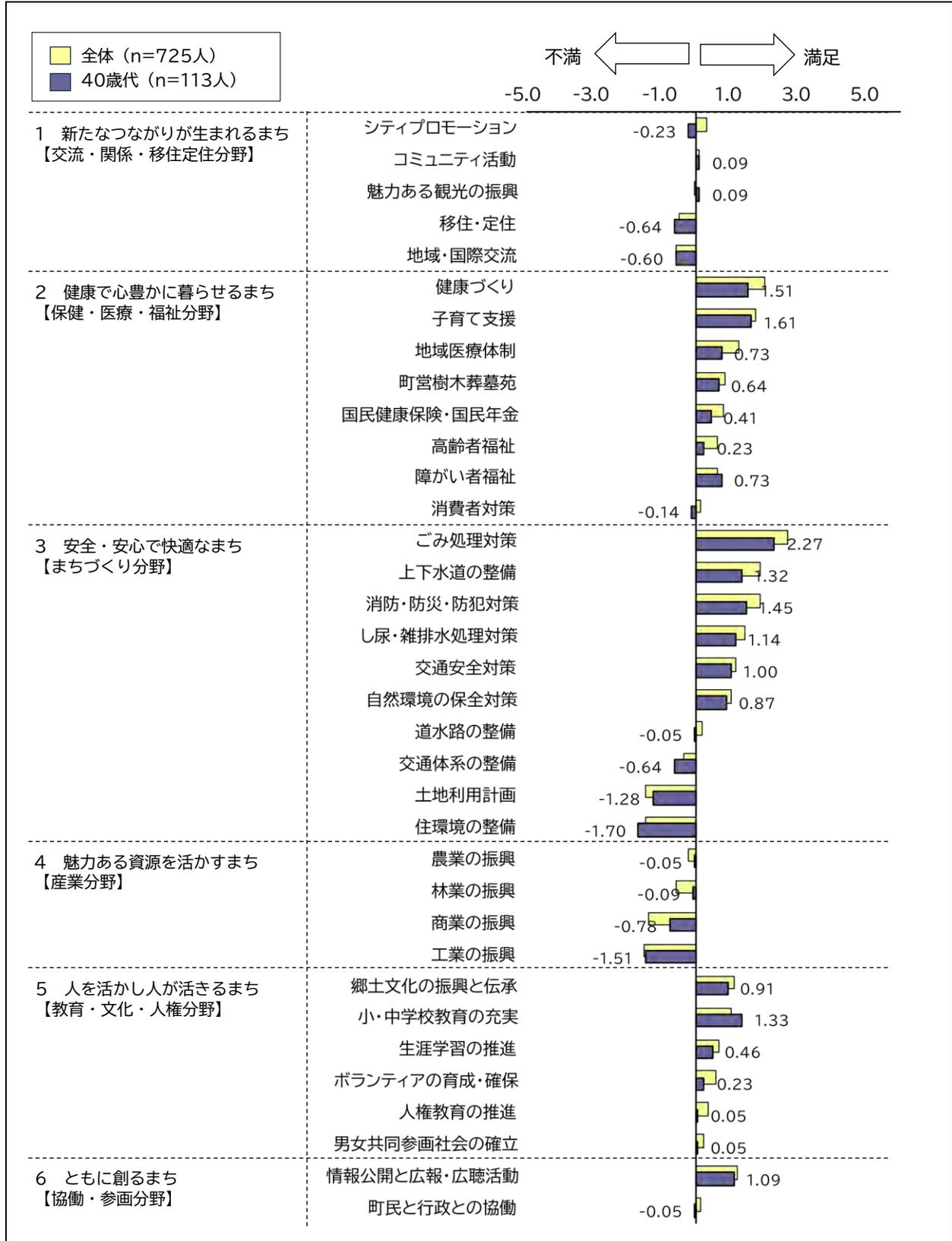


図 年齢別でみた現状の満足度（③40歳代）

（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 年齢別でみた現状の満足度（④50歳代）

（単位：加重平均点）

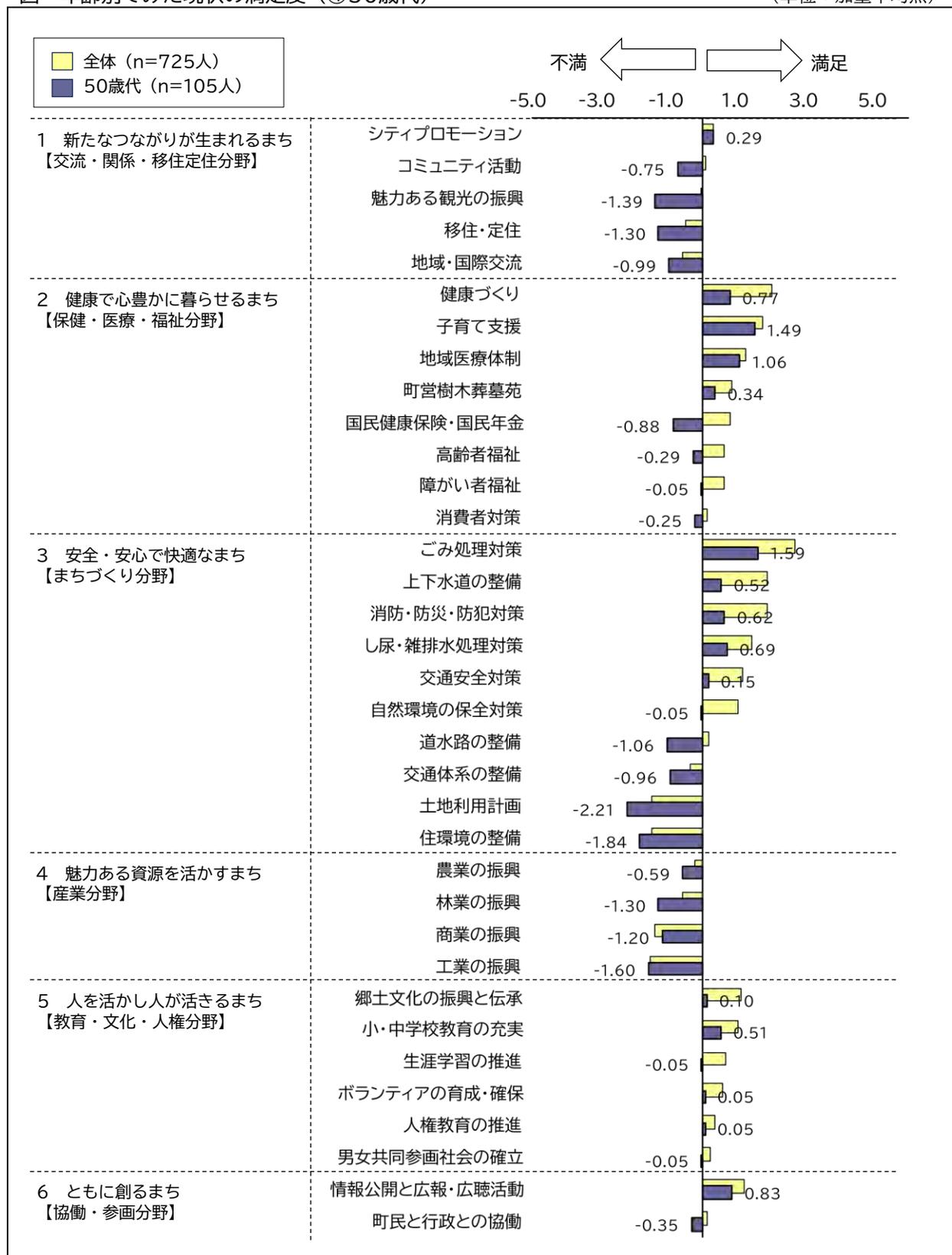
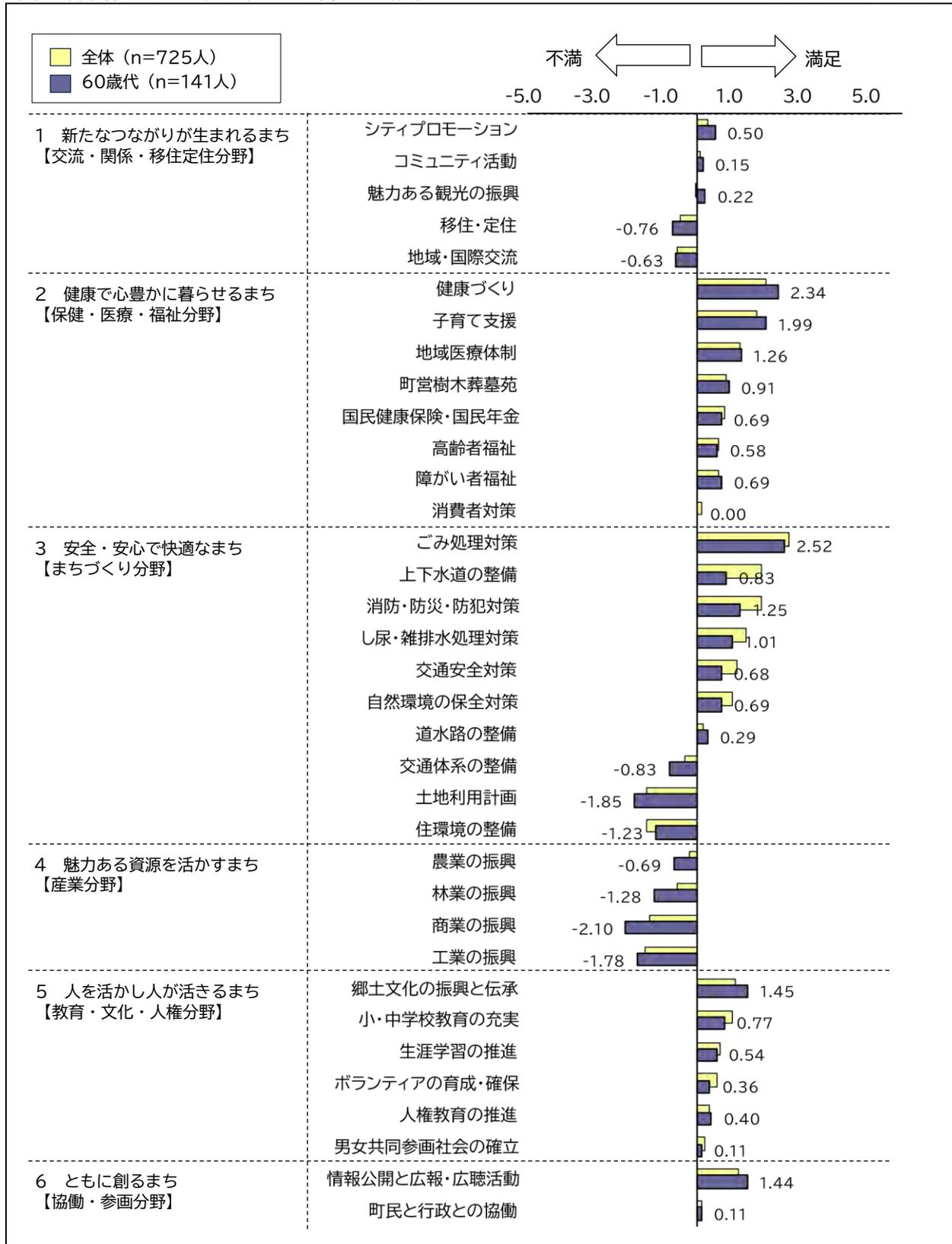


図 年齢別でみた現状の満足度（⑤60歳代）

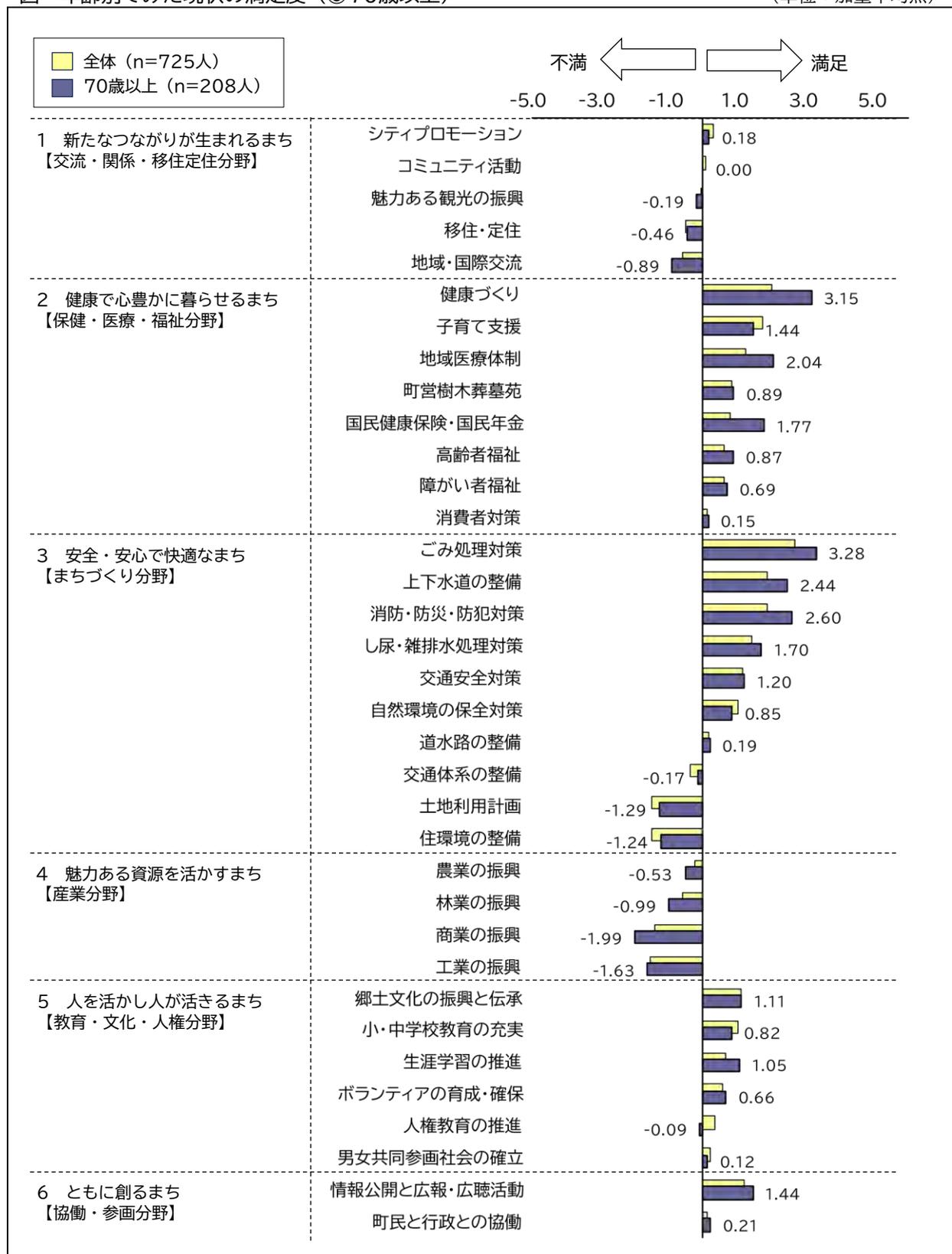
（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 年齢別でみた現状の満足度（◎70歳以上）

（単位：加重平均点）

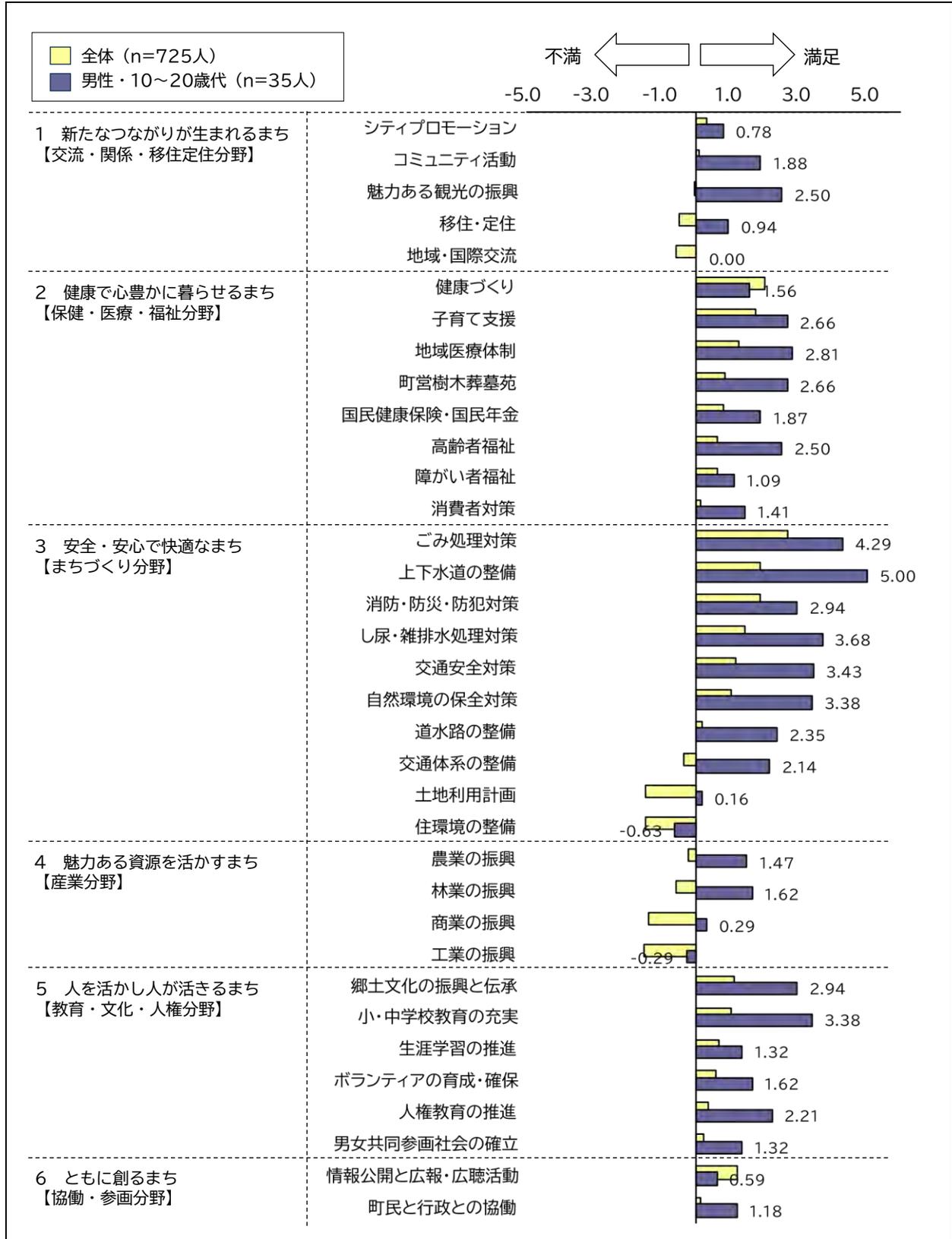


【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性、女性ともに10～20歳代は他の回答者に比べて満足度の度合いが強い項目が多くみられます。これに対し、男性・40歳代、男性・50歳代及び女性・50歳代は満足度の度合いが弱い項目が多くみられます。

図 性・年齢別でみた現状の満足度 (①男性・10～20歳代)

(単位：加重平均点)



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 性・年齢別でみた現状の満足度（②男性・30歳代）

（単位：加重平均点）

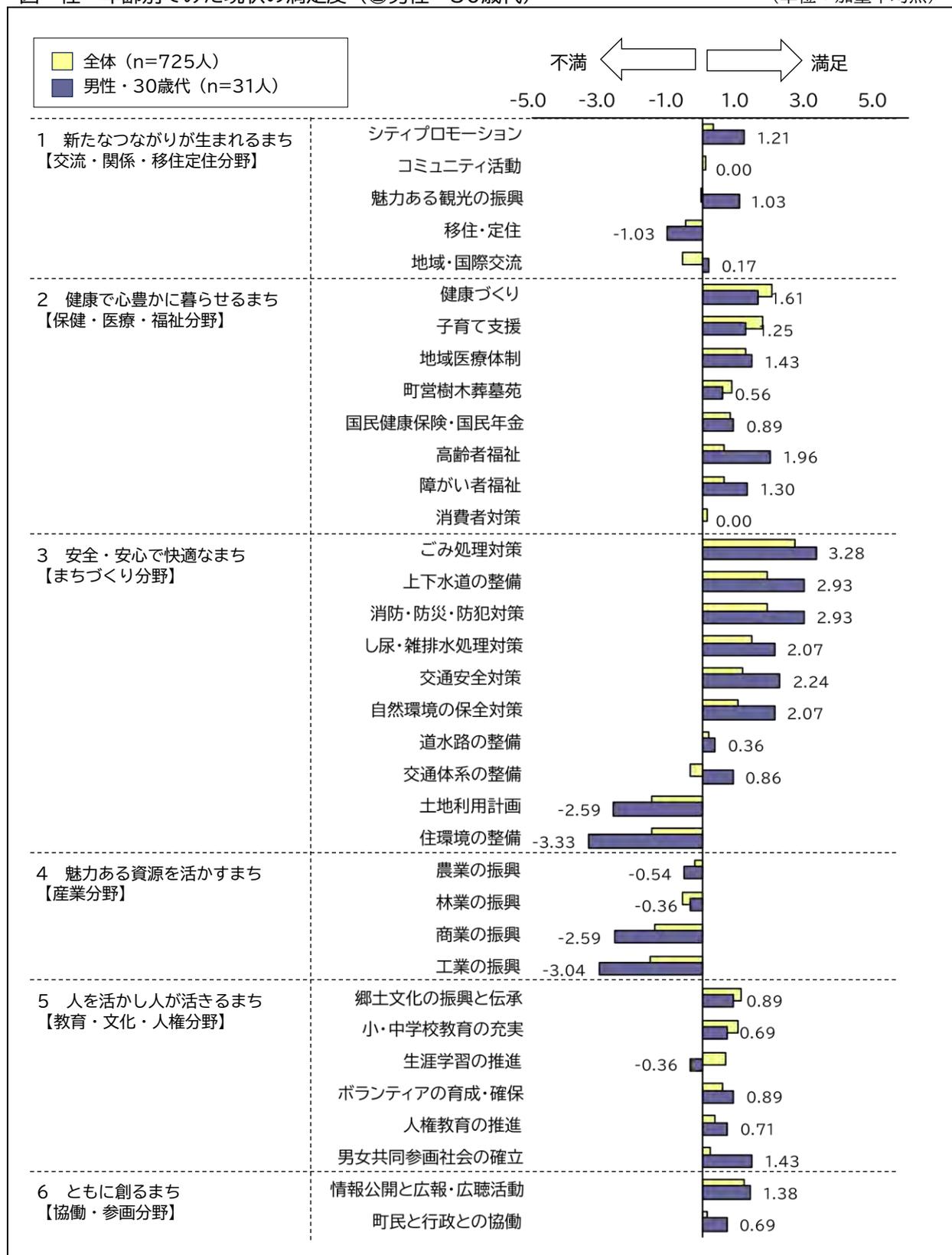
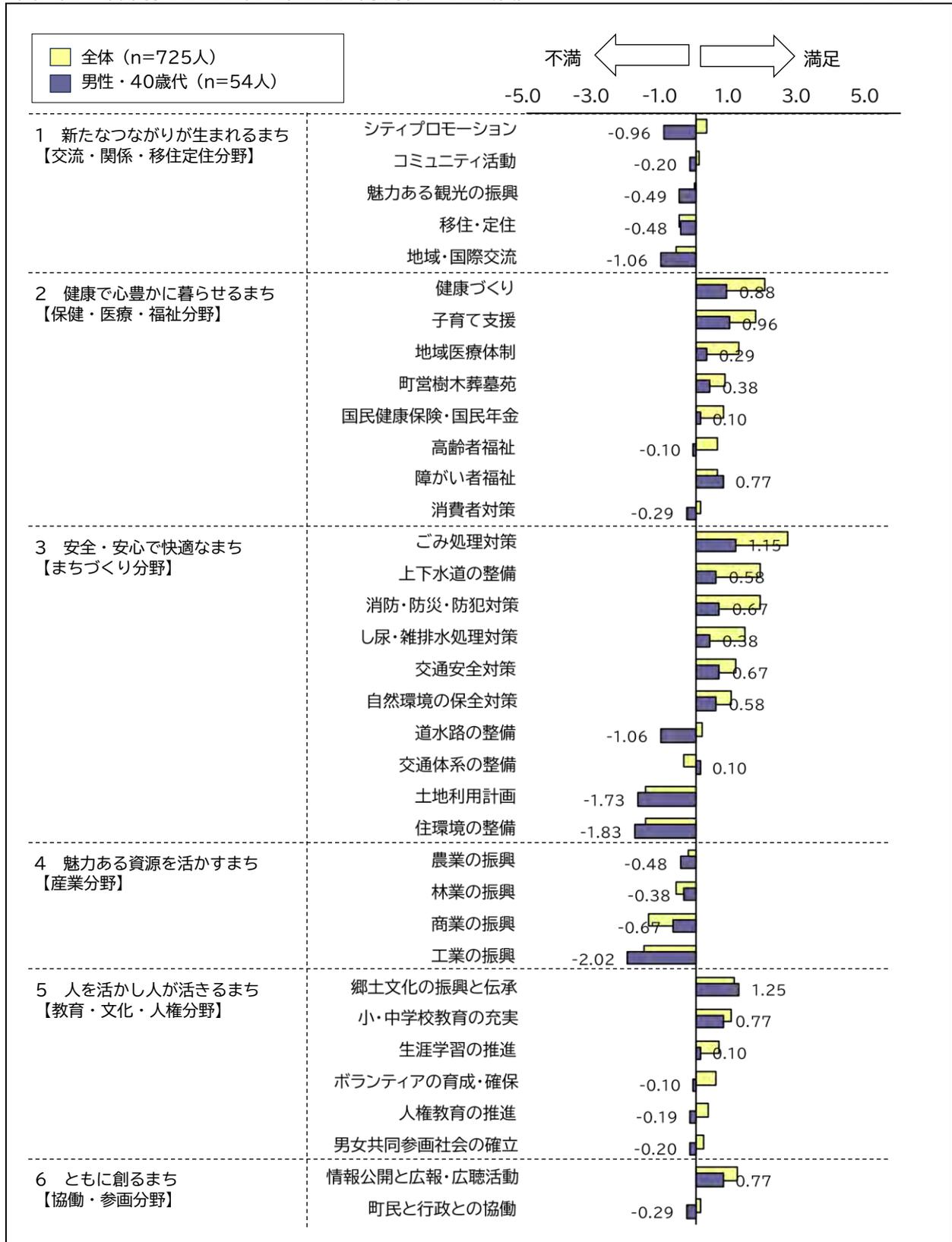


図 性・年齢別でみた現状の満足度（③男性・40歳代）

（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 性・年齢別でみた現状の満足度（④男性・50歳代）

（単位：加重平均点）

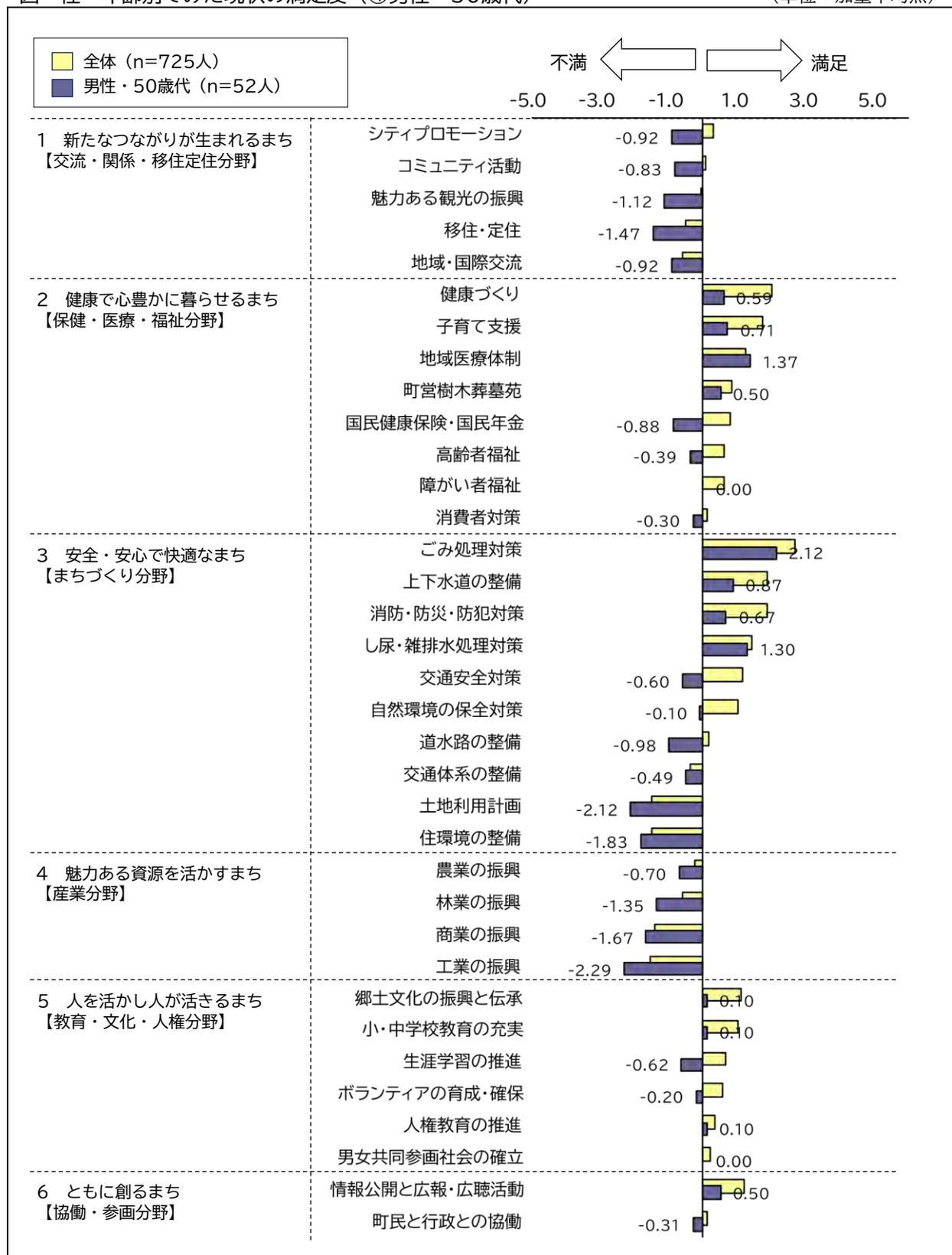
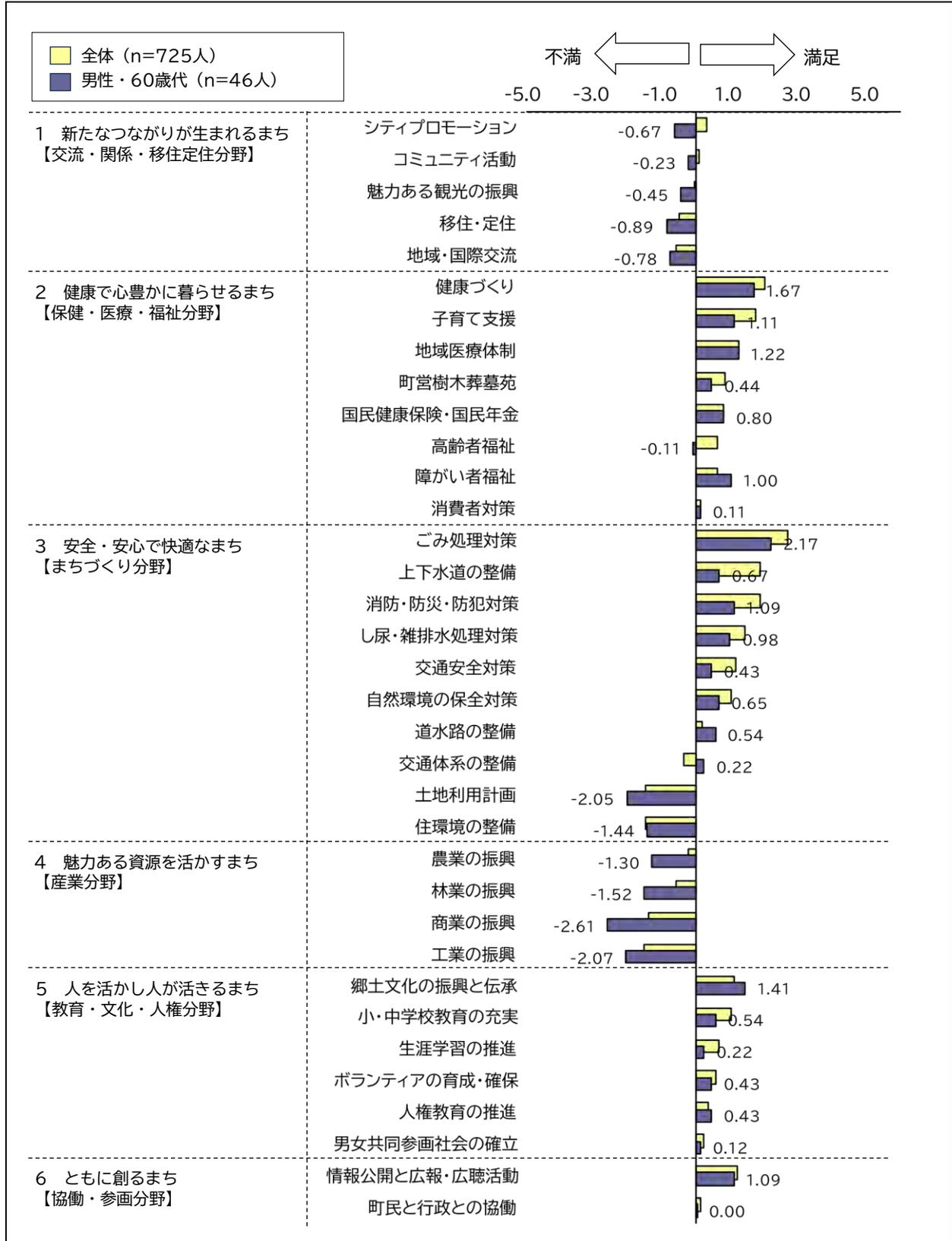


図 性・年齢別でみた現状の満足度 (⑤男性・60歳代)

(単位：加重平均点)



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 性・年齢別でみた現状の満足度（⑥男性・70歳以上）

（単位：加重平均点）

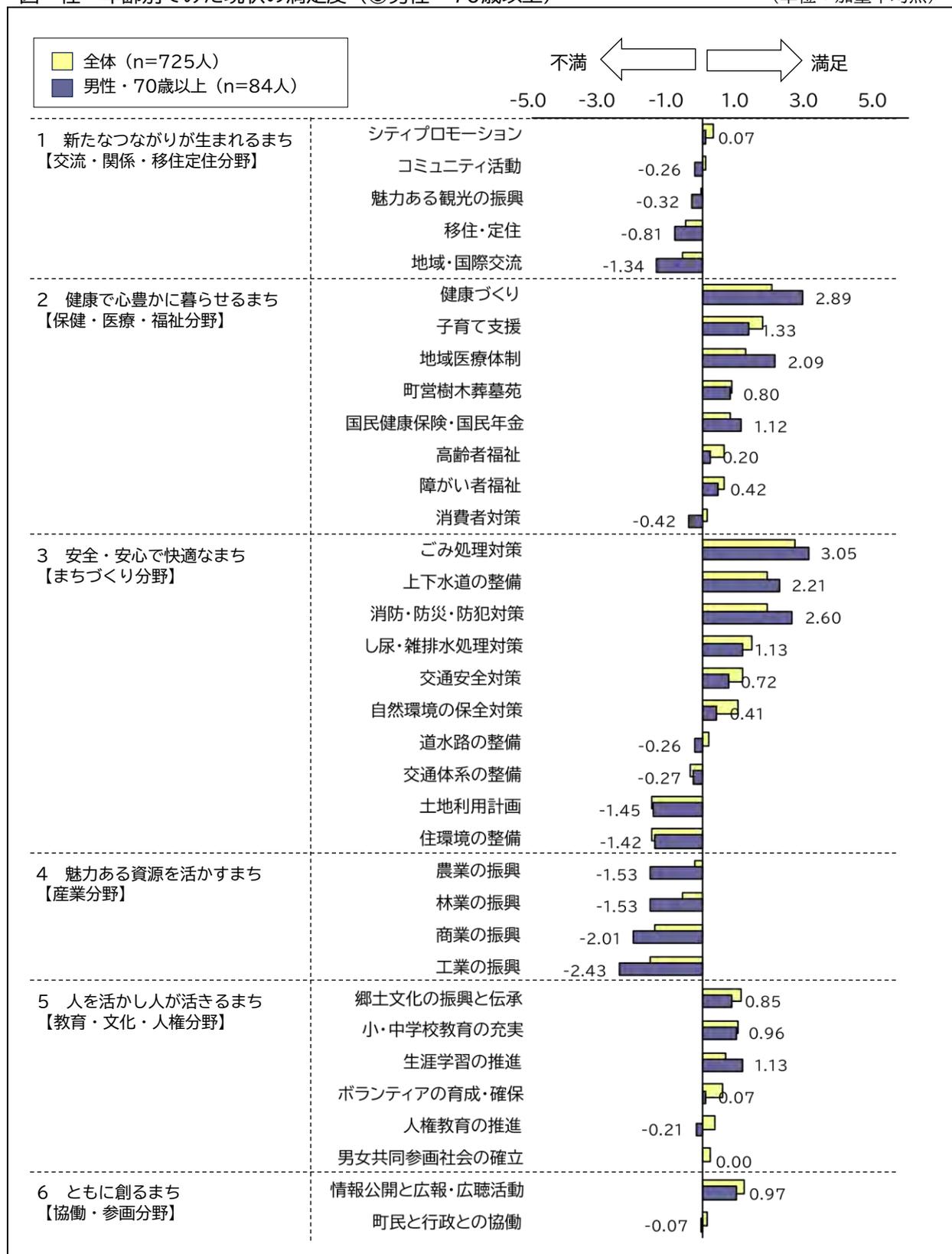
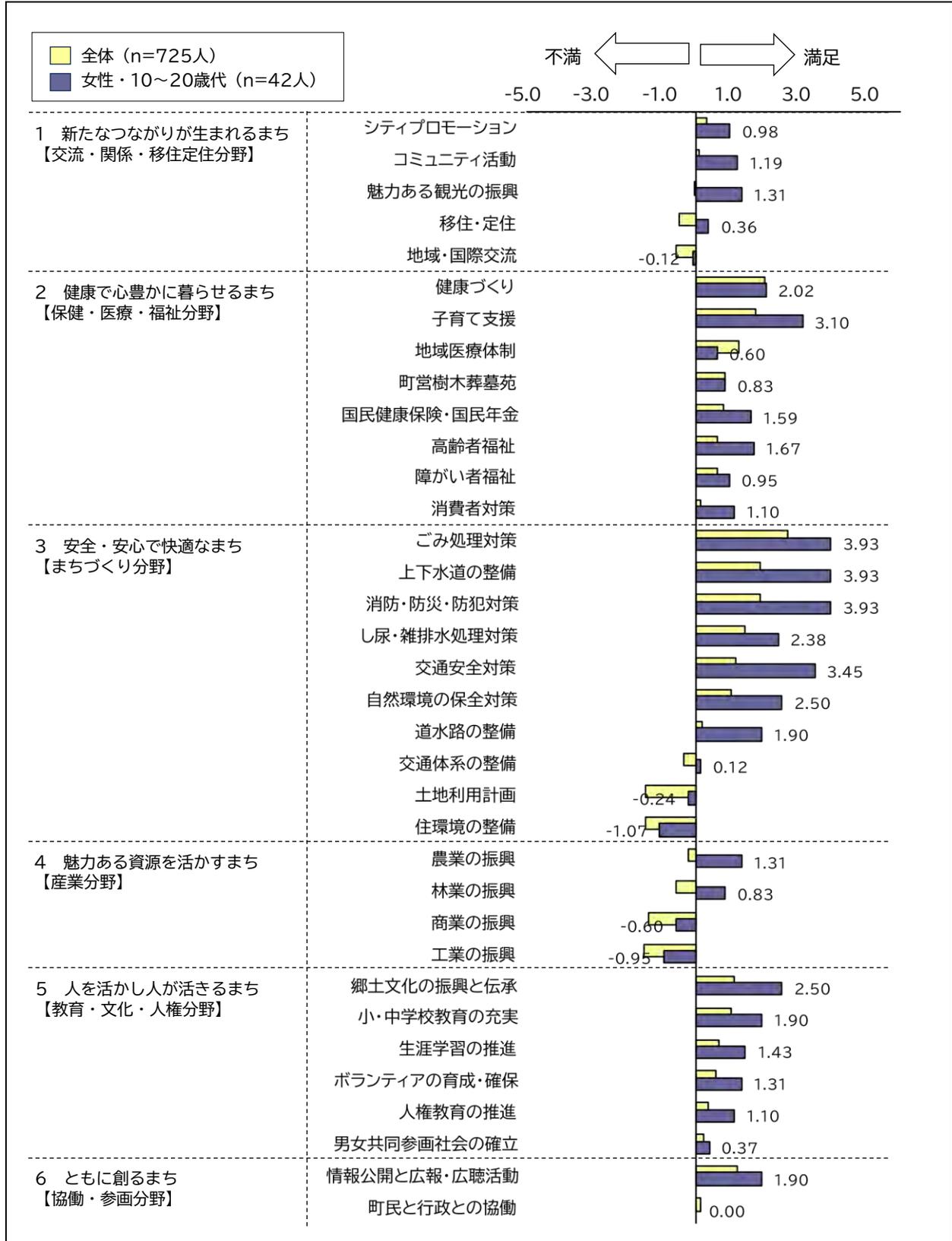


図 性・年齢別でみた現状の満足度（㉞女性・10～20歳代）

（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 性・年齢別でみた現状の満足度（⑧女性・30歳代）

（単位：加重平均点）

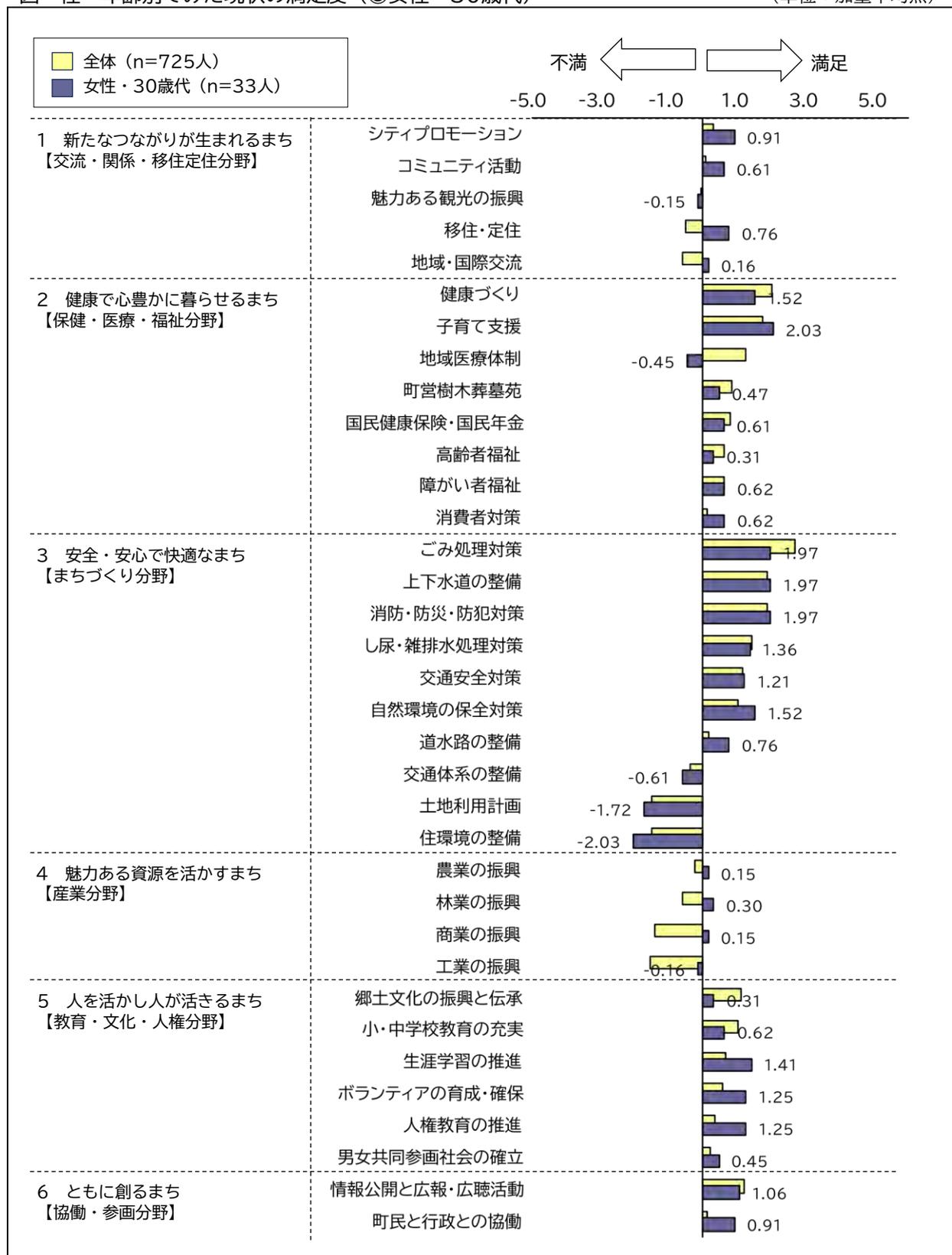
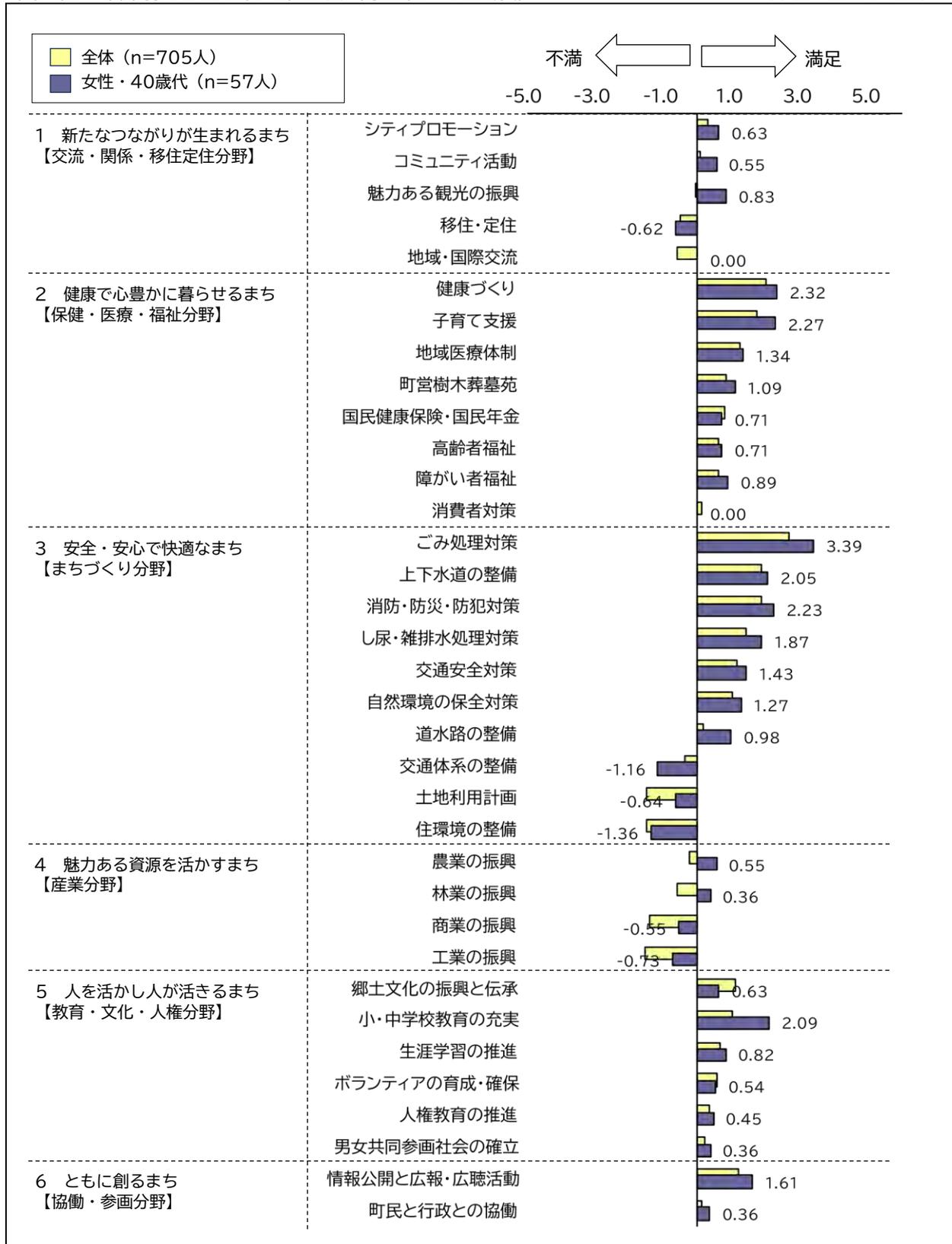


図 性・年齢別でみた現状の満足度（⑨女性・40歳代）

（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 性・年齢別でみた現状の満足度（⑩女性・50歳代）

（単位：加重平均点）

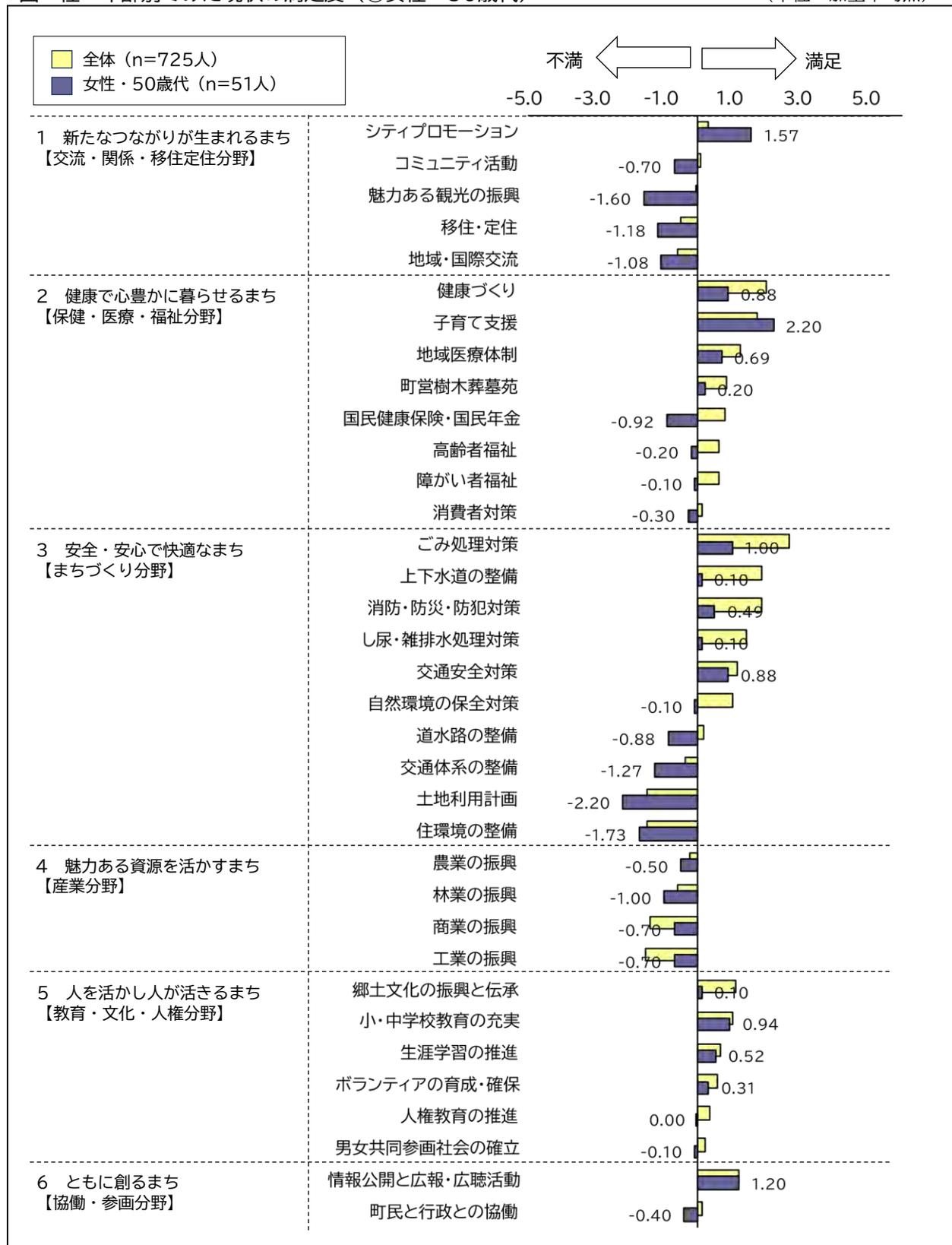
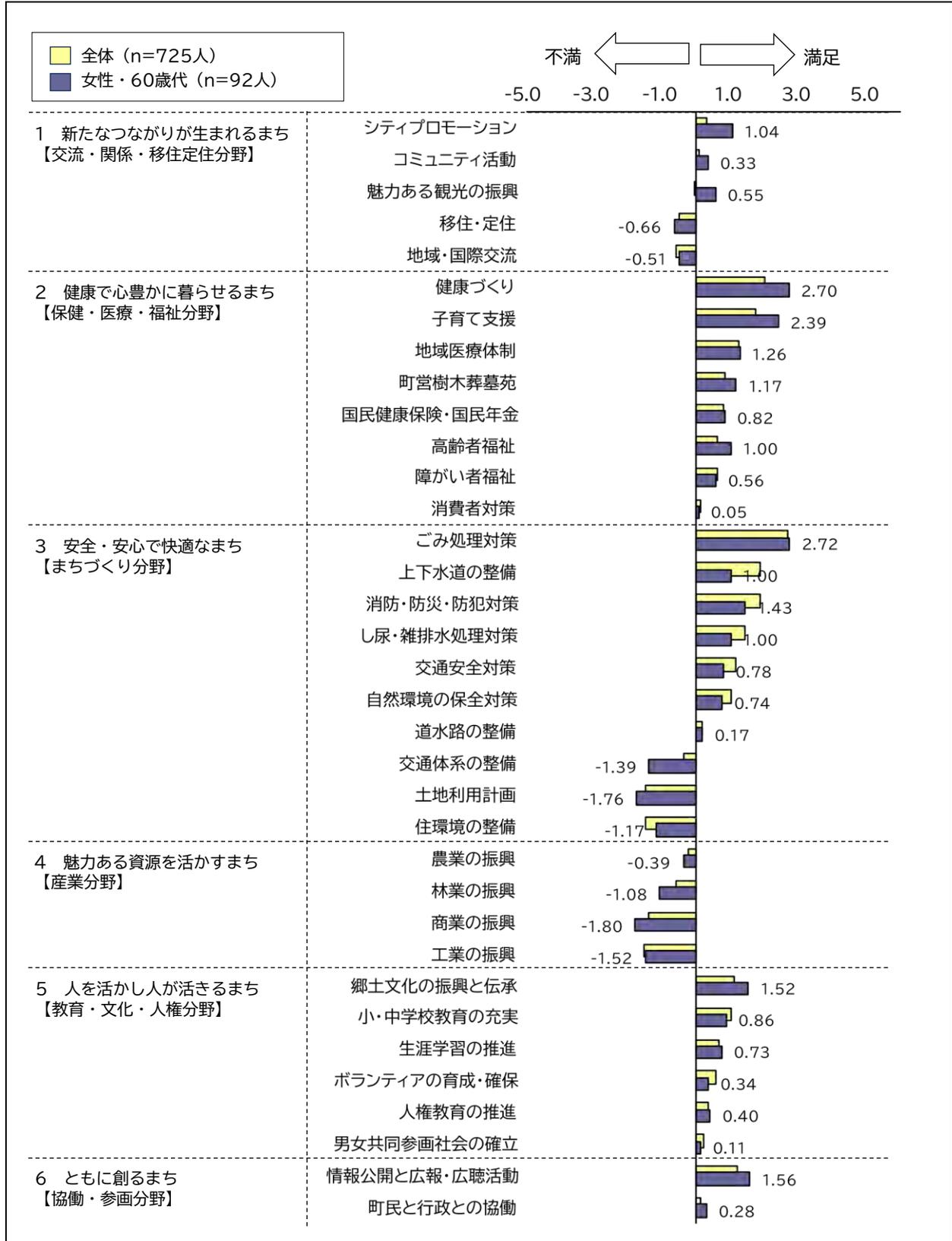


図 性・年齢別でみた現状の満足度（①女性・60歳代）

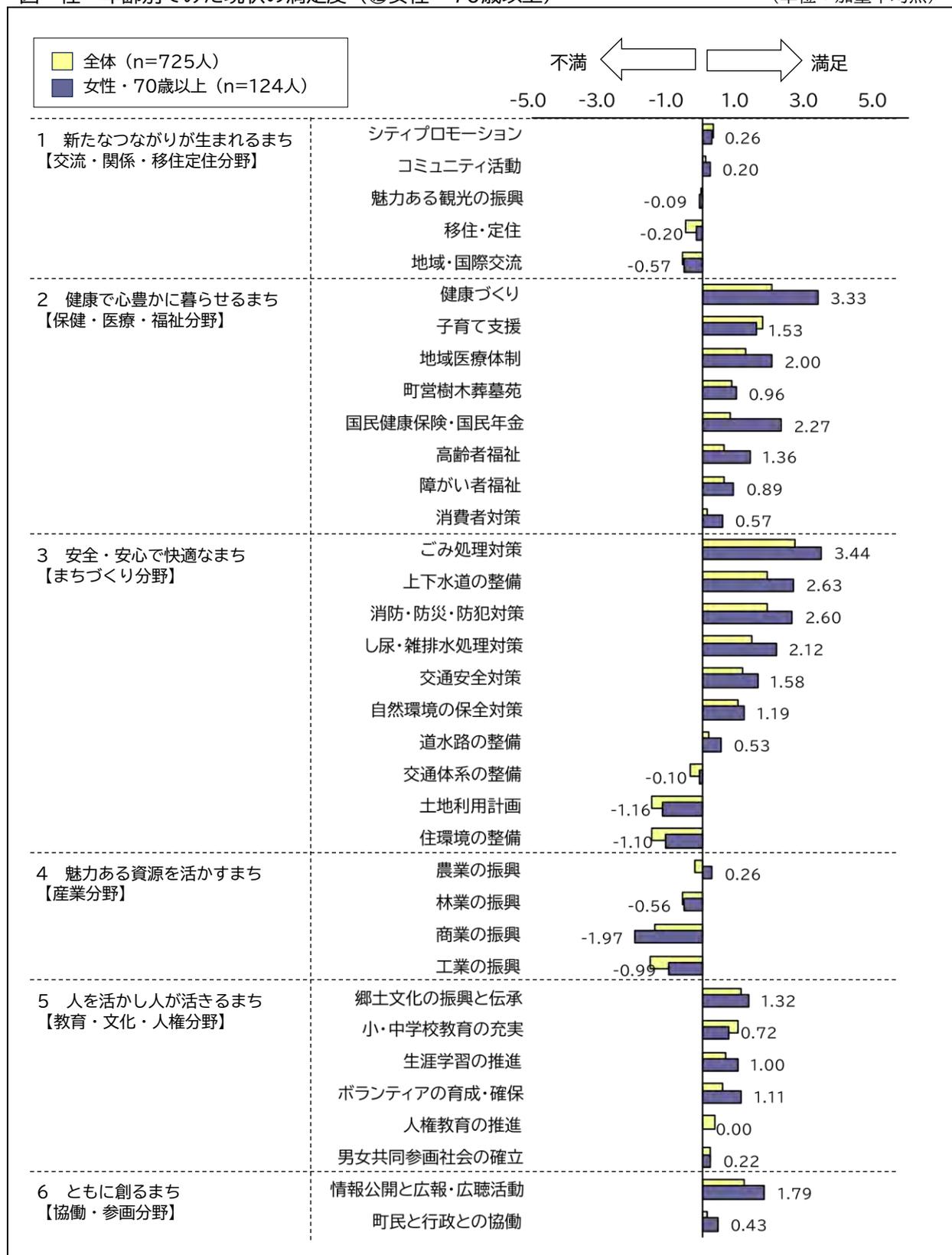
（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 性・年齢別でみた現状の満足度（⑫女性・70歳以上）

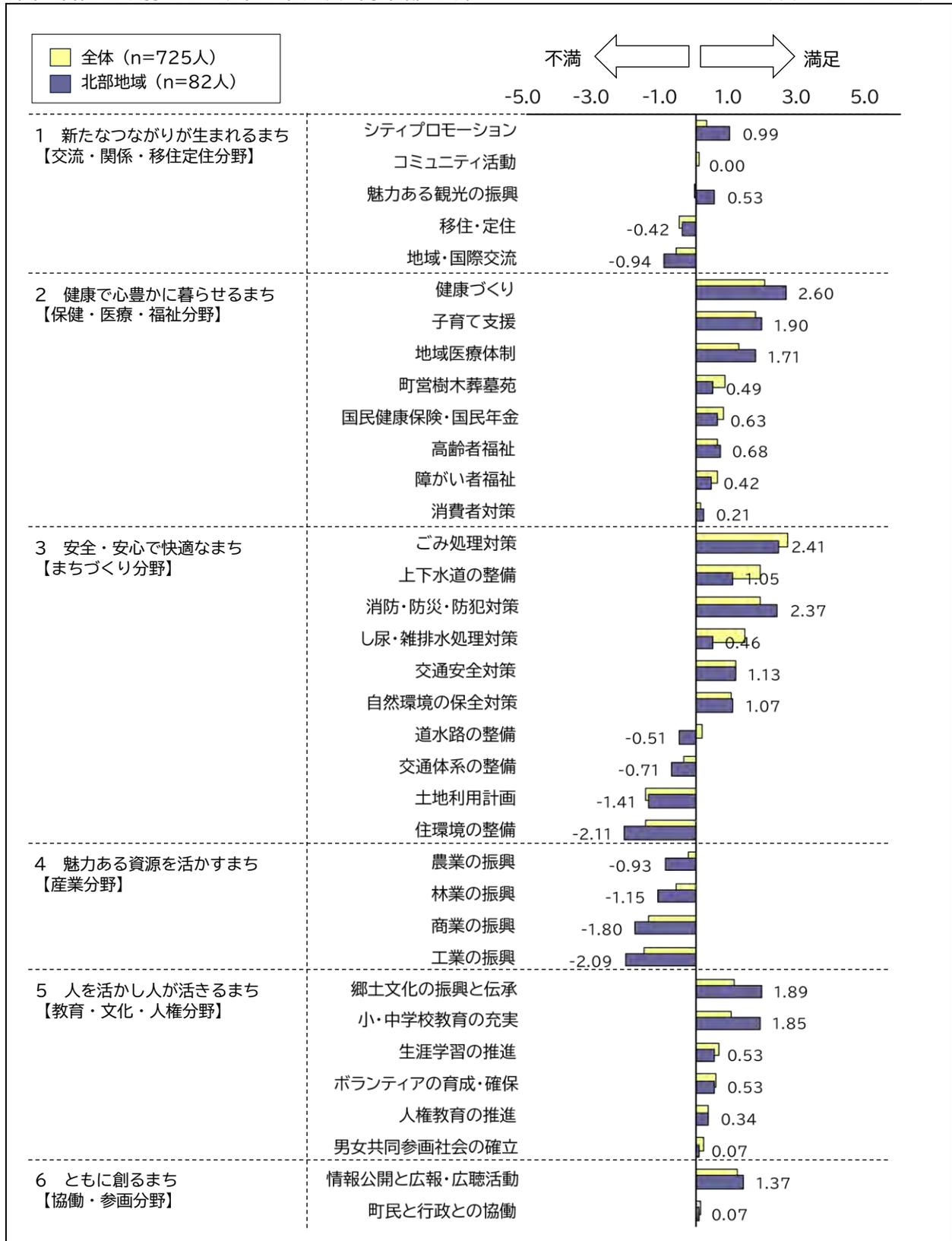
（単位：加重平均点）



【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域は全体に比べて「郷土文化の振興と伝承」、「小・中学校教育の充実」で満足の度合いが強くなっています。一方、南西部地域は全体に比べて「道水路の整備」で不満の度合い強く、西部地域は「交通体系の整備」で不満の度合いが強くなっています。

図 居住地域別でみた現状の満足度（①北部地域）（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 居住地域別でみた現状の満足度（②中央部地域）

（単位：加重平均点）

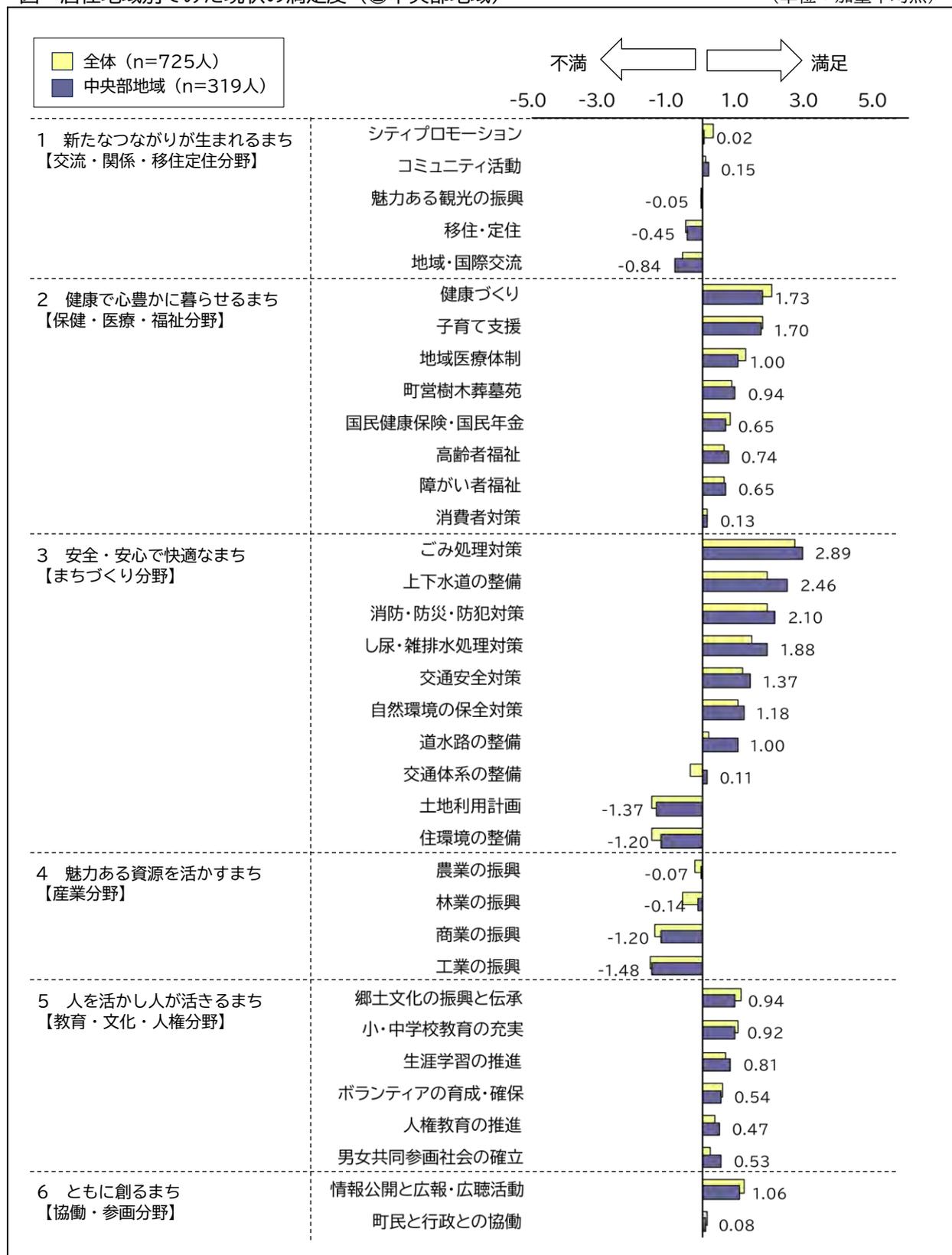
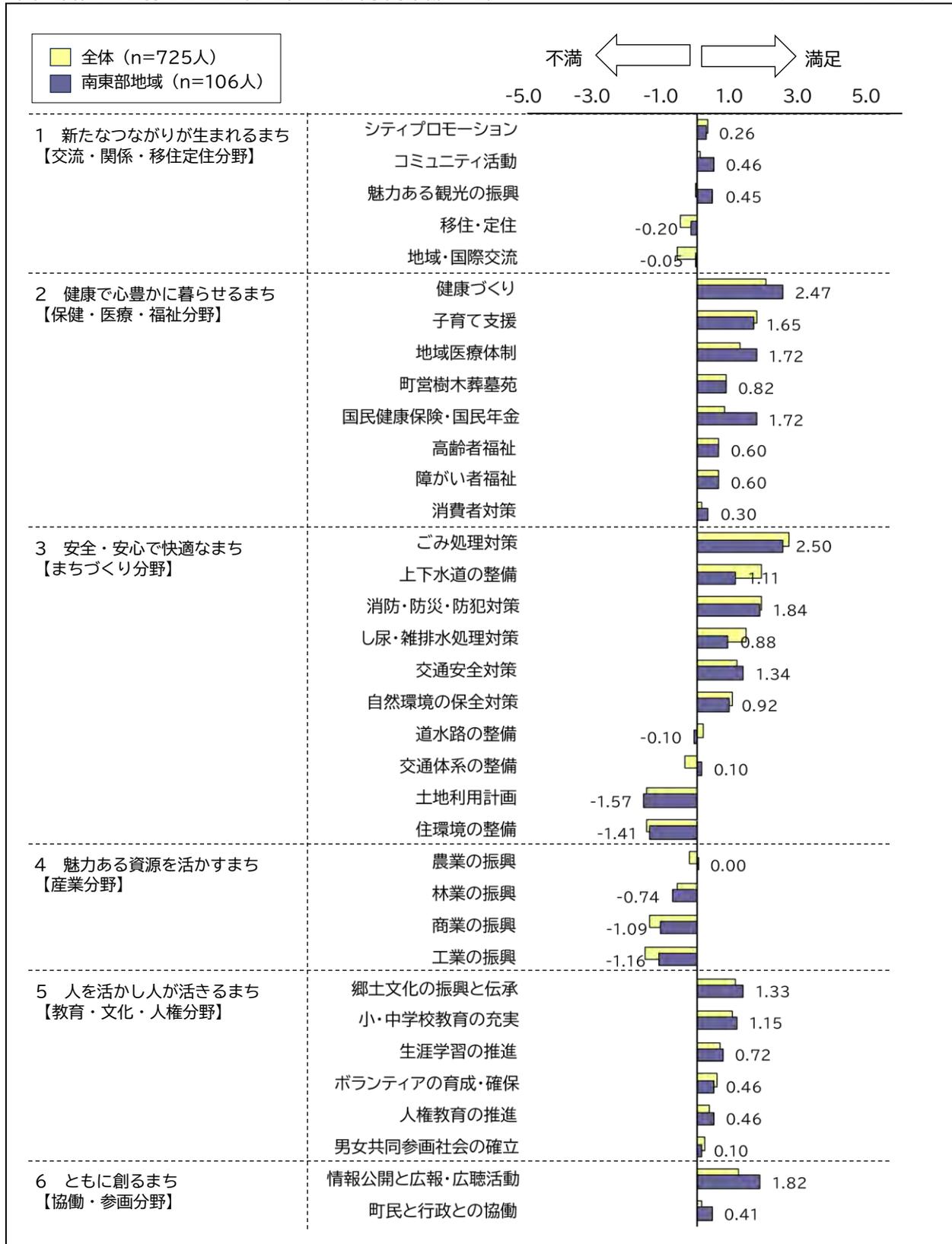


図 居住地域別でみた現状の満足度（③南東部地域）

（単位：加重平均点）



3-1 現状の満足度（問7(1)）

図 居住地域別でみた現状の満足度（④南西部地域）

（単位：加重平均点）

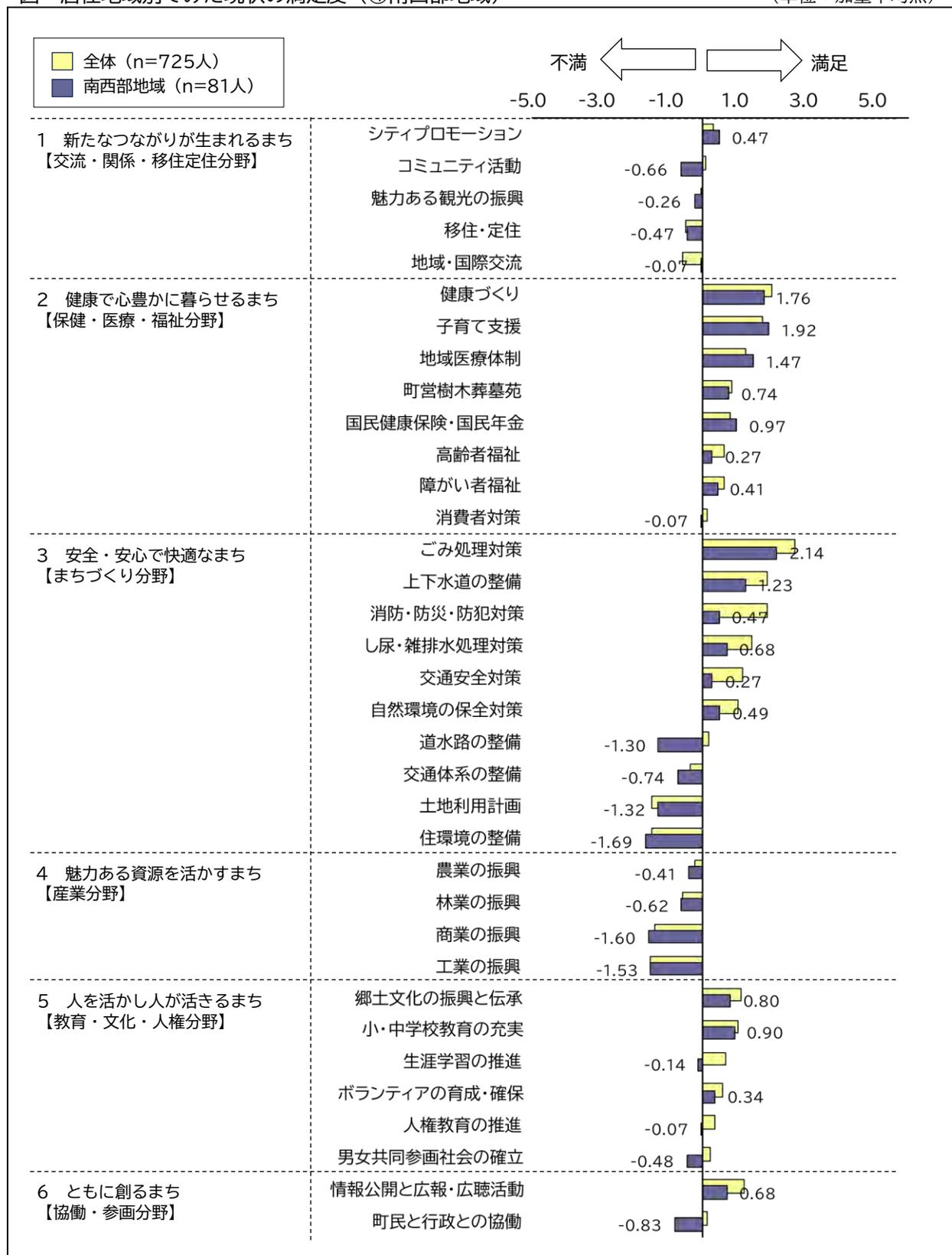
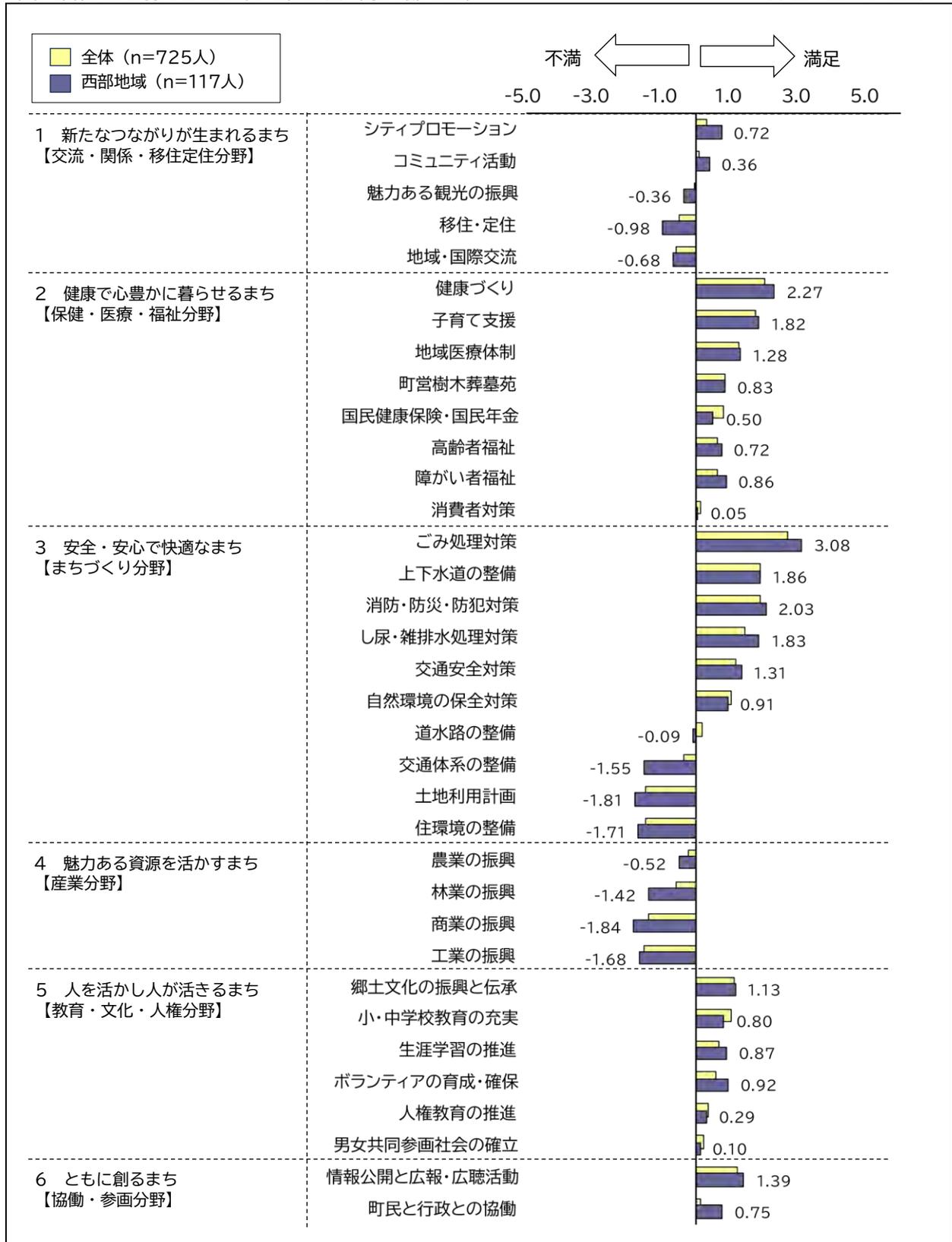


図 居住地域別でみた現状の満足度（⑤西部地域）

（単位：加重平均点）



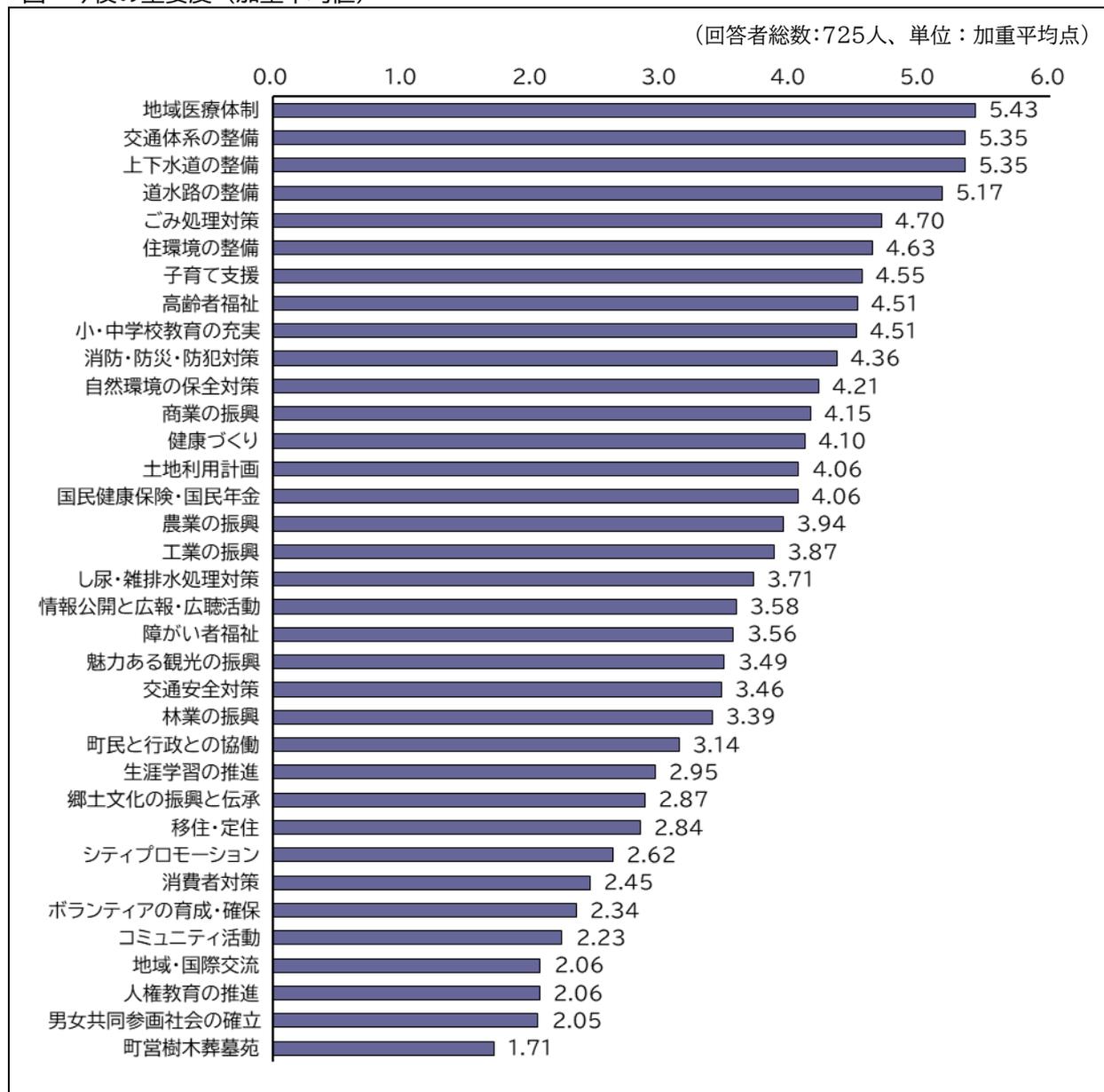
3-2 今後の重要度（問7(2)）

(2) あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視しますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

「地域医療体制」、「交通体系の整備」、「上下水道の整備」の重要度が高い

今後の重要度について、加重平均値^{*}を求め比較したところ、「地域医療体制」が5.43点で最も高く、次いで「交通体系の整備」及び「上下水道の整備」がともに5.35点で続いています。

図 今後の重要度（加重平均値）



* 「加重平均値」の考え方と方法については、次ページを参照してください。

【加重平均値について】

加重平均とは、ある設問における回答構成の平均値を算出する際に、項目の内容に応じて+10点、+5点、-5点、-10点といった重みを加えて計算する手法のことです。

問8では、調査結果をわかりやすく表現するため、加重平均による点数化を行いました。各項目における計算方法は次のとおりです。計算の結果得られる値はいずれも「+10」～「-10」の値となり、0点を中心に「+10」に近くなるほど重要度が高く、「-10」に近くなるほど重要度が低いことを表します。

A：「重視する」の回答数	(+10点)	→	$\frac{(A \times 10) + (B \times 5) - (D \times 5) - (E \times 10)}{A + B + C + D + E}$
B：「やや重視する」の回答数	(+5点)		
C：「どちらともいえない」の回答数	(0点)		
D：「あまり重視しない」の回答数	(-5点)		
E：「重視しない」の回答数	(-10点)		

表 今後の重要度

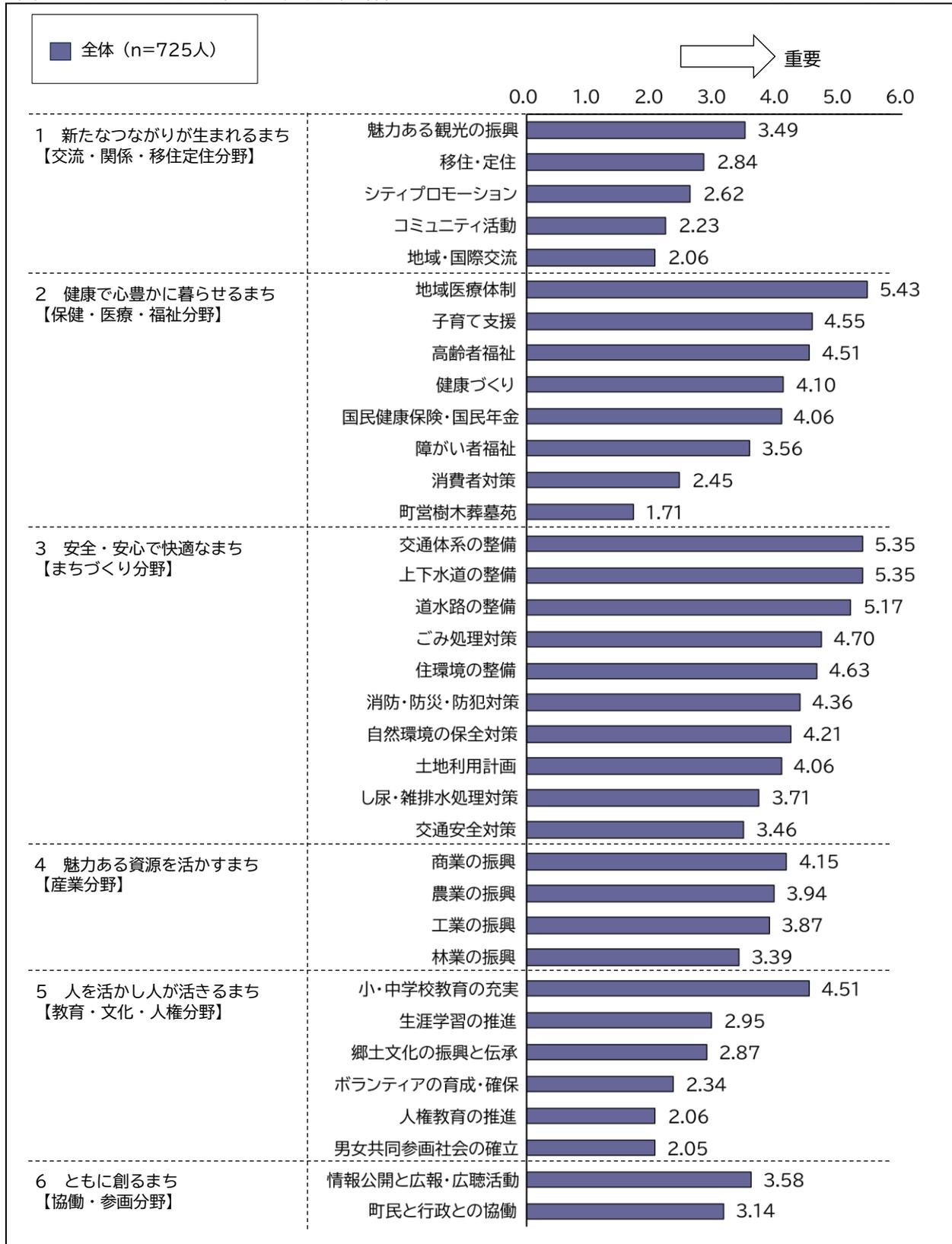
回答者総数：725人、単位：人（%）

区分	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない	無回答	加重平均値(点)
地域医療体制	238 (32.8)	269 (37.1)	146 (20.1)	10 (1.4)	5 (0.7)	57 (7.9)	5.43
交通体系の整備	232 (32.0)	268 (37.0)	142 (19.6)	13 (1.8)	6 (0.8)	64 (8.8)	5.35
上下水道の整備	237 (32.7)	253 (34.9)	158 (21.8)	9 (1.2)	5 (0.7)	63 (8.7)	5.35
道水路の整備	207 (28.6)	291 (40.1)	154 (21.2)	9 (1.2)	4 (0.6)	60 (8.3)	5.17
ごみ処理対策	195 (26.9)	261 (36.0)	191 (26.3)	13 (1.8)	6 (0.8)	59 (8.1)	4.70
住環境の整備	202 (27.9)	243 (33.5)	202 (27.9)	13 (1.8)	8 (1.1)	57 (7.9)	4.63
子育て支援	227 (31.3)	192 (26.5)	206 (28.4)	16 (2.2)	16 (2.2)	68 (9.4)	4.55
高齢者福祉	190 (26.2)	260 (35.9)	195 (26.9)	15 (2.1)	10 (1.4)	55 (7.6)	4.51
小・中学校教育の充実	213 (29.4)	179 (24.7)	229 (31.6)	10 (1.4)	9 (1.2)	85 (11.7)	4.51
消防・防災・防犯対策	181 (25.0)	245 (33.8)	223 (30.8)	13 (1.8)	6 (0.8)	57 (7.9)	4.36
自然環境の保全対策	178 (24.6)	230 (31.7)	233 (32.1)	14 (1.9)	7 (1.0)	63 (8.7)	4.21
商業の振興	176 (24.3)	220 (30.3)	236 (32.6)	18 (2.5)	5 (0.7)	70 (9.7)	4.15
健康づくり	152 (21.0)	271 (37.4)	212 (29.2)	14 (1.9)	10 (1.4)	66 (9.1)	4.10
土地利用計画	178 (24.6)	215 (29.7)	248 (34.2)	17 (2.3)	7 (1.0)	60 (8.3)	4.06
国民健康保険・国民年金	165 (22.8)	235 (32.4)	244 (33.7)	14 (1.9)	6 (0.8)	61 (8.4)	4.06
農業の振興	167 (23.0)	223 (30.8)	239 (33.0)	20 (2.8)	9 (1.2)	67 (9.2)	3.94
工業の振興	165 (22.8)	212 (29.2)	251 (34.6)	16 (2.2)	10 (1.4)	71 (9.8)	3.87
し尿・雑排水処理対策	154 (21.2)	208 (28.7)	280 (38.6)	10 (1.4)	8 (1.1)	65 (9.0)	3.71
情報公開と広報・広聴活動	132 (18.2)	247 (34.1)	253 (34.9)	20 (2.8)	9 (1.2)	64 (8.8)	3.58
障がい者福祉	137 (18.9)	226 (31.2)	272 (37.5)	14 (1.9)	9 (1.2)	67 (9.2)	3.56
魅力ある観光の振興	156 (21.5)	236 (32.6)	208 (28.7)	51 (7.0)	16 (2.2)	58 (8.0)	3.49
交通安全対策	140 (19.3)	203 (28.0)	298 (41.1)	15 (2.1)	5 (0.7)	64 (8.8)	3.46
林業の振興	146 (20.1)	192 (26.5)	284 (39.2)	18 (2.5)	12 (1.7)	73 (10.1)	3.39
町民と行政との協働	120 (16.6)	203 (28.0)	311 (42.9)	13 (1.8)	9 (1.2)	69 (9.5)	3.14
生涯学習の推進	103 (14.2)	217 (29.9)	306 (42.2)	22 (3.0)	7 (1.0)	70 (9.7)	2.95
郷土文化の振興と伝承	105 (14.5)	206 (28.4)	310 (42.8)	23 (3.2)	9 (1.2)	72 (9.9)	2.87
移住・定住	114 (15.7)	222 (30.6)	271 (37.4)	41 (5.7)	16 (2.2)	61 (8.4)	2.84
シティプロモーション	109 (15.0)	209 (28.8)	272 (37.5)	44 (6.1)	20 (2.8)	71 (9.8)	2.62
消費者対策	93 (12.8)	182 (25.1)	349 (48.1)	22 (3.0)	12 (1.7)	67 (9.2)	2.45
ボランティアの育成・確保	85 (11.7)	192 (26.5)	337 (46.5)	32 (4.4)	11 (1.5)	68 (9.4)	2.34
コミュニティ活動	91 (12.6)	202 (27.9)	296 (40.8)	50 (6.9)	20 (2.8)	66 (9.1)	2.23
地域・国際交流	82 (11.3)	188 (25.9)	322 (44.4)	37 (5.1)	23 (3.2)	73 (10.1)	2.06
人権教育の推進	82 (11.3)	158 (21.8)	370 (51.0)	26 (3.6)	14 (1.9)	75 (10.3)	2.06
男女共同参画社会の確立	87 (12.0)	168 (23.2)	328 (45.2)	41 (5.7)	19 (2.6)	82 (11.3)	2.05
町営樹木葬墓苑	104 (14.3)	146 (20.1)	324 (44.7)	55 (7.6)	36 (5.0)	60 (8.3)	1.71

3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 項目ごとにみた今後の重要度（全体）

（単位：加重平均点）

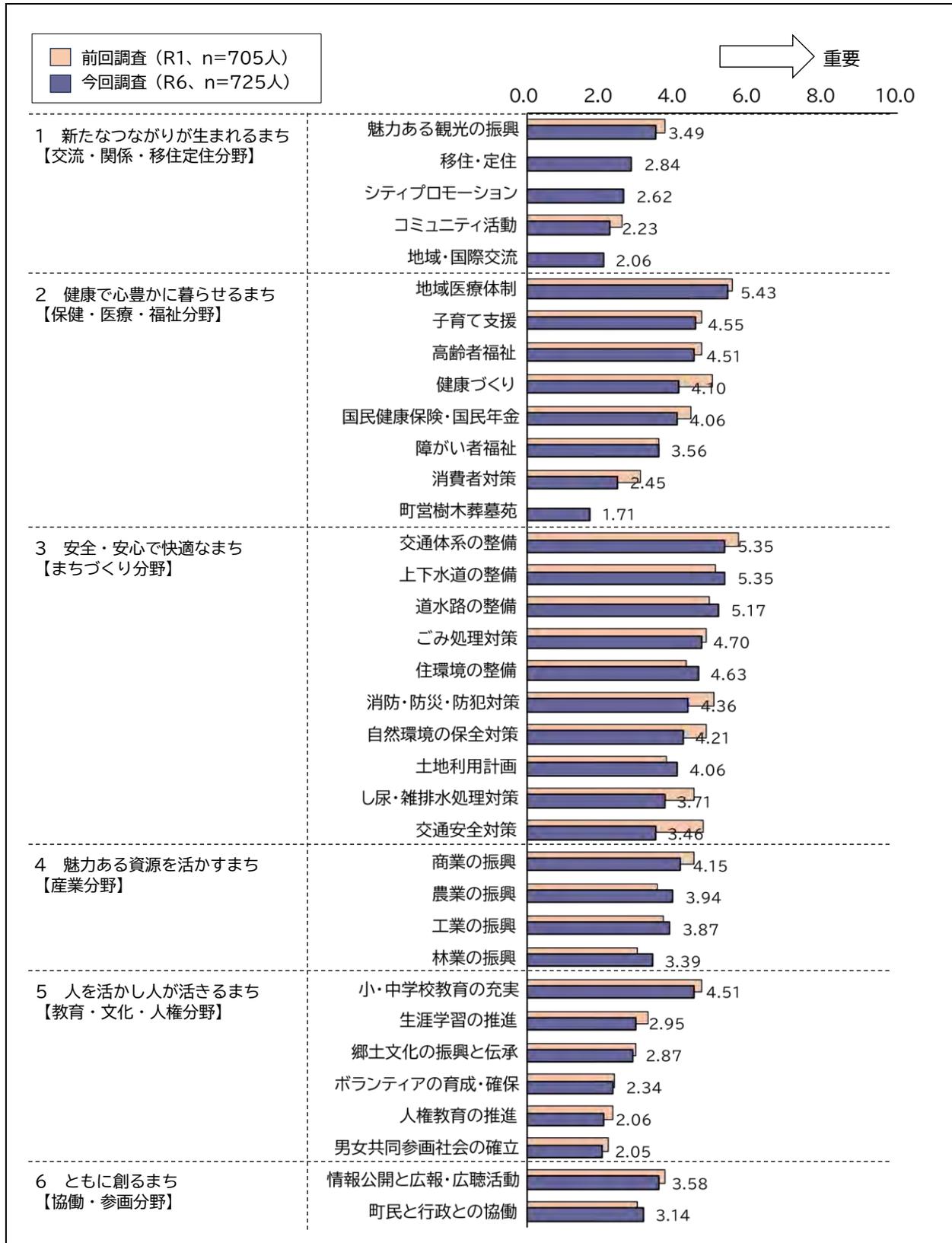


【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に重要度が高くなっている項目はみられません。

図 時系列でみた今後の重要度（全体）

（単位：加重平均点）



3-2 今後の重要度（問7(2)）

【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代は他の回答者に比べて重要度が高い項目が多くみられます。

図 年齢別でみた今後の重要度（①10～20歳代）（単位：加重平均点）

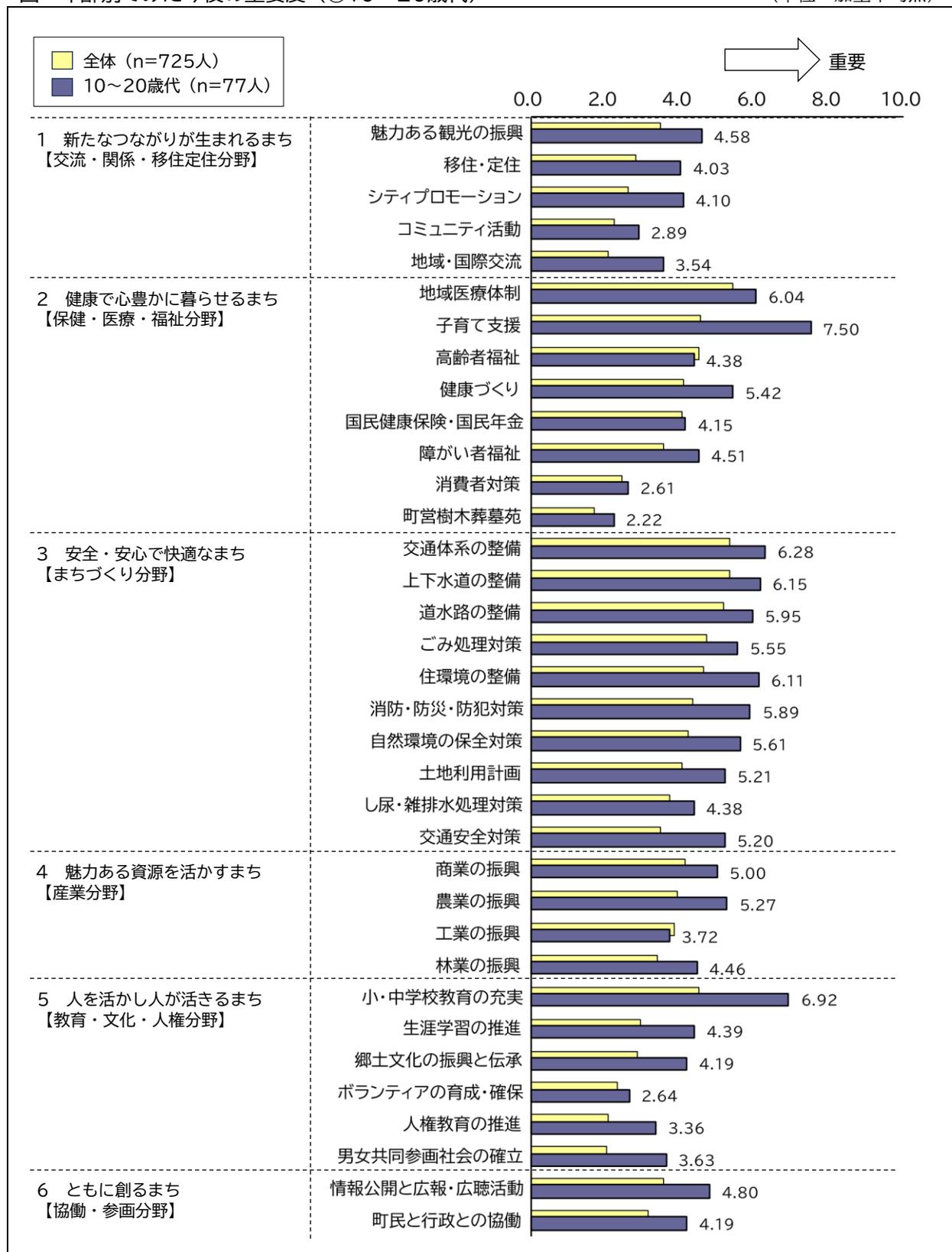
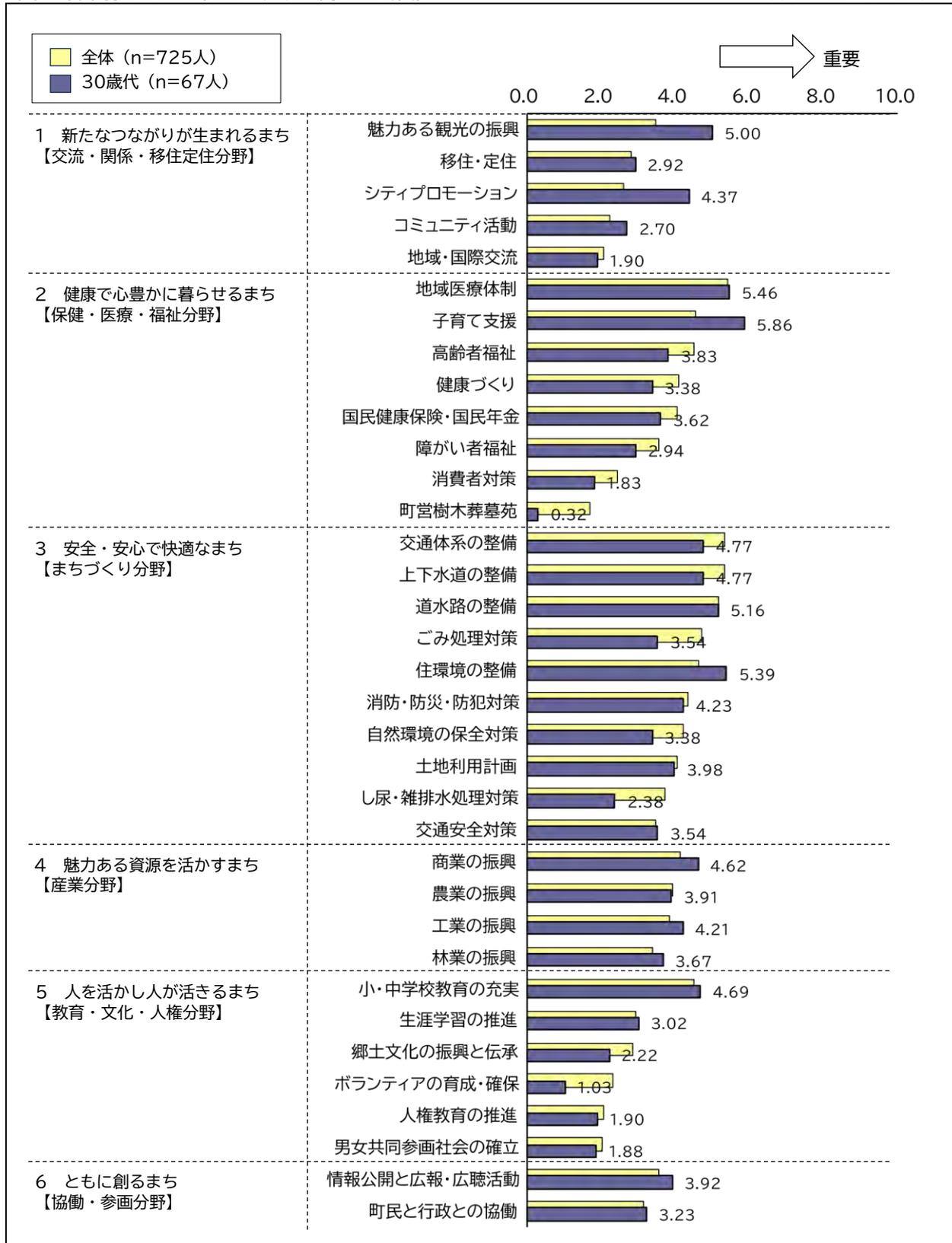


図 年齢別でみた今後の重要度 (②30歳代)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 年齢別でみた今後の重要度（③40歳代）

（単位：加重平均点）

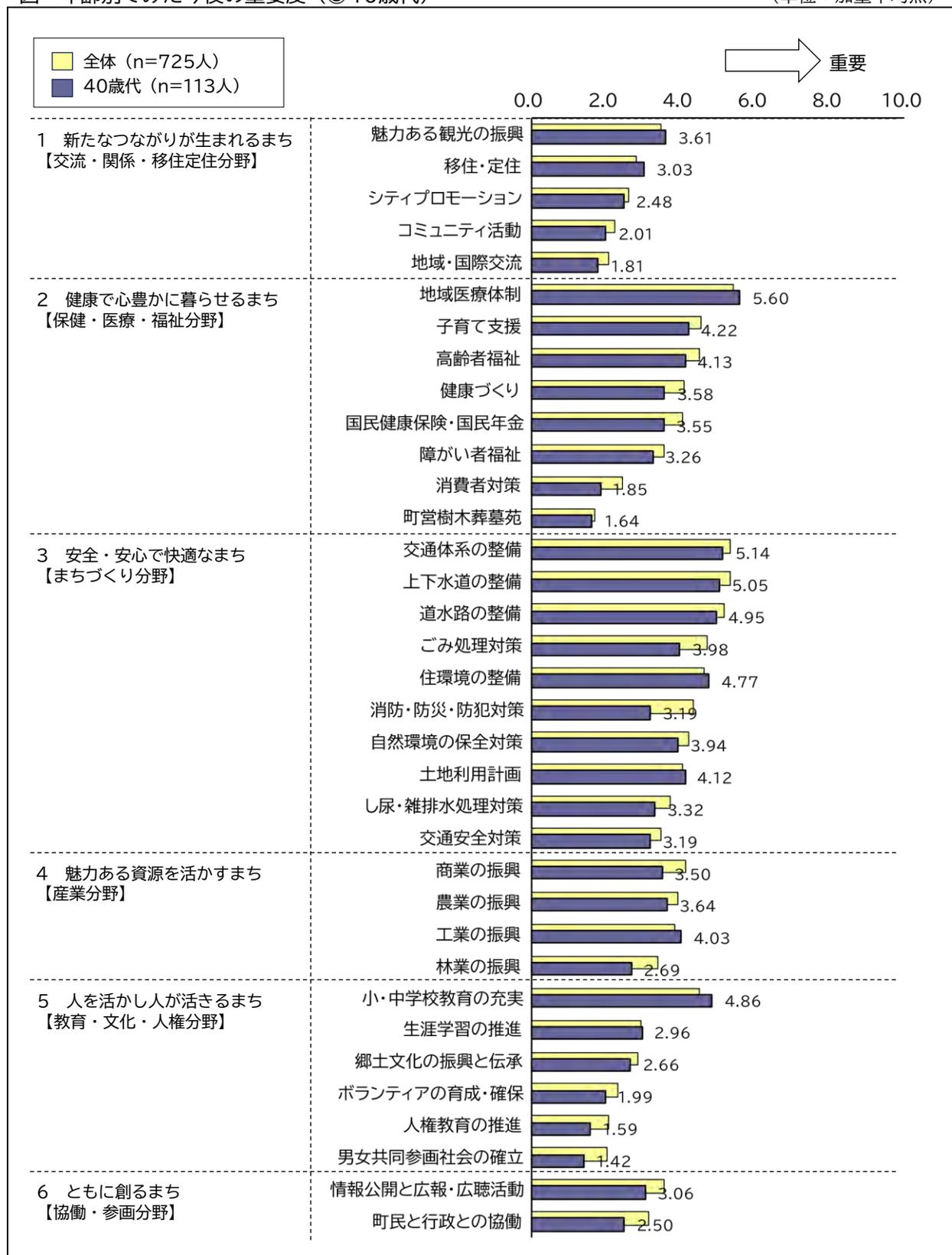
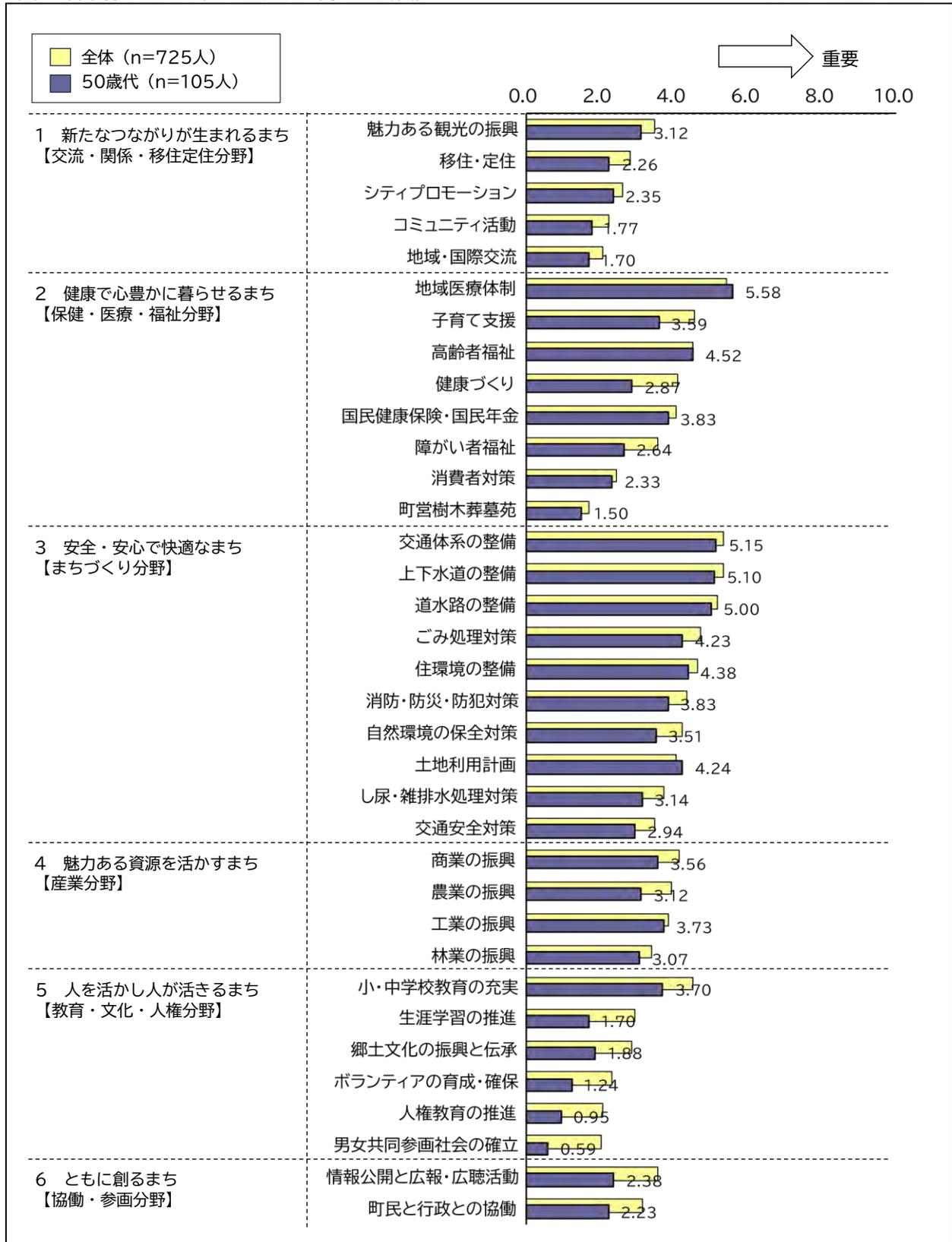


図 年齢別でみた今後の重要度 (④50歳代)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 年齢別でみた今後の重要度（⑤60歳代）

（単位：加重平均点）

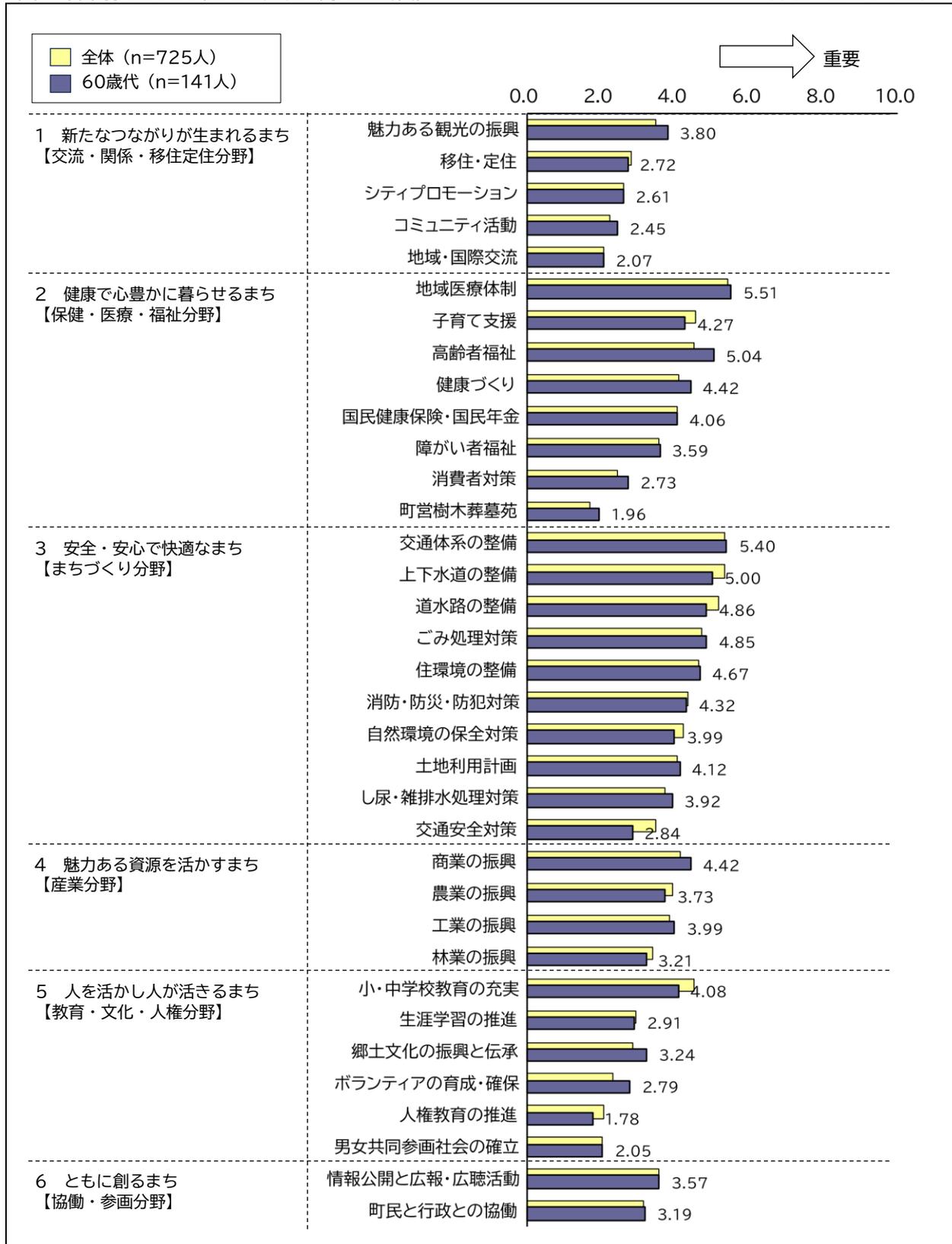
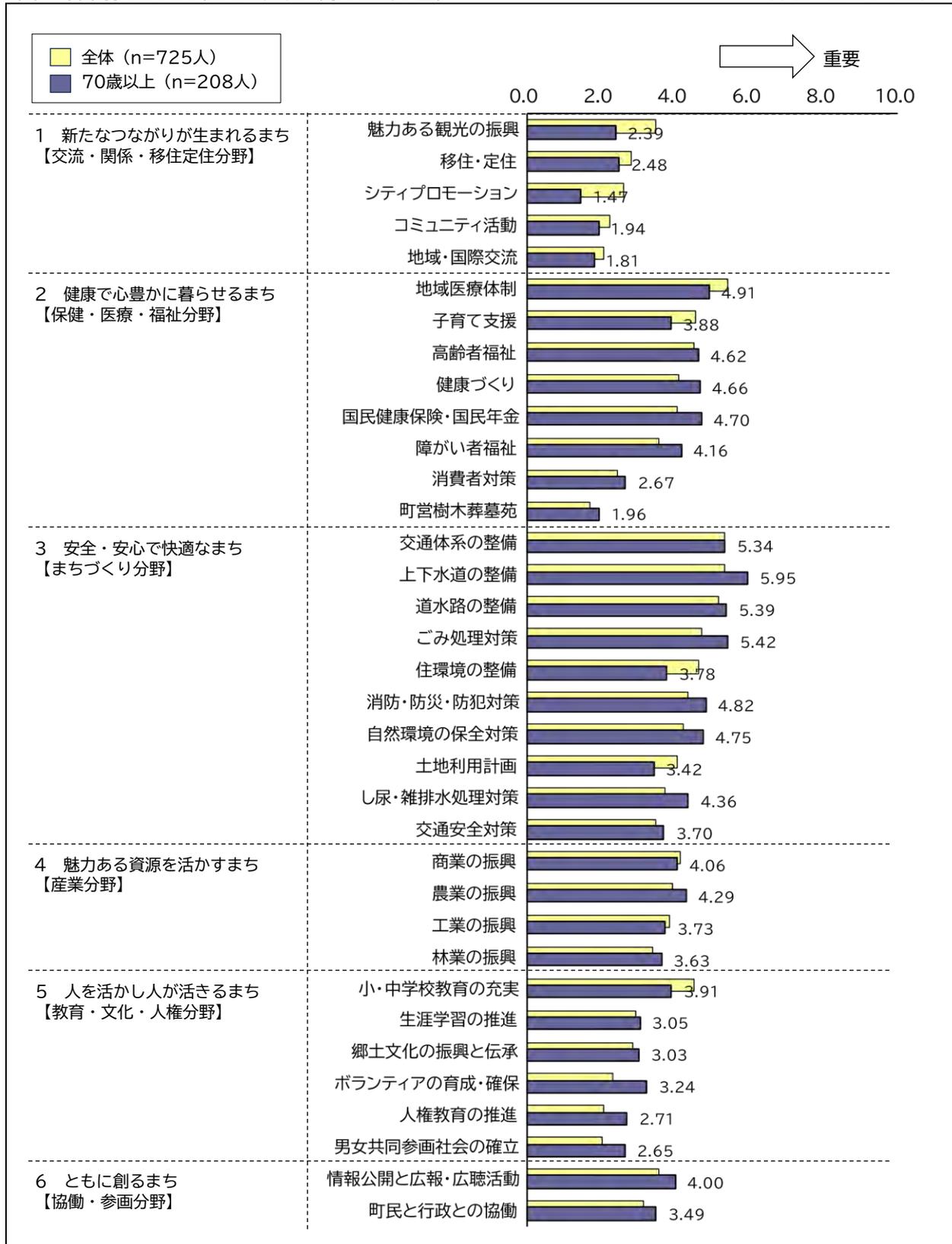


図 年齢別でみた今後の重要度 (⑥70歳以上)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性、女性ともに10～20歳代は他の回答者に比べて「子育て支援」や「小・中学校教育の充実」を初めとして重要度の高い項目が多くみられます。

図 性・年齢別でみた今後の重要度（①男性・10～20歳代）

（単位：加重平均点）

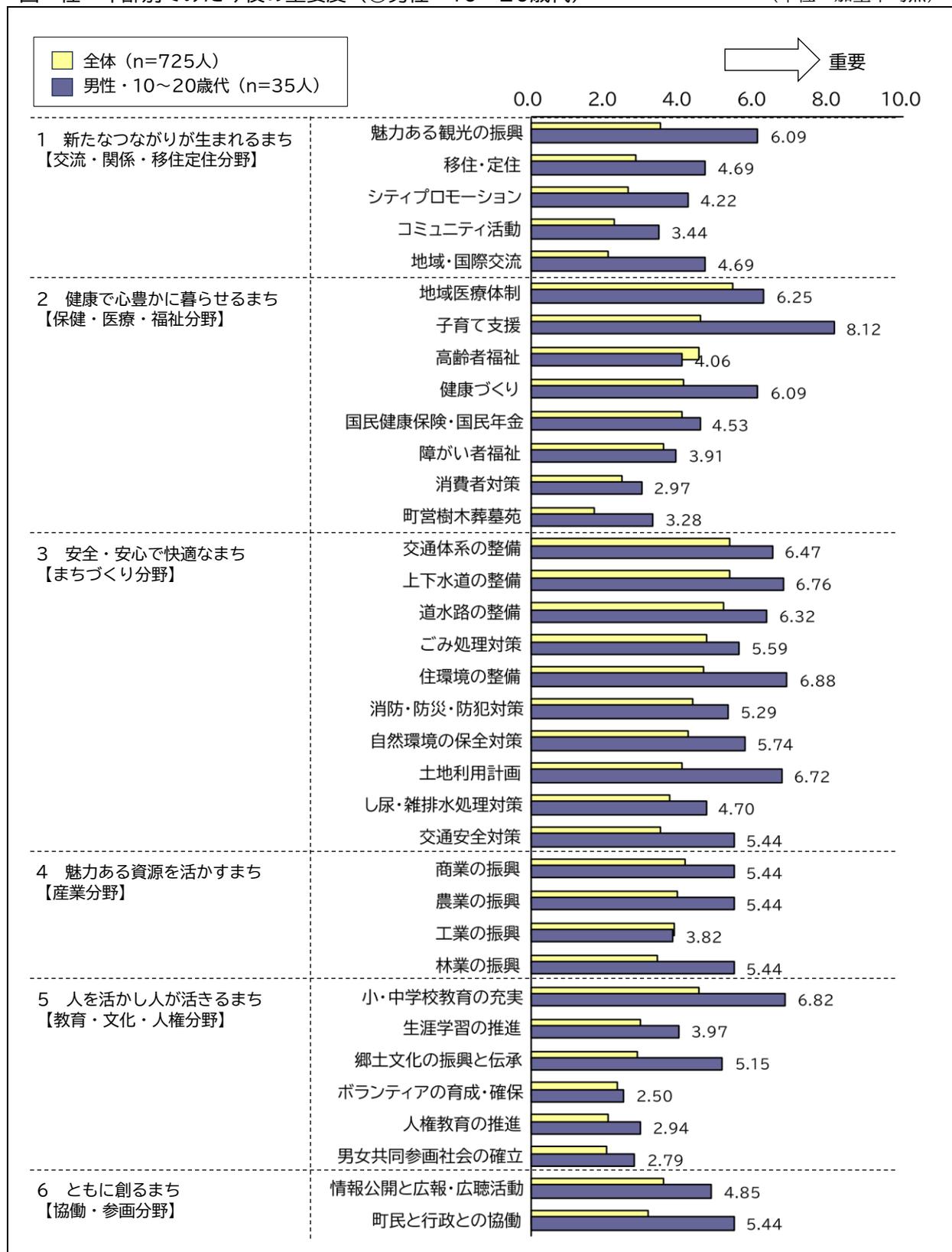
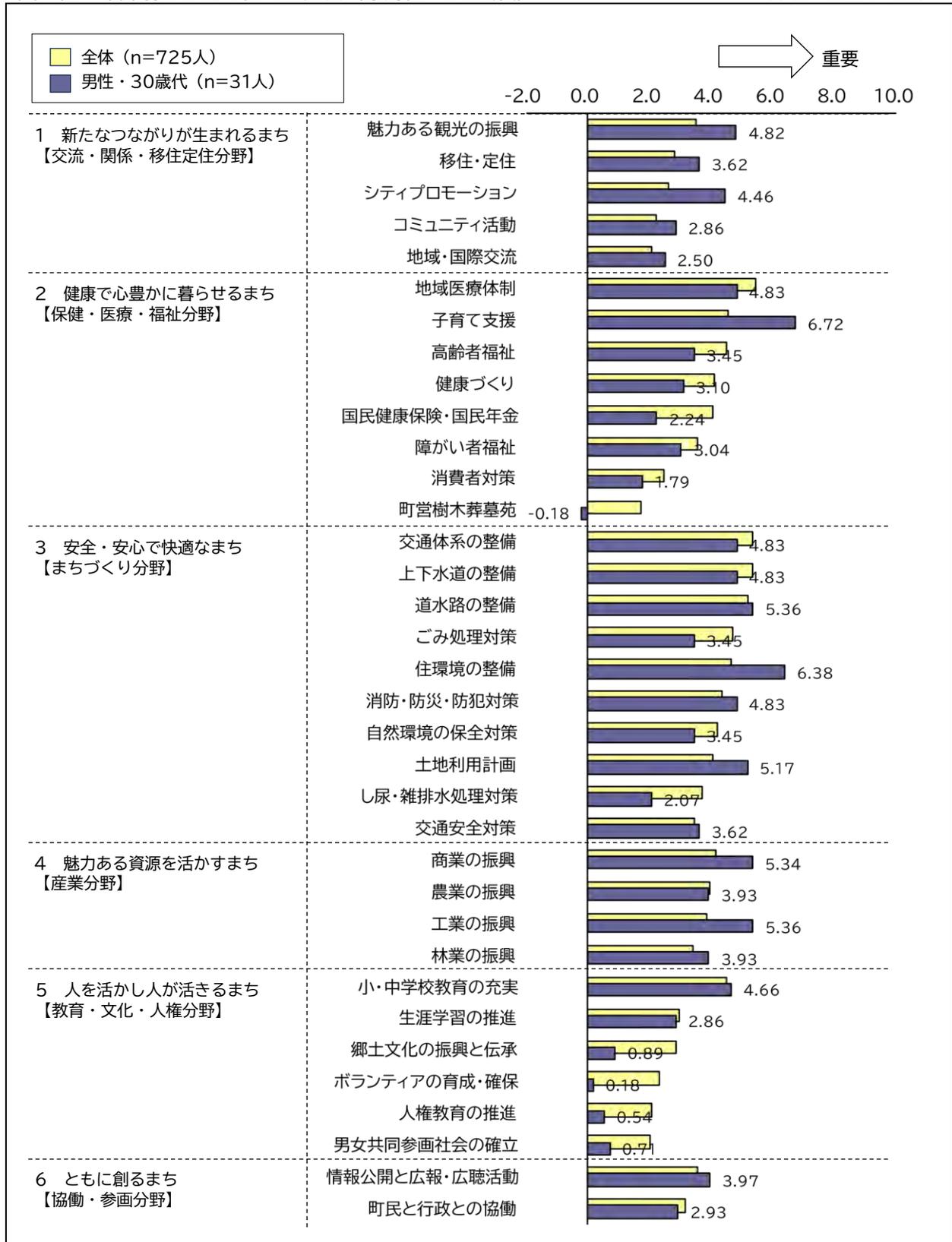


図 性・年齢別でみた今後の重要度 (②男性・30歳代)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 性・年齢別でみた今後の重要度（③男性・40歳代）

（単位：加重平均点）

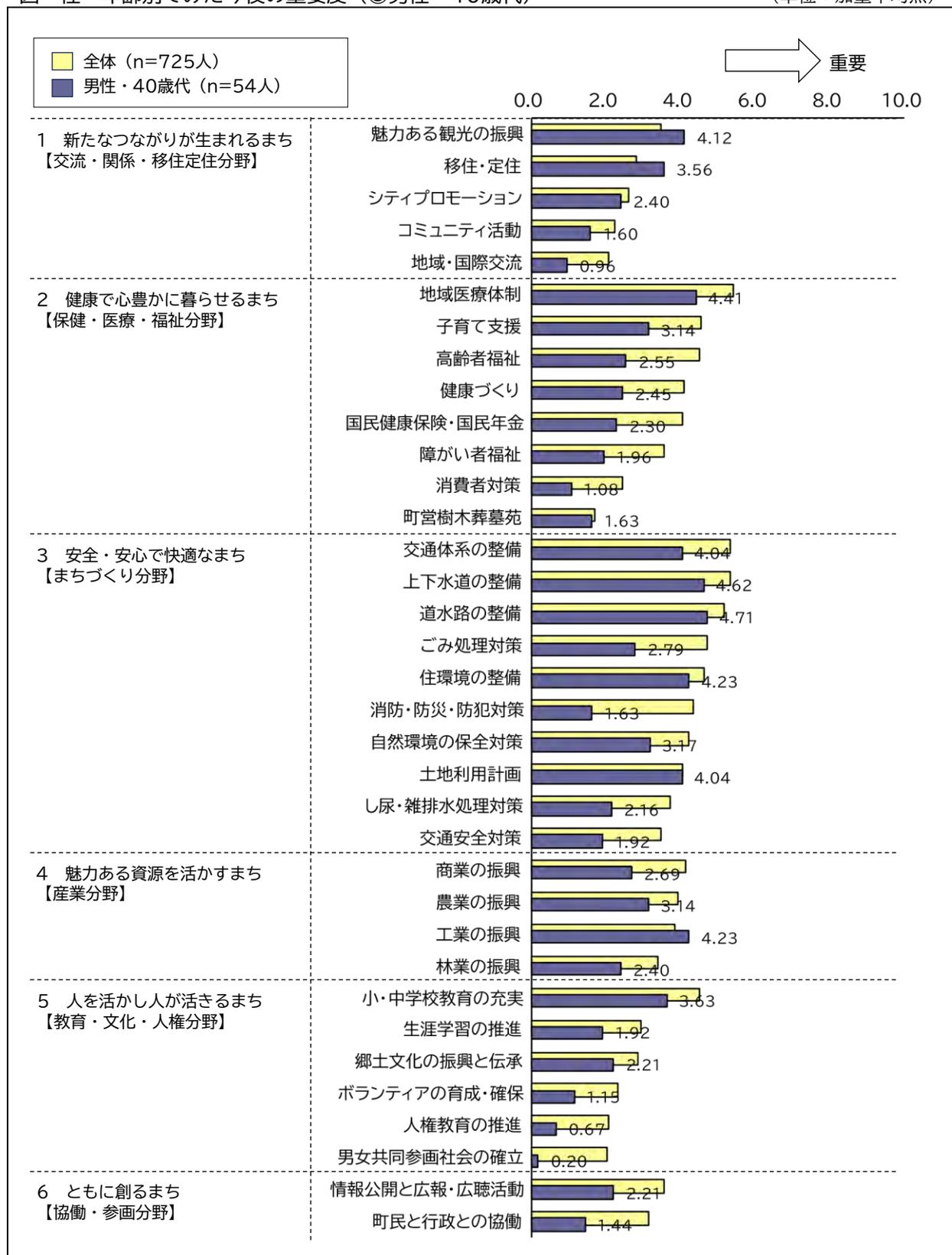
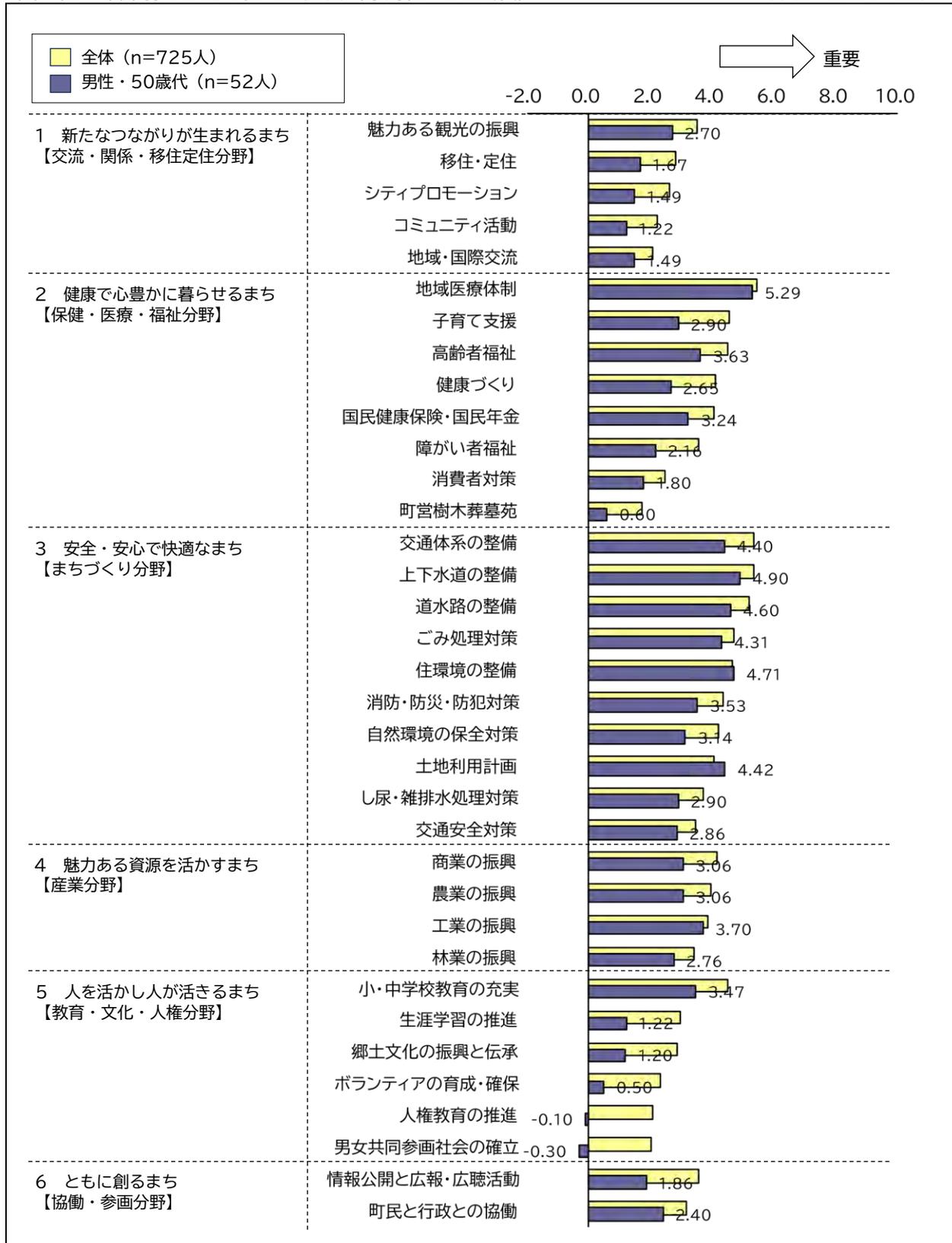


図 性・年齢別でみた今後の重要度 (④男性・50歳代)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 性・年齢別でみた今後の重要度（⑤男性・60歳代）

（単位：加重平均点）

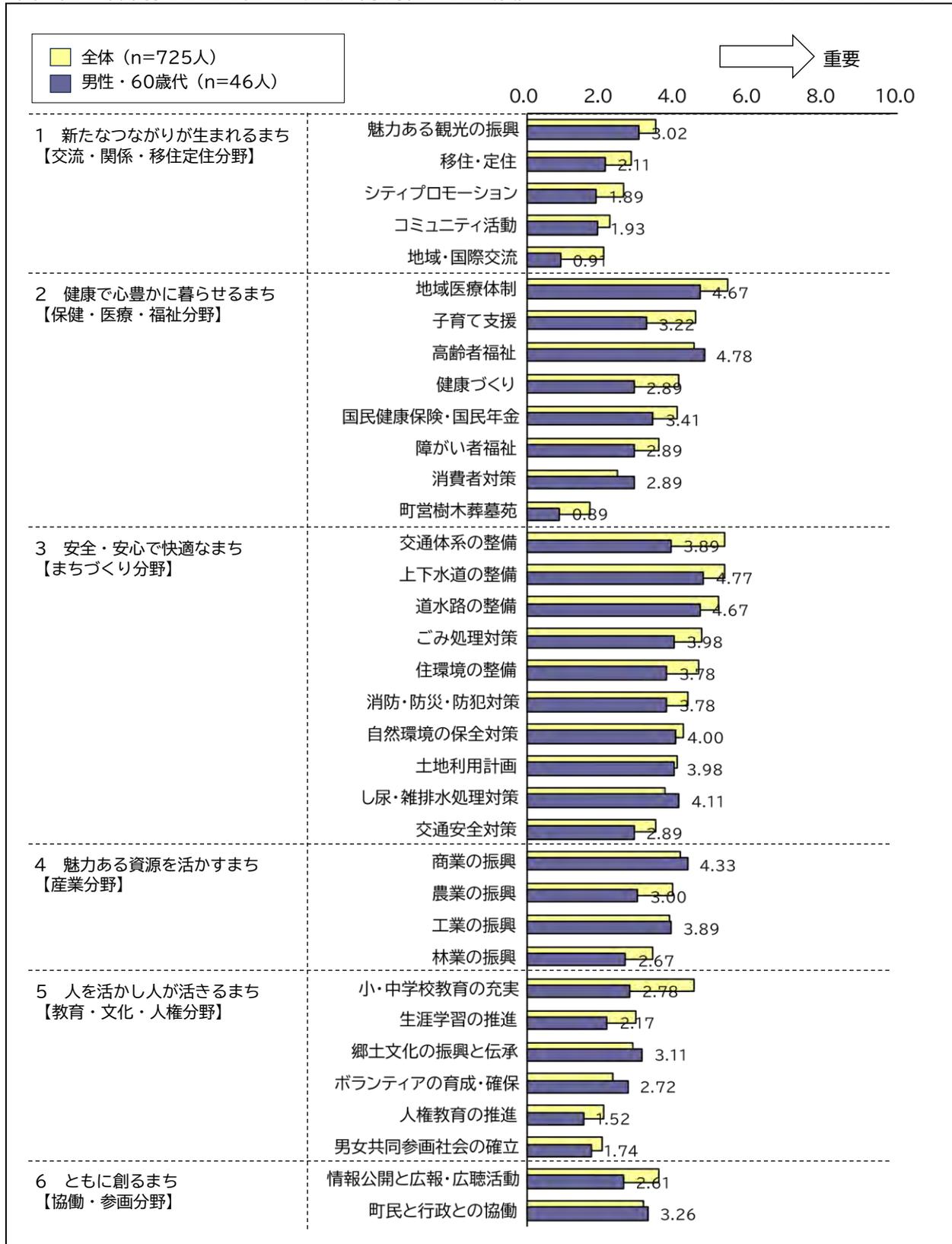
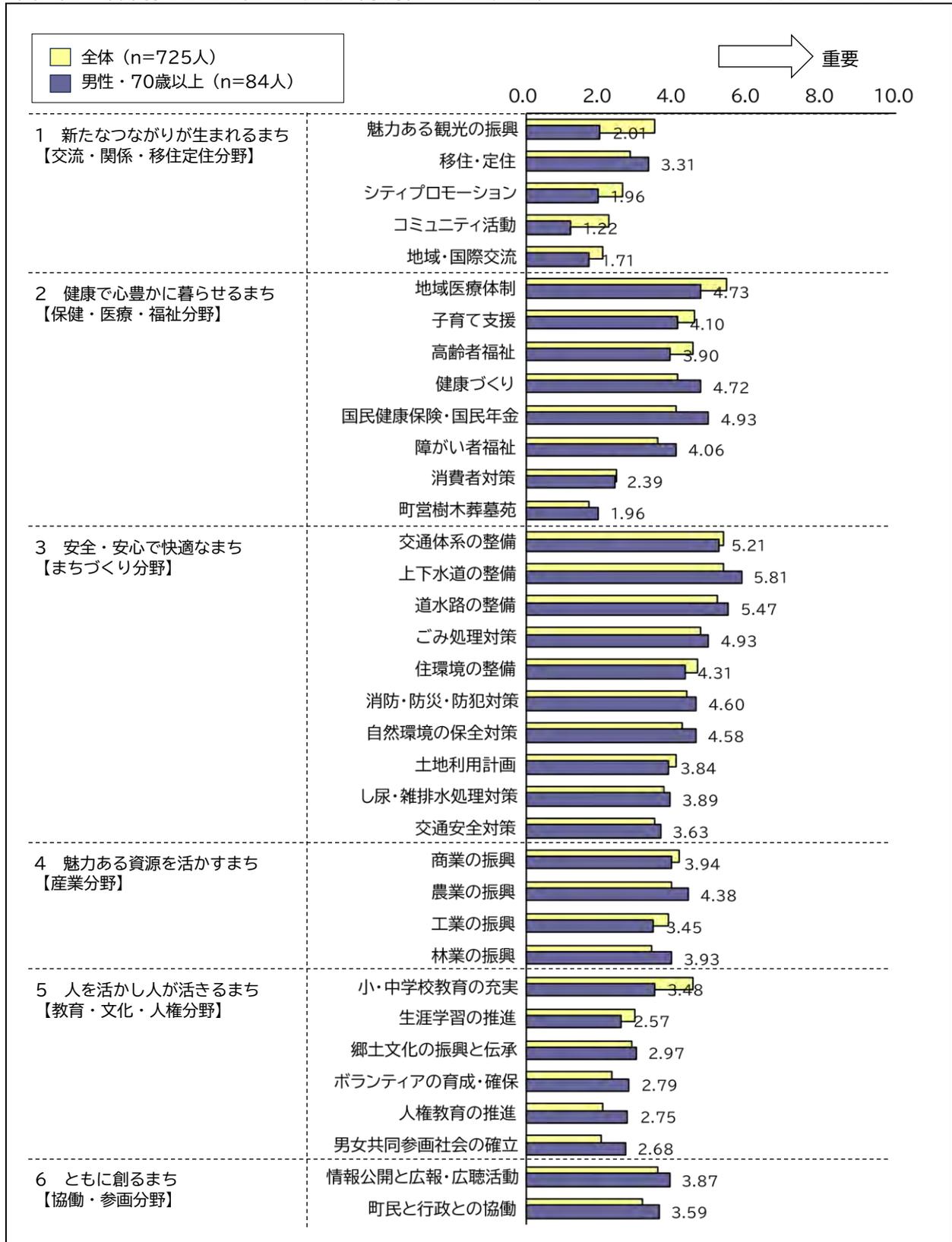


図 性・年齢別でみた今後の重要度 (⑥男性・70歳以上)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 性・年齢別でみた今後の重要度（㉞女性・10～20歳代）

（単位：加重平均点）

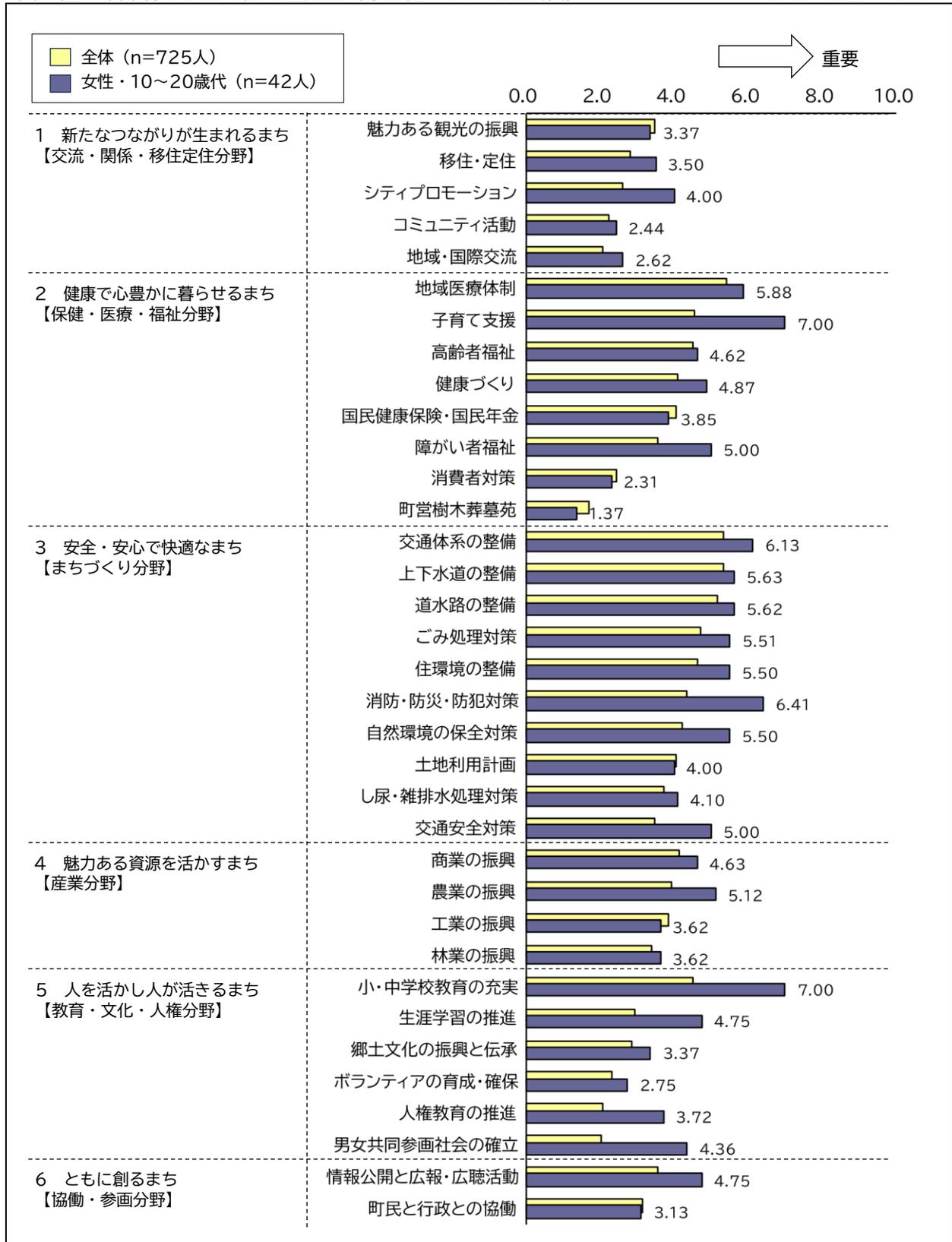
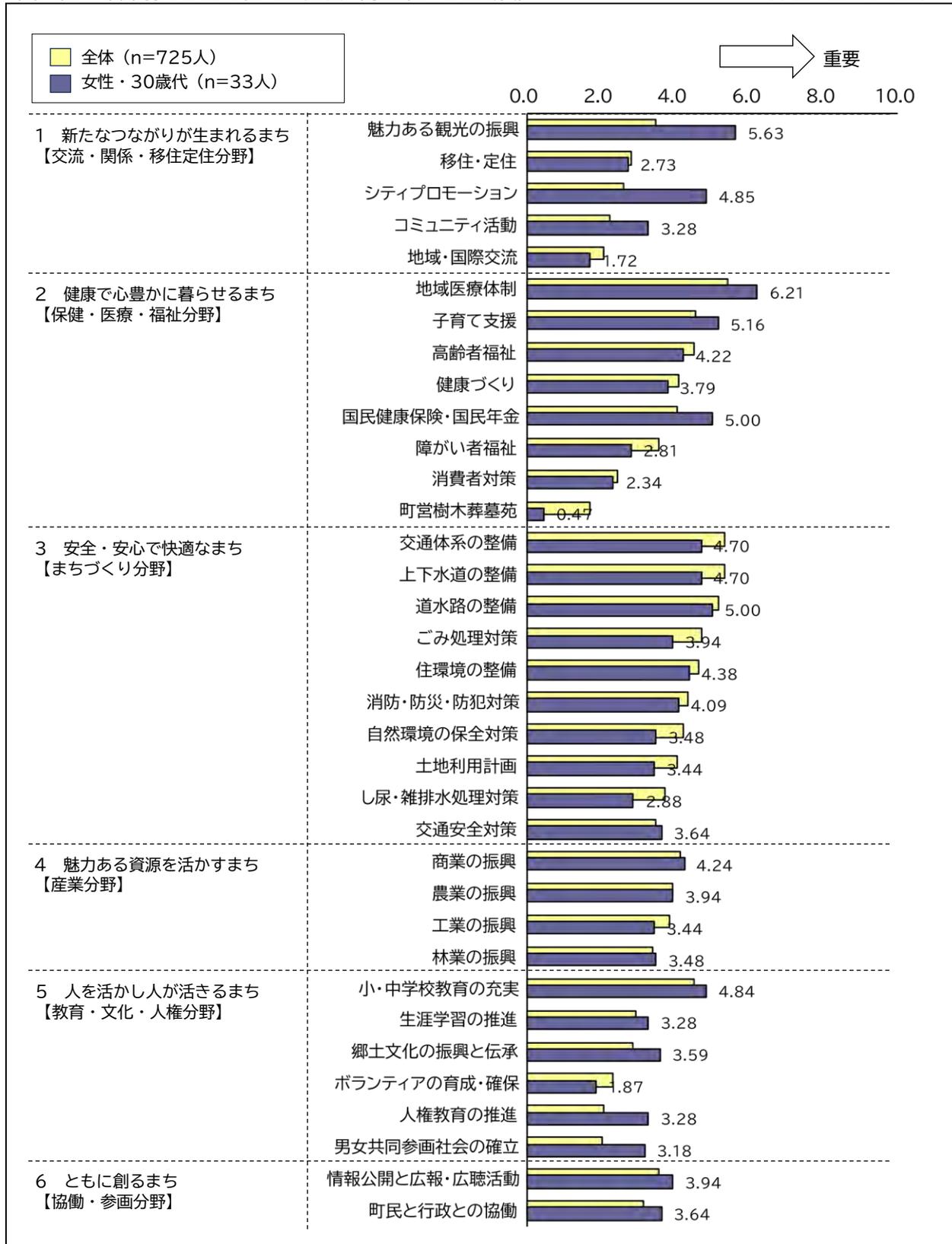


図 性・年齢別でみた今後の重要度 (⑧女性・30歳代)

(単位：加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 性・年齢別でみた今後の重要度（⑨女性・40歳代）

（単位：加重平均点）

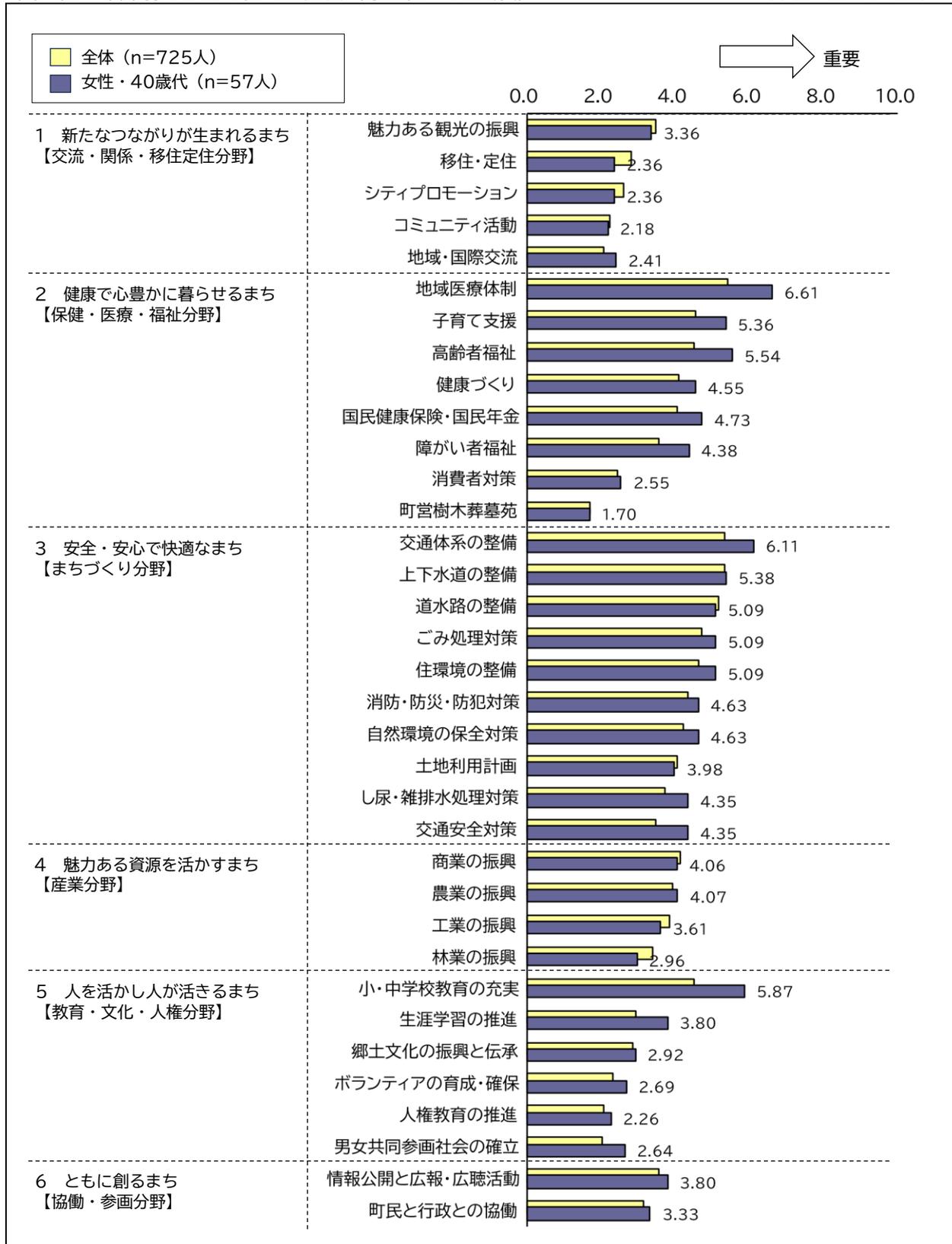
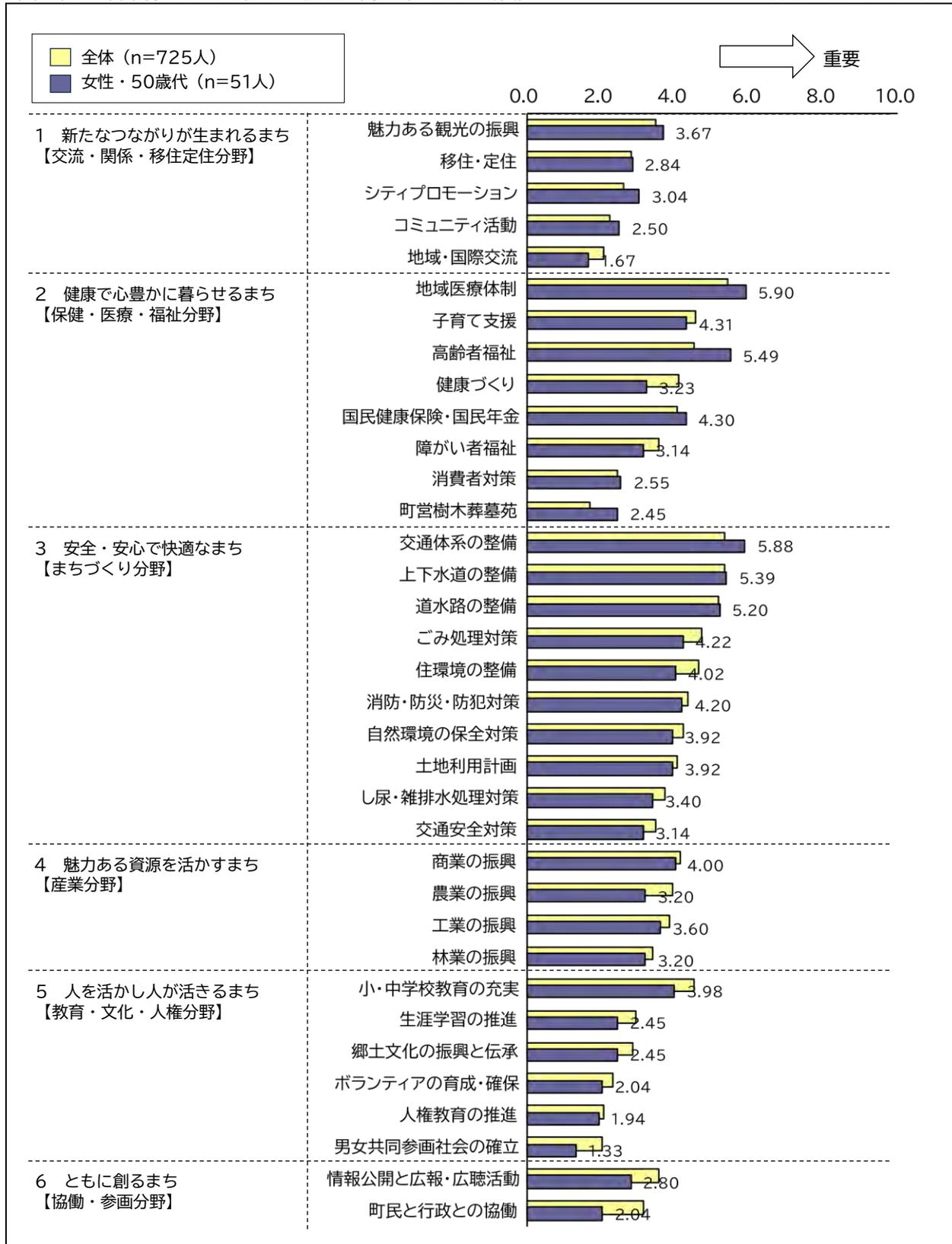


図 性・年齢別でみた今後の重要度 (⑩女性・50歳代)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 性・年齢別でみた今後の重要度（①女性・60歳代）

（単位：加重平均点）

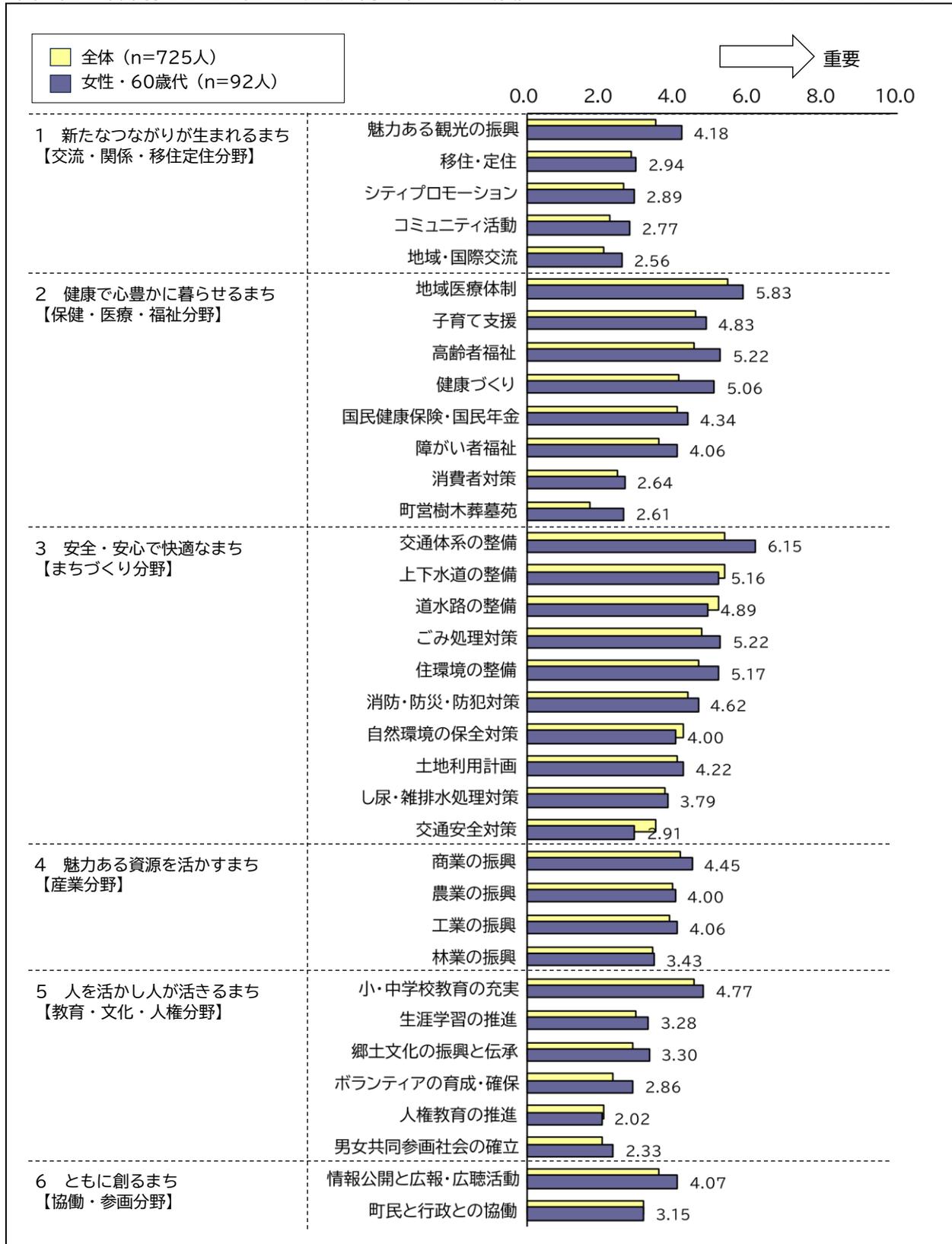
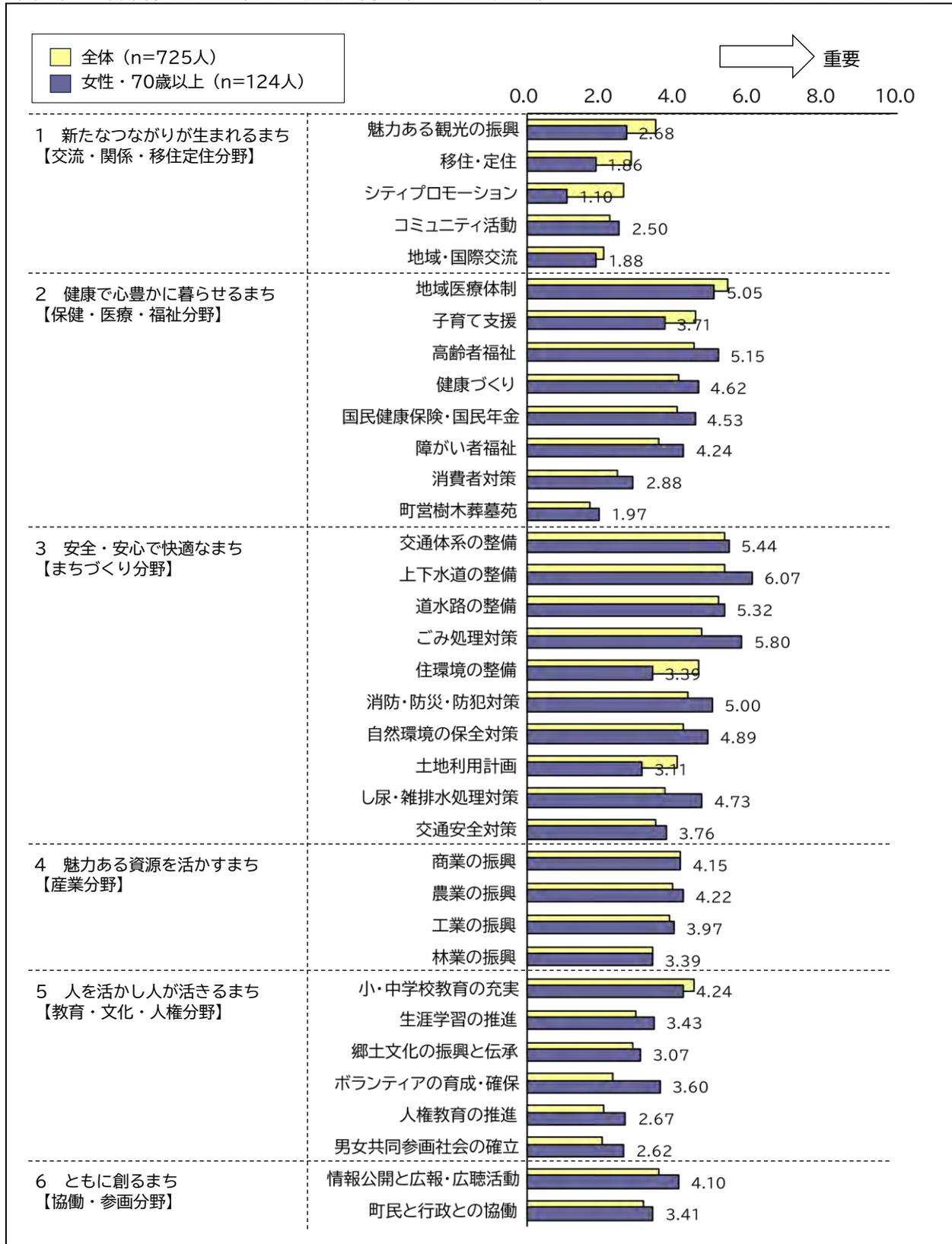


図 性・年齢別でみた今後の重要度 (⑫女性・70歳以上)

(単位：加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域は全体に比べて「子育て支援」、「国民健康保険・国民年金」、「障害者福祉」の重要度が高くなっています。

図 居住地域別でみた今後の重要度（①北部地域）

（単位：加重平均点）

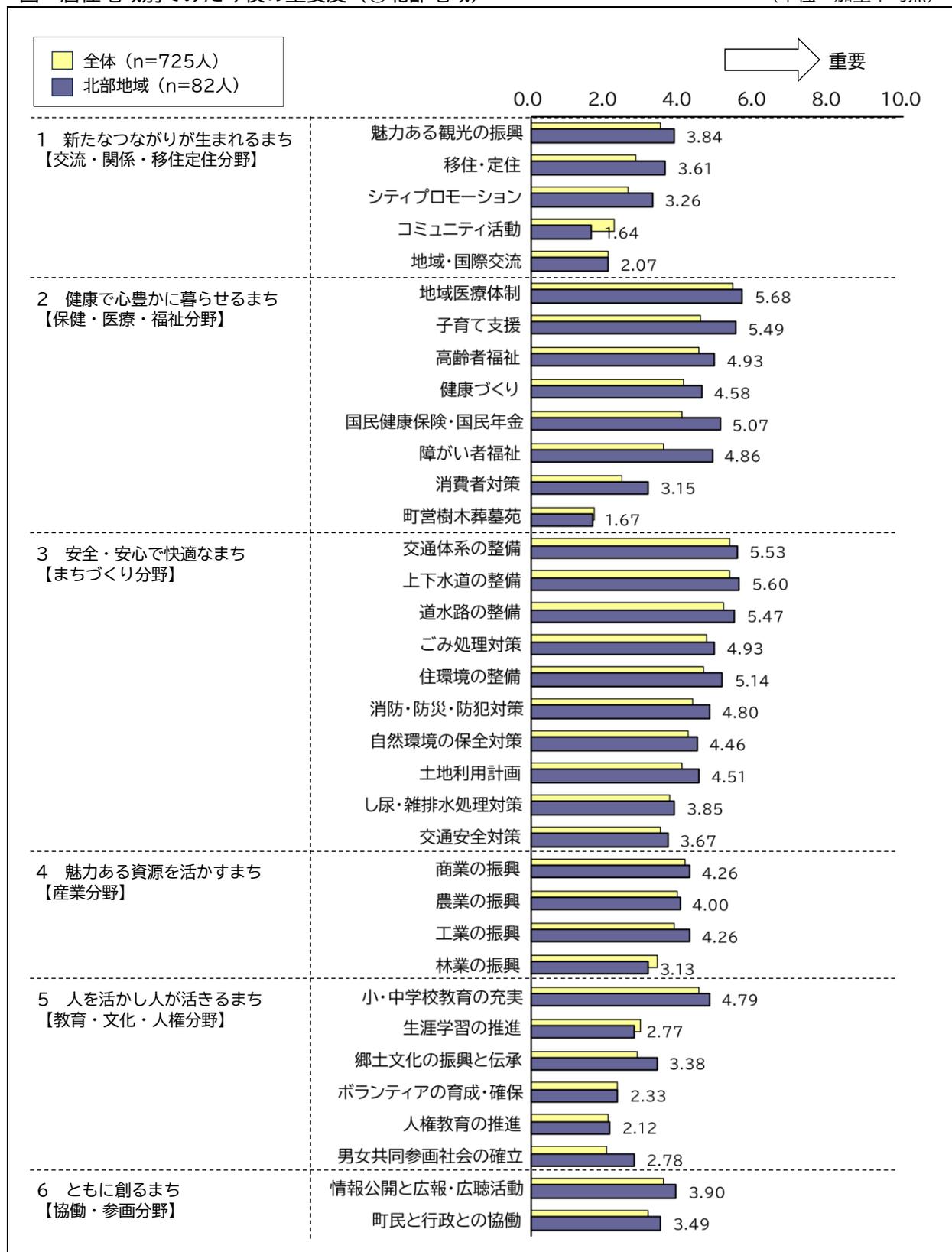
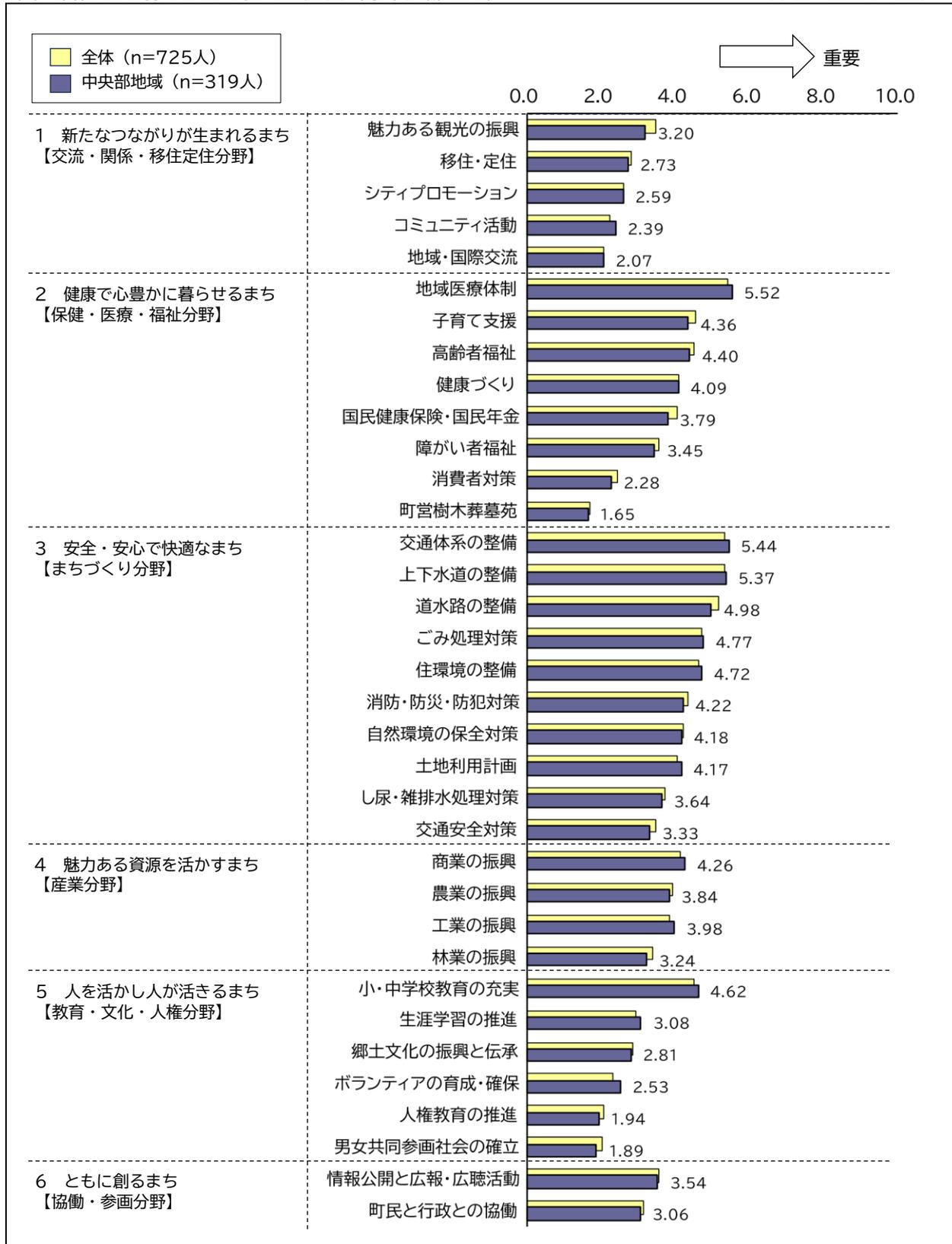


図 居住地域別でみた今後の重要度 (②中央部地域)

(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 居住地域別でみた今後の重要度（③南東部地域）

（単位：加重平均点）

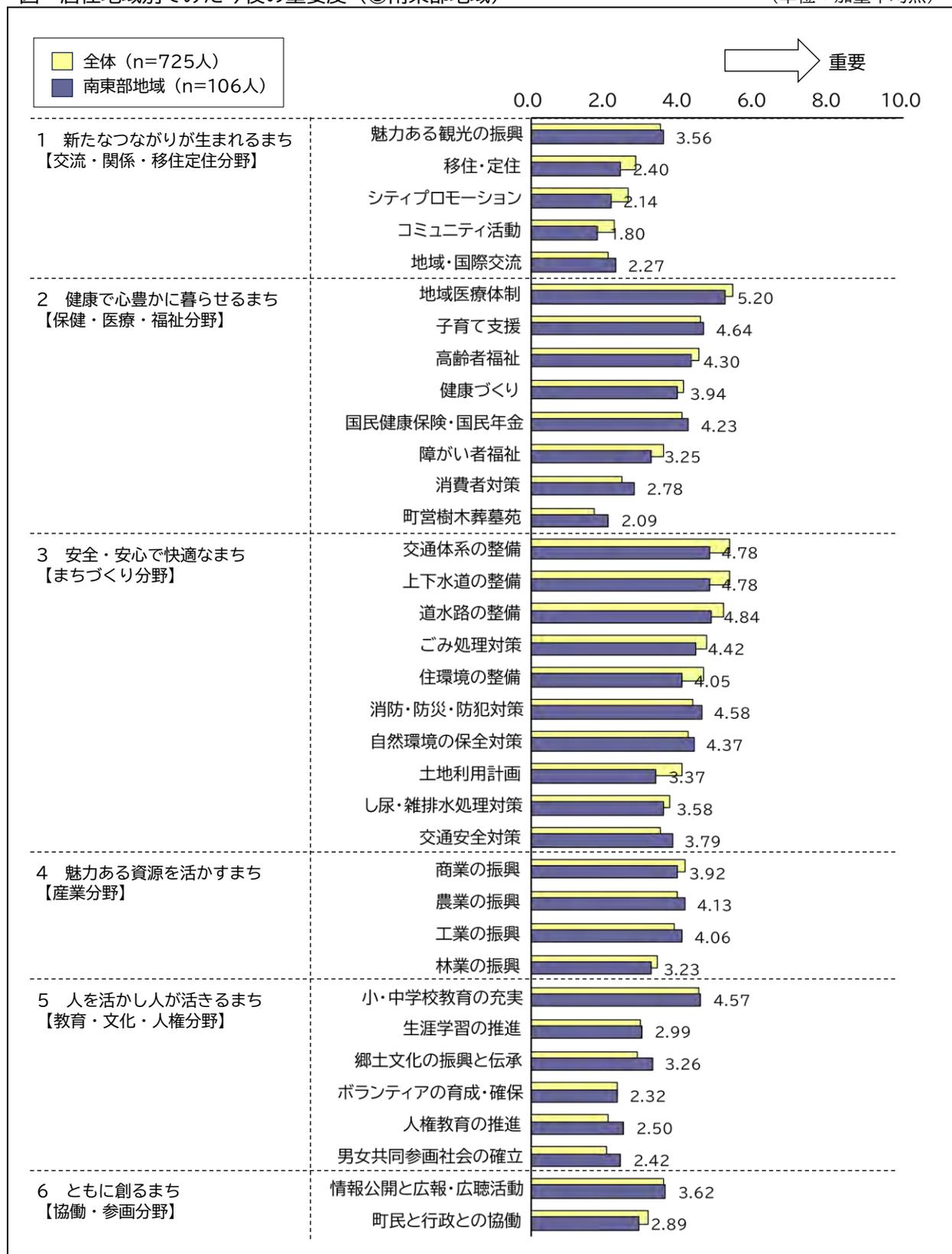
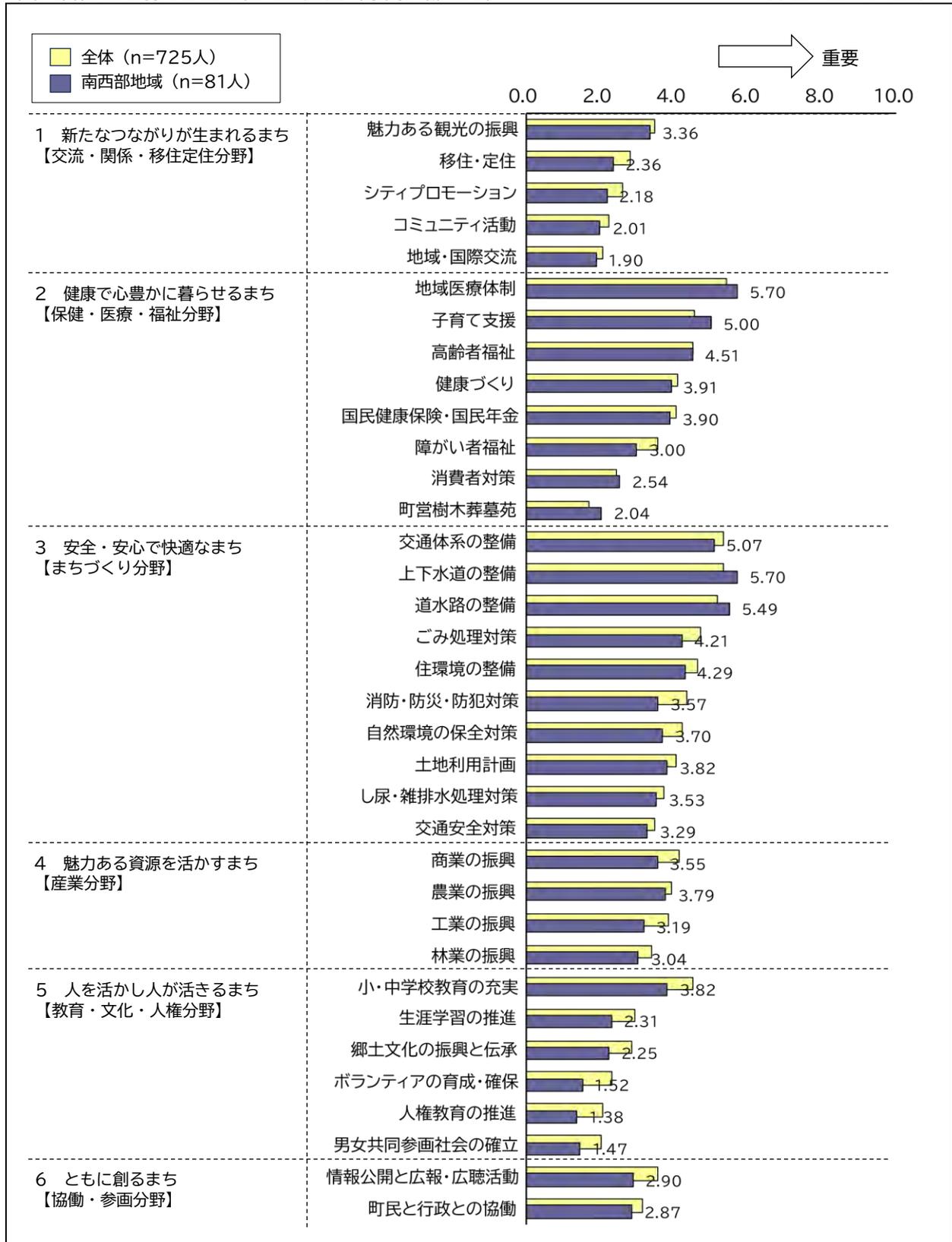


図 居住地域別でみた今後の重要度 (④南西部地域)

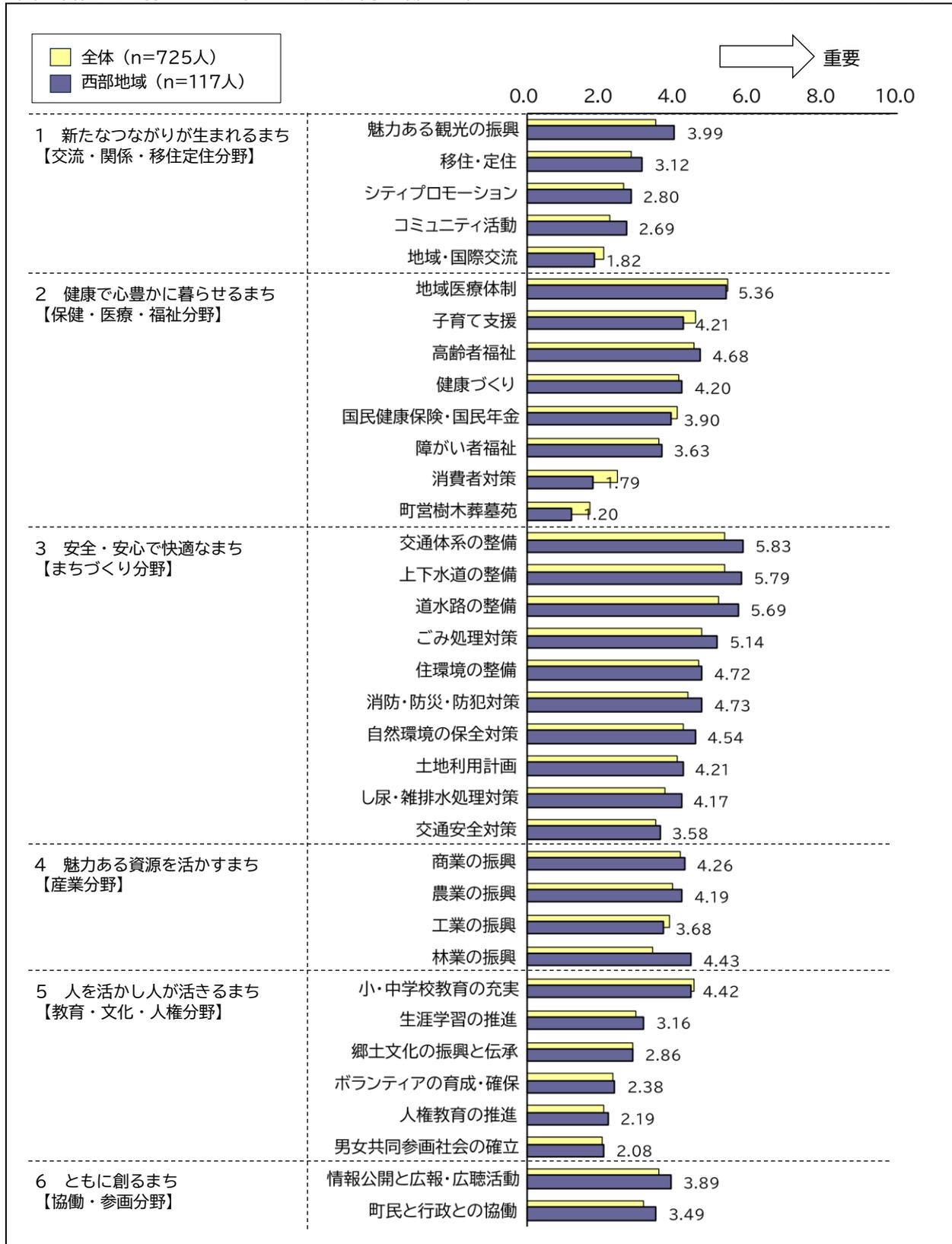
(単位:加重平均点)



3-2 今後の重要度（問7(2)）

図 居住地域別でみた今後の重要度（⑤西部地域）

（単位：加重平均点）



3-3 今後のまちづくりの特色（問8）

問8 あなたは、今後のまちづくりについて、越生町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。（2つまで○印）

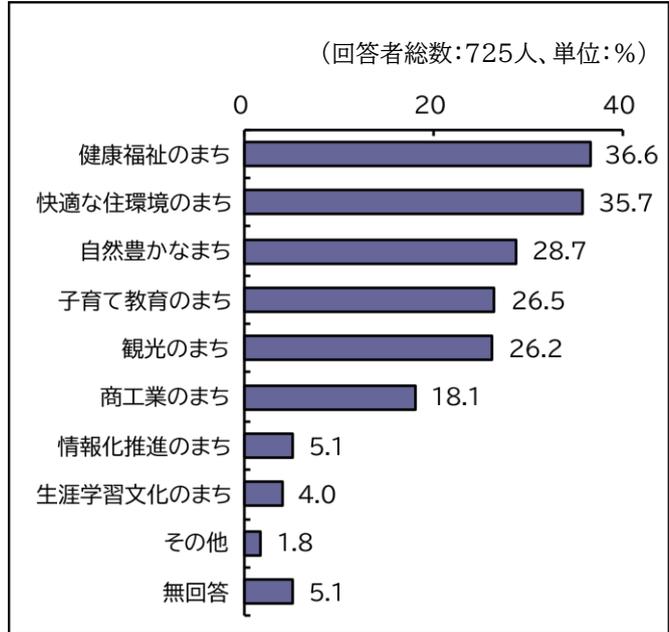
「健康福祉のまち」、「快適な住環境のまち」が多くみられる

今後のまちづくりの特色については、「健康福祉のまち」が36.6%で最も多く、次いで「快適な住環境のまち」が35.7%、「自然豊かなまち」が28.7%が続いています。

表 今後のまちづくりの特色（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
健康福祉のまち	265 (36.6)
快適な住環境のまち	259 (35.7)
自然豊かなまち	208 (28.7)
子育て教育のまち	192 (26.5)
観光のまち	190 (26.2)
商工業のまち	131 (18.1)
情報化推進のまち	37 (5.1)
生涯学習文化のまち	29 (4.0)
その他	13 (1.8)
無回答	37 (5.1)

図 今後のまちづくりの特色（複数回答）

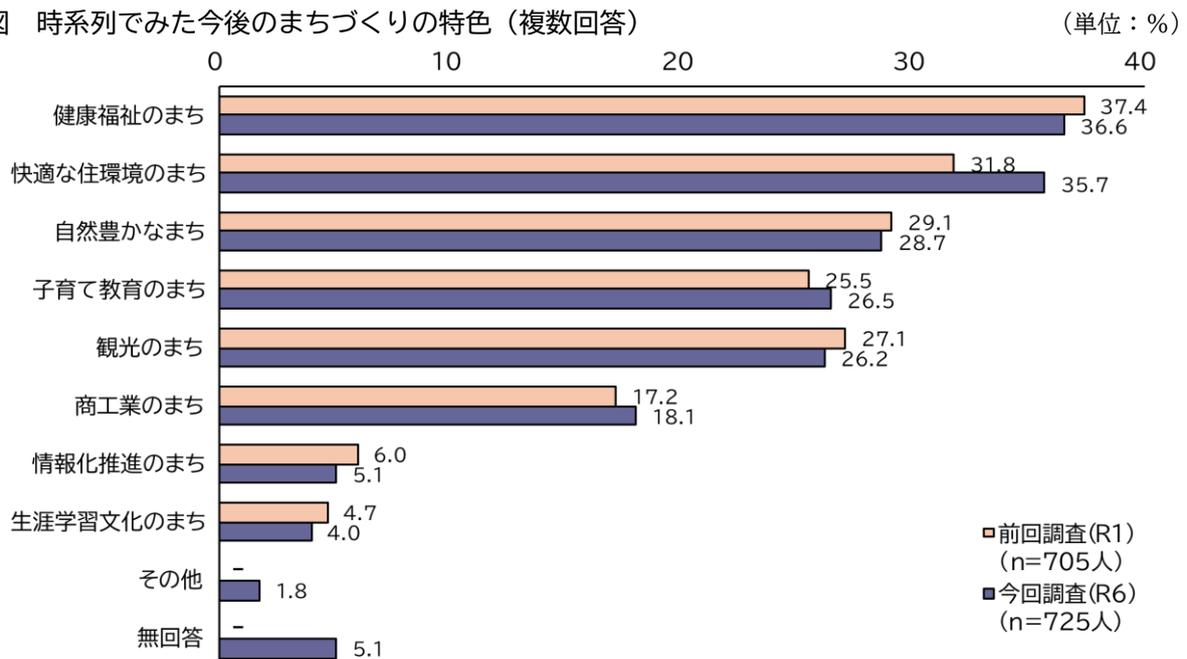


※この設問は複数回答であるため、構成比の和は100%を超えることがあります。

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「快適な住環境のまち」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた今後のまちづくりの特色（複数回答）



※図中、前回調査になかった項目は、数値を「-」と表示しています。

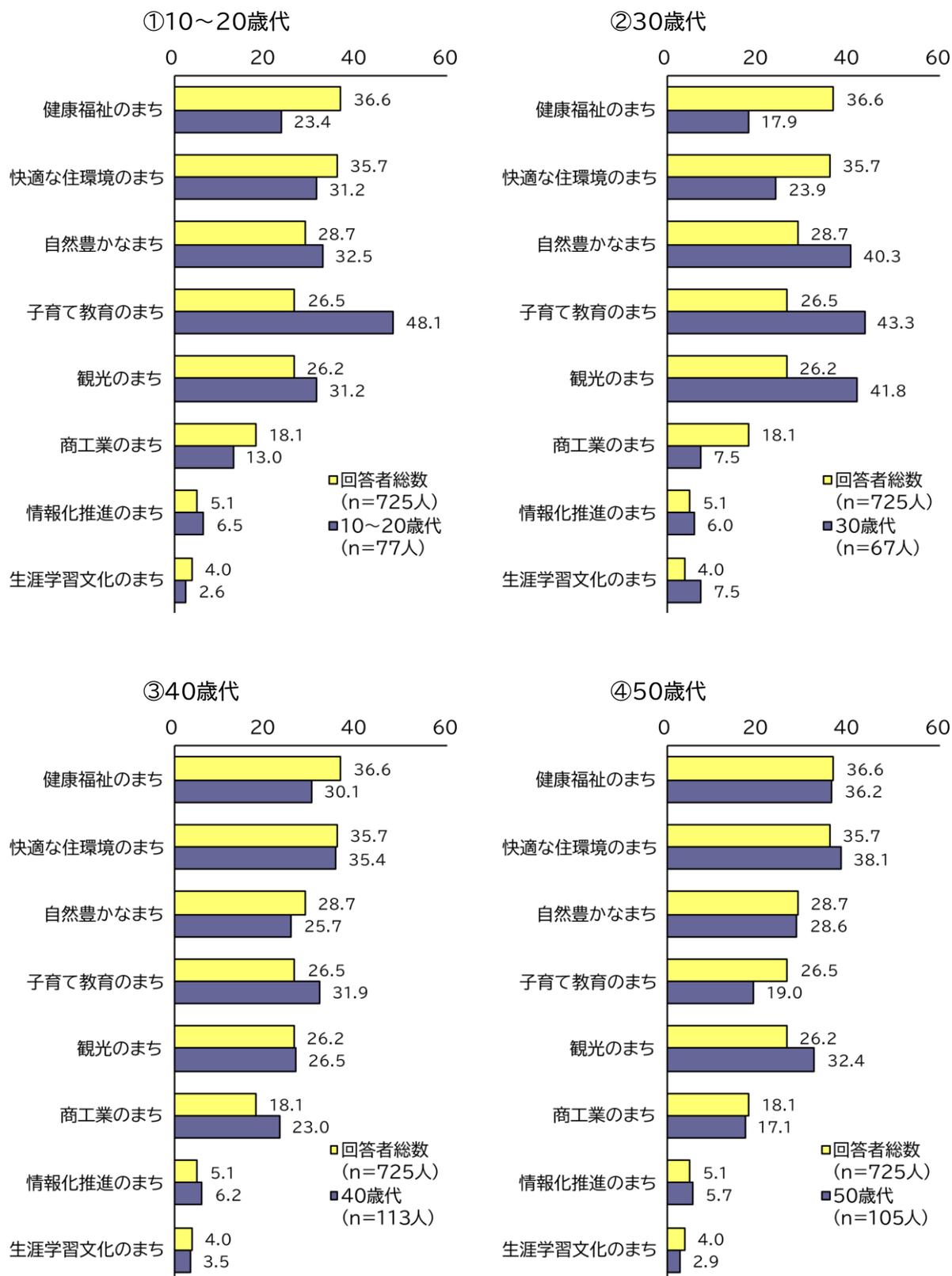
3-3 今後のまちづくりの特色（問8）

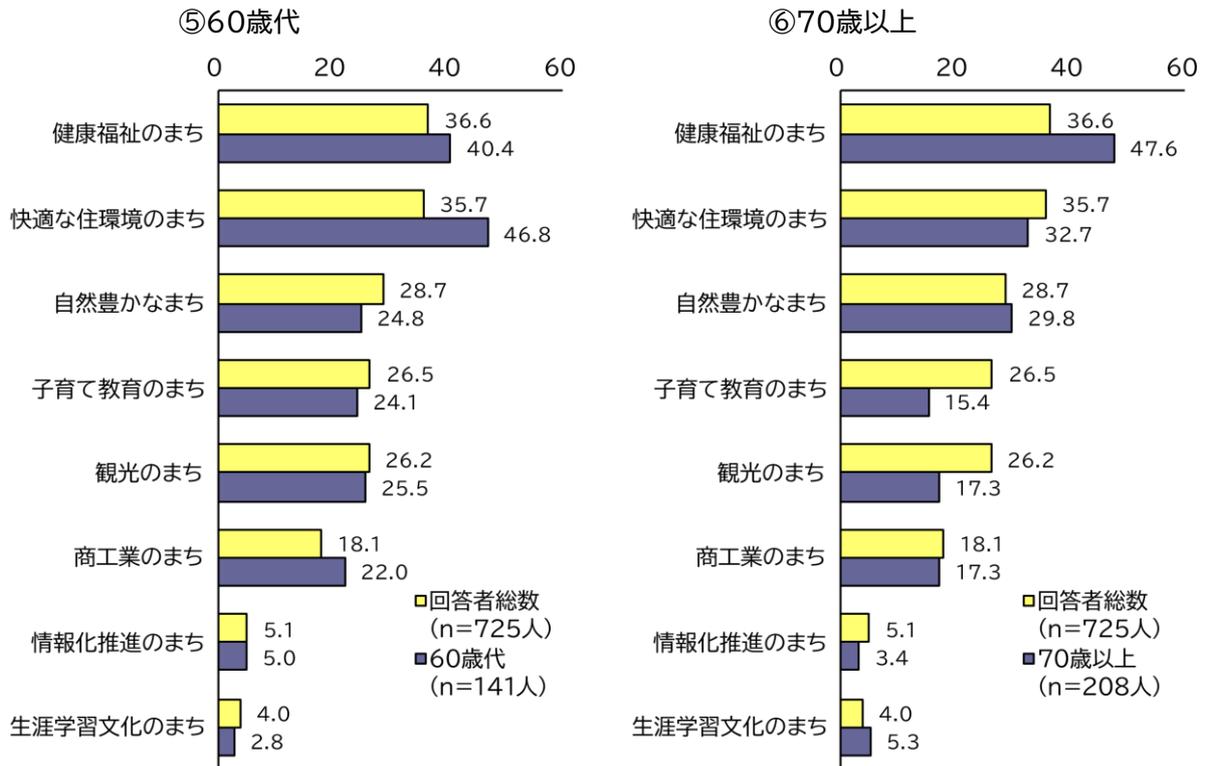
【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代は他の回答者に比べて「子育て教育のまち」の割合が高くなっています。また、30歳代は「子育て教育のまち」に加えて「自然豊かなまち」や「観光のまち」の割合も高くなっています。

図 年齢別でみた今後のまちづくりの特色（複数回答）

（単位：％）



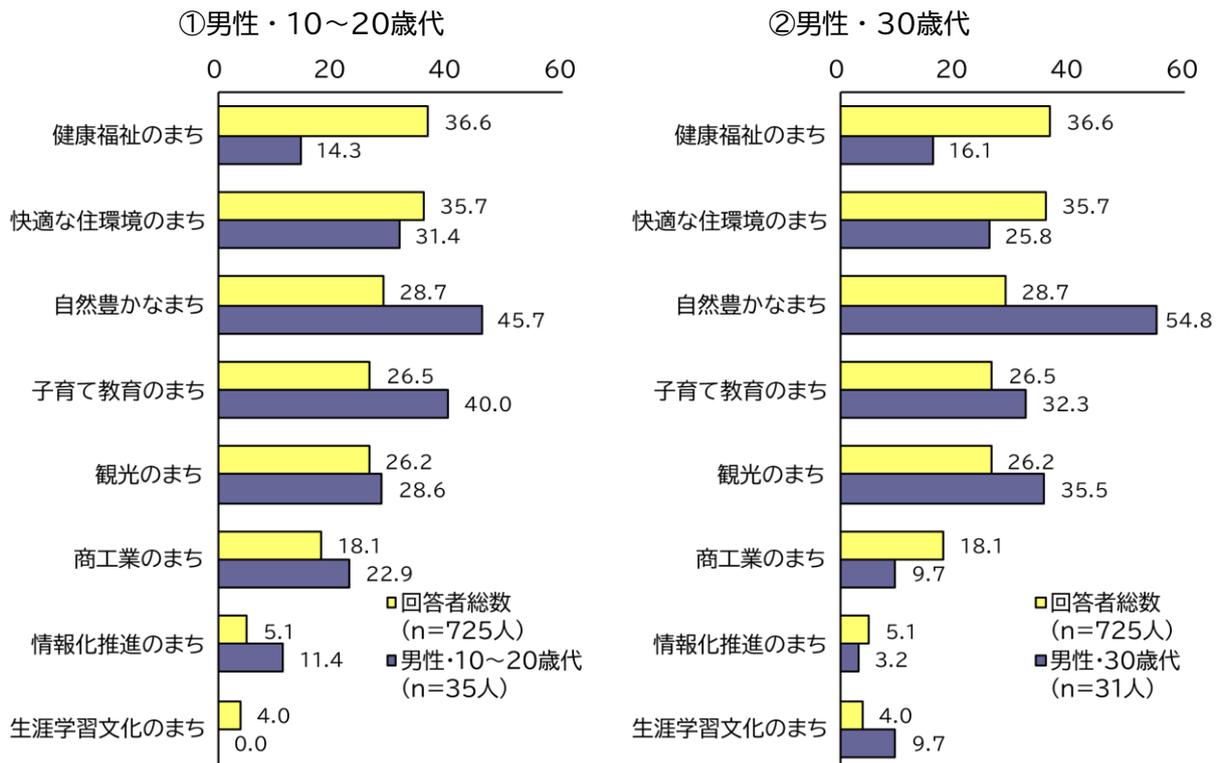


【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性・10～20歳代及び男性・30歳代は他の回答者に比べて「自然豊かなまち」の割合が高く、女性・10～20歳代、女性・30歳代及び女性・40歳代は「子育て教育のまち」の割合が高くなっています。また、女性・70歳以上は「健康福祉のまち」の割合が高くなっています。

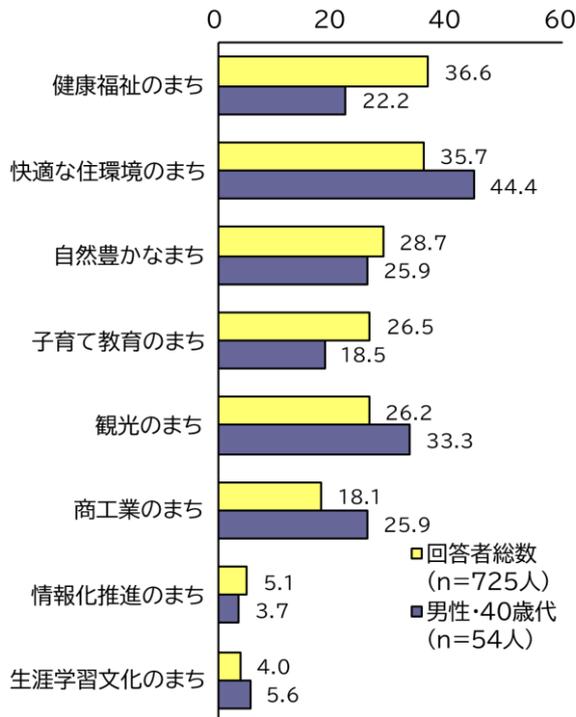
図 性・年齢別でみた今後のまちづくりの特色（複数回答）

（単位：％）

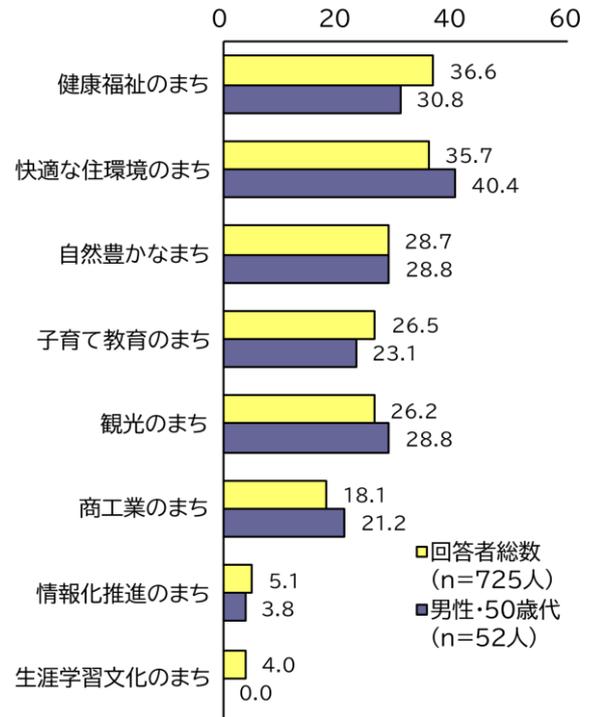


3-3 今後のまちづくりの特色（問8）

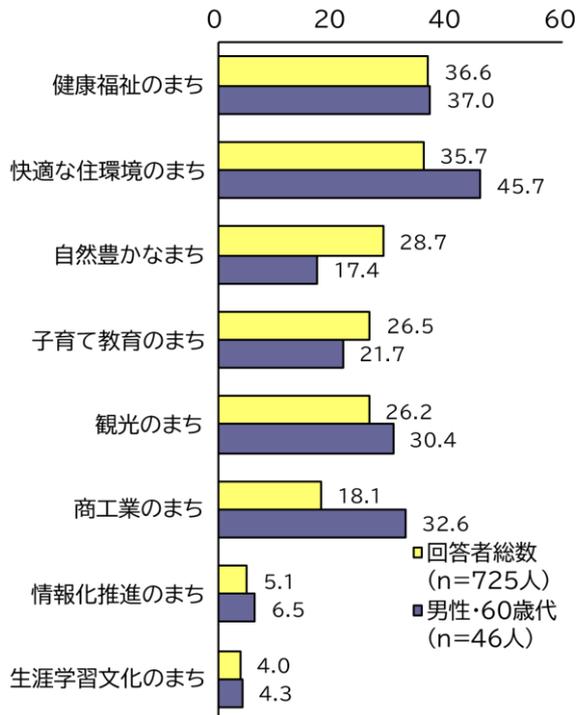
③男性・40歳代



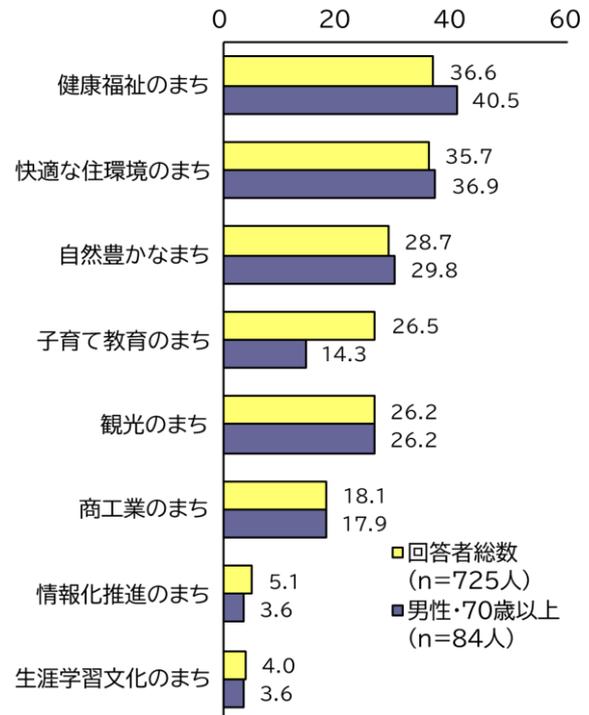
④男性・50歳代



⑤男性・60歳代

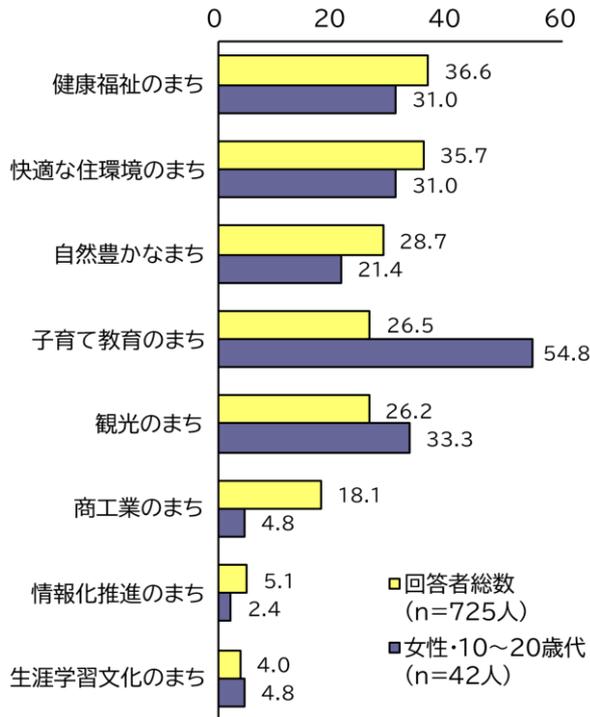


⑥男性・70歳以上

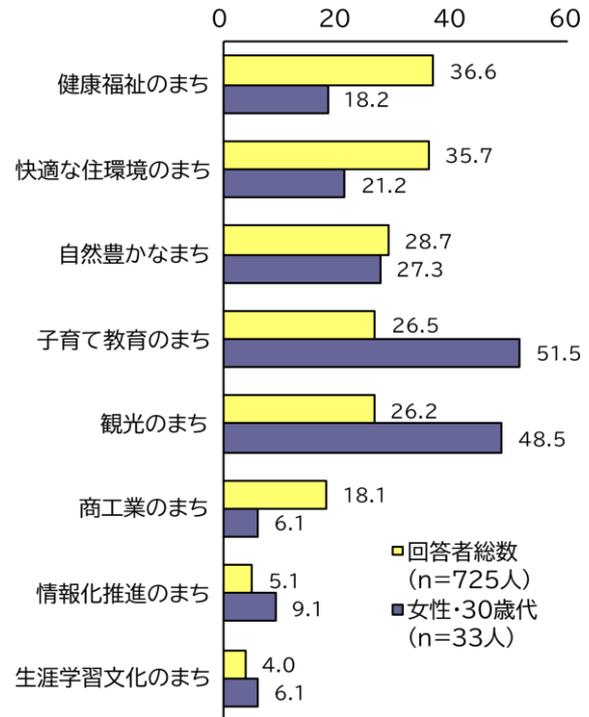


3-3 今後のまちづくりの特色（問8）

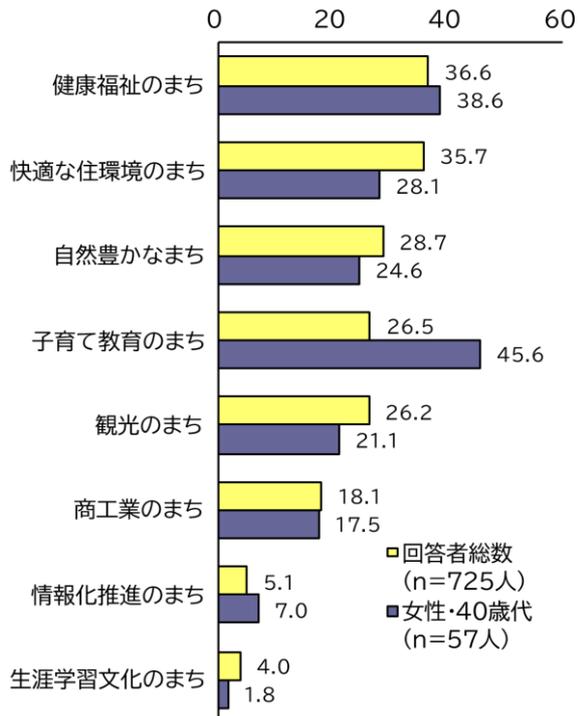
⑦女性・10～20歳代



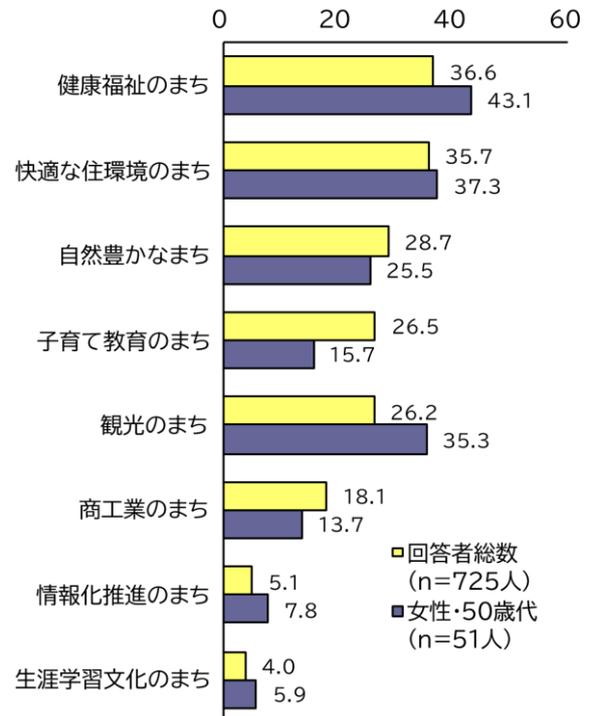
⑧女性・30歳代



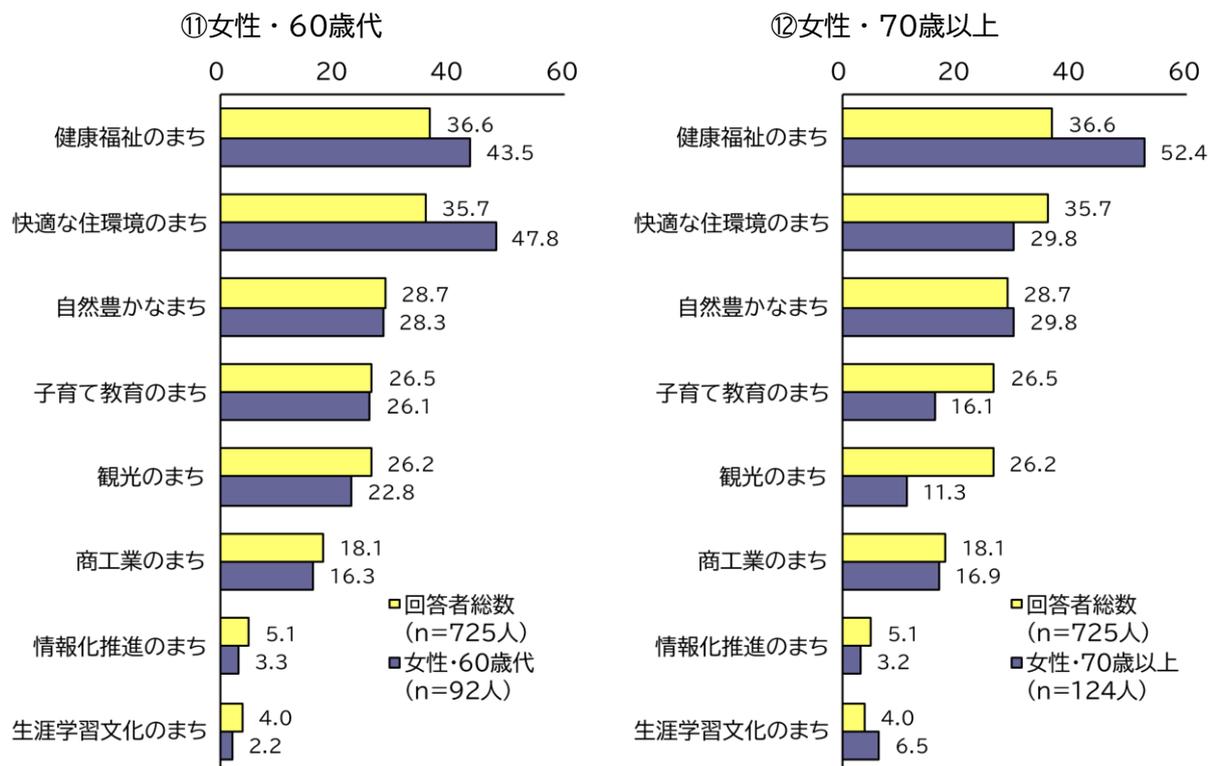
⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



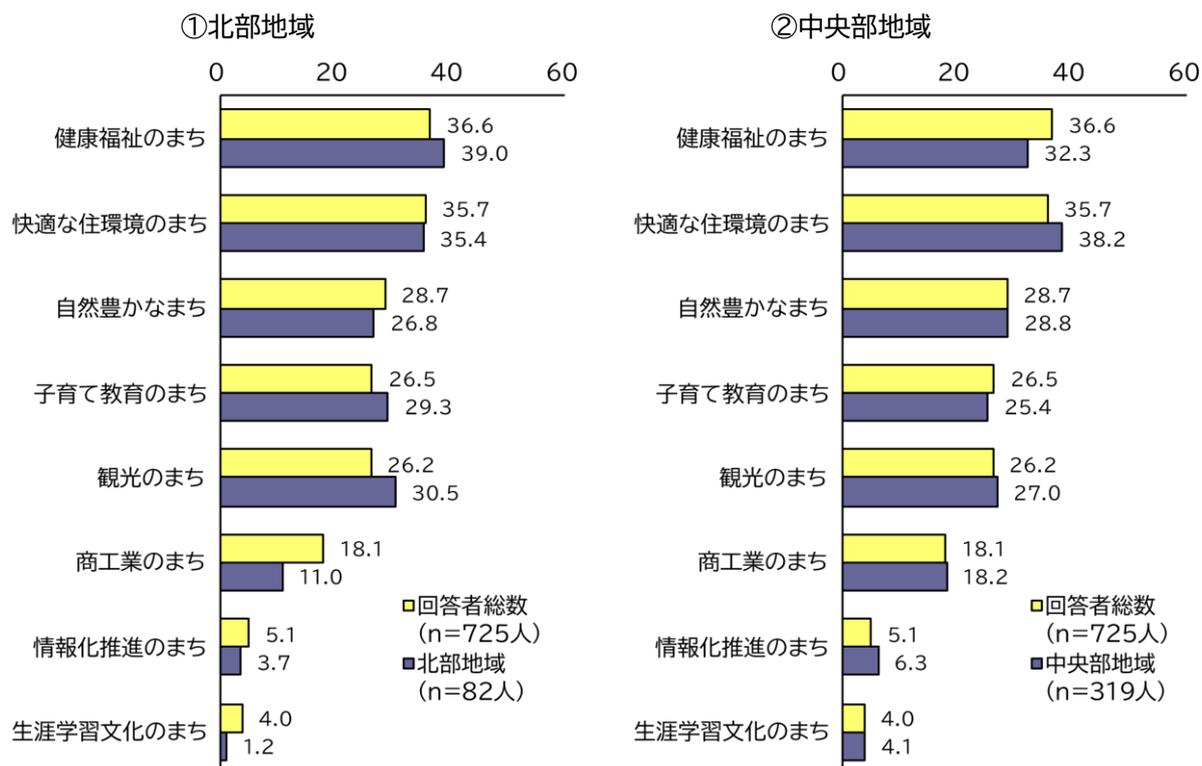
3-3 今後のまちづくりの特色（問8）



【居住地域別】

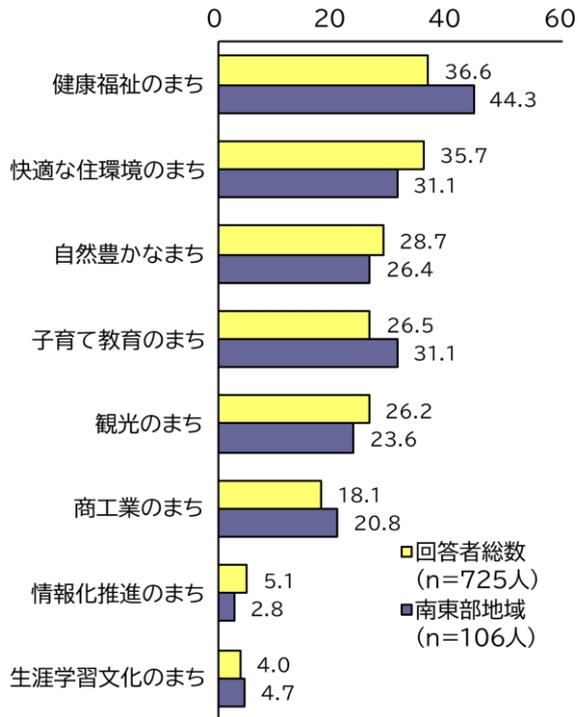
これを居住地域別にみると、南東部地域は他の地域に比べて「健康福祉のまち」の割合が高く、南西部地域は「快適な住環境のまち」の割合が高くなっています。また、西部地域は「自然豊かなまち」の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた今後のまちづくりの特色（複数回答）（単位：％）

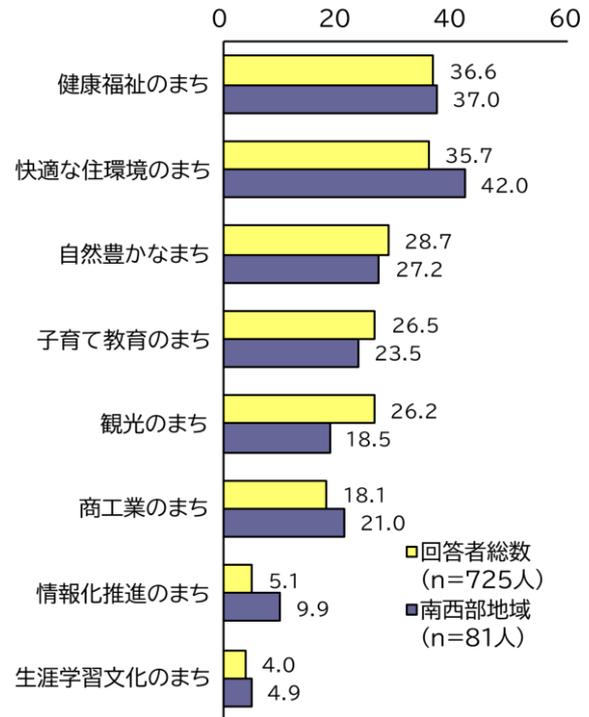


3-3 今後のまちづくりの特色（問8）

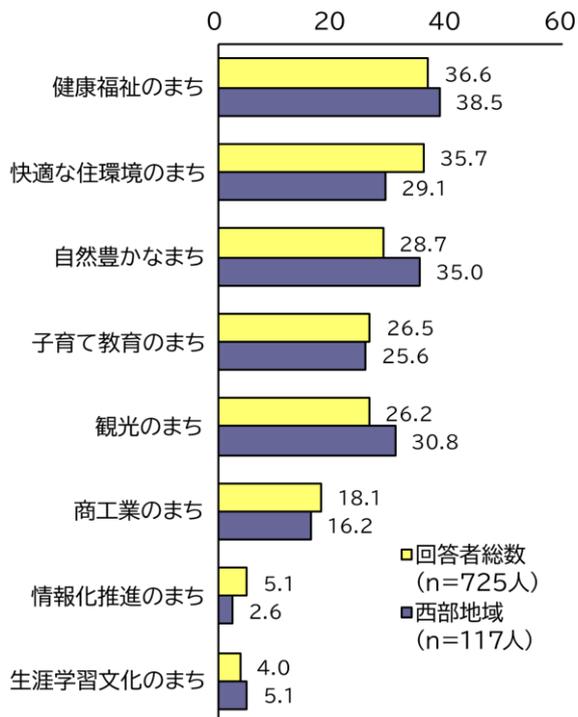
③南東部地域



④南西部地域



⑤西部地域



第4節 日頃の行動等について

4-1 町の情報の入手先（問9）

問9 あなたは、町政や町の行事等について、どこから情報を得ていますか。（主なものを2つまで○印）

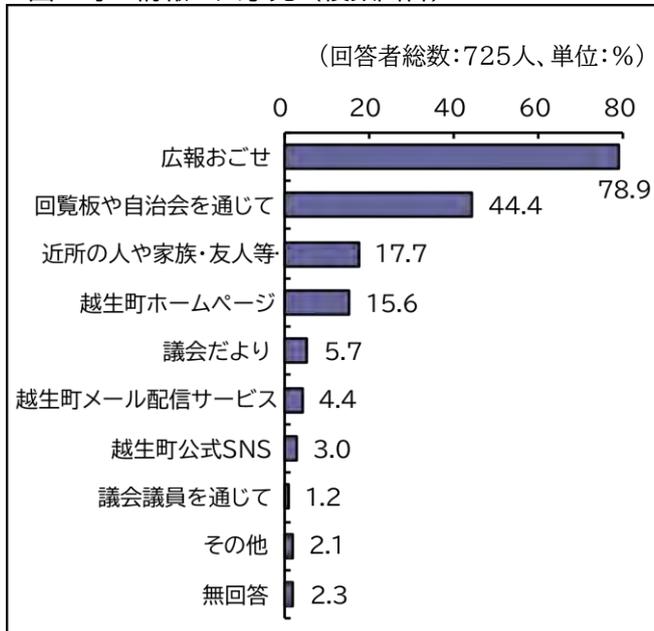
「広報おごせ」が最も多い

町の情報の入手先（複数回答）については、「広報おごせ」が78.9%で最も多く、次いで「回覧板や自治会を通じて」が44.4%、「近所の人や家族・友人等から」が17.7%が続いています。

表 町の情報の入手先（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
広報おごせ	572 (78.9)
回覧板や自治会を通じて	322 (44.4)
近所の人や家族・友人等から	128 (17.7)
越生町ホームページ	113 (15.6)
議会だより	41 (5.7)
越生町メール配信サービス	32 (4.4)
越生町公式SNS	22 (3.0)
議会議員を通じて	9 (1.2)
その他	15 (2.1)
無回答	17 (2.3)

図 町の情報の入手先（複数回答）

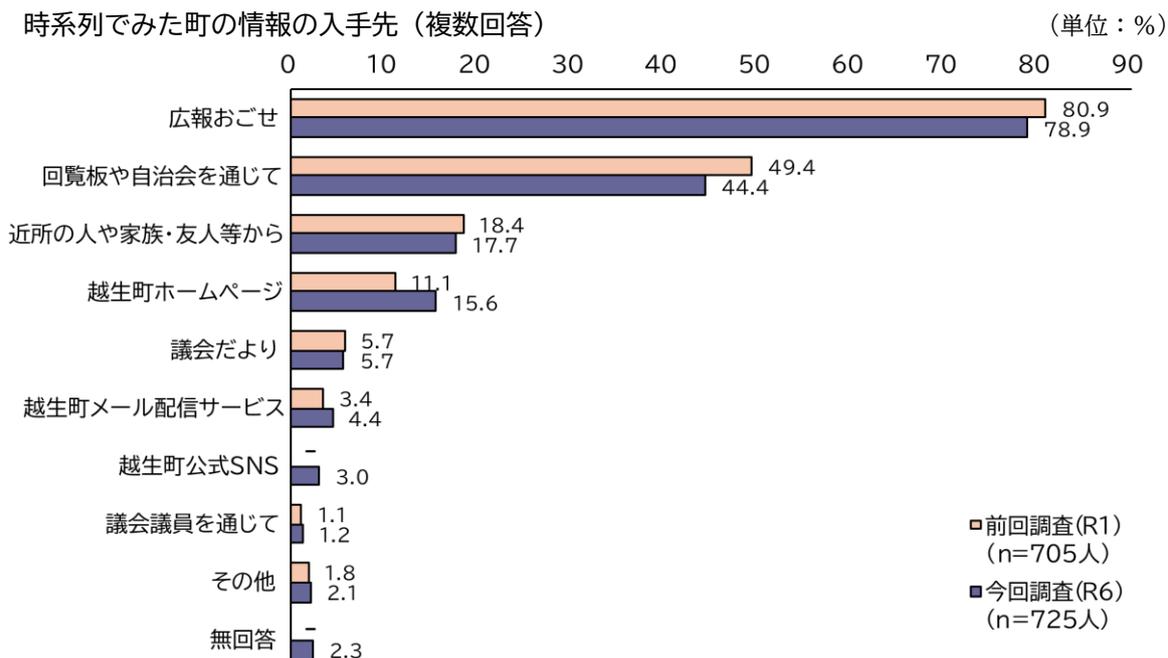


※この設問は複数回答であるため、構成比の和は100%を超えることがあります。

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「回覧板や自治会を通じて」の割合が低く、「越生町ホームページ」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた町の情報の入手先（複数回答）



※図中、前回調査になかった項目は、数値を「-」と表示しています。

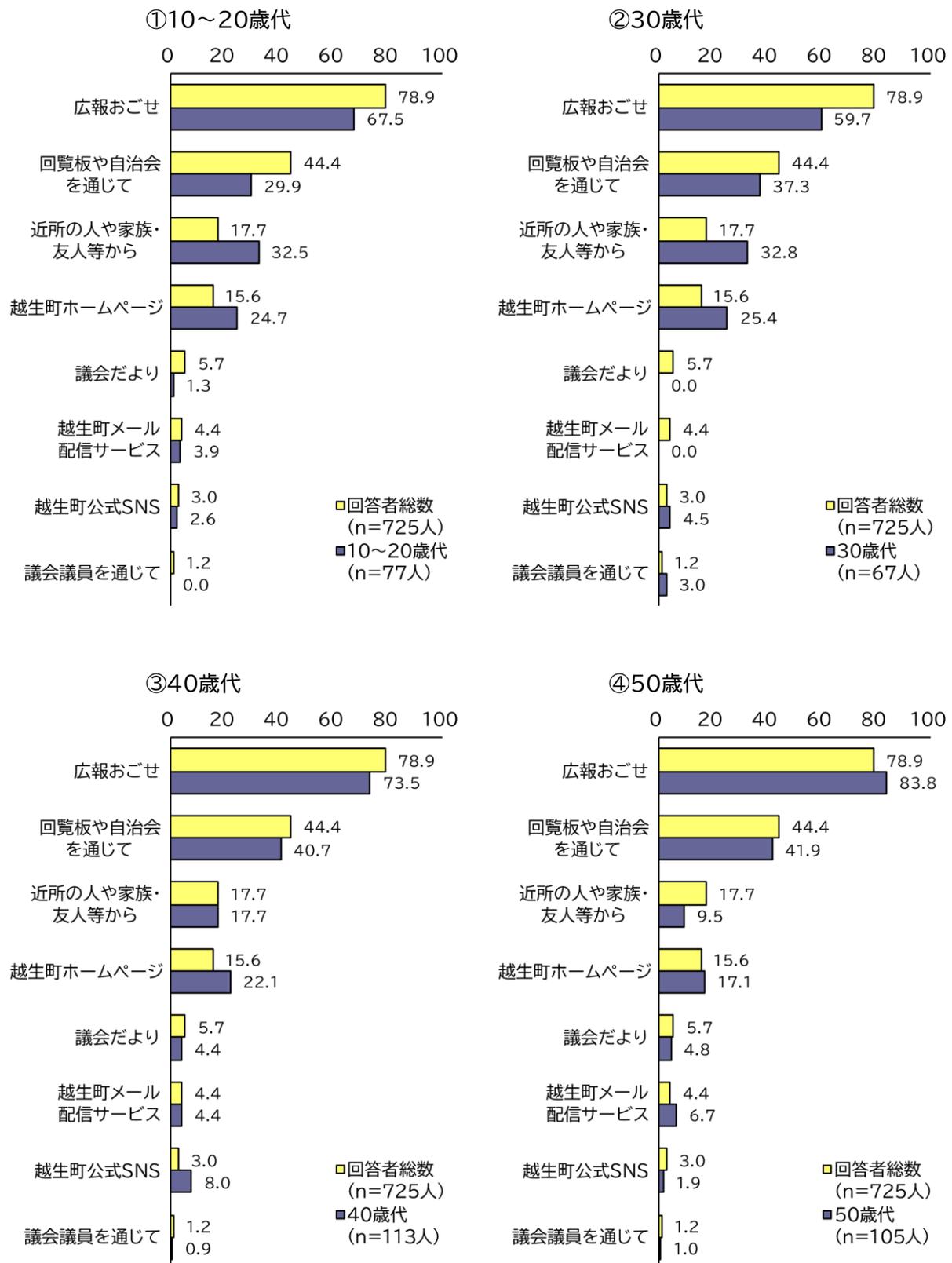
4-1 町の情報の入手先（問9）

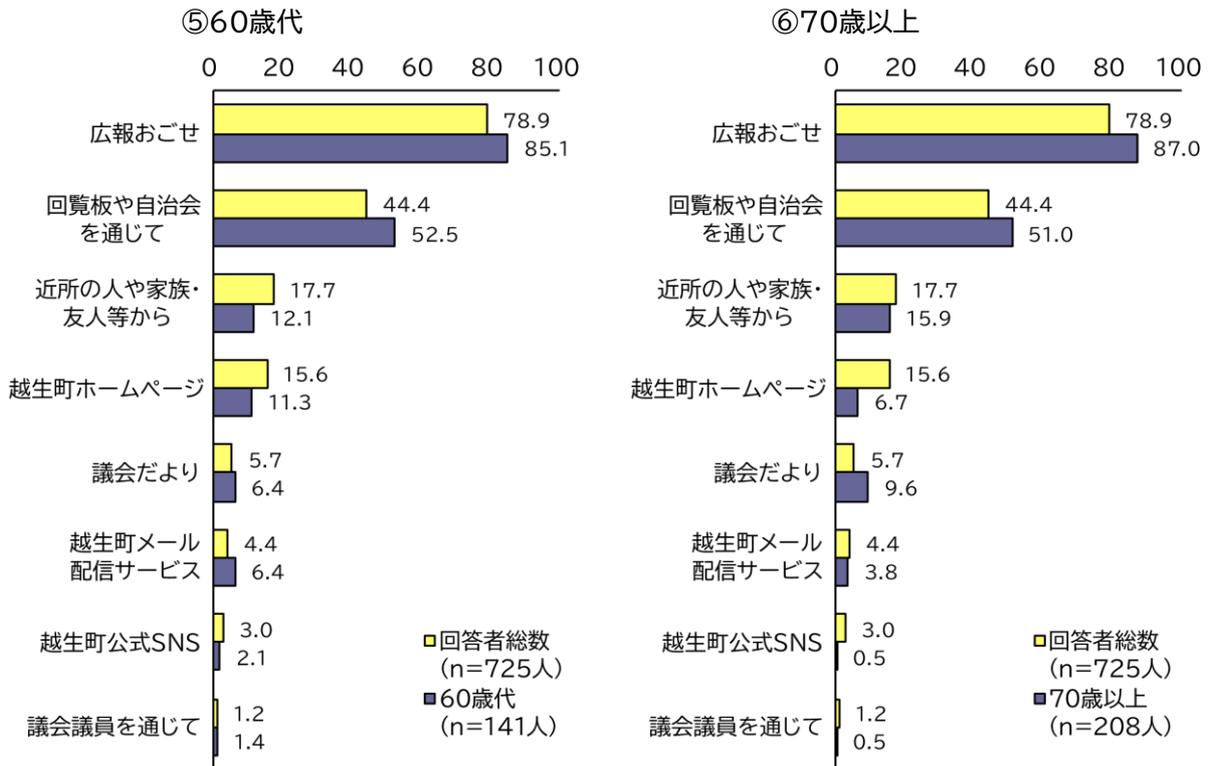
【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「近所の人や家族・友人等から」の割合が高くなっています。また、60歳代及び70歳以上は「広報おごせ」及び「回覧板や自治会を通じて」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた町の情報の入手先（複数回答）

（単位：％）



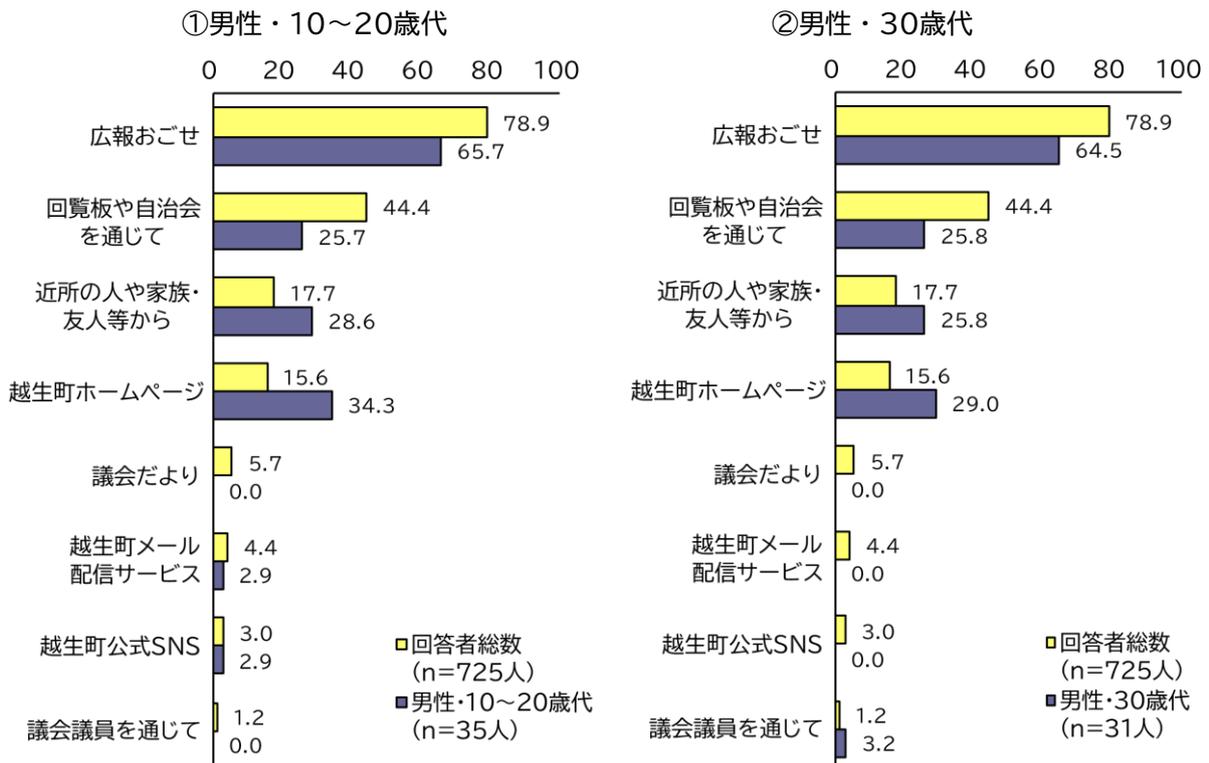


【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性・10～20歳代及び男性・30歳代は他の回答者に比べて「越生町ホームページ」の割合が高く、女性・10～20歳代及び女性・30歳代は「近所の人や家族・友人等から」の割合が高くなっています。また、女性・60歳代及び女性・70歳以上は「広報おごせ」及び「回覧板や自治会を通じて」の割合が高くなっています。

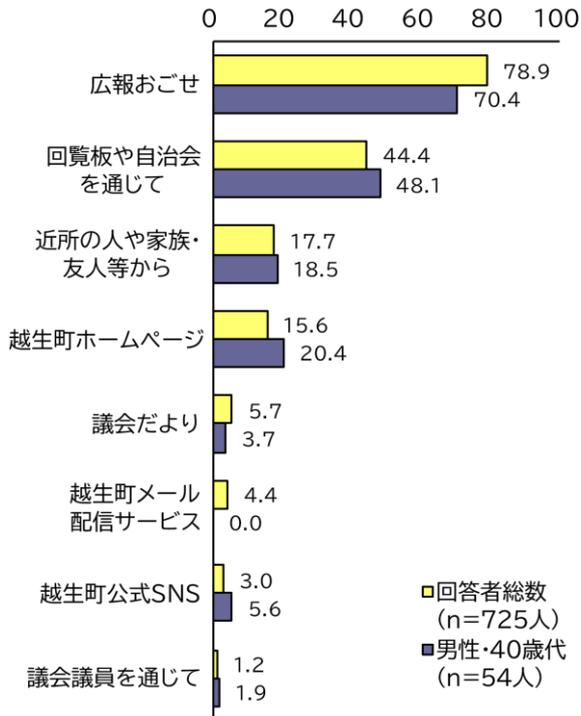
図 性・年齢別でみた町の情報の入手先（複数回答）

（単位：％）

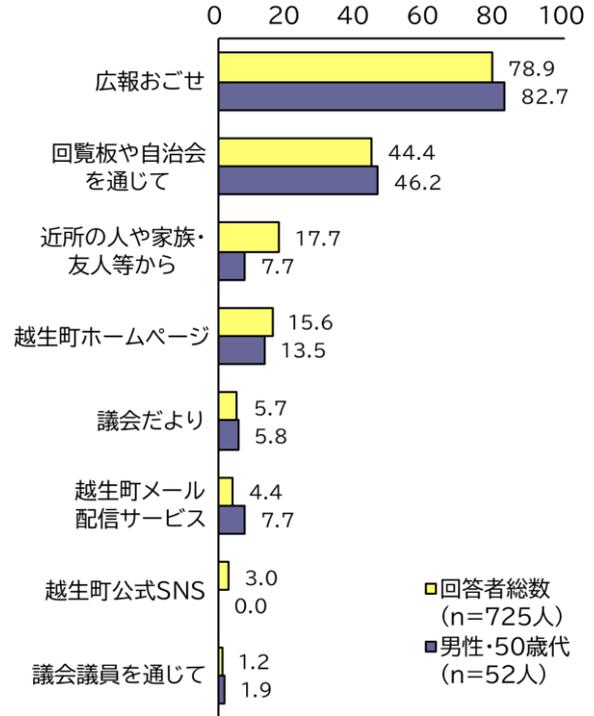


4-1 町の情報の入手先（問9）

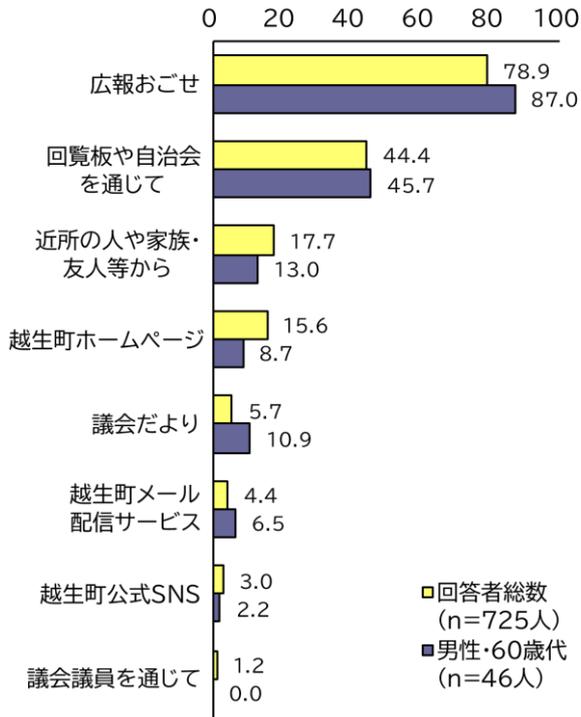
③男性・40歳代



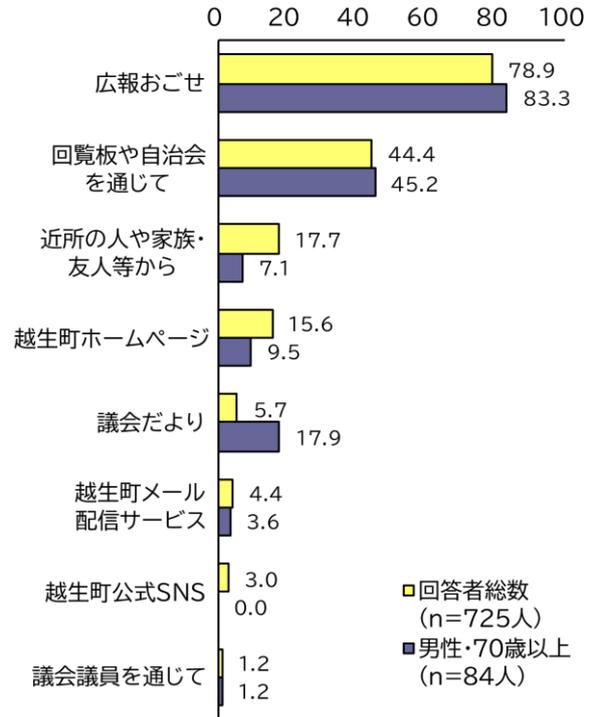
④男性・50歳代



⑤男性・60歳代

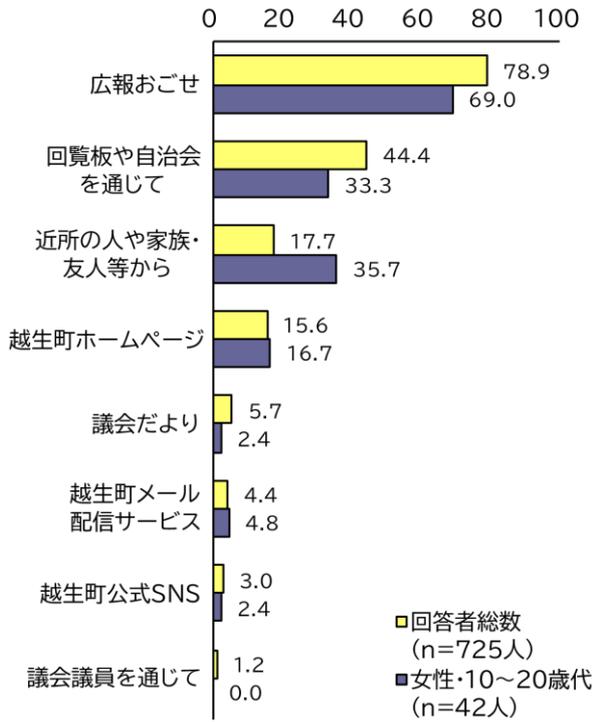


⑥男性・70歳以上

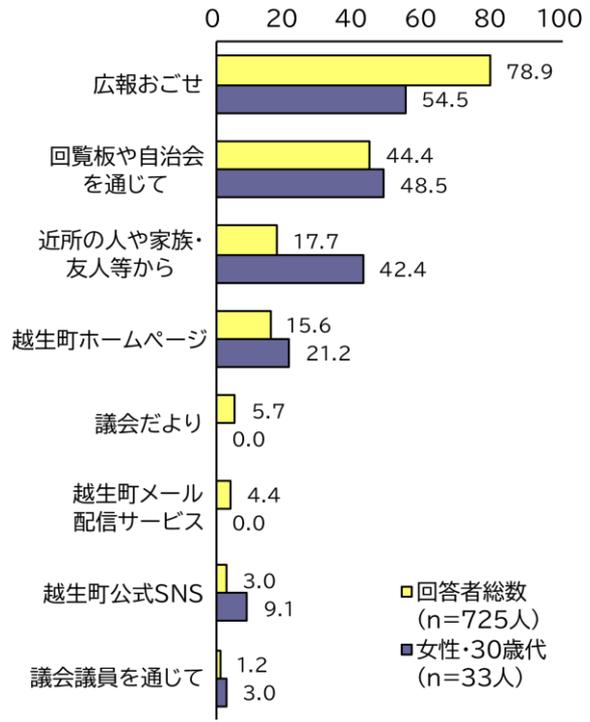


4-1 町の情報の入手先（問9）

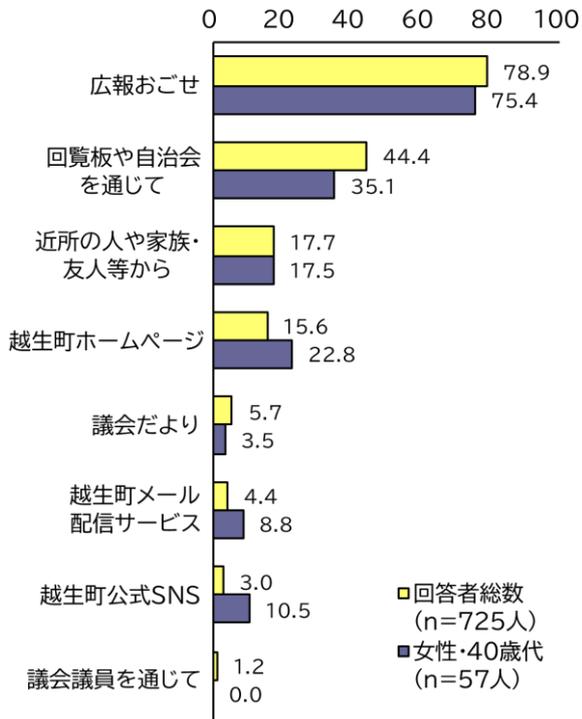
⑦女性・10～20歳代



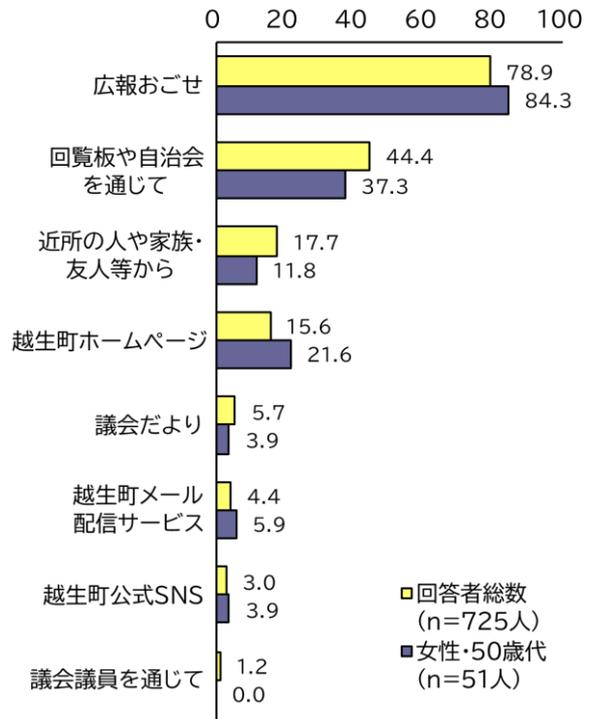
⑧女性・30歳代



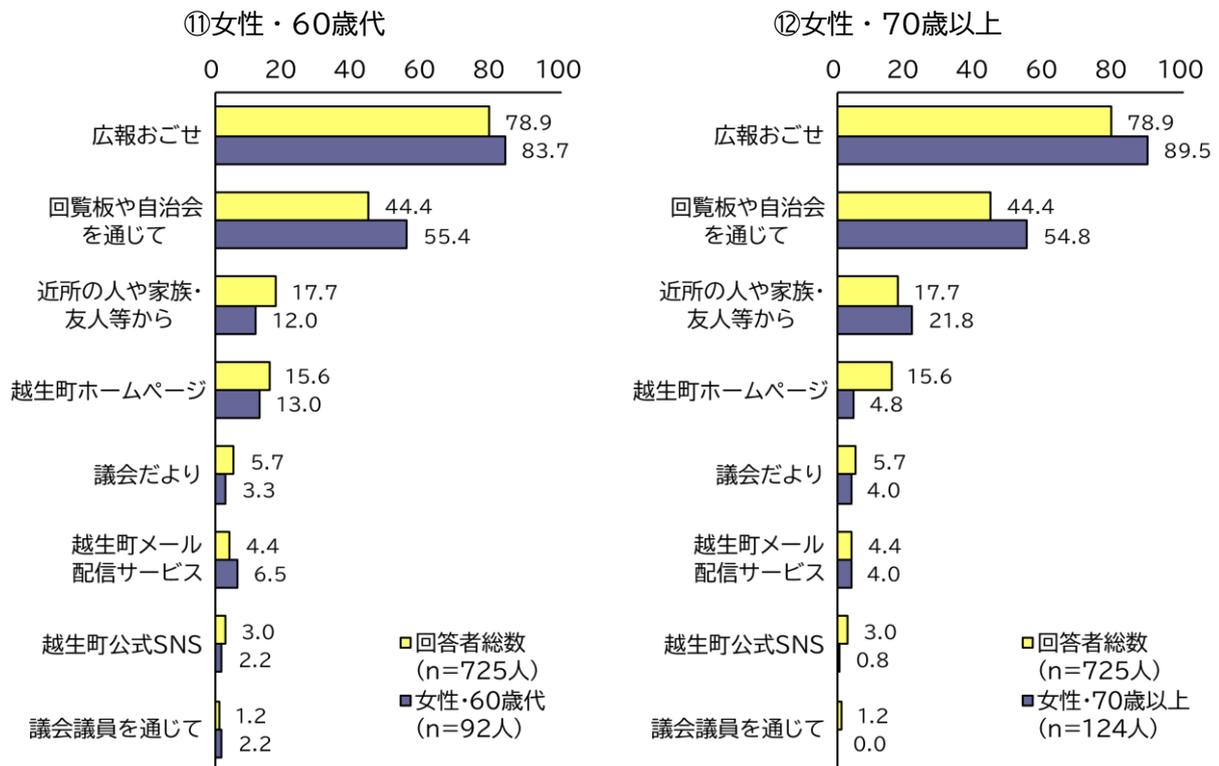
⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



4-1 町の情報の入手先（問9）

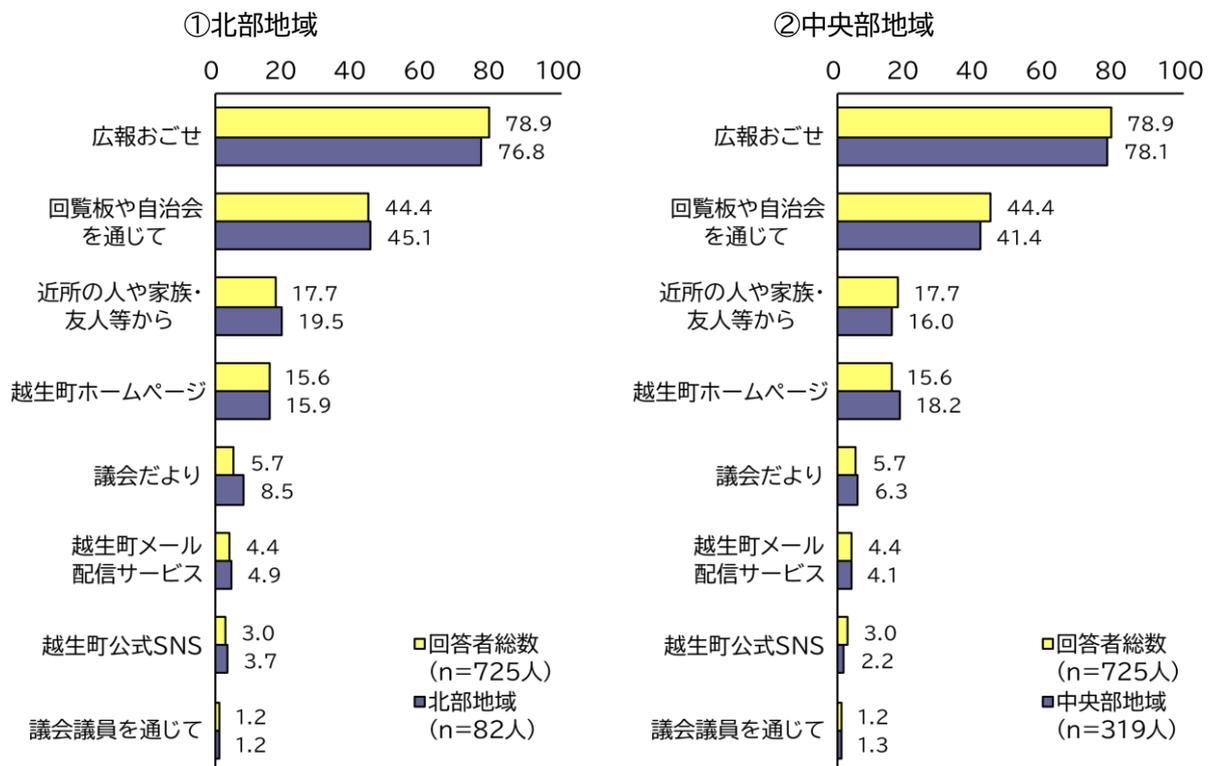


【居住地域別】

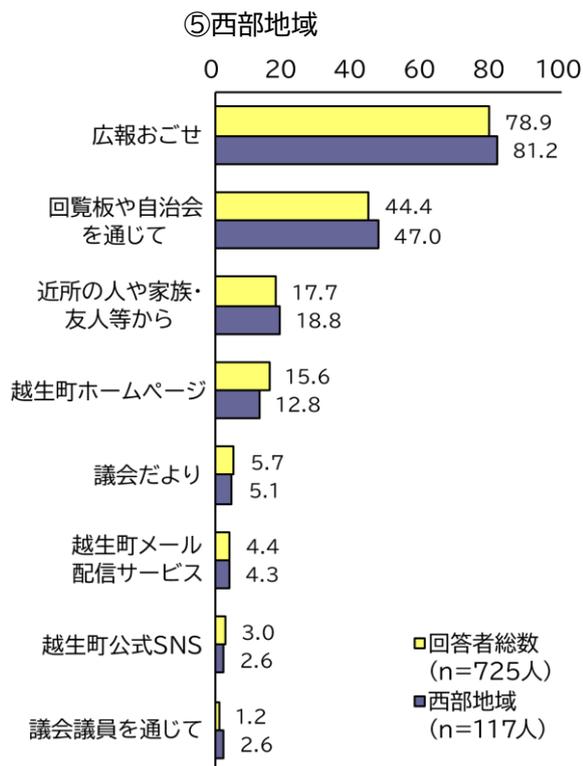
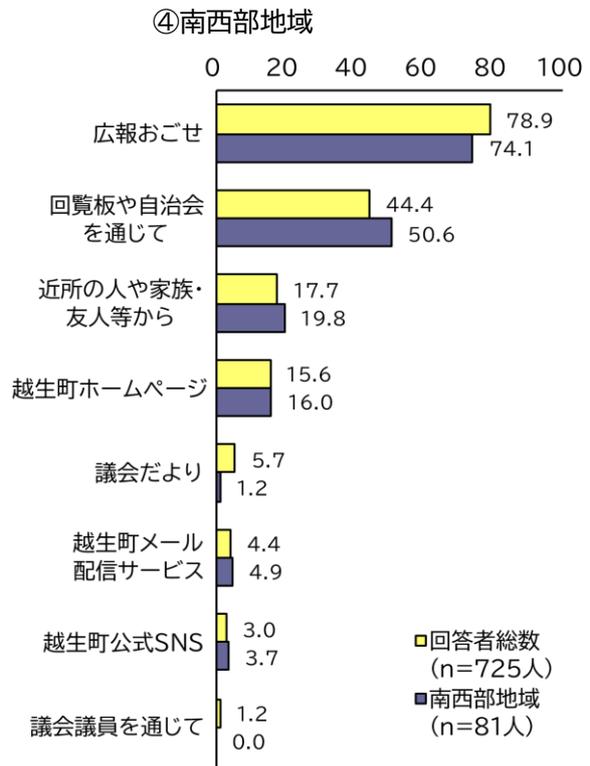
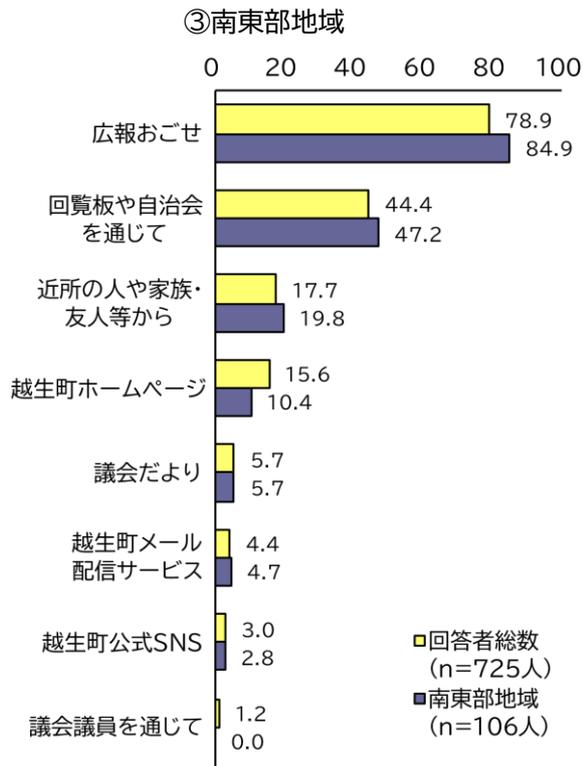
これを居住地域別にみると、特に顕著な違いはみられません。

図 居住地域別でみた町の情報の入手先（複数回答）

（単位：％）



4-1 町の情報の入手先（問9）



4-2 町政への関心の有無（問10）

問10 あなたは、町政に関心がありますか。（1つに○印）

“関心がある”が44.2%

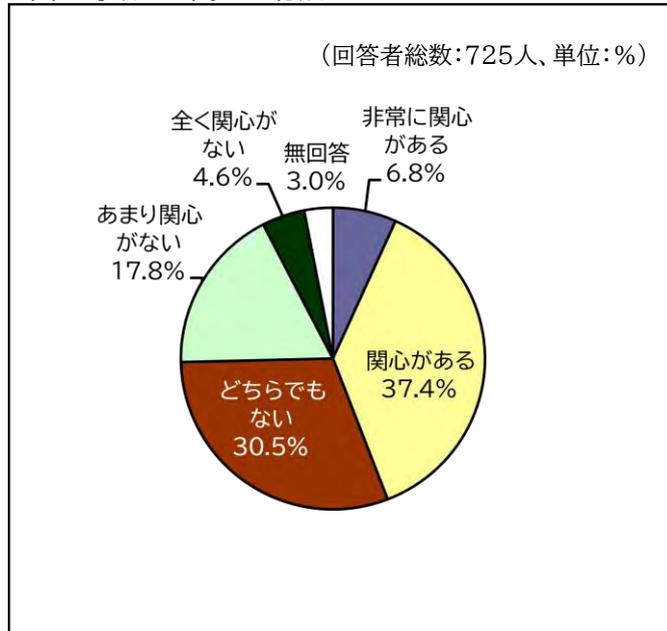
町政への関心の有無については、「非常に関心がある」が6.8%、「関心がある」が37.4%であり、これらを合わせると44.2%が“関心がある”と回答しています。

一方、「あまり関心がない」が17.8%、「全く関心がない」が4.6%であり、これらを合わせると22.4%が“関心がない”と回答しています。

表 町政への関心の有無

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
非常に関心がある	49 (6.8)
関心がある	271 (37.4)
どちらでもない	221 (30.5)
あまり関心がない	129 (17.8)
全く関心がない	33 (4.6)
無回答	22 (3.0)

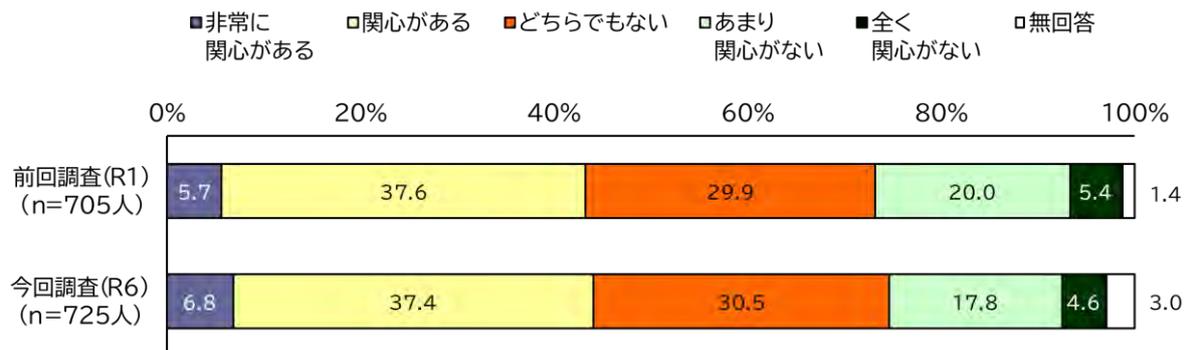
図 町政への関心の有無



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

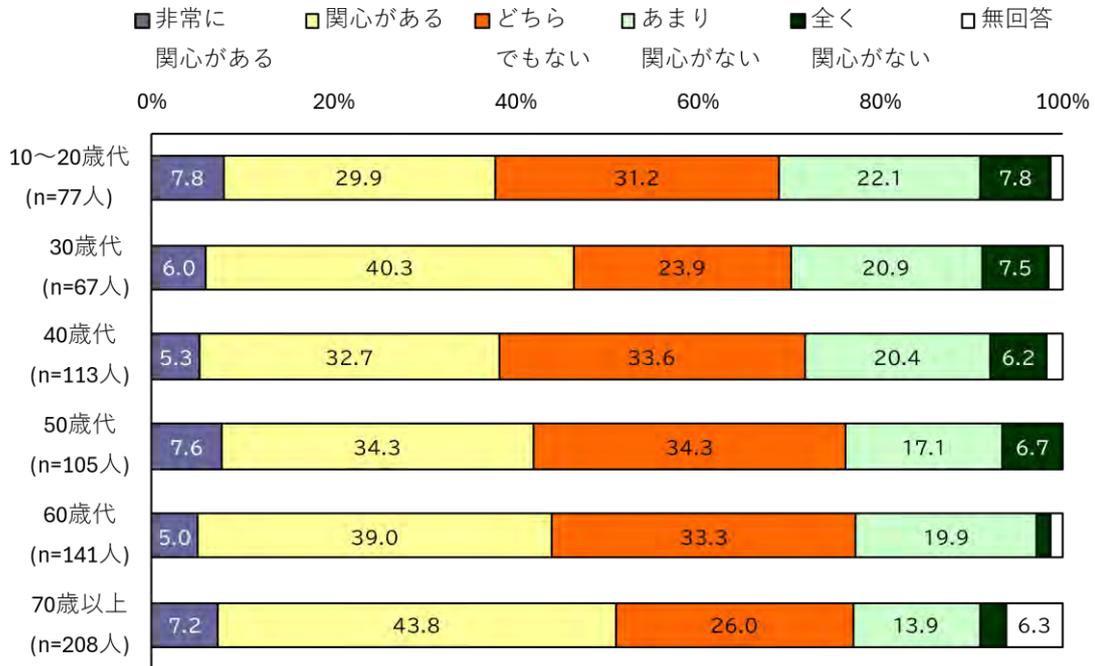
図 時系列でみた町政への関心の有無



【年齢別】

これを年齢別にみると、30歳代、60歳代及び70歳以上は他の回答者に比べて“関心がある”の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた町政への関心の有無

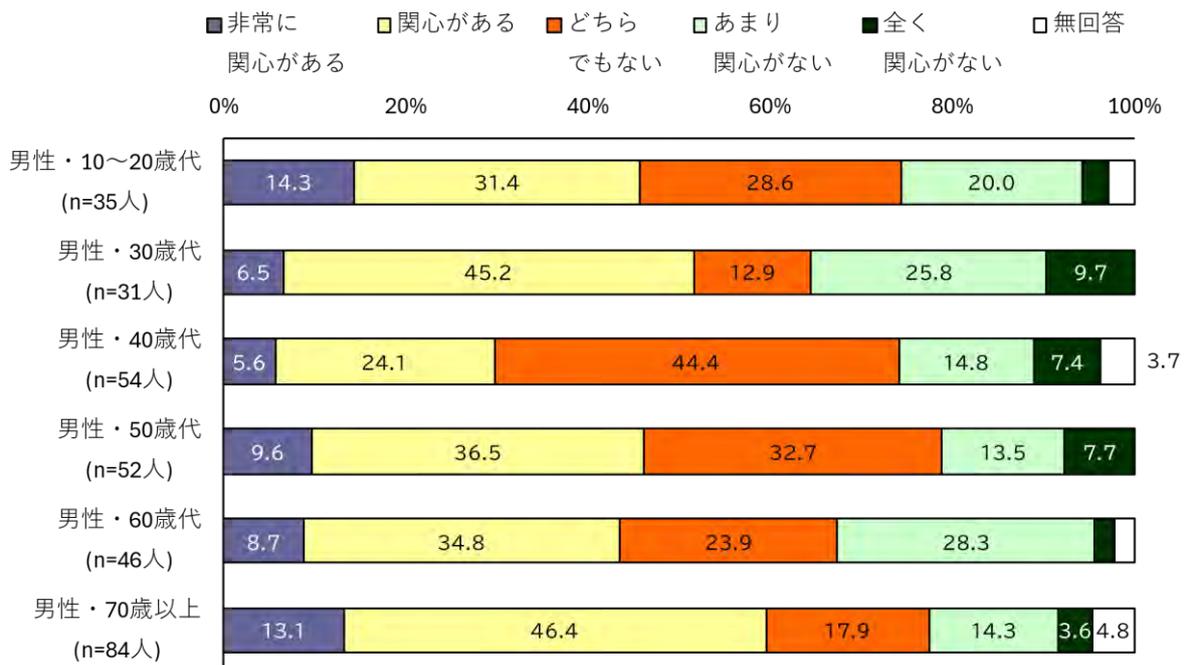


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性・30歳代及び男性・70歳以上は他の回答者に比べて“関心がある”の割合が高くなっています。

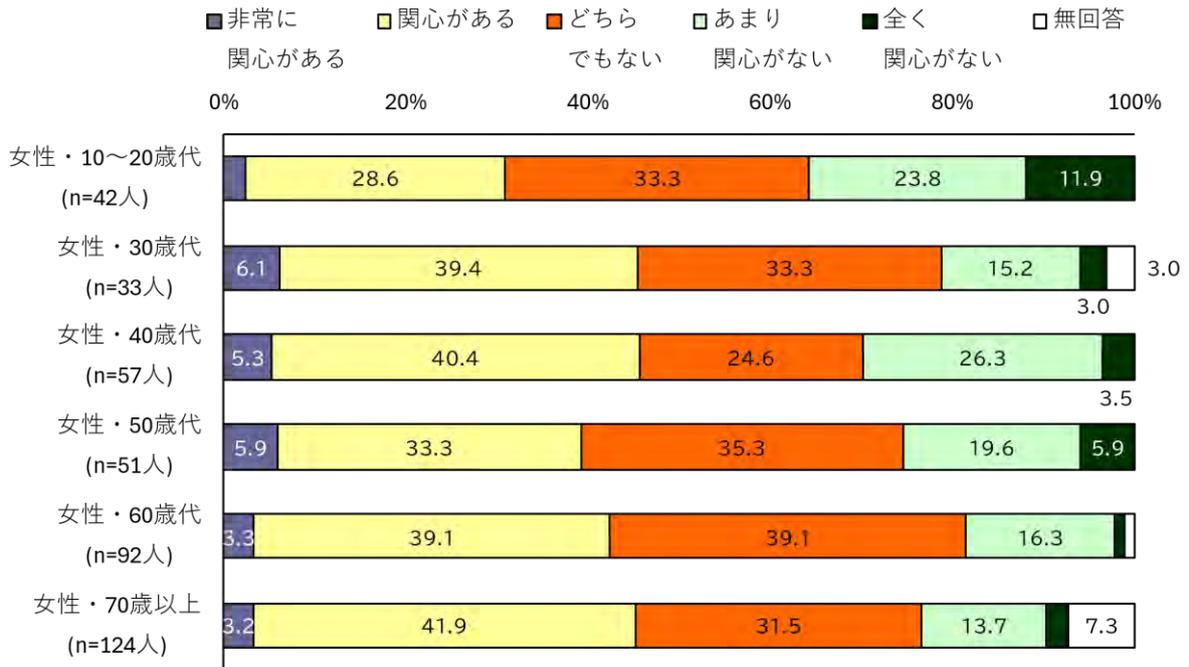
図 性・年齢別でみた町政への関心の有無（①男性）



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

4-2 町政への関心の有無（問10）

図 性・年齢別でみた町政への関心の有無（②女性）

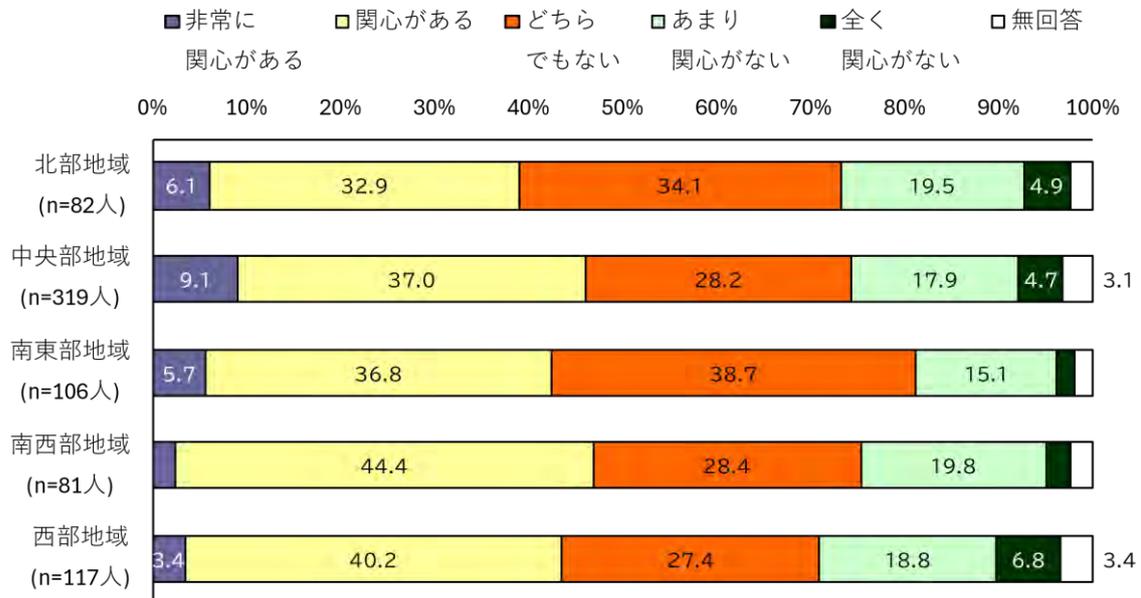


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、中央部地域及び南西部地域は他の地域に比べて“関心がある”の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた町政への関心の有無



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

4-3 町の観光名所（問11）

問 11 あなたは、友人等の来訪者があり、越生町の観光名所を案内することになった場合、どこを案内しますか（季節は問いません）。(1つに○印)

「越生梅林」が最も多い

町の観光名所については、「越生梅林（梅まつり）」が25.2%で最も多く、次いで「越生まつり」が20.4%、「黒山三滝（滝開き）」が16.6%が続いています。

表 町の観光名所

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
越生梅林(梅まつり)	183 (25.2)
越生まつり	148 (20.4)
黒山三滝(滝開き)	120 (16.6)
世界無名戦士之墓(展望、花火大会)	80 (11.0)
自然な山や川(ハイキング)	62 (8.6)
さくらの山公園(さくら祭り)	43 (5.9)
上谷の大クス	42 (5.8)
五大尊つつじ公園(つつじ祭り)	41 (5.7)
その他	37 (5.1)
無回答	26 (3.6)

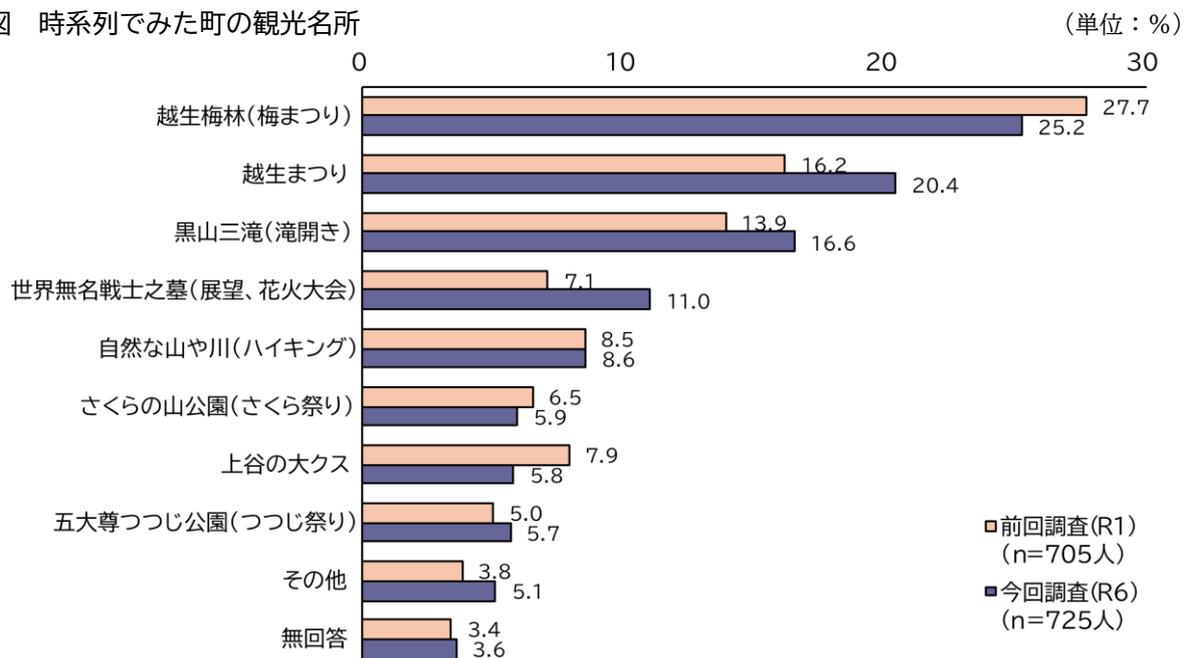
※この設問は単数回答としていますが、複数の項目

を選択する回答者が多かったため、複数回答として集計しました。そのため、構成比の和は100%を超えることがあります。

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「越生梅林（梅まつり）」の割合が低くなっており、「越生まつり」、「黒山三滝（滝開き）」及び「世界無名戦士之墓（展望、花火大会）」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた町の観光名所



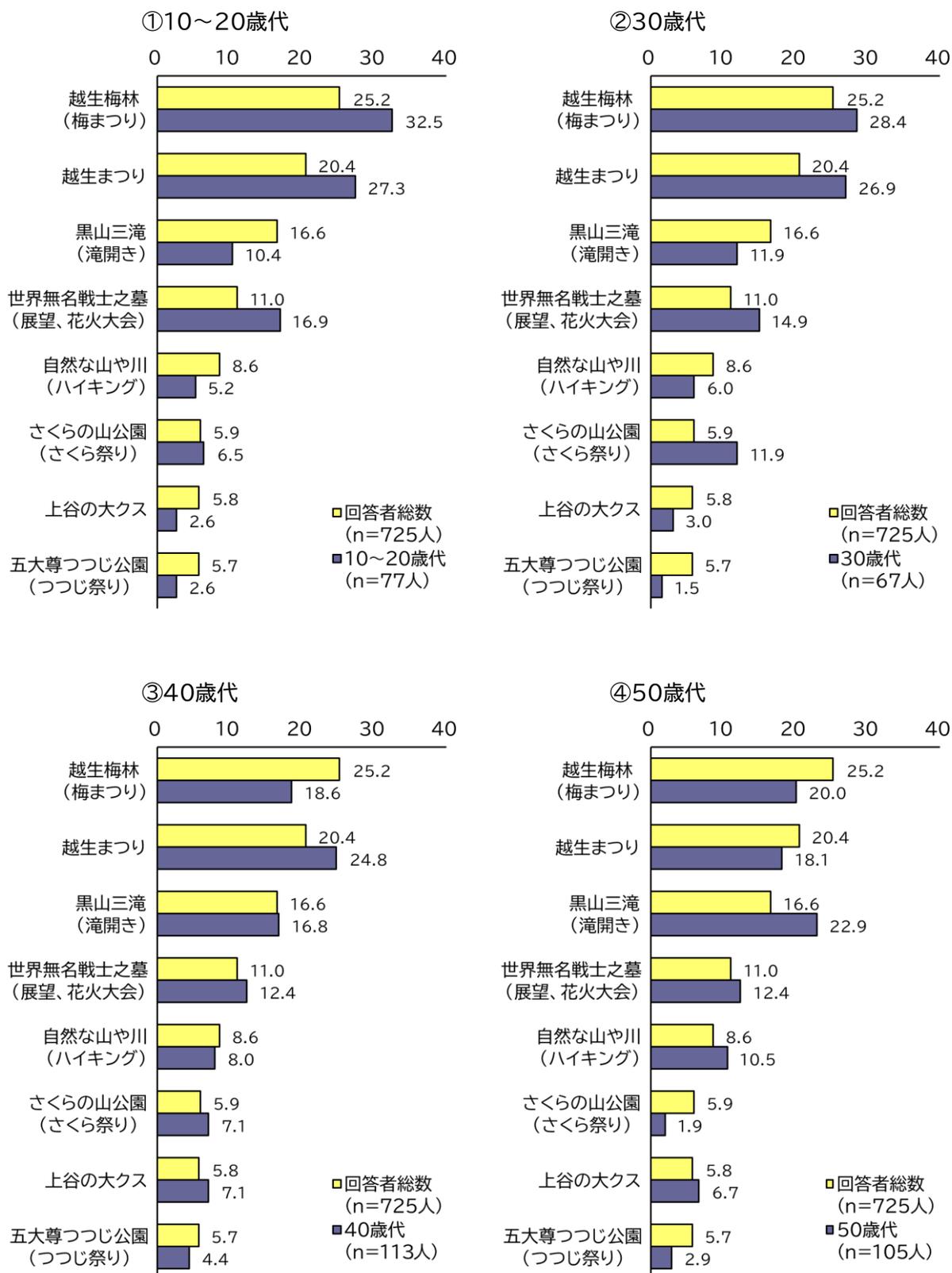
4-3 町の観光名所（問11）

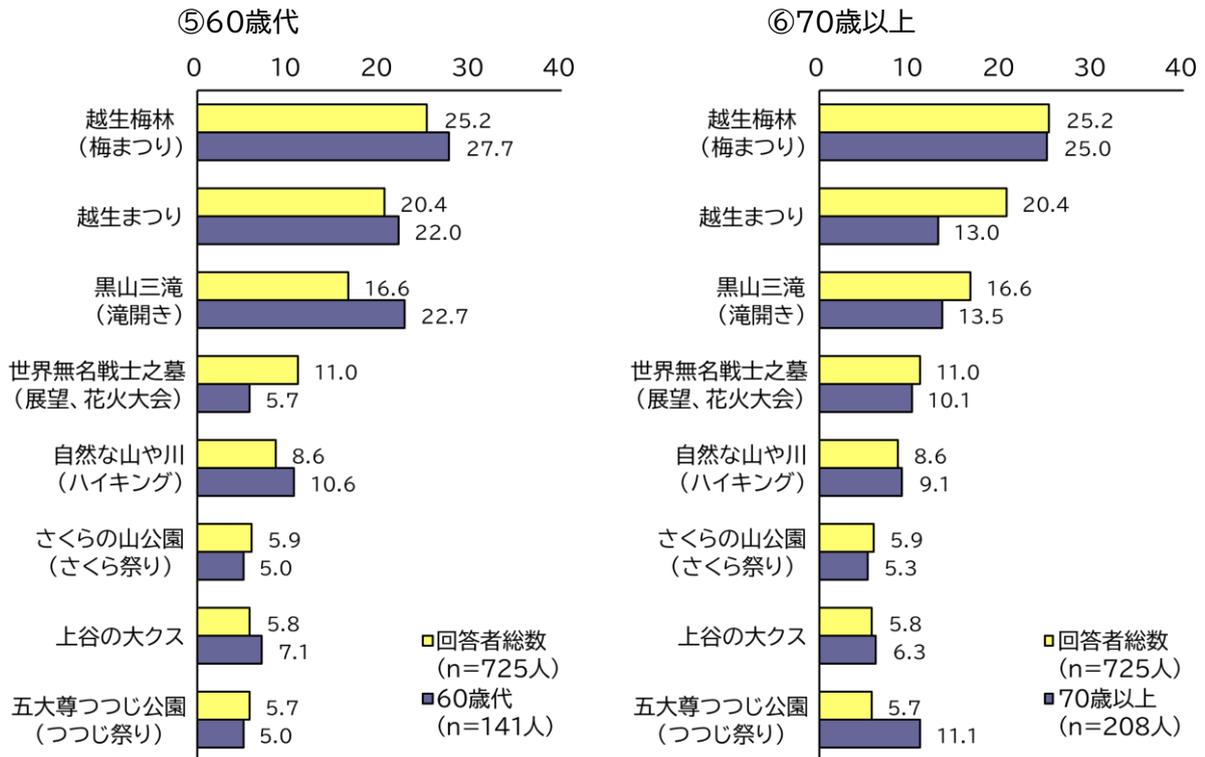
【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「越生梅林（梅まつり）」及び「越生まつり」の割合が高くなっています。また、50歳代及び60歳代は「黒山三滝（滝開き）」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた町の観光名所

（単位：％）



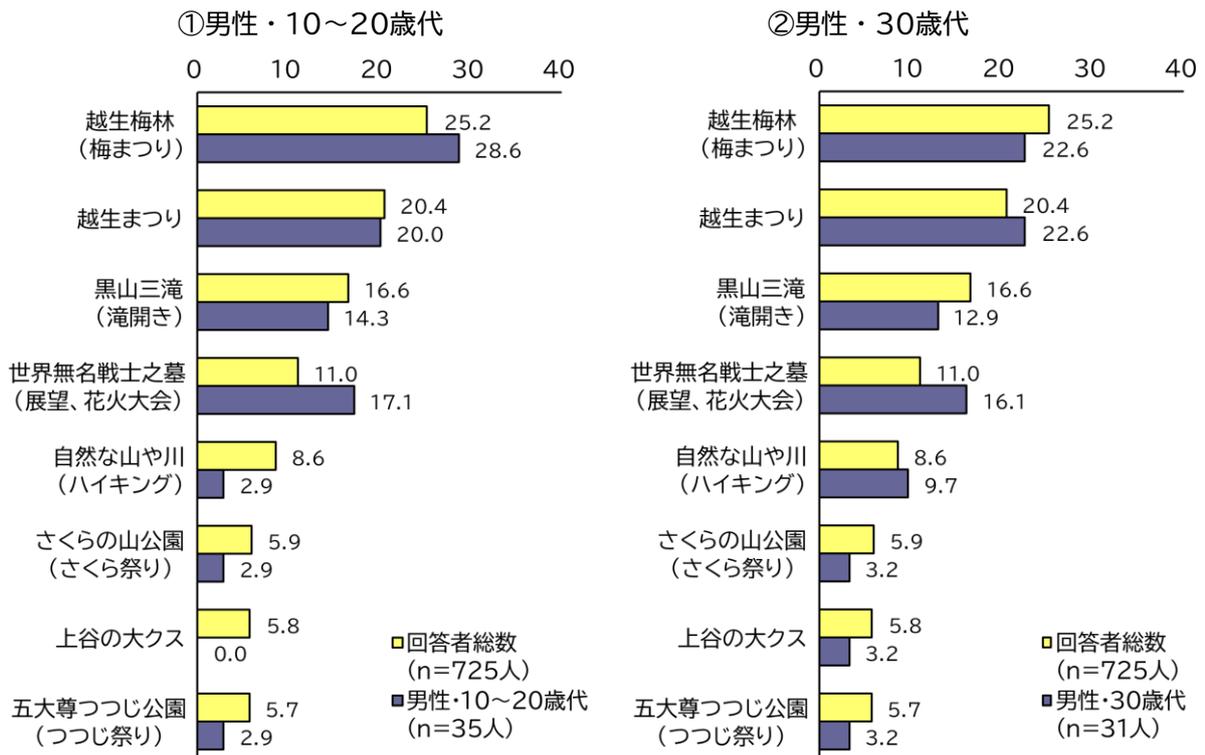


【性・年齢別】

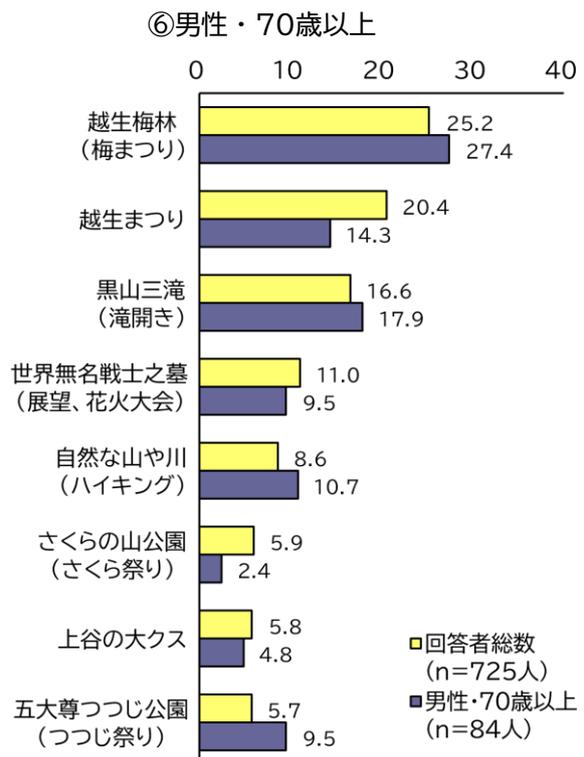
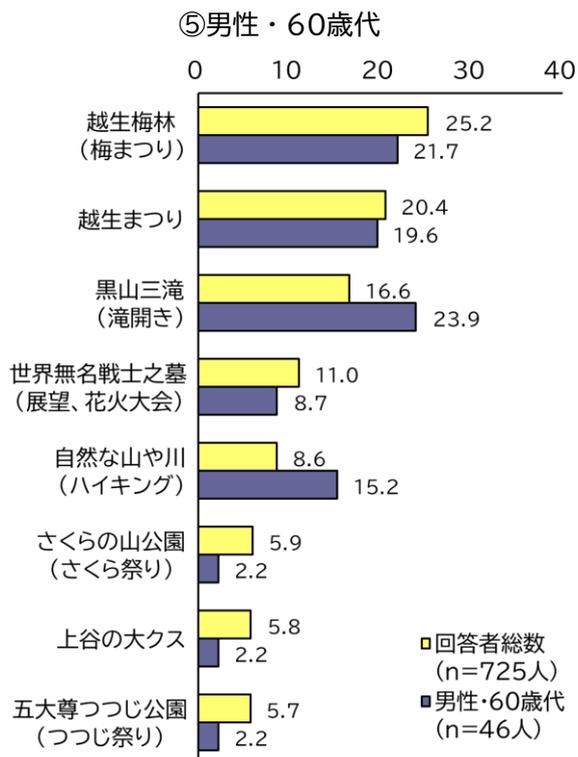
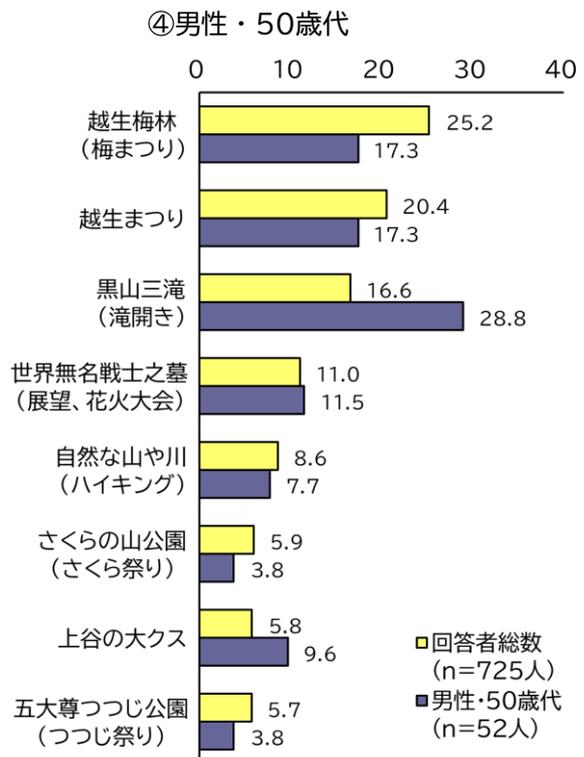
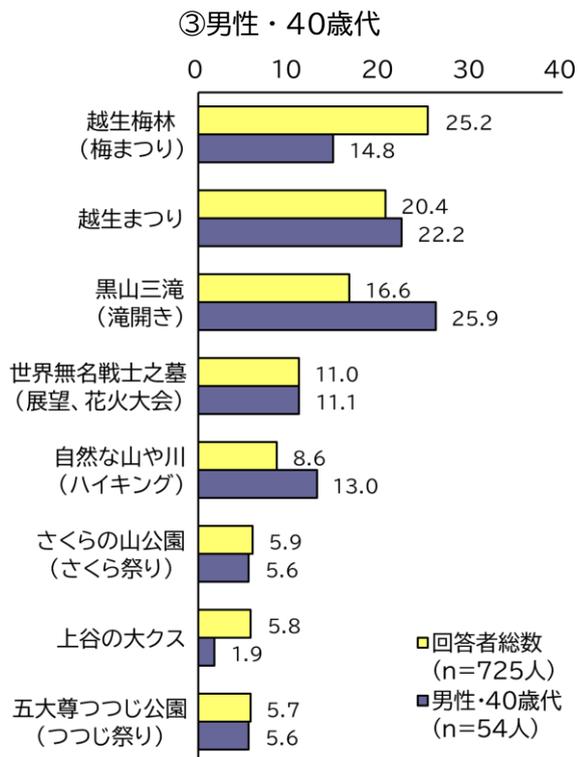
これを性・年齢別にみると、男性・40歳代及び男性・50歳代は他の回答者に比べて「黒山三滝（滝開き）」の割合が高く、女性・10～20歳代及び女性・30歳代は「越生梅林（梅まつり）」及び「越生まつり」の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた町の観光名所

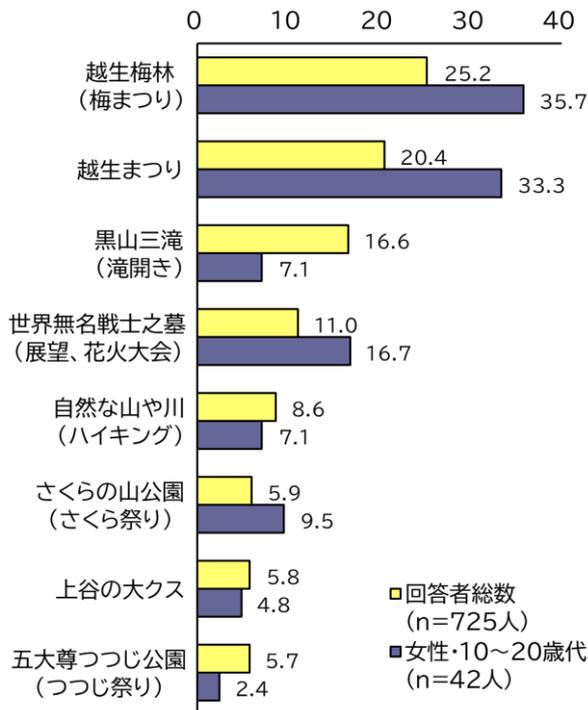
（単位：％）



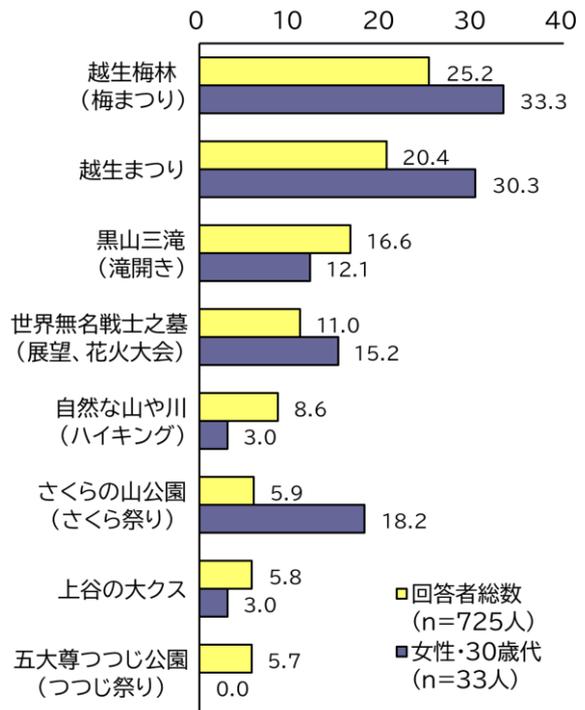
4-3 町の観光名所（問11）



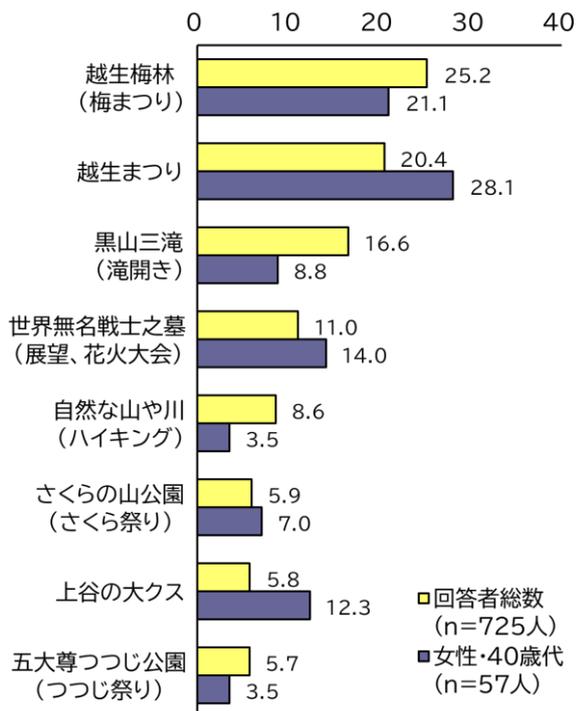
⑦女性・10～20歳代



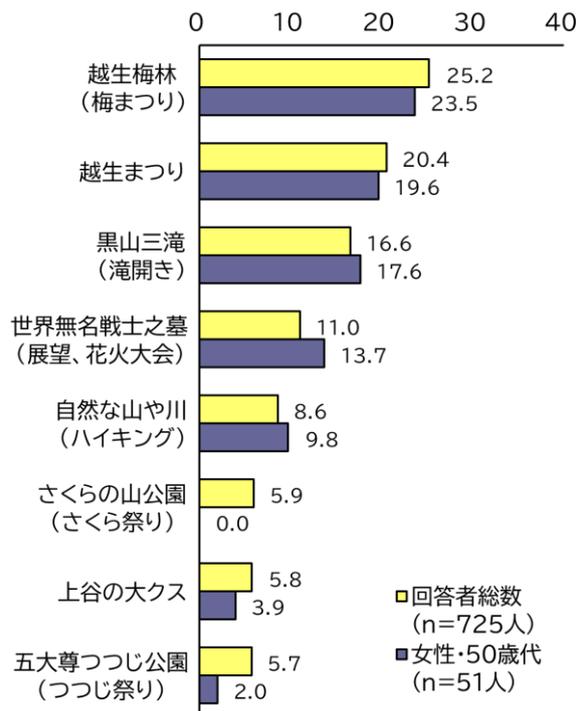
⑧女性・30歳代



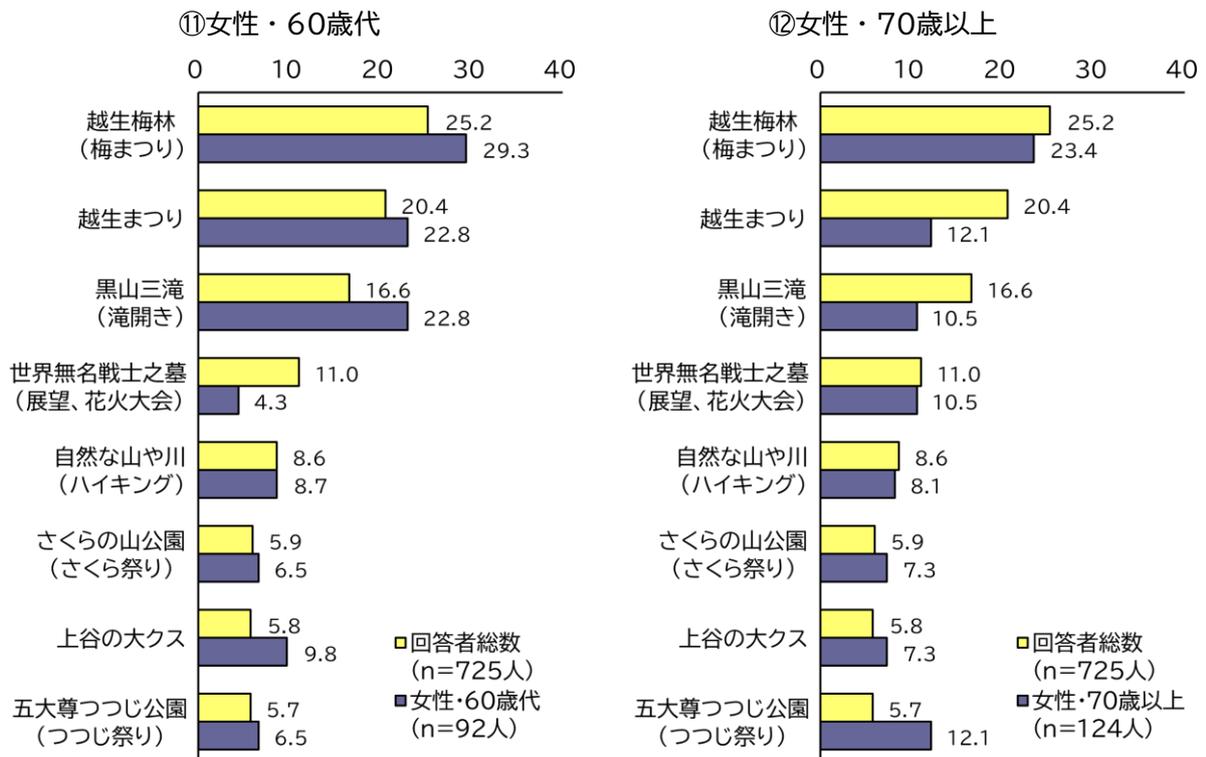
⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



4-3 町の観光名所（問11）

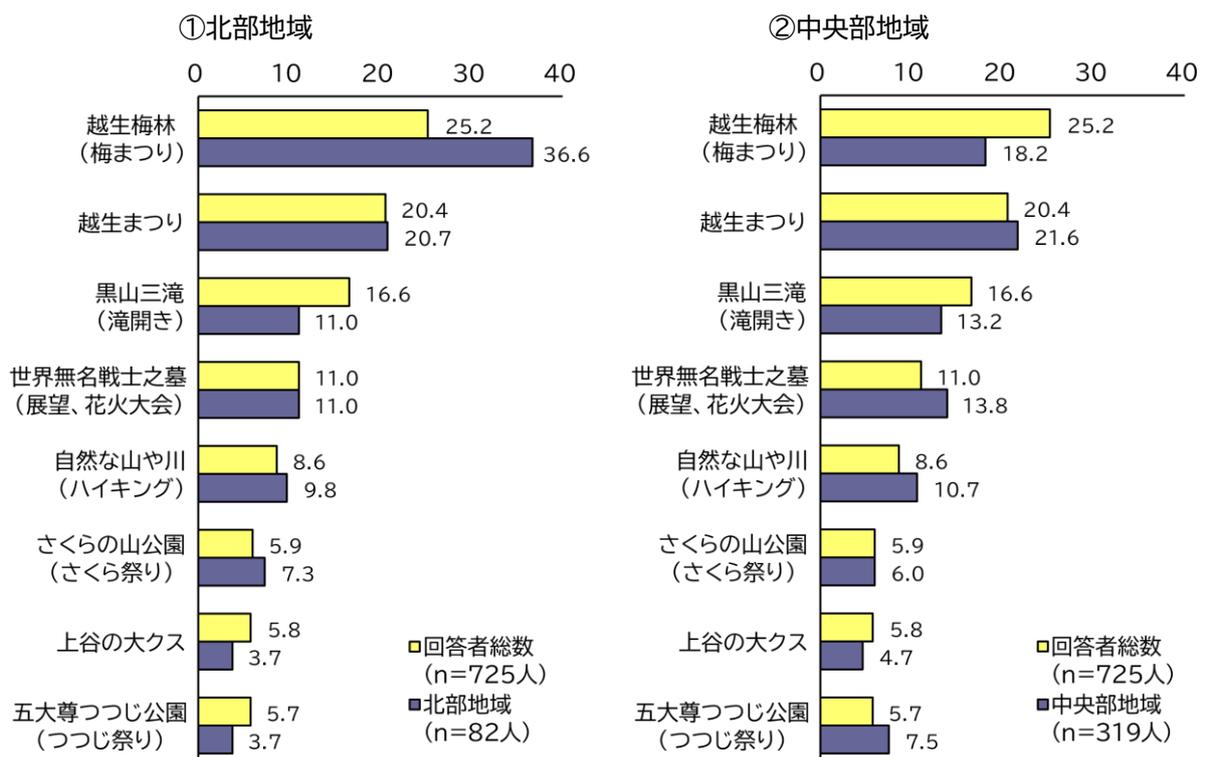


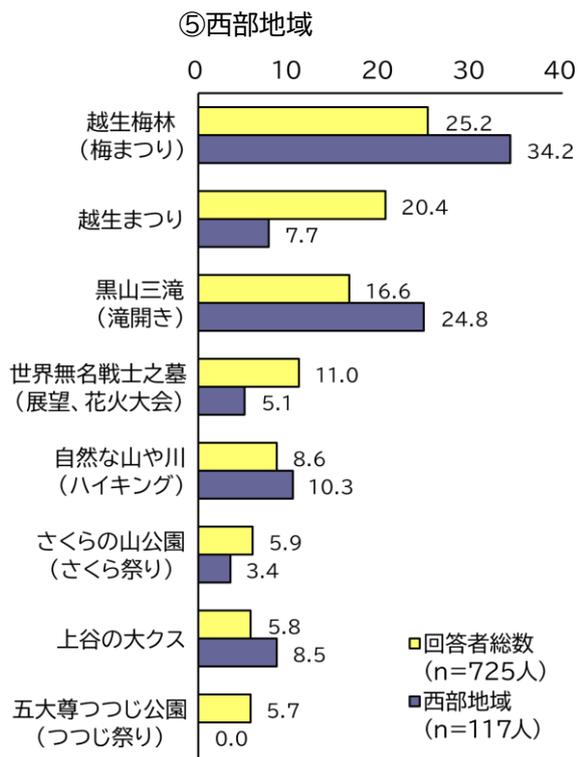
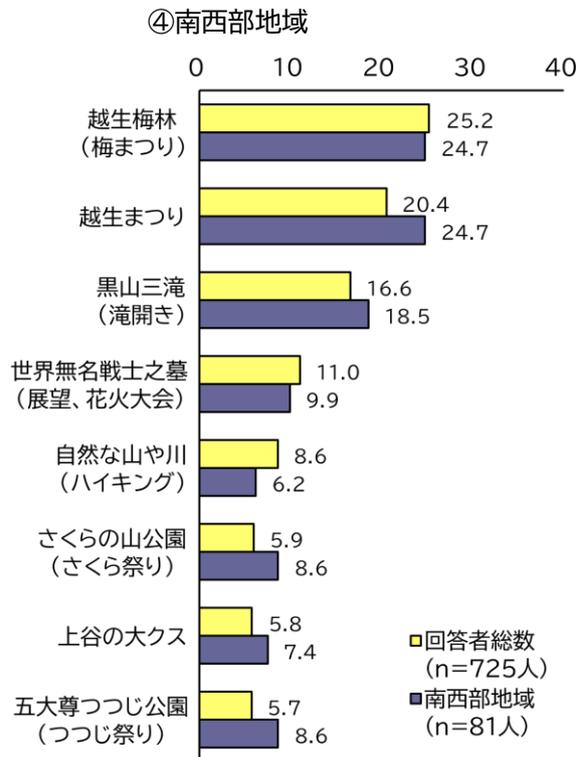
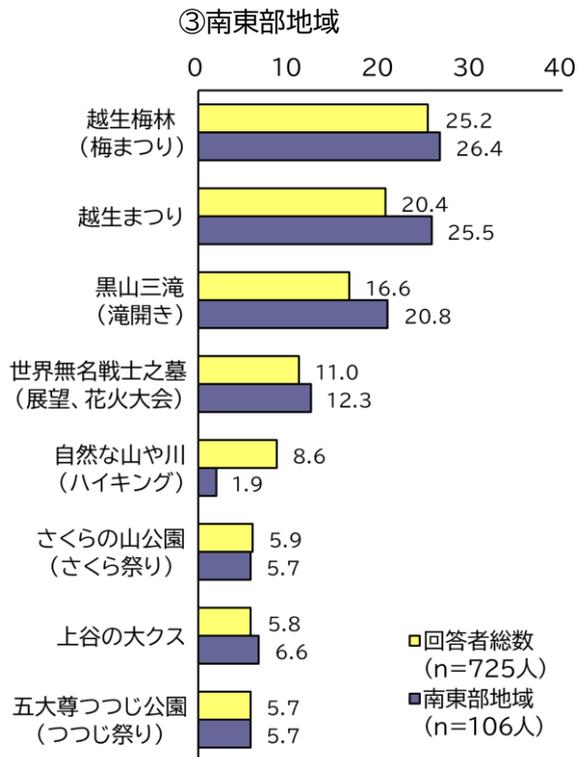
【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域は他の地域に比べて「越生梅林（梅まつり）」の割合が高く、西部地域は「越生梅林（梅まつり）」及び「黒山三滝（滝開き）」の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた町の観光名所

（単位：％）





4-4 生涯学習活動の状況（問12）

問 12 あなたは、文化活動やスポーツ活動、趣味を活かした活動に取り組む、生涯学習をしていますか。（1つに○印）

“参加したい”が38.0%

生涯学習活動の状況については、「興味ある学習に参加しており、今後も続けたい」が16.6%、「学習に参加していないが、今後は参加したい」が21.4%であり、これらを合わせると38.0%が“参加したい”と回答しています。

一方、「学習に参加しているが、今後はやめたい」が0.8%、「学習に参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が33.0%であり、これらを合わせると33.8%が“参加するつもりはない”と回答しています。

図 生涯学習活動の状況

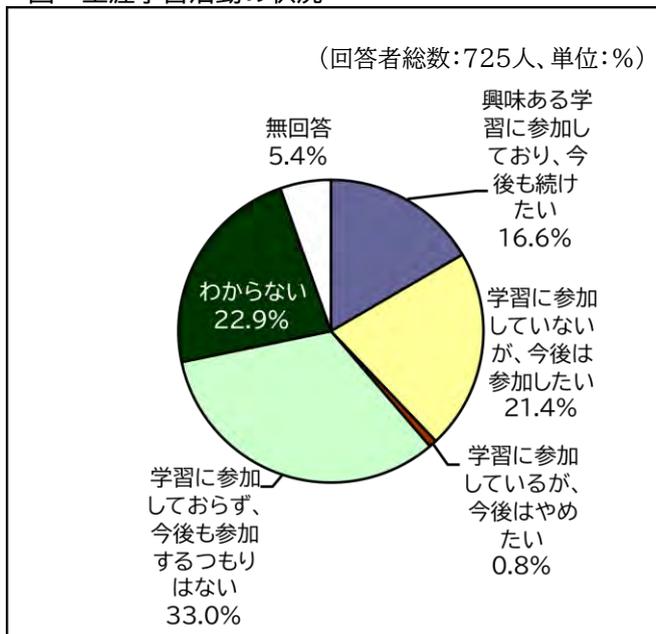


表 生涯学習活動の状況

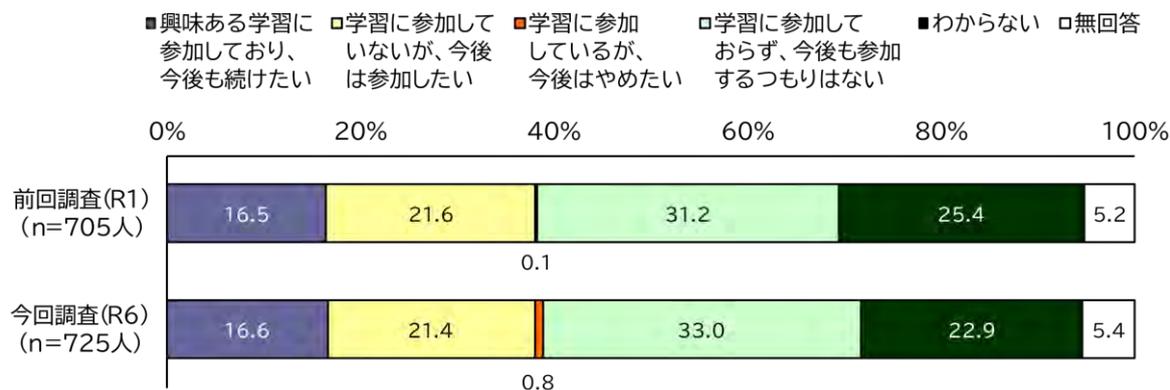
区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
興味ある学習に参加しており、今後も続けたい	120 (16.6)
学習に参加していないが、今後は参加したい	155 (21.4)
学習に参加しているが、今後はやめたい	6 (0.8)

区分	人 (%)
学習に参加しておらず、今後も参加するつもりはない	239 (33.0)
わからない	166 (22.9)
無回答	39 (5.4)

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

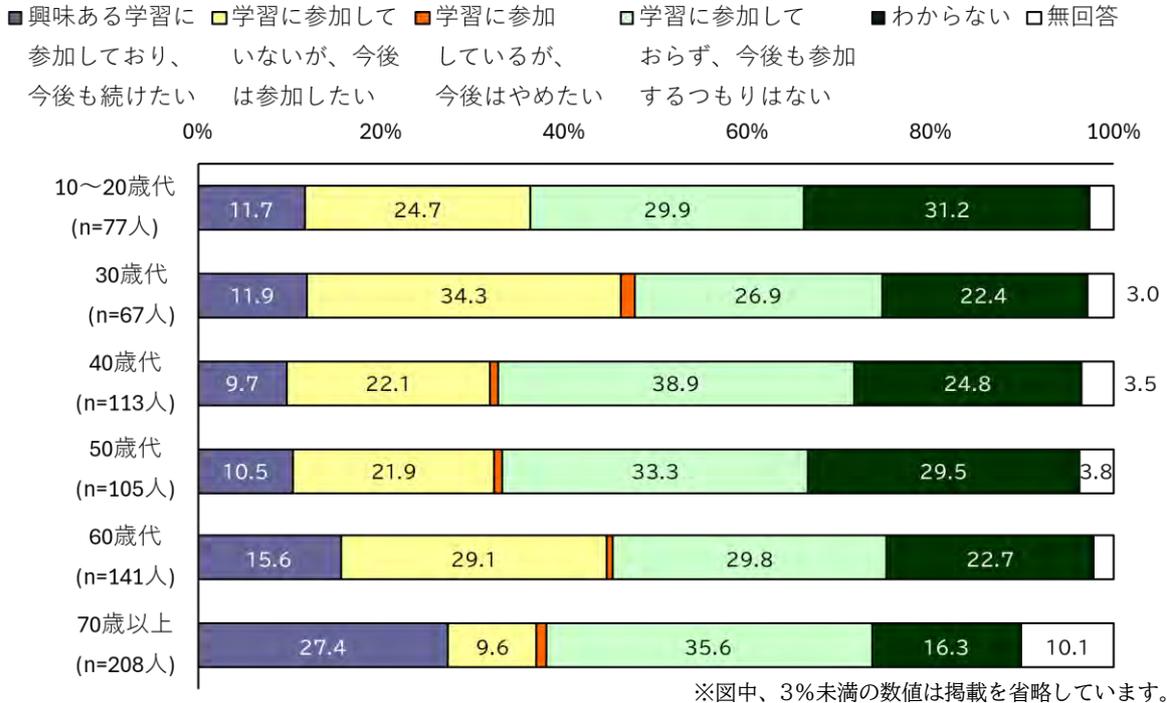
図 時系列でみた生涯学習活動の状況



【年齢別】

これを年齢別にみると、30歳代は他の回答者に比べて“参加したい”の割合が高くなっています。

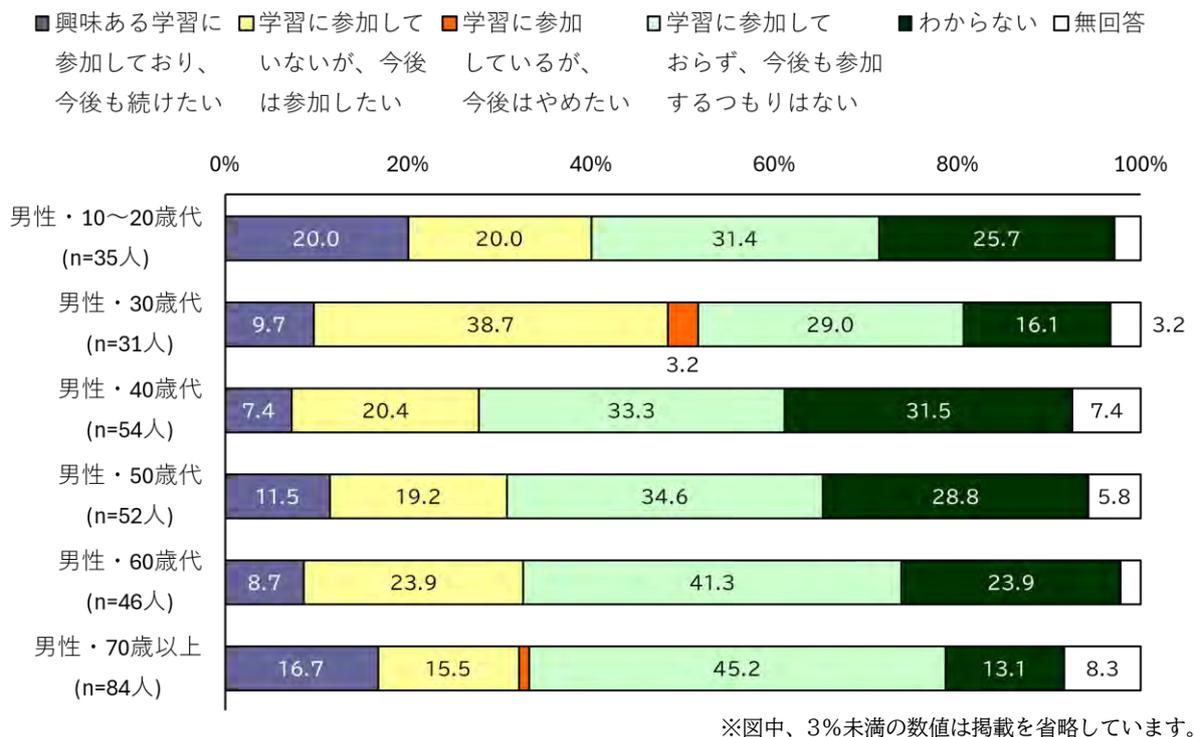
図 年齢別でみた生涯学習活動の状況



【性・年齢別】

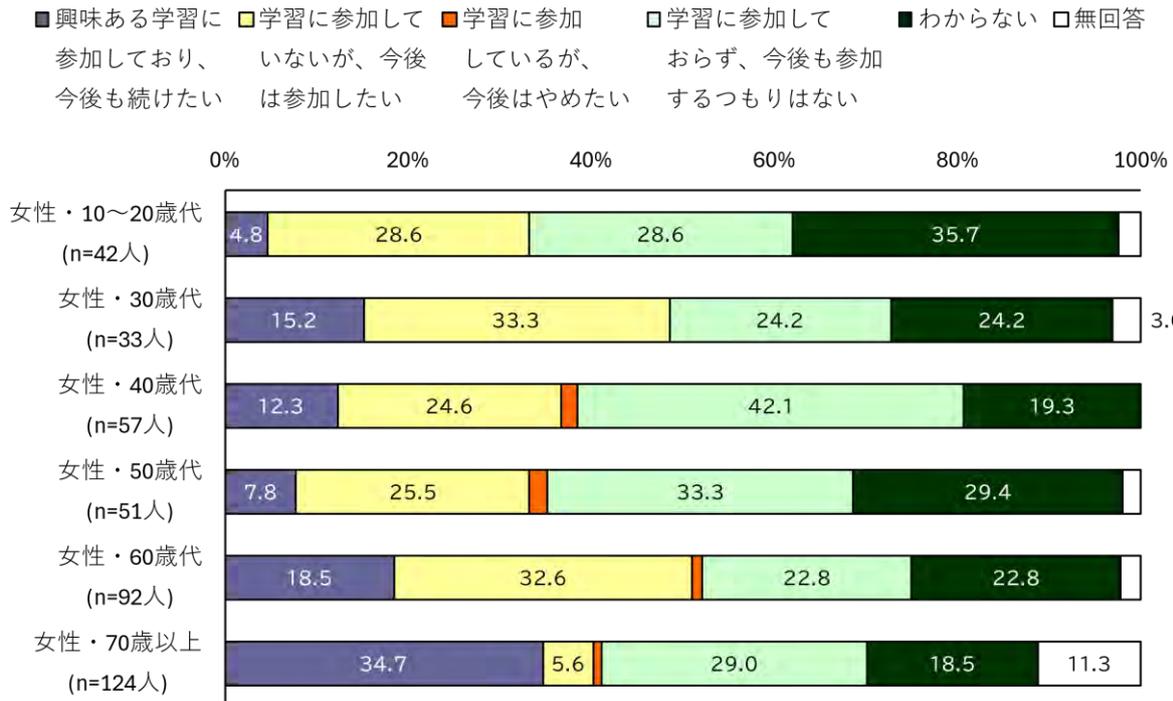
これを性・年齢別にみると、女性・70歳以上は他の回答者に比べて「興味ある学習に参加しており、今後も続けたい」の割合が高く、男性・70歳以上は「学習に参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた生涯学習活動の状況（①男性）



4-4 生涯学習活動の状況（問12）

図 性・年齢別でみた生涯学習活動の状況（②女性）

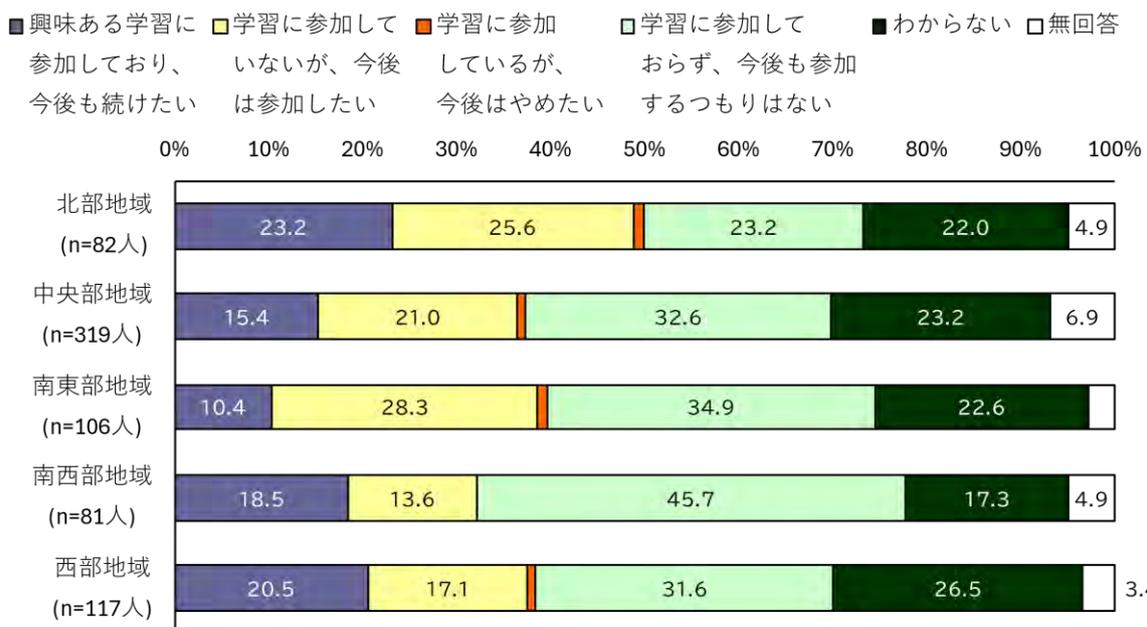


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域は他の地域に比べて“参加したい”の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた生涯学習活動の状況



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

4-5 目的別の外出先（問13）

問13 あなたは、次のことについて主にどこに出かけますか。（それぞれ1つに○印）

「休日に過ごす場所」では「町内」が54.9%

目的別の外出先について、「町内」の割合に着目すると、「休日に過ごす場所」が54.9%で最も多く、次いで「かかりつけ医への通院」が42.2%、「雑貨、文房具等の日用品の買い物」が23.2%で続いています。

図 目的別の外出先

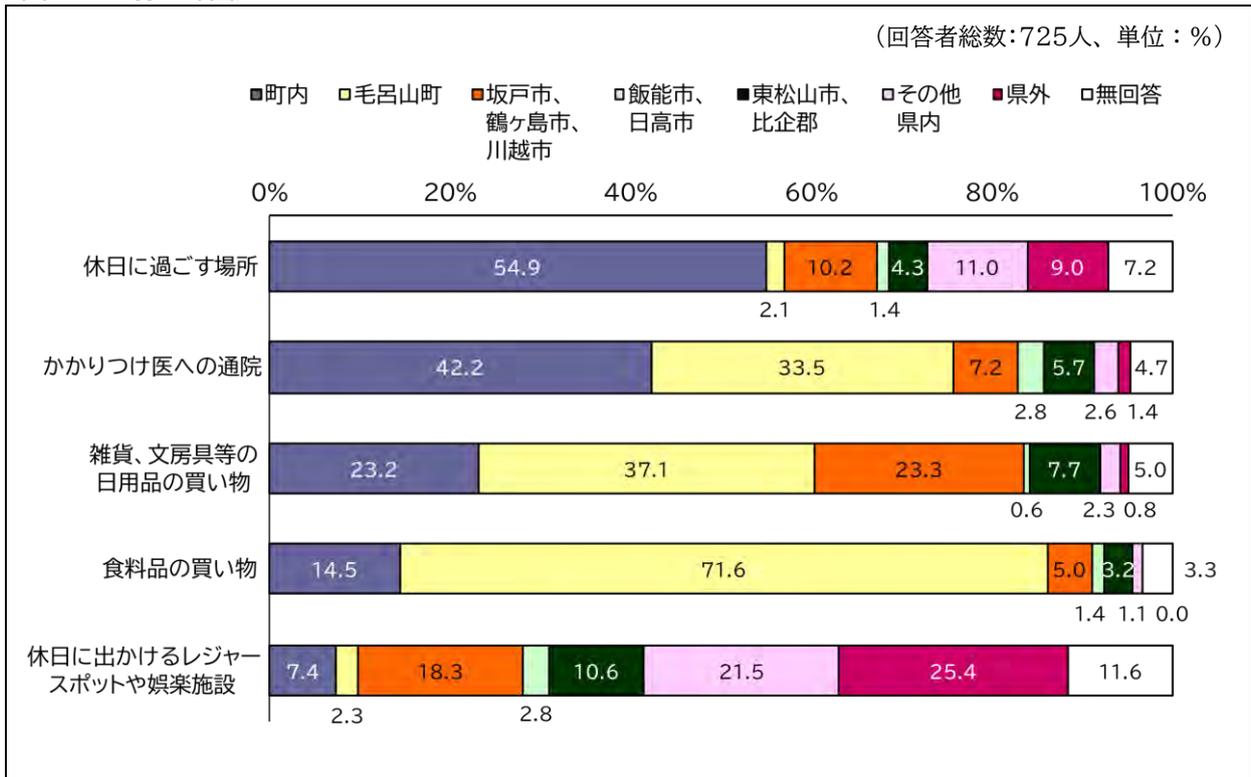


表 目的別の外出先

回答者総数：725人、単位：人（%）

区分	町内	毛呂山町	坂戸市、鶴ヶ島市、川崎市	飯能市、日高市	東松山市、比企郡	その他 県内	県外	無回答
休日に過ごす場所	398 (54.9)	15 (2.1)	74 (10.2)	10 (1.4)	31 (4.3)	80 (11.0)	65 (9.0)	52 (7.2)
かかりつけ医への通院	306 (42.2)	243 (33.5)	52 (7.2)	20 (2.8)	41 (5.7)	19 (2.6)	10 (1.4)	34 (4.7)
雑貨、文房具等の日用品の買い物	168 (23.2)	269 (37.1)	169 (23.3)	4 (0.6)	56 (7.7)	17 (2.3)	6 (0.8)	36 (5.0)
食料品の買い物	105 (14.5)	519 (71.6)	36 (5.0)	10 (1.4)	23 (3.2)	8 (1.1)	0 (0.0)	24 (3.3)
休日に出かけるレジャー スポットや娯楽施設	54 (7.4)	17 (2.3)	133 (18.3)	20 (2.8)	77 (10.6)	156 (21.5)	184 (25.4)	84 (11.6)

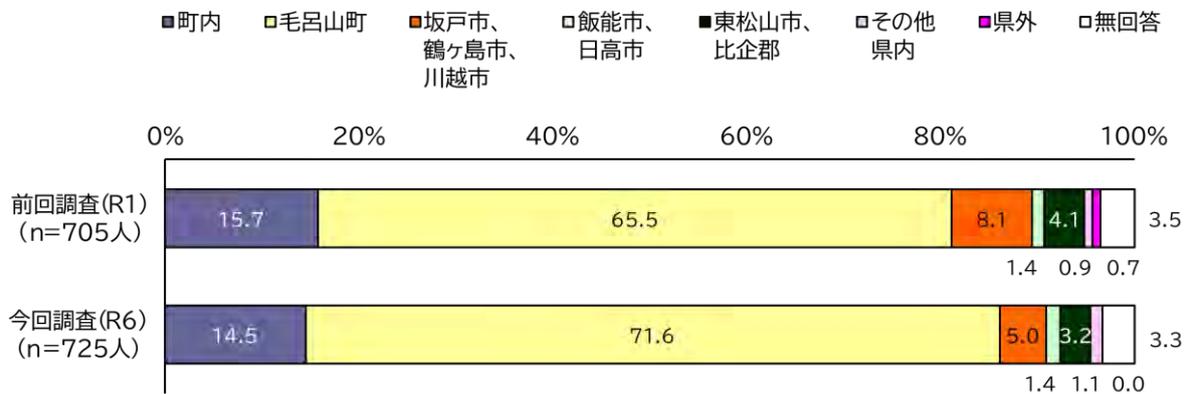
4-5 目的別の外出先（問13）

【時系列比較】

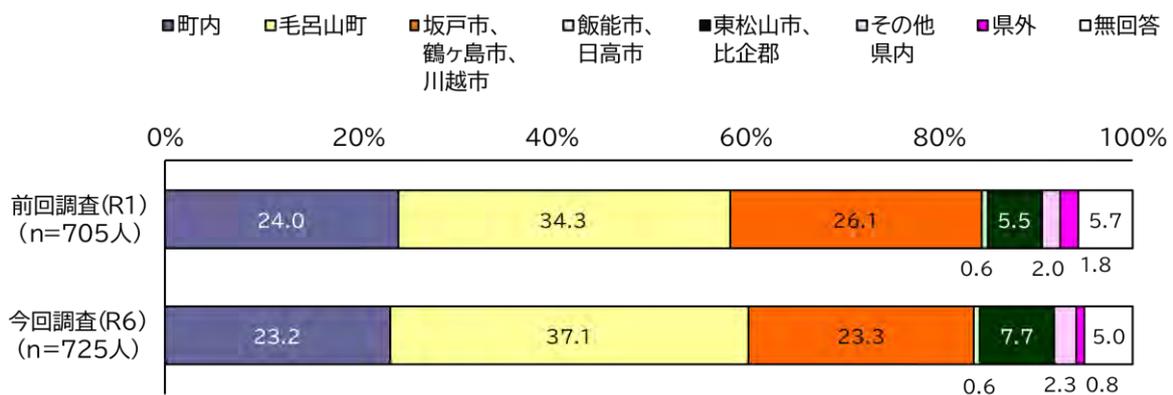
これを時系列で見ると、前回調査から今回調査にかけて「食料品の買い物」及び「かかりつけ医への通院」で「毛呂山町」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた目的別の外出先

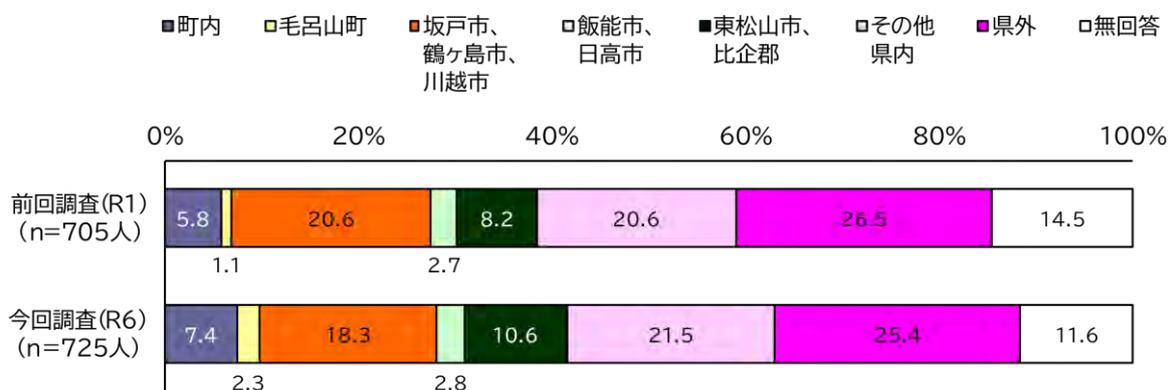
①食料品の買い物



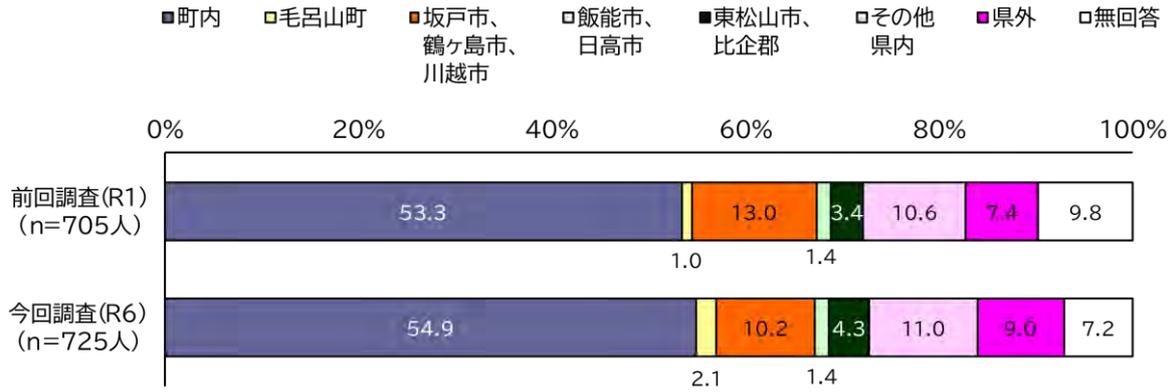
②雑貨、文房具等の日用品の買い物



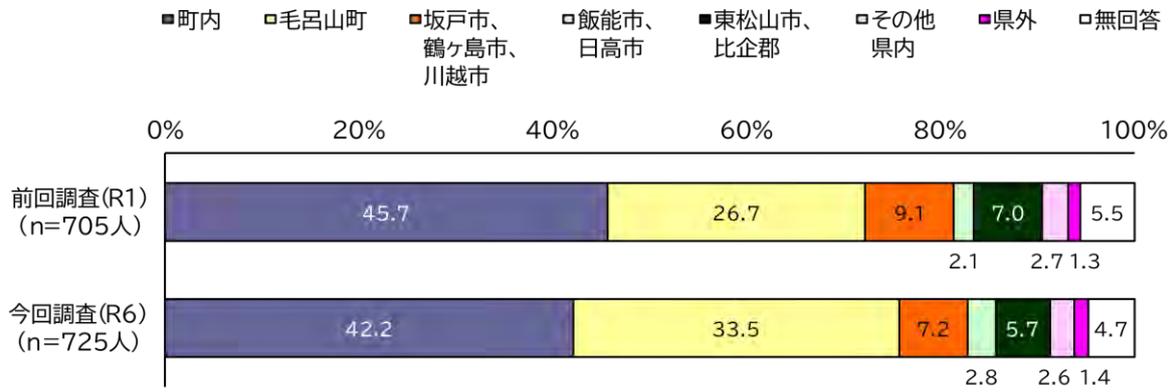
③休日に出かけるレジャースポットや娯楽施設



④休日に過ごす場所



⑤かかりつけ医への通院



4-6 生活環境の変化（問14）

問 14 あなたの周りの生活環境は、10年前と比べてどう感じますか。（1つに○印）

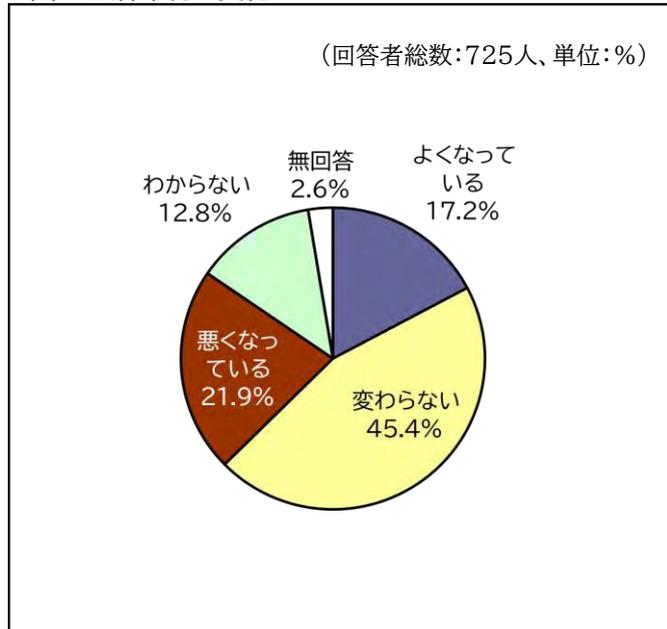
「変わらない」が45.4%

生活環境の変化については、「よくなっている」が17.2%、「変わらない」が45.4%、「悪くなっている」が21.9%となっています。

表 生活環境の変化

区 分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
よくなっている	125 (17.2)
変わらない	329 (45.4)
悪くなっている	159 (21.9)
わからない	93 (12.8)
無回答	19 (2.6)

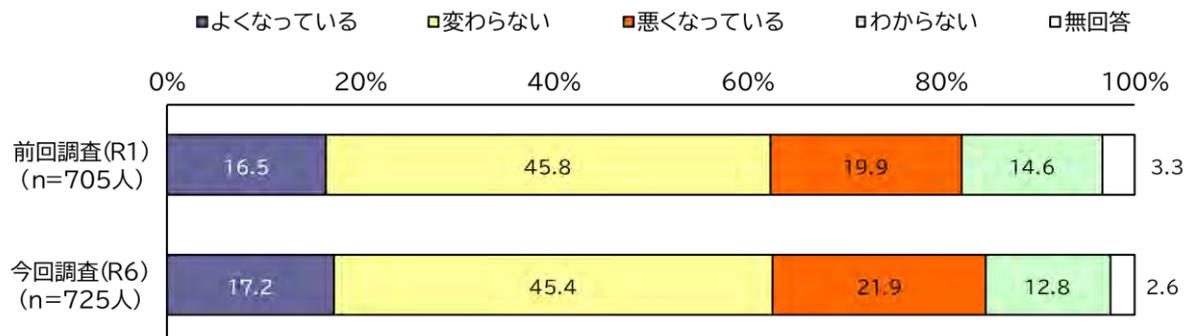
図 生活環境の変化



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

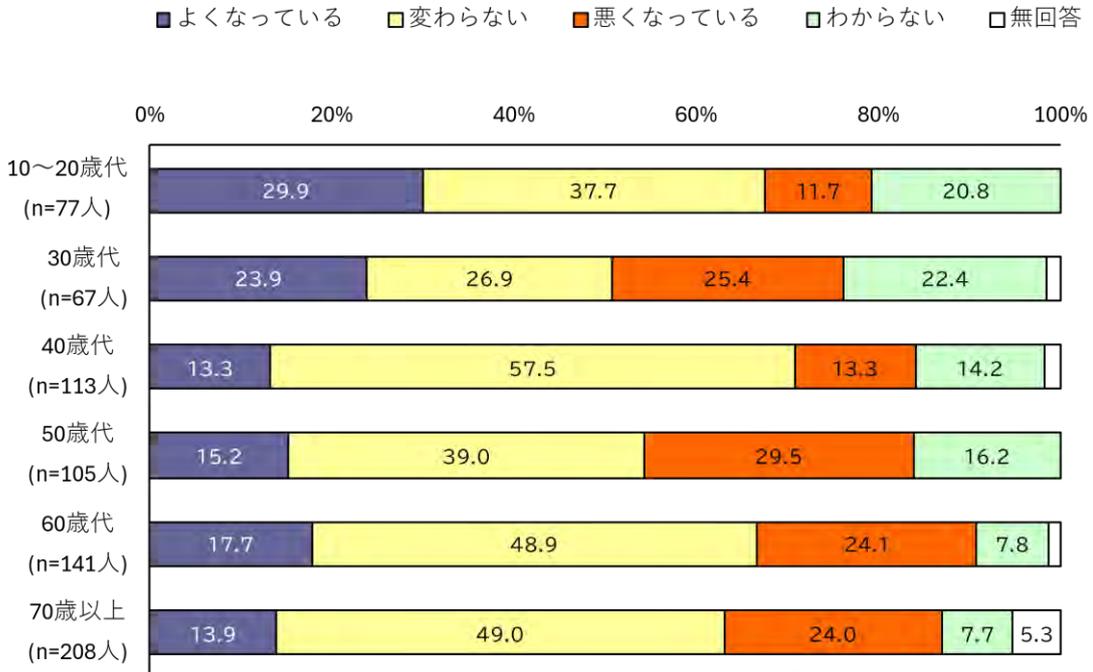
図 時系列でみた生活環境の変化



【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「よくなっている」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた生活環境の変化

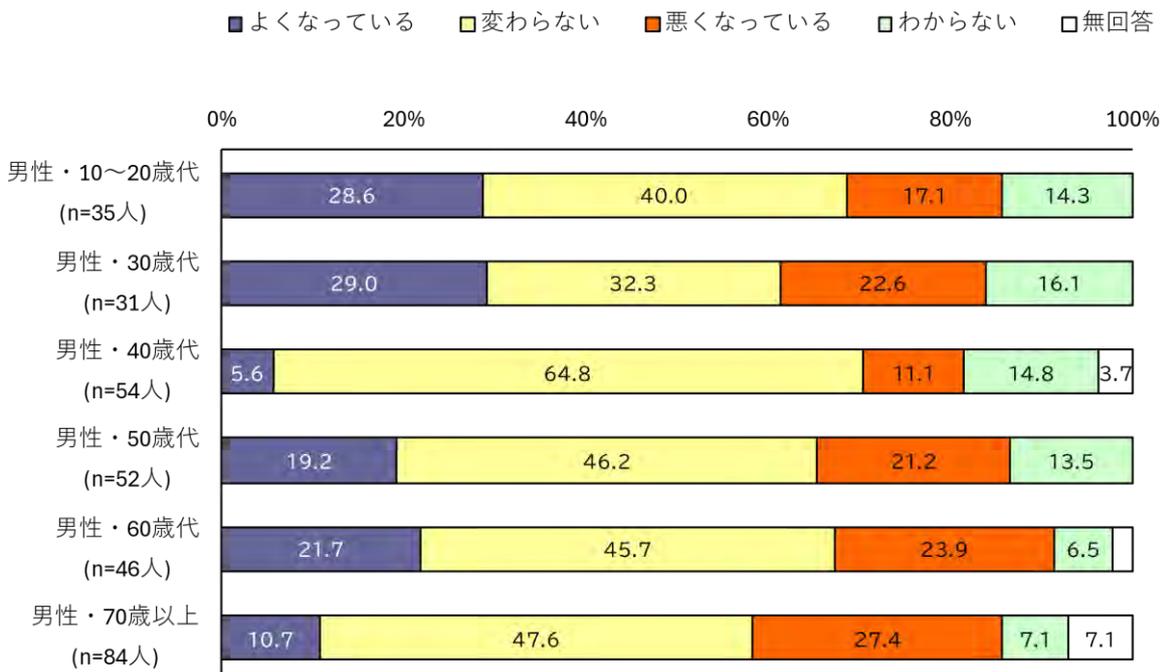


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性・10～20歳代、男性・30歳代及び女性・10～20歳代は他の回答者に比べて「よくなっている」の割合が高くなっています。

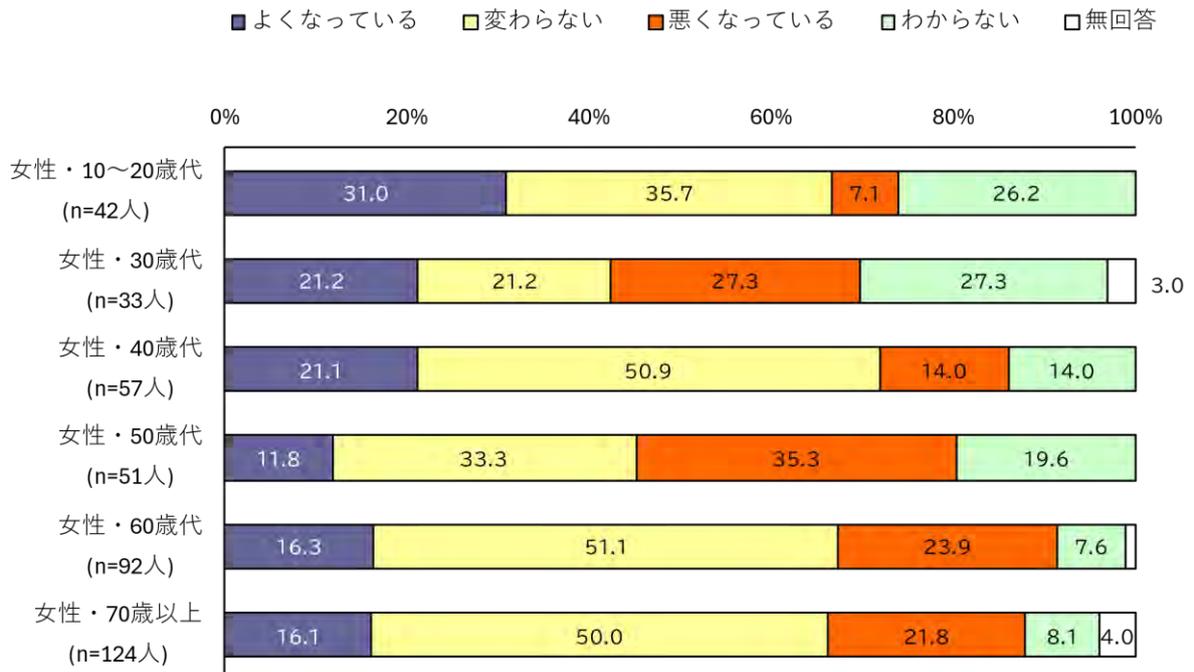
図 性・年齢別でみた生活環境の変化（①男性）



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

4-6 生活環境の変化（問14）

図 性・年齢別でみた生活環境の変化（②女性）

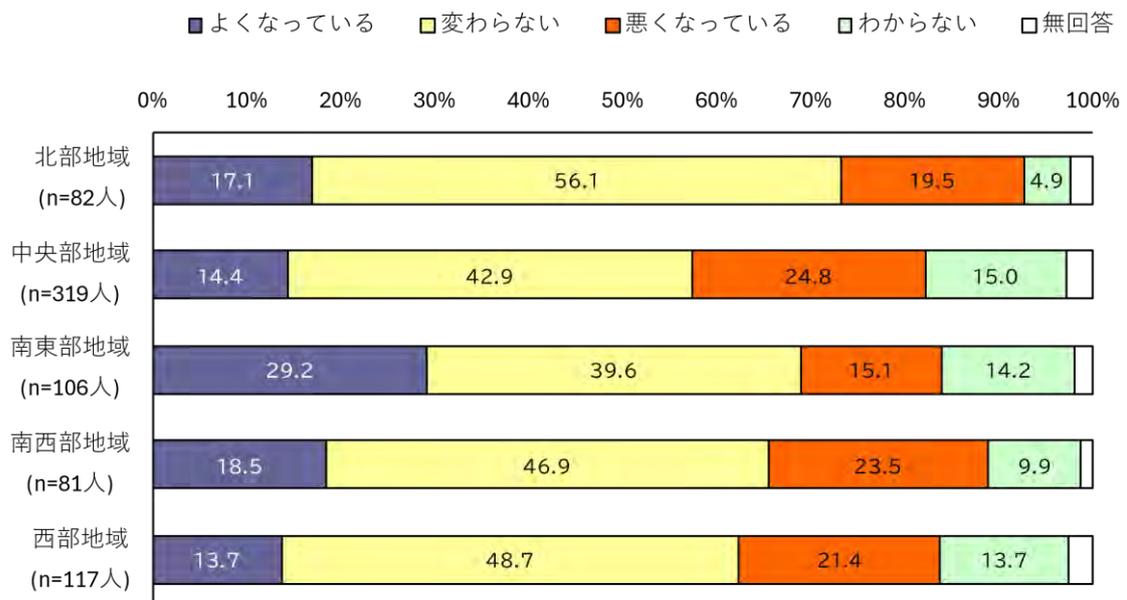


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、南東部地域は他の地域に比べて「よくなっている」の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた生活環境の変化



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

第5章 社会情勢の変化に伴う今後の町の取組について

5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）

問15 越生町の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和2（2020）年の11,029人から第六次越生町長期総合計画の目標年次となる令和12（2030）年には9,488人、65歳以上の高齢者の比率は43%になるとされており、今までに経験したことのない人口減少・少子化・超高齢化に直面するものと想定されます。あなたは、人口減少の歯止めや人口減少時代に応じたまちづくりを進めるため、町や皆さんがどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印）

「子育て支援の取組」が最も多い

今後のまちづくりに必要な取組については、「子育て支援の取組」が34.8%で最も多く、次いで「雇用の場を創出する取組」が25.4%、「公共交通を充実させる取組」が20.1%で続いています。

図 今後のまちづくりに必要な取組（複数回答）

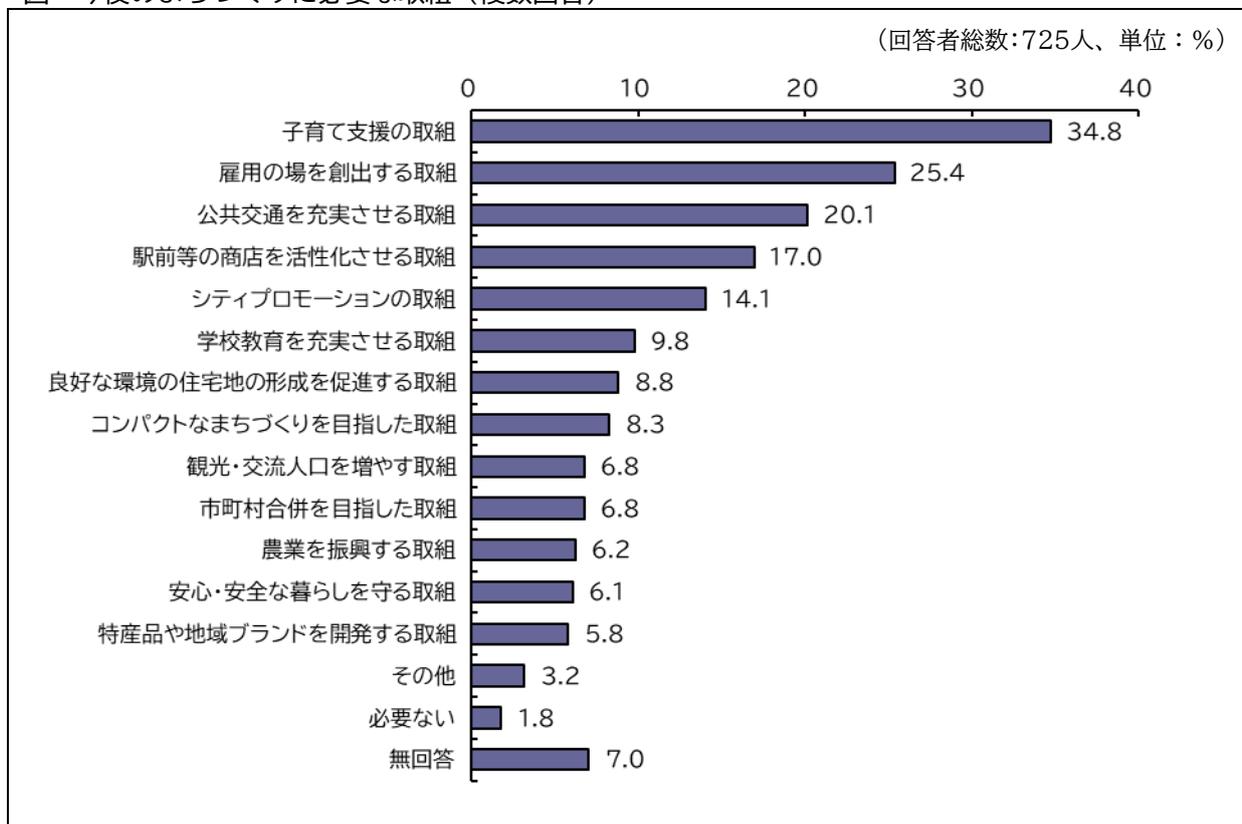


表 今後のまちづくりに必要な取組（複数回答）

区分	人 (%)	区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)	観光・交流人口を増やす取組	49 (6.8)
子育て支援の取組	252 (34.8)	市町村合併を目指した取組	49 (6.8)
雇用の場を創出する取組	184 (25.4)	農業を振興する取組	45 (6.2)
公共交通を充実させる取組	146 (20.1)	安心・安全な暮らしを守る取組	44 (6.1)
駅前等の商店を活性化させる取組	123 (17.0)	特産品や地域ブランドを開発する取組	42 (5.8)
シティプロモーションの取組	102 (14.1)	その他	23 (3.2)
学校教育を充実させる取組	71 (9.8)	必要ない	13 (1.8)
良好な環境の住宅地の形成を促進する取組	64 (8.8)	無回答	51 (7.0)
コンパクトなまちづくりを目指した取組	60 (8.3)		

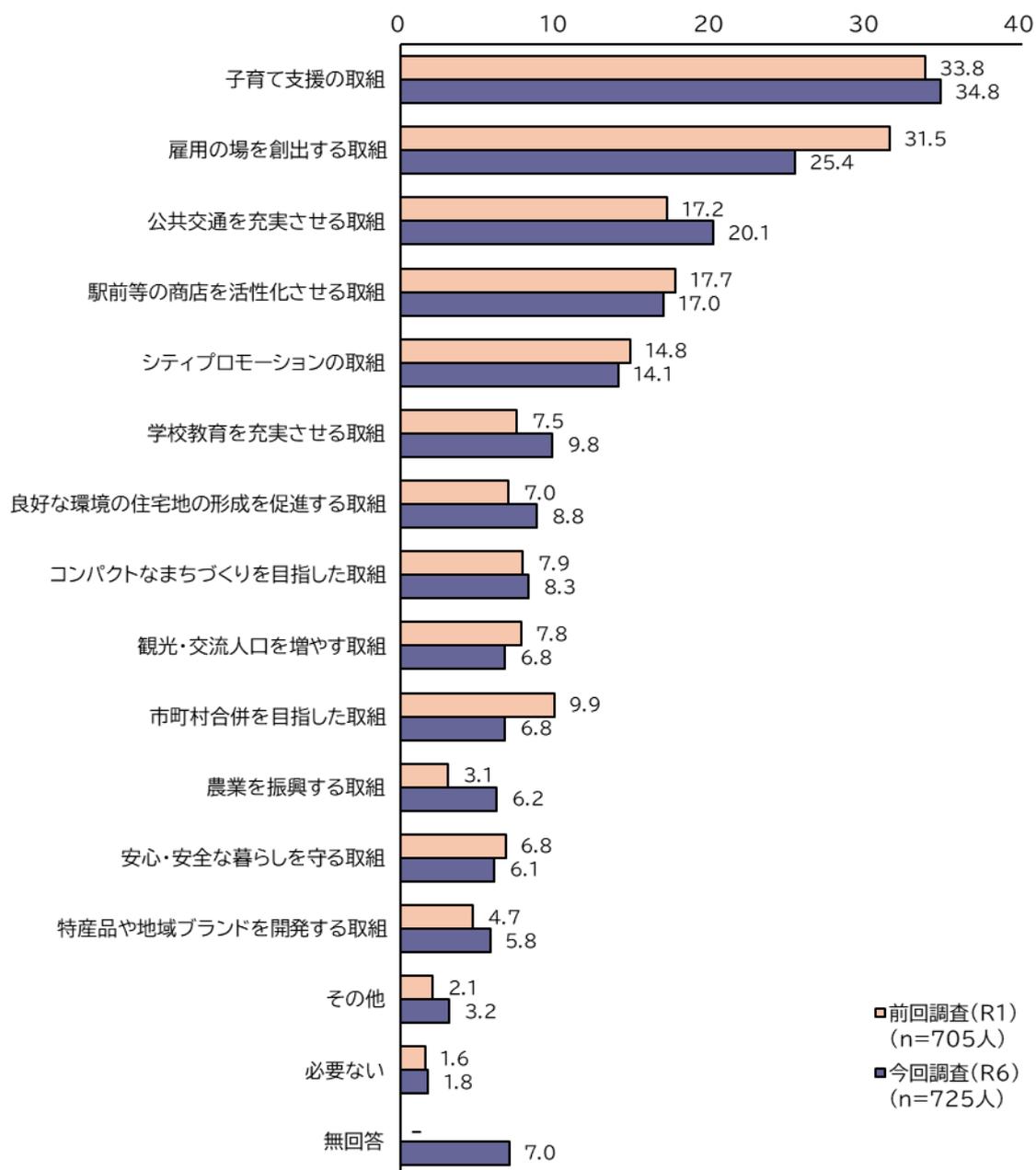
※この設問は複数回答であるため、構成比の和は100%を超えることがあります。

5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「雇用の場を創出する取組」や「市町村合併を目指した取組」の割合が低くなっており、「公共交通を充実させる取組」や「農業を振興する取組」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた今後のまちづくりに必要な取組（複数回答）（単位：％）



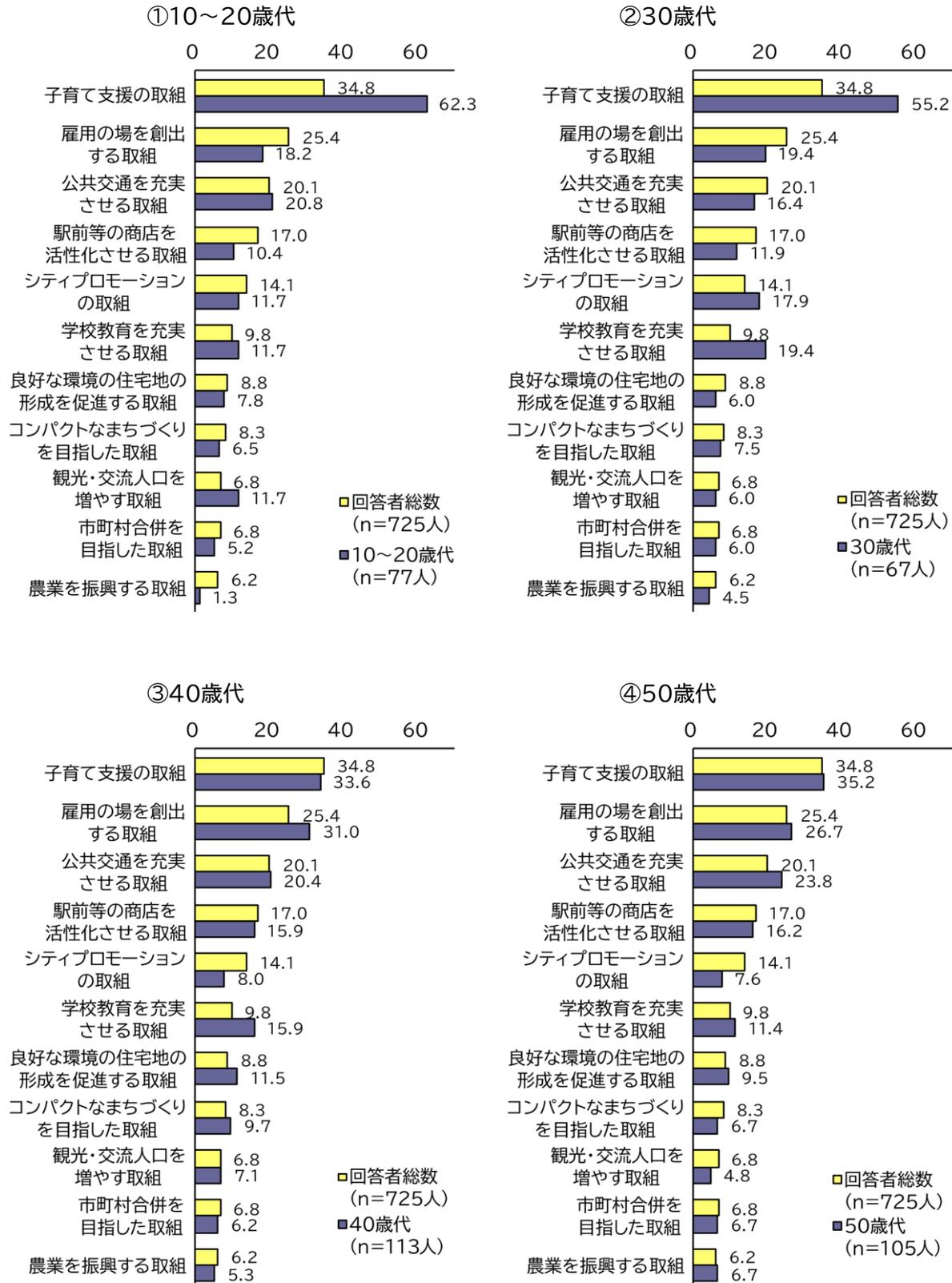
※図中、前回調査になかった項目は、数値を「-」と表示しています。

【年齢別】

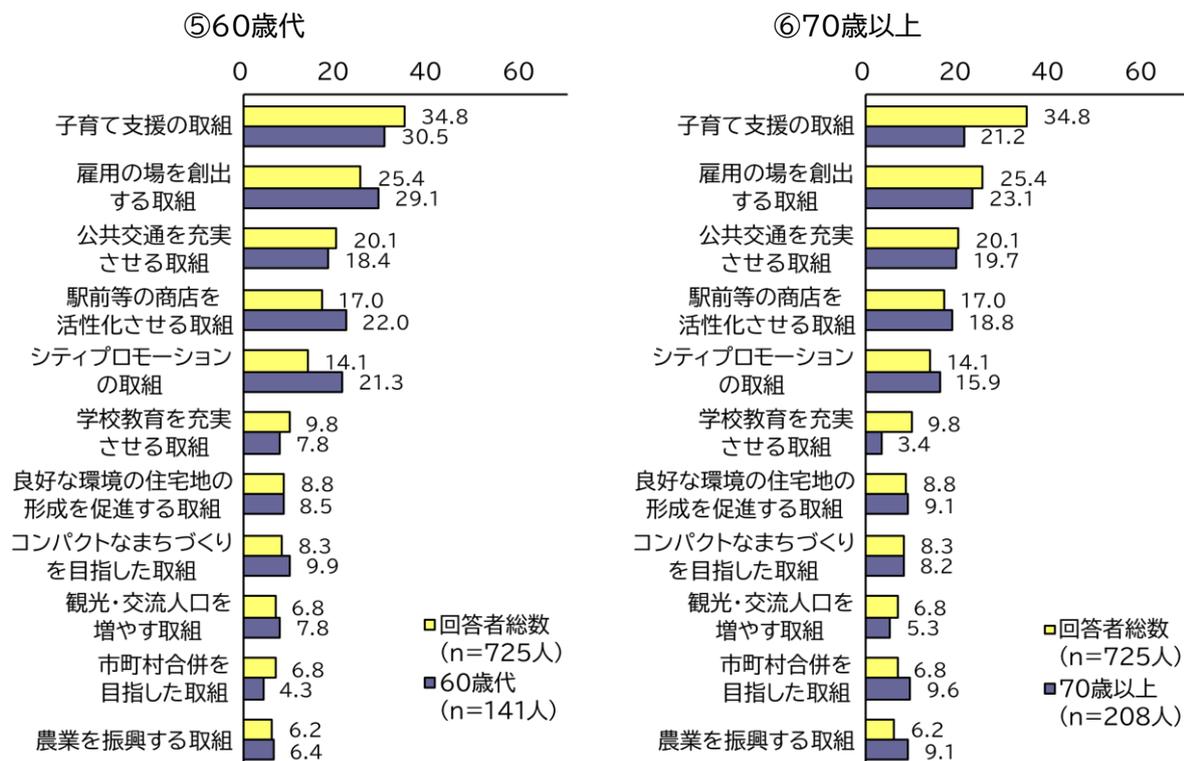
これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「子育て支援の取組」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた今後のまちづくりに必要な取組（複数回答）

（単位：％）



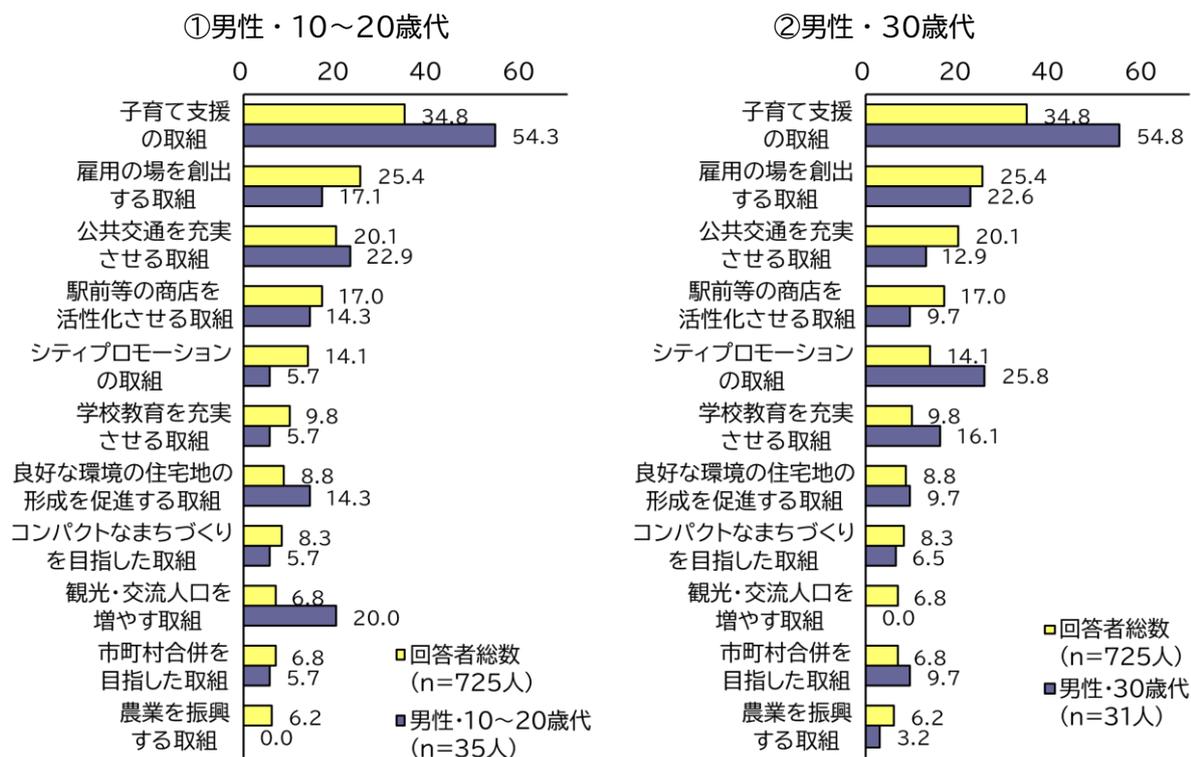
5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）



【性・年齢別】

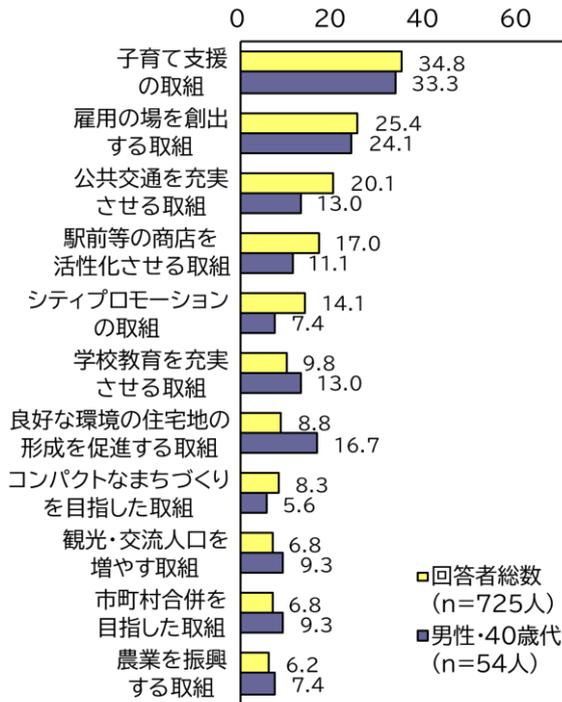
これを性・年齢別にみると、男性、女性ともに10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「子育て支援の取組」の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた今後のまちづくりに必要な取組（複数回答）
（単位：％）

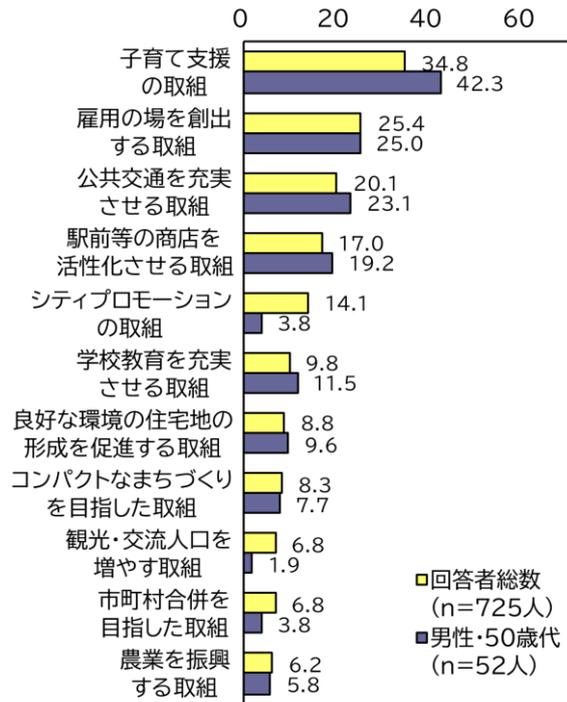


5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）

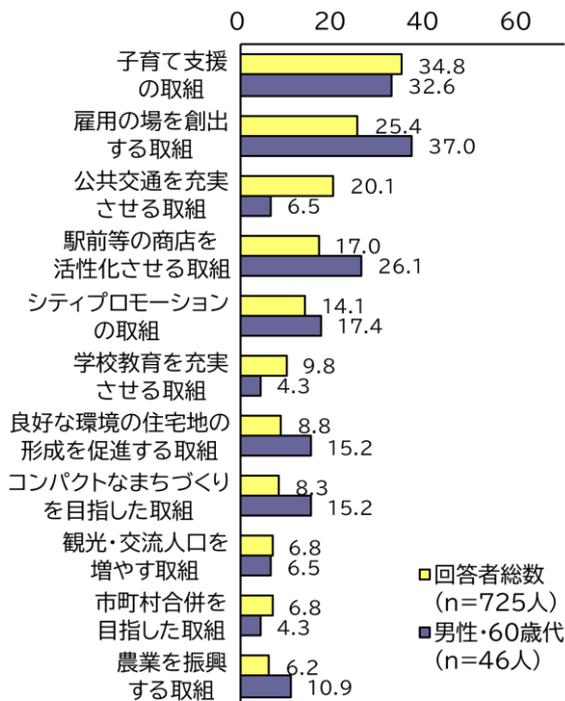
③男性・40歳代



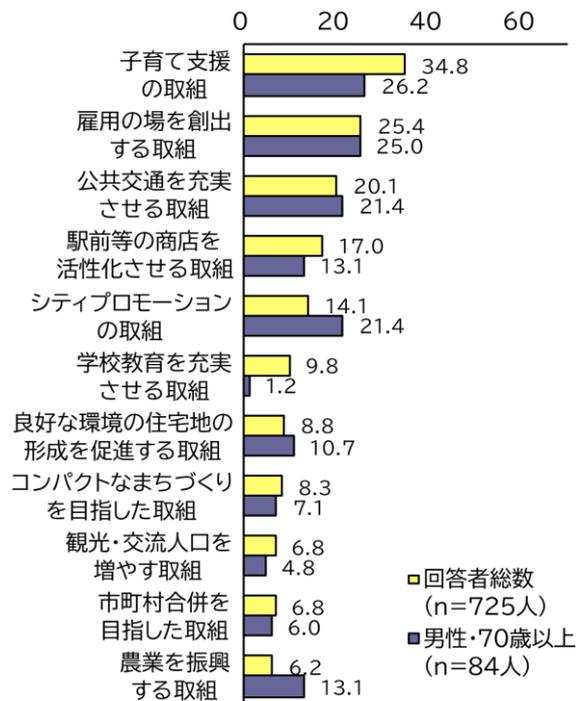
④男性・50歳代



⑤男性・60歳代

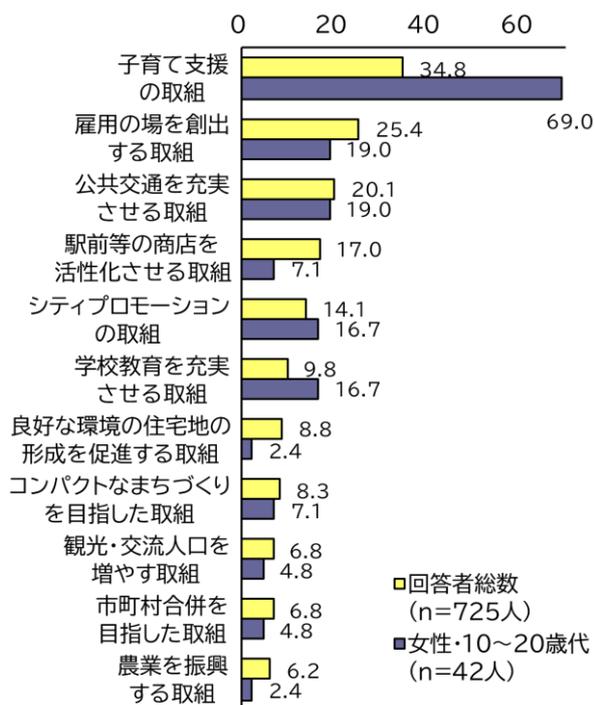


⑥男性・70歳以上

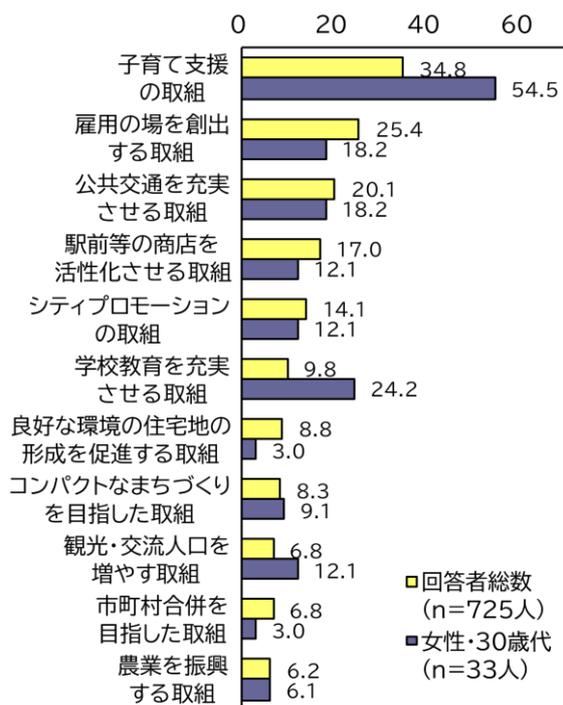


5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）

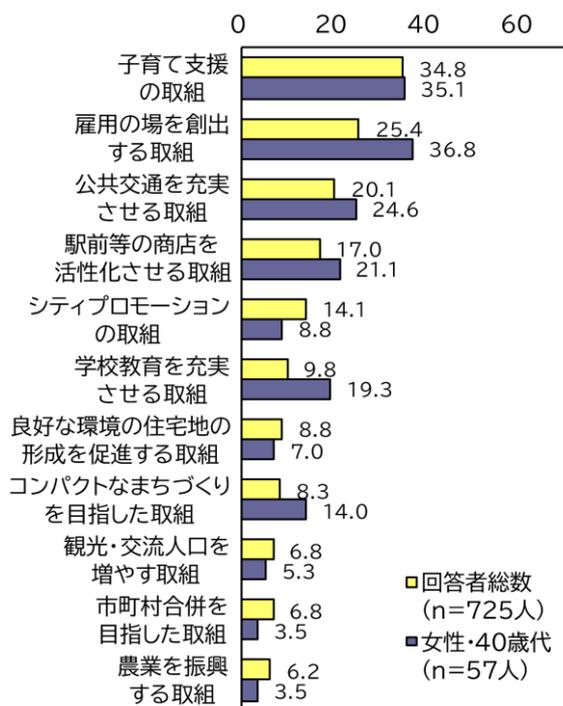
⑦女性・10～20歳代



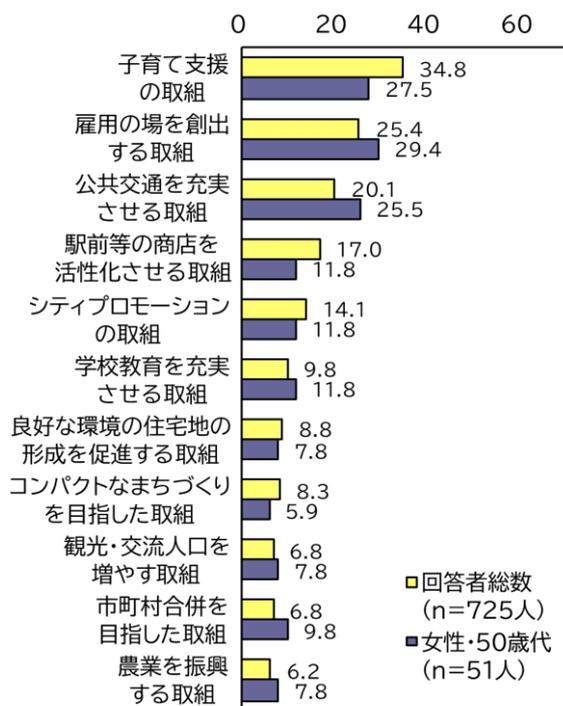
⑧女性・30歳代



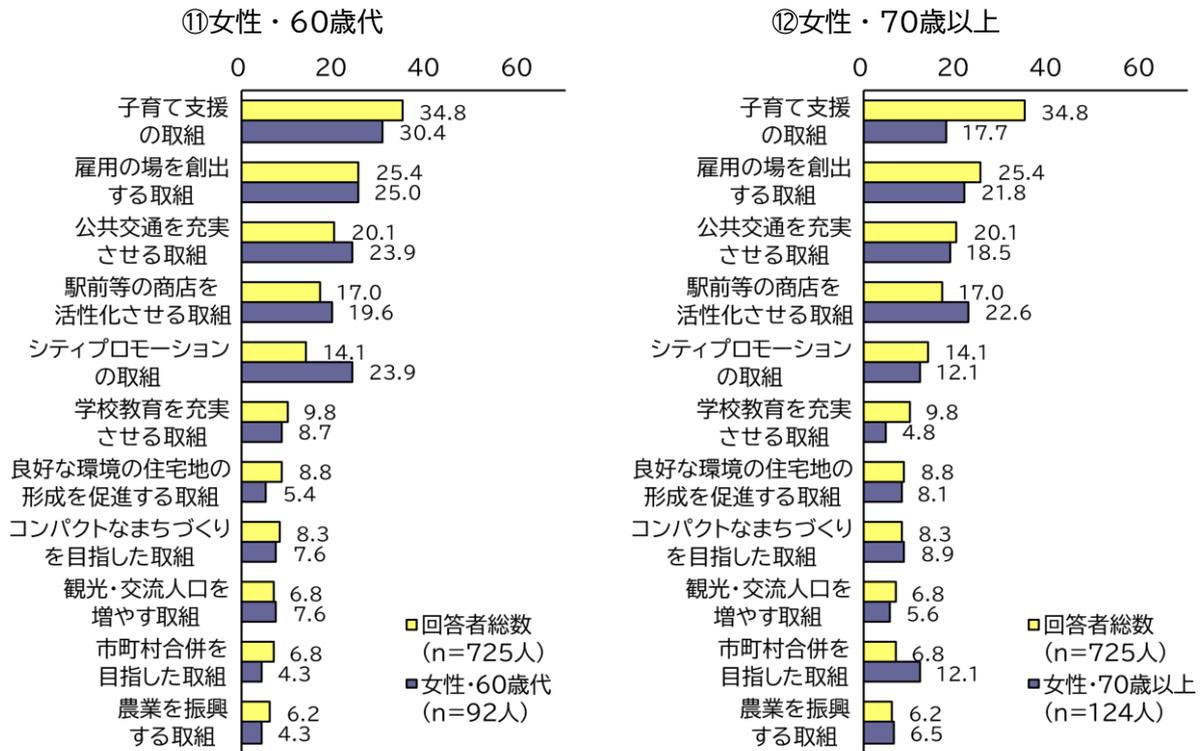
⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



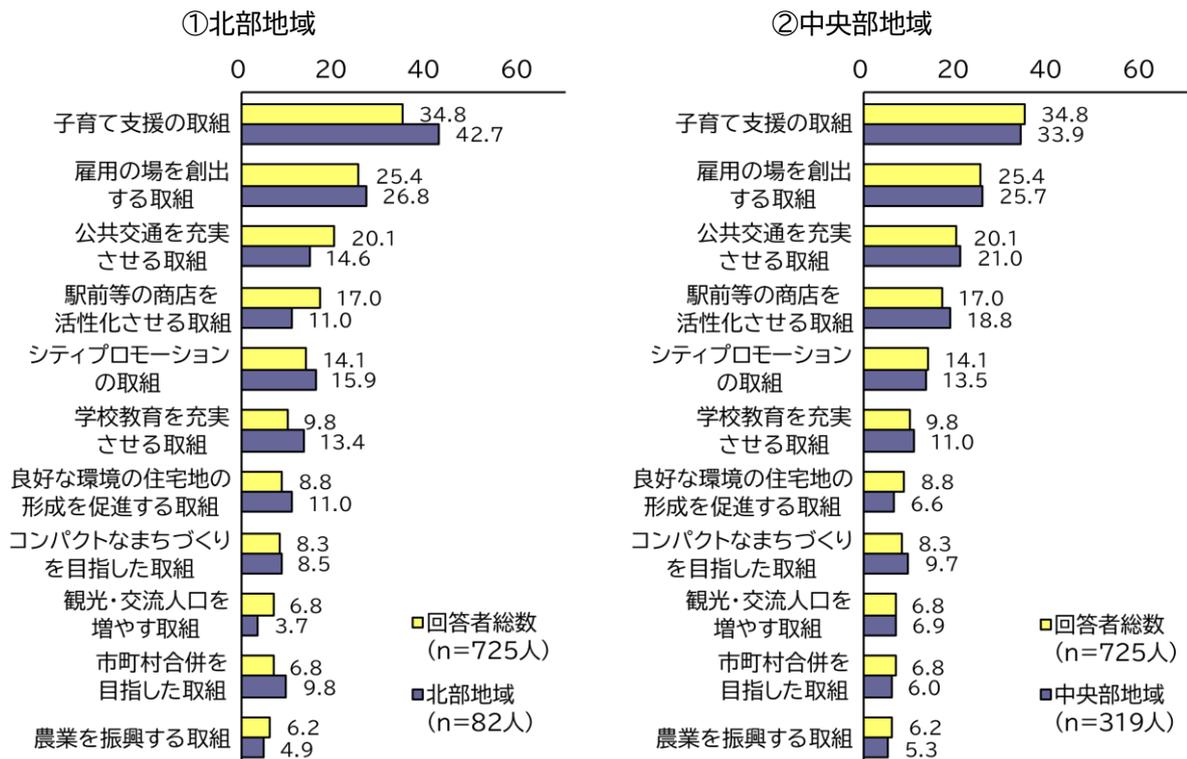
5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）



【居住地域別】

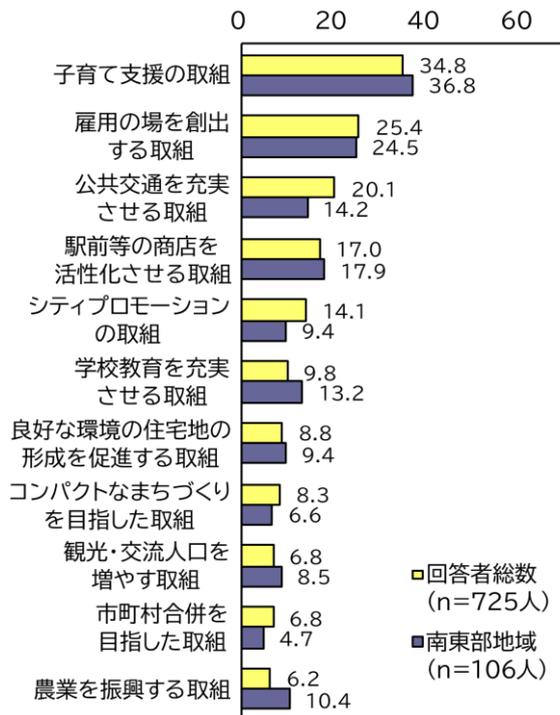
これを居住地域別にみると、北部地域は他の地域に比べて「子育て支援の取組」の割合が高くなっています。また、南西部地域は「良好な環境の住宅地の形成を促進する取組」の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた今後のまちづくりに必要な取組（複数回答）
（単位：％）

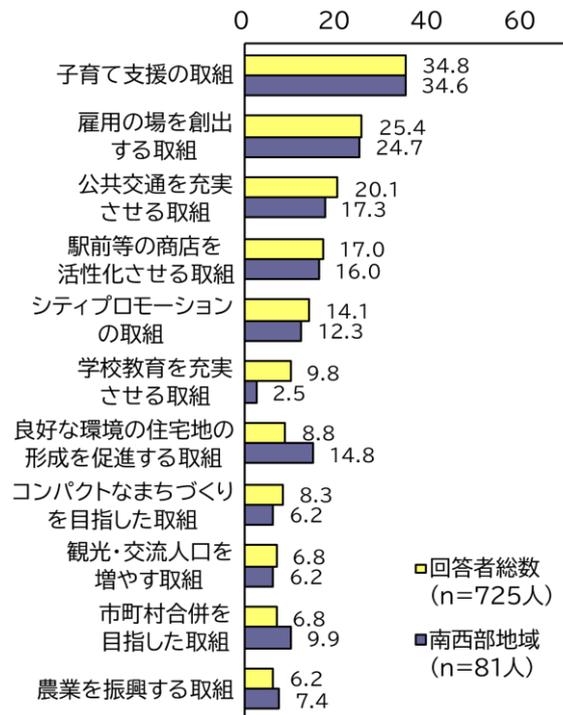


5-1 今後のまちづくりに必要な取組（問15）

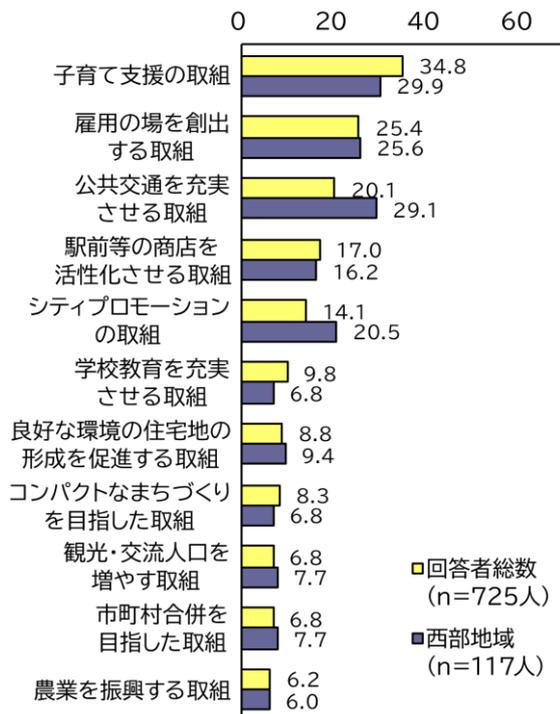
③南東部地域



④南西部地域



⑤西部地域



5-2 行財政改革の重点項目（問16）

問16 あなたは、越生町の今後の行財政改革で重点を置くべき項目は何だと思いますか。（2つまで○印）

「町有地や公共施設等の町有財産の有効活用」が最も多い

行財政改革の重点項目については、「町有地や公共施設等の町有財産の有効活用」が37.1%で最も多く、次いで「申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上」が20.6%、「公共施設の運営の民間・町民団体への委託」が12.4%が続いています。

図 行財政改革の重点項目（複数回答）

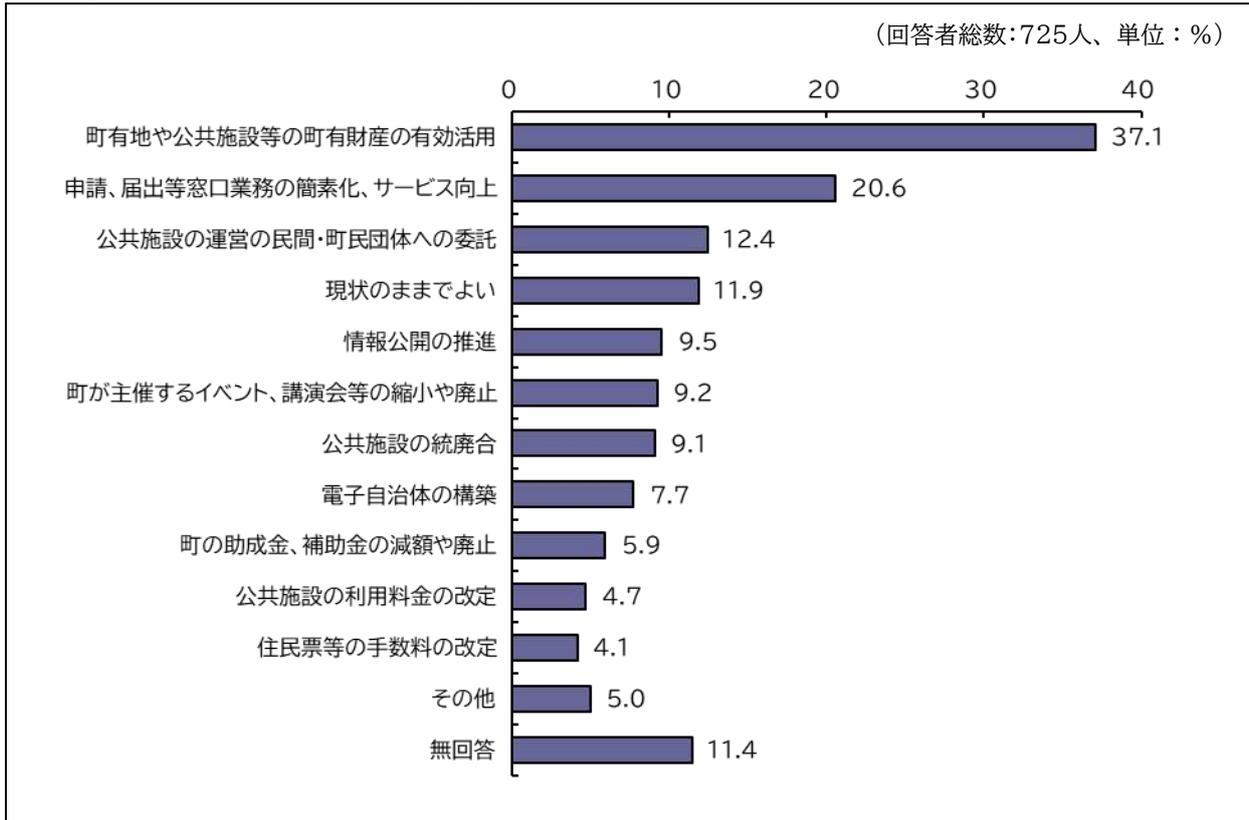


表 行財政改革の重点項目（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
町有地や公共施設等の町有財産の有効活用	269 (37.1)
申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上	149 (20.6)
公共施設の運営の民間・町民団体への委託	90 (12.4)
現状のままでよい	86 (11.9)
情報公開の推進	69 (9.5)
町が主催するイベント、講演会等の縮小や廃止	67 (9.2)
公共施設の統廃合	66 (9.1)
電子自治体の構築	56 (7.7)
町の助成金、補助金の減額や廃止	43 (5.9)
公共施設の利用料金の改定	34 (4.7)
住民票等の手数料の改定	30 (4.1)
その他	36 (5.0)
無回答	83 (11.4)

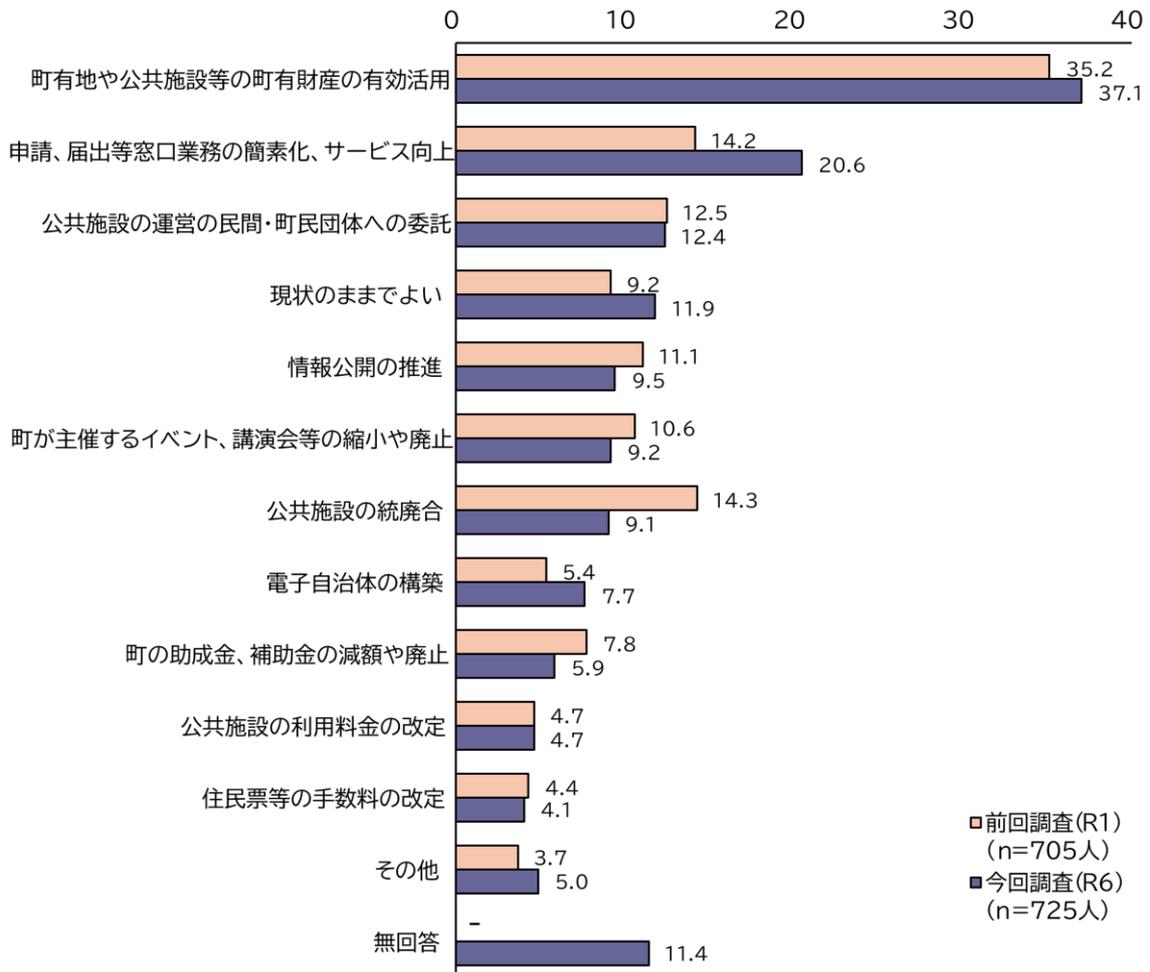
※この設問は複数回答であるため、構成比の和は100%を超えることがあります。

5-2 行財政改革の重点項目（問16）

【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて「申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上」の割合が高くなっており、「公共施設の統廃合」の割合が低くなっています。

図 時系列でみた行財政改革の重点項目（複数回答）（単位：％）



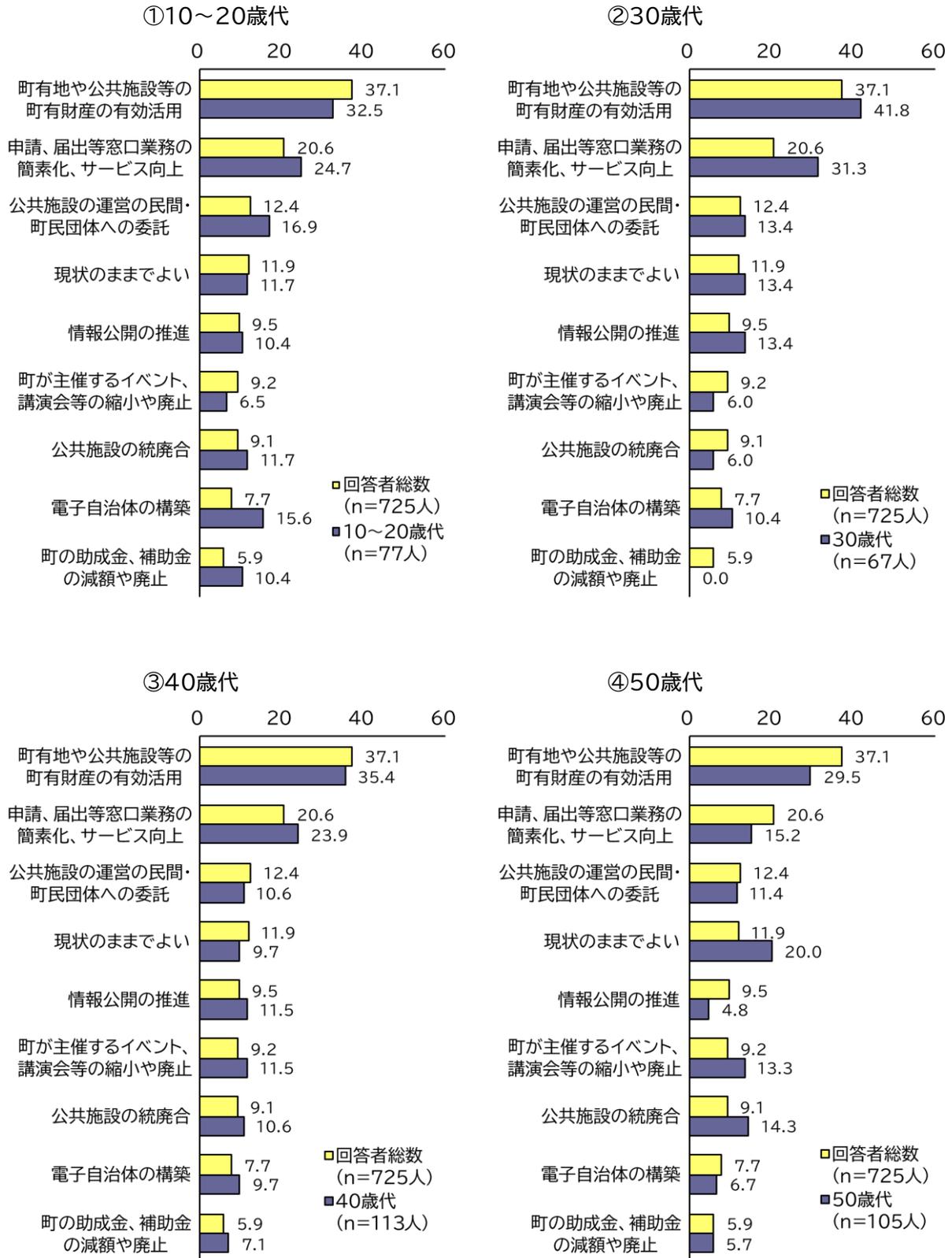
※図中、前回調査になかった項目は、数値を「-」と表示しています。

【年齢別】

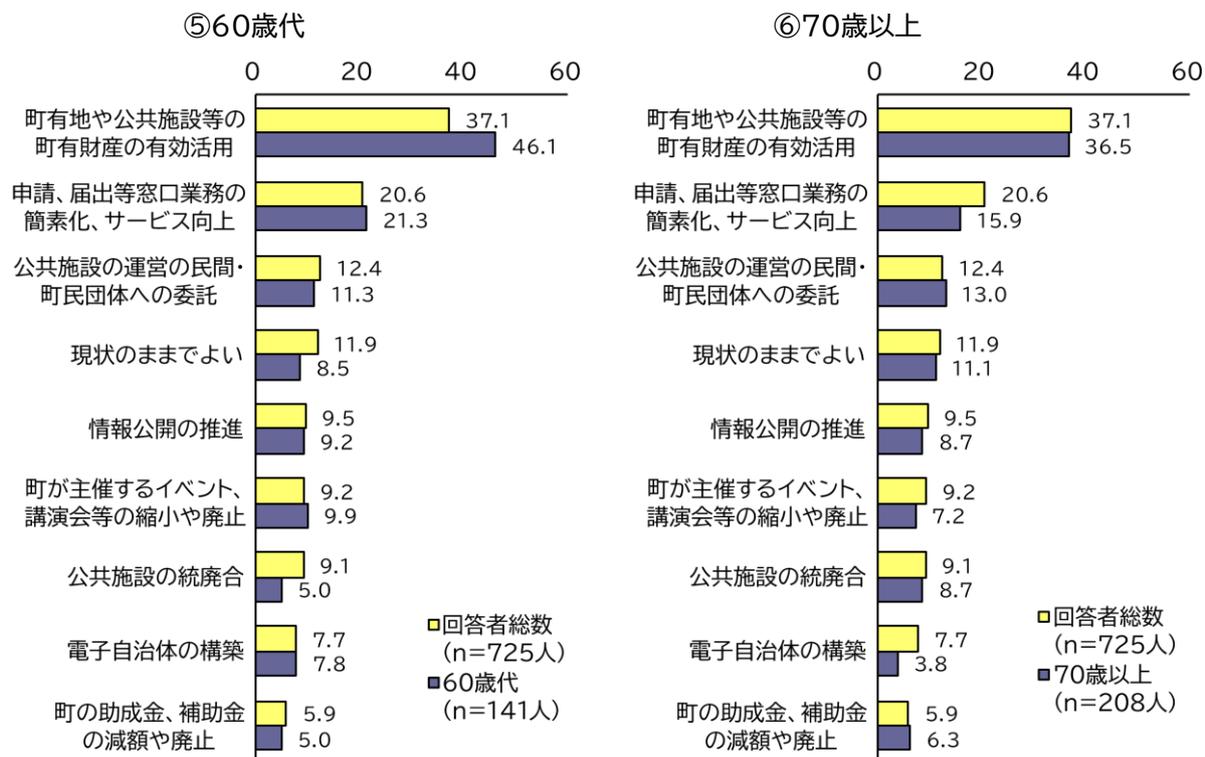
これを年齢別にみると、10～20歳代は他の回答者に比べて「電子自治体の構築」の割合が高く、60歳代は「町有地や公共施設等の町有財産の有効活用」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた行財政改革の重点項目（複数回答）

（単位：％）



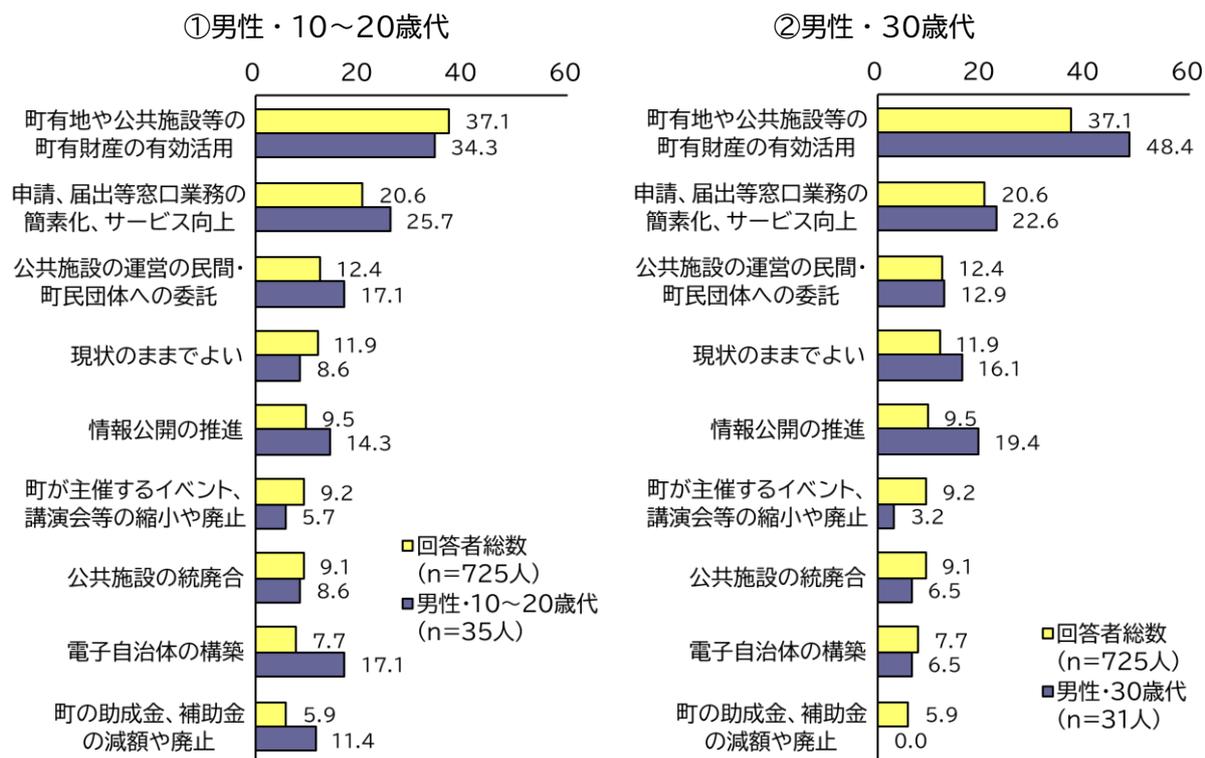
5-2 行財政改革の重点項目（問16）



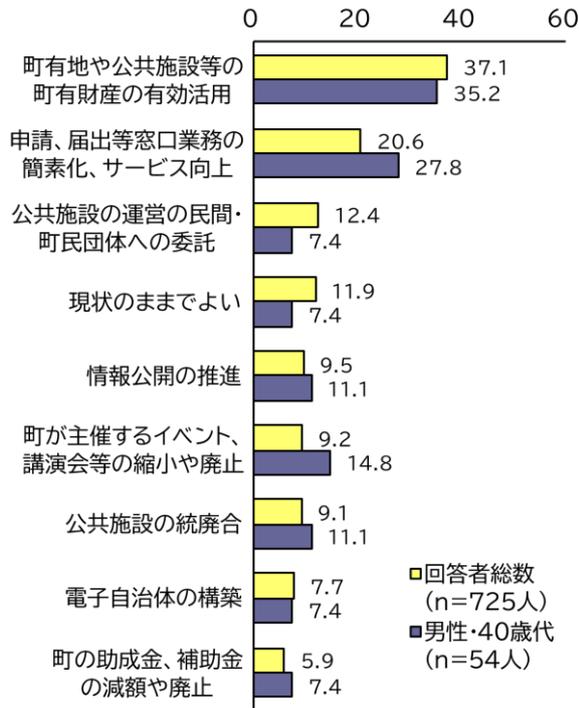
【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性・30歳代、男性・60歳代及び女性・60歳代は他の回答者に比べて「町有地や公共施設等の町有財産の有効活用」の割合が高く、女性・30歳代は「申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上」の割合が高くなっています。

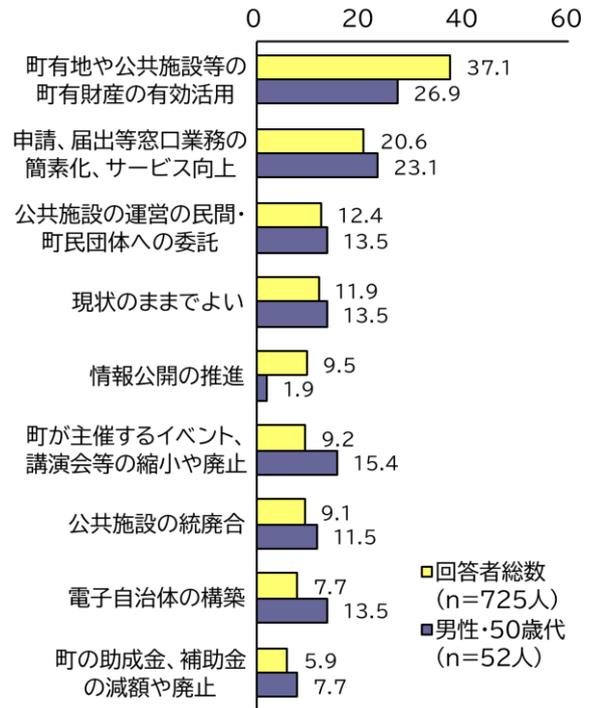
図 性・年齢別でみた行財政改革の重点項目（複数回答）（単位：％）



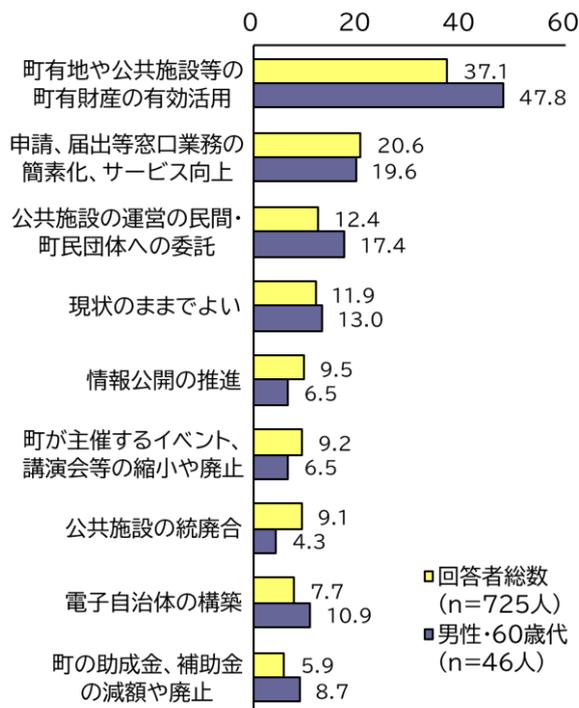
③男性・40歳代



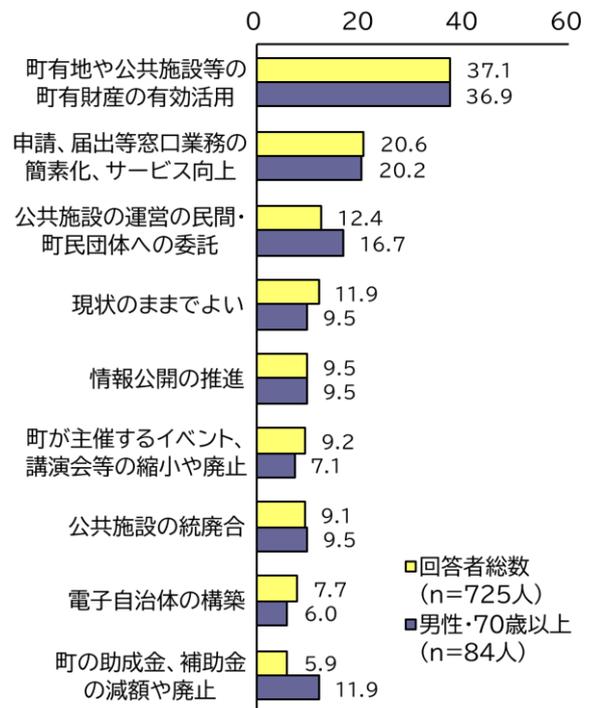
④男性・50歳代



⑤男性・60歳代

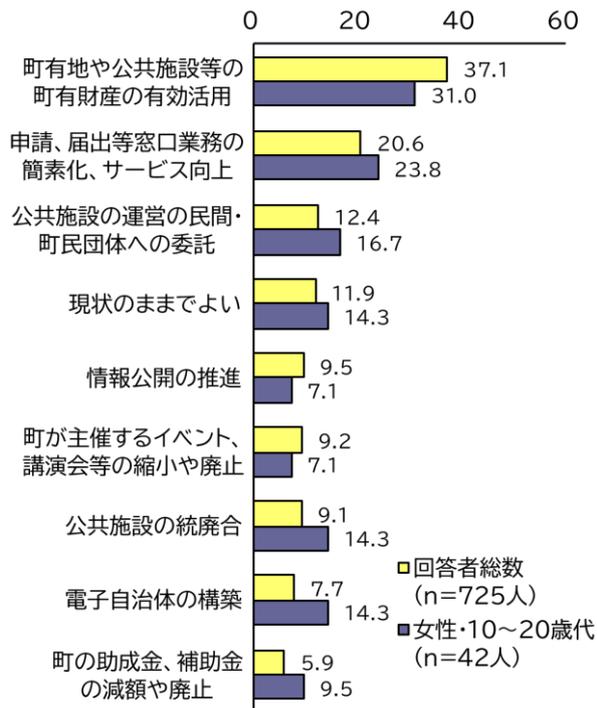


⑥男性・70歳以上

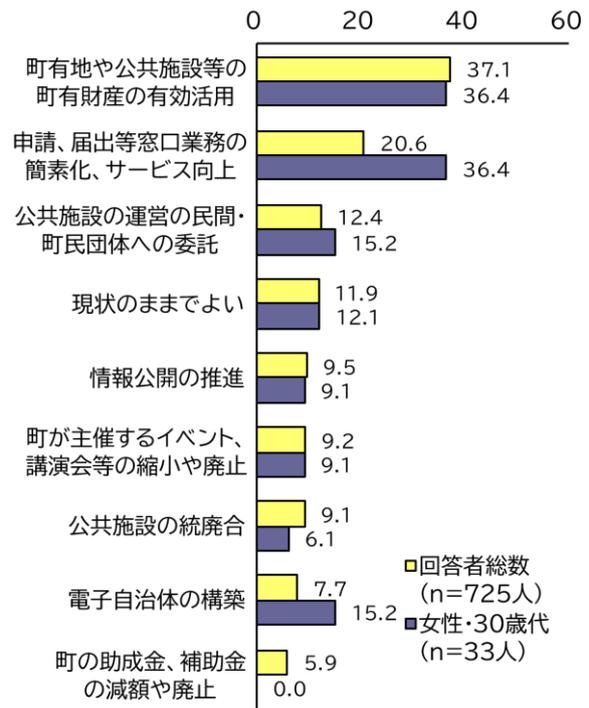


5-2 行財政改革の重点項目（問16）

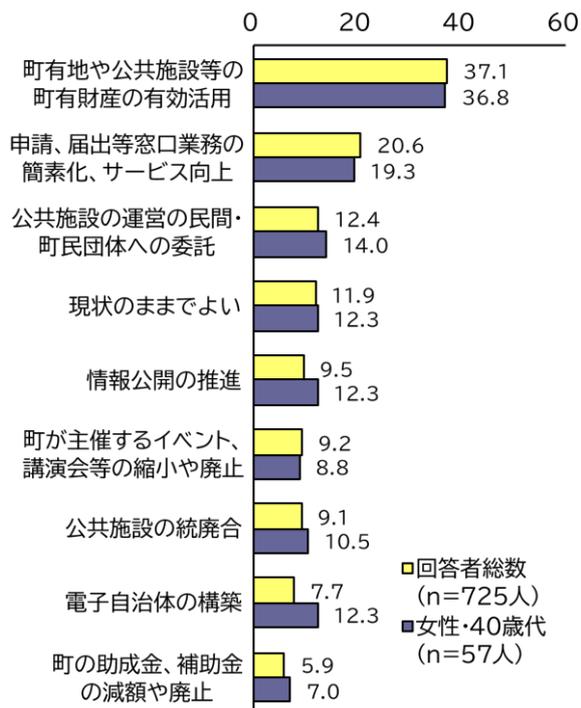
⑦女性・10～20歳代



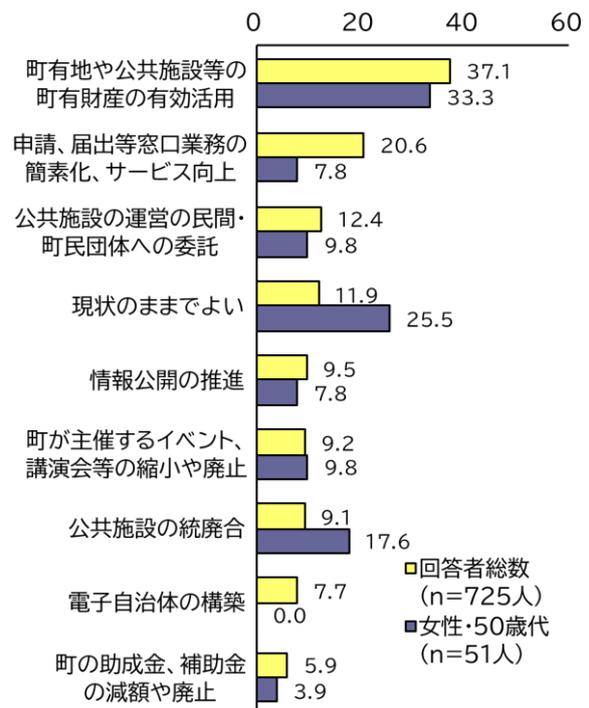
⑧女性・30歳代

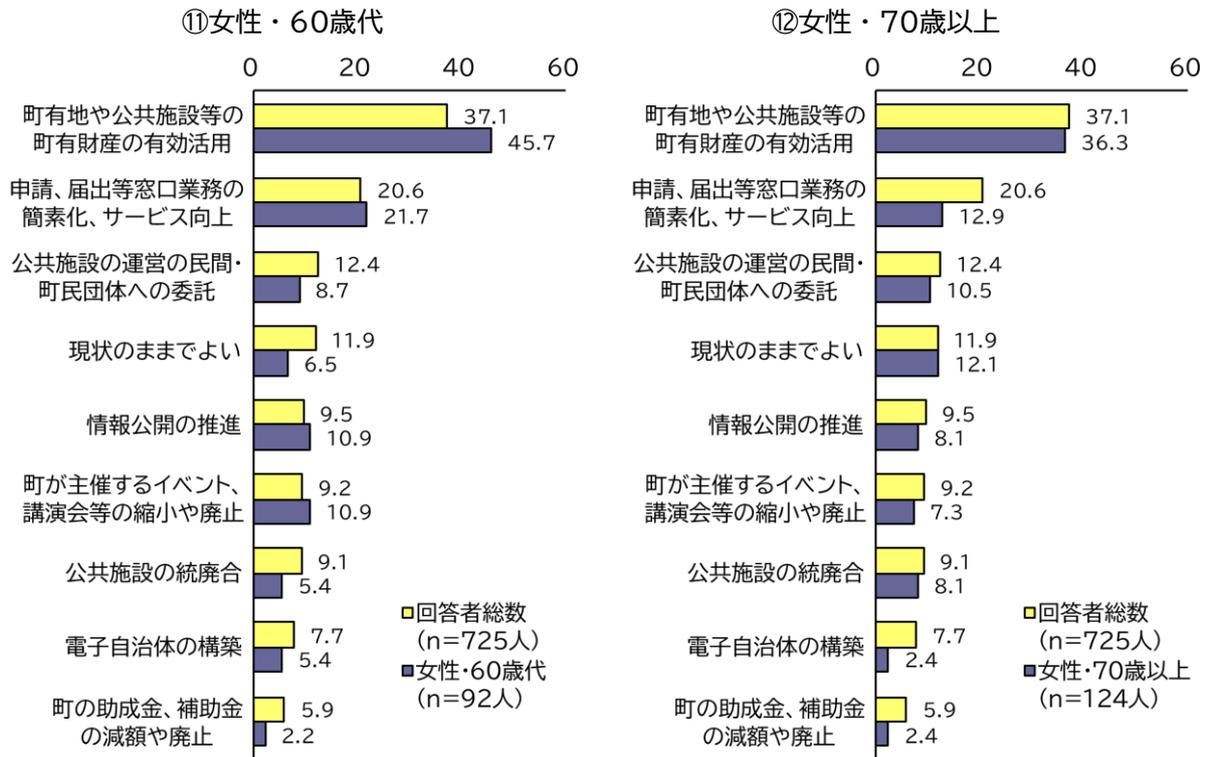


⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



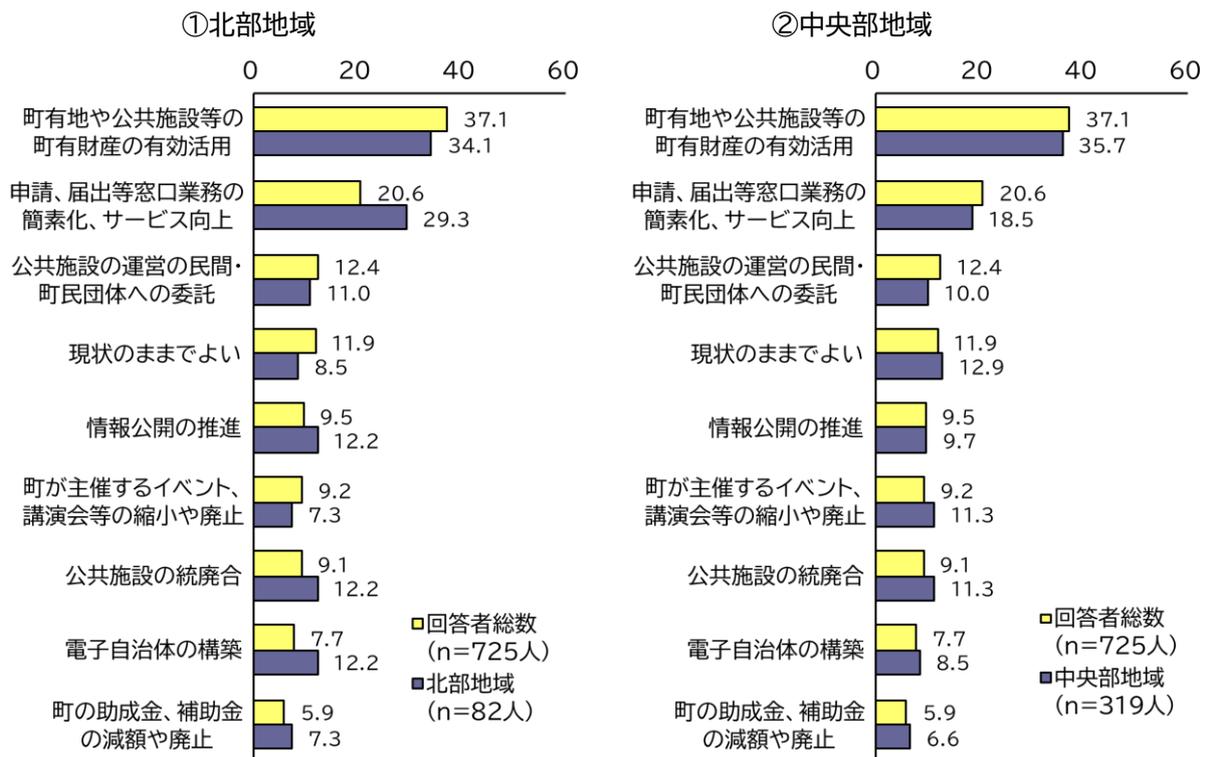


【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域は他の地域に比べて「申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上」の割合が高く、南東部地域は「町有地や公共施設等の町有財産の有効活用」の割合が高くなっています。

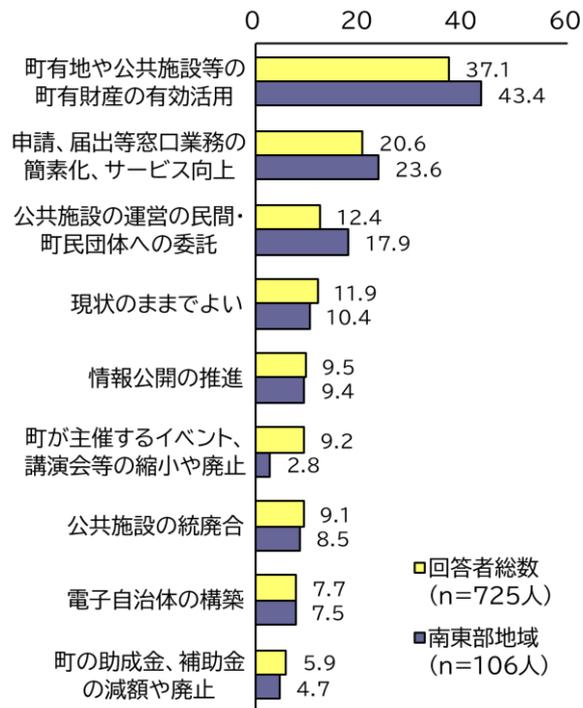
図 居住地域別でみた行財政改革の重点項目（複数回答）

（単位：％）

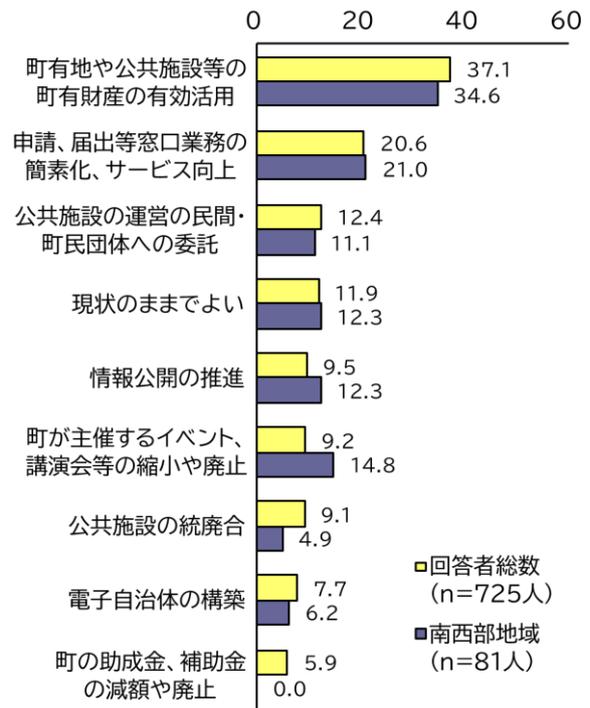


5-2 行財政改革の重点項目（問16）

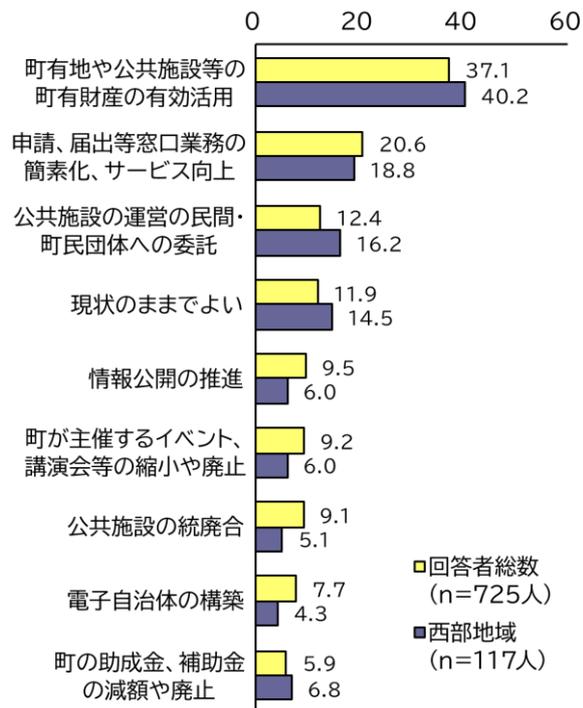
③南東部地域



④南西部地域



⑤西部地域



5-3 デジタル化推進のための取組（問17）

問 17 越生町では、行政手続きのオンライン化等のデジタル化を推進しています。越生町がデジタル化を進める上で力を入れてほしい取組は、次のどれですか。（2 つまで○印）

「各種行政手続きのオンライン化」が最も多い

デジタル化推進のための取組については、「各種行政手続きのオンライン化」が30.8%で最も多く、次いで「町ホームページや町公式 SNS 等の情報発信の充実」が17.4%、「スマートフォン教室の開催等デジタル活用支援」が16.0%で続いています。

図 デジタル化推進のための取組（複数回答）

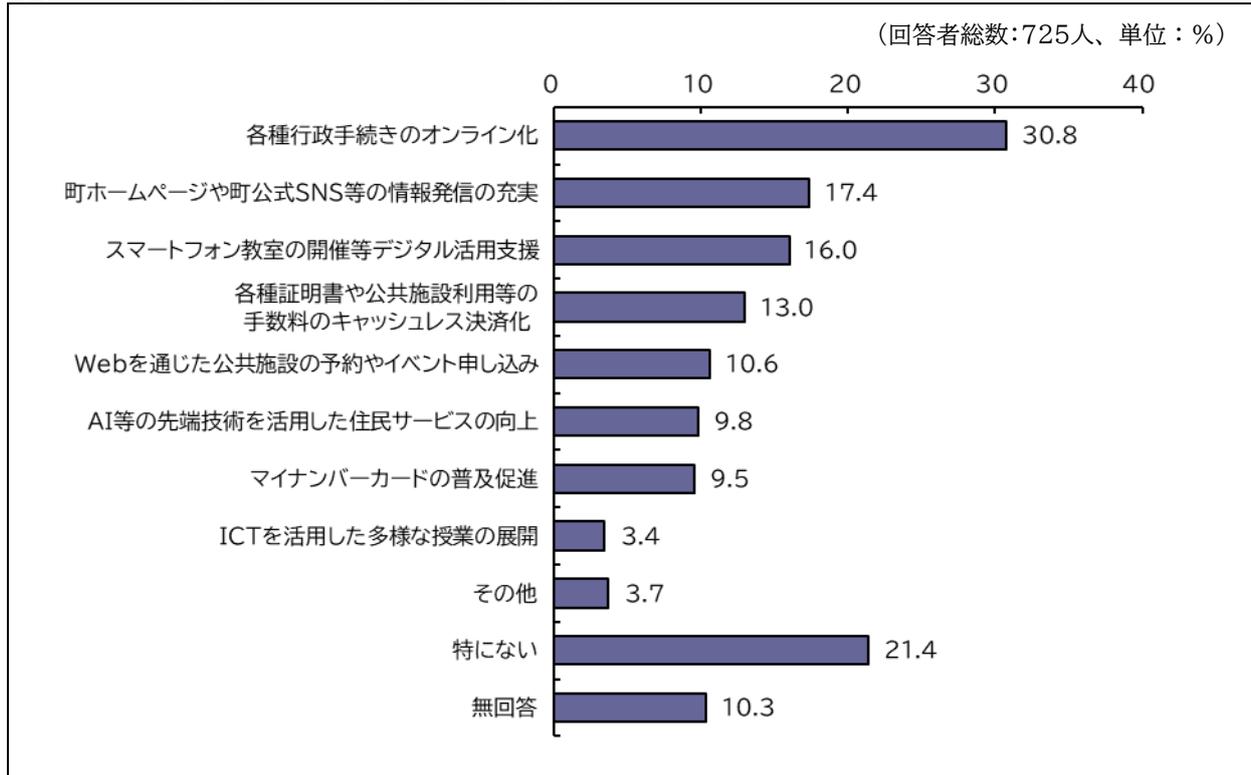


表 デジタル化推進のための取組（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
各種行政手続きのオンライン化	223 (30.8)
町ホームページや町公式 SNS 等の情報発信の充実	126 (17.4)
スマートフォン教室の開催等デジタル活用支援	116 (16.0)
各種証明書や公共施設利用等の手数料のキャッシュレス決済化	94 (13.0)
Webを通じた公共施設の予約やイベント申し込み	77 (10.6)
AI等の先端技術を活用した住民サービスの向上	71 (9.8)
マイナンバーカードの普及促進	69 (9.5)
ICTを活用した多様な授業の展開	25 (3.4)
その他	27 (3.7)
特にない	155 (21.4)
無回答	75 (10.3)

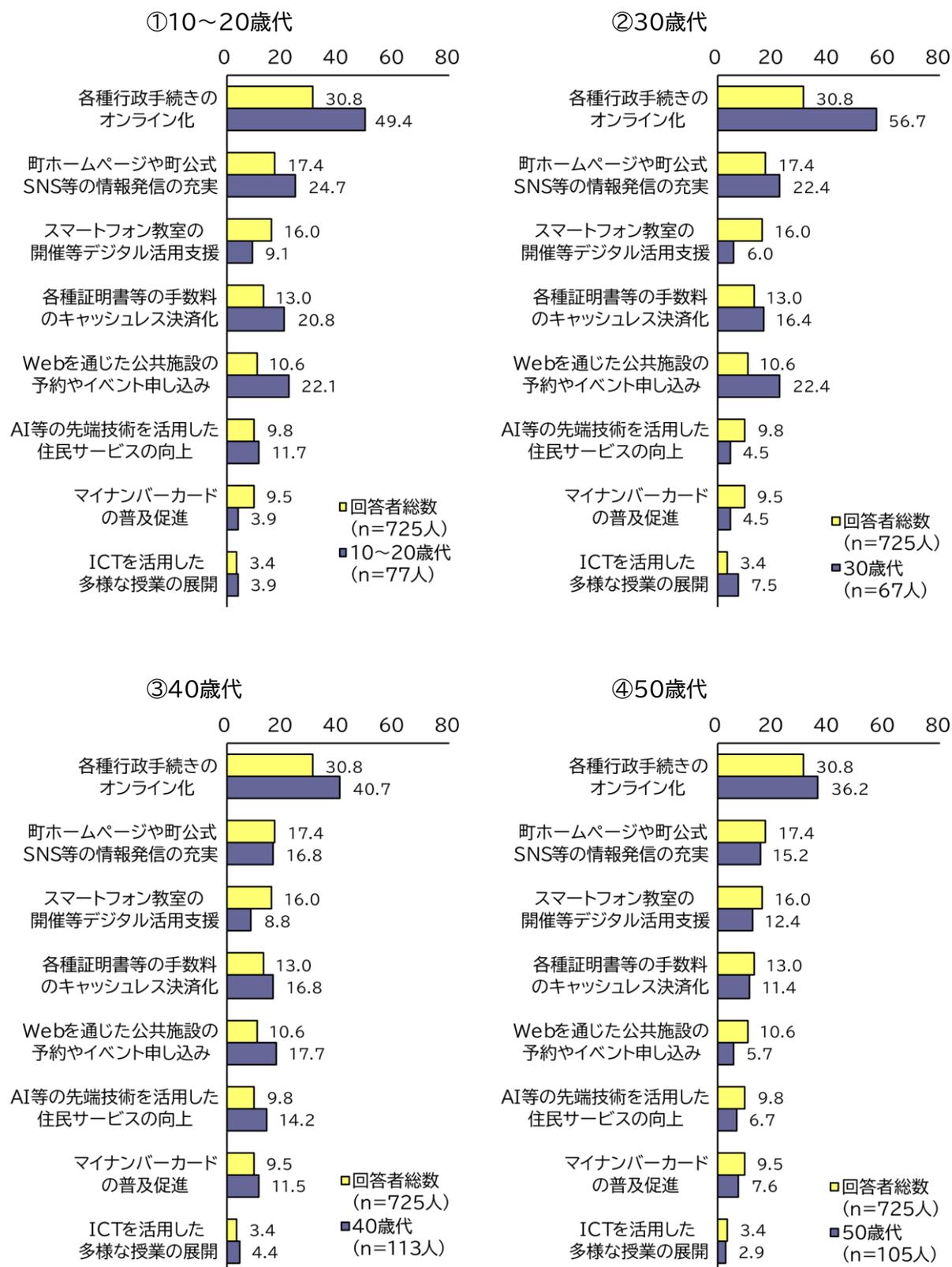
※この設問は複数回答であるため、構成比の和は100%を超えることがあります。

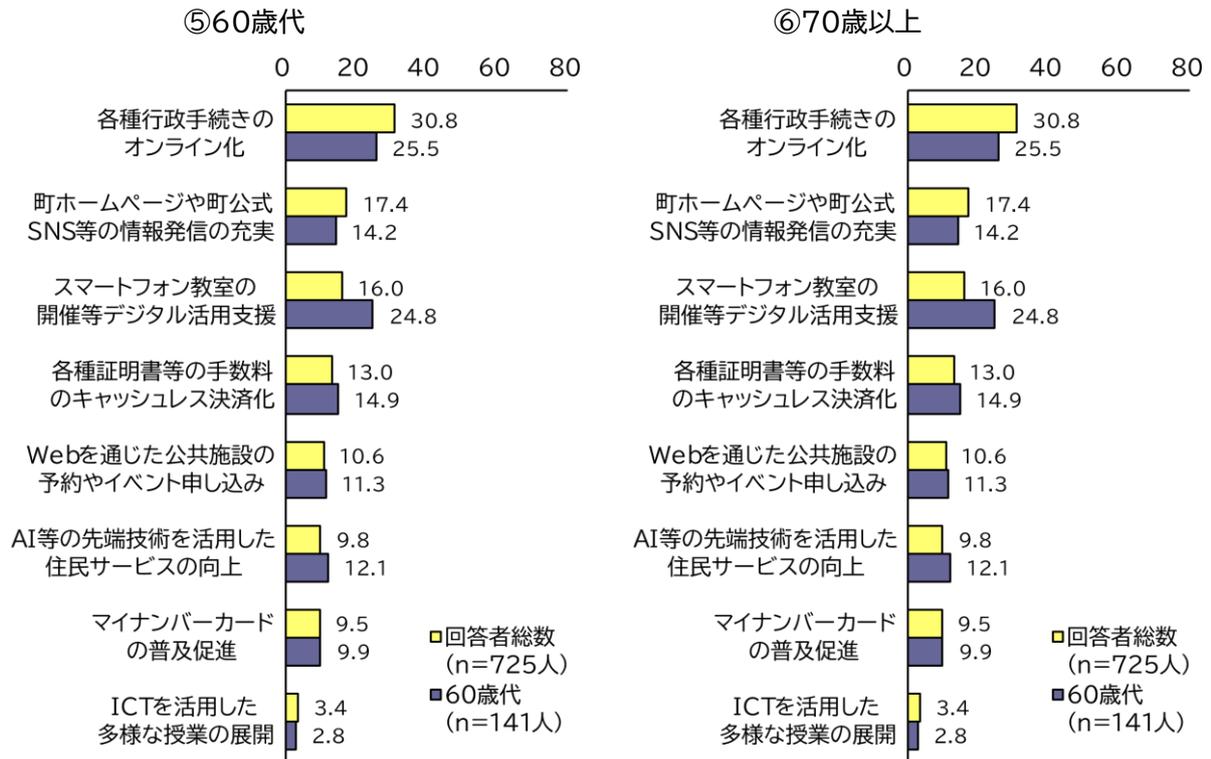
5-3 デジタル化推進のための取組（問17）

【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代及び30歳代は他の回答者に比べて「各種行政手続きのオンライン化」、「町ホームページや町公式 SNS等の情報発信の充実」及び「Webを通じた公共施設の予約やイベント申し込み」の割合が高くなっています。これに対し、70歳以上は「各種行政手続きのオンライン化」の割合が低く、「スマートフォン教室の開催等デジタル活用支援」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみたデジタル化推進のための取組（複数回答）（単位：％）

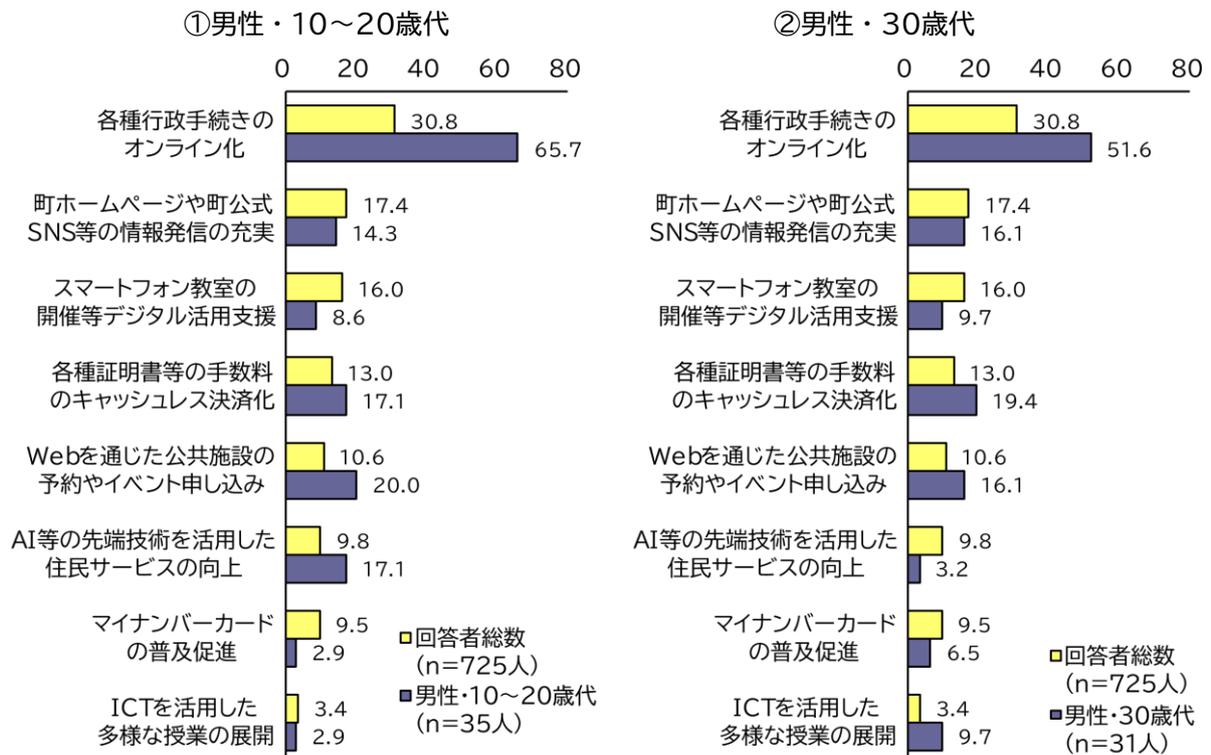




【性・年齢別】

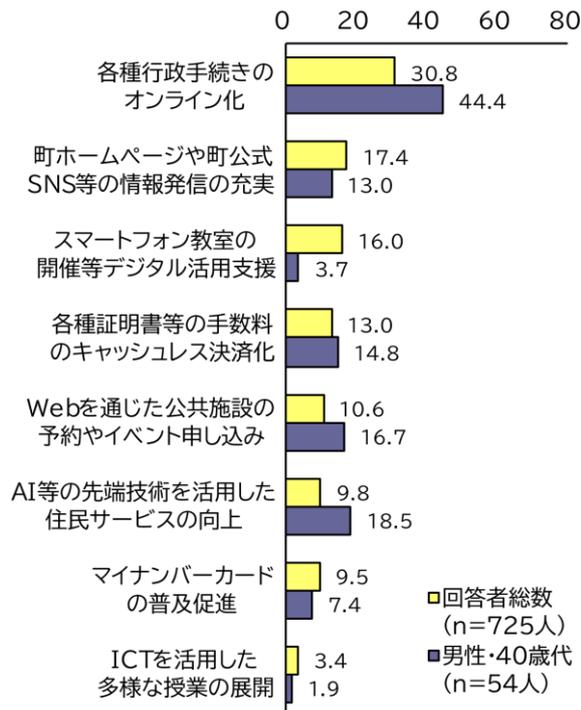
これを性・年齢別にみると、男性の10歳代～60歳代までの回答者及び女性・30歳代は他の回答者に比べて「各種行政手続きのオンライン化」の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみたデジタル化推進のための取組（複数回答）（単位：％）

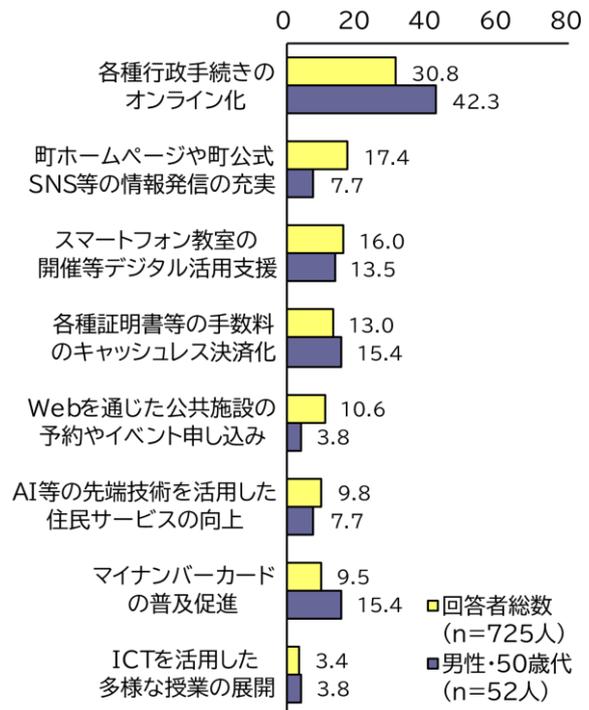


5-3 デジタル化推進のための取組（問17）

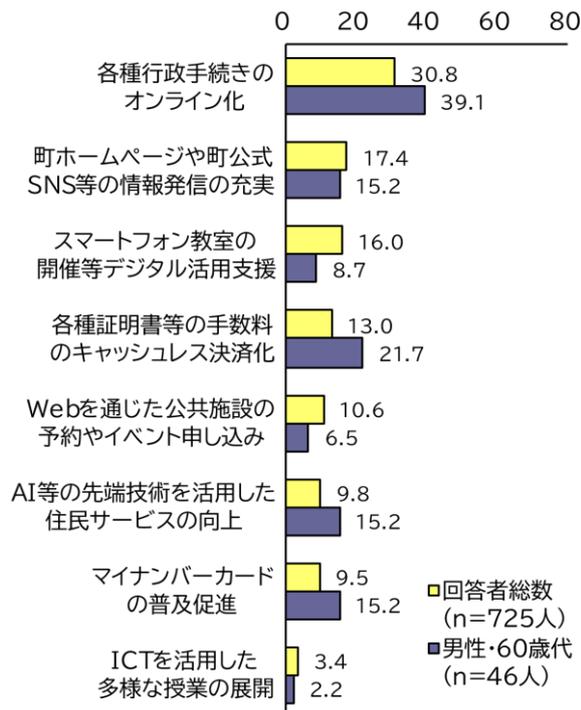
③男性・40歳代



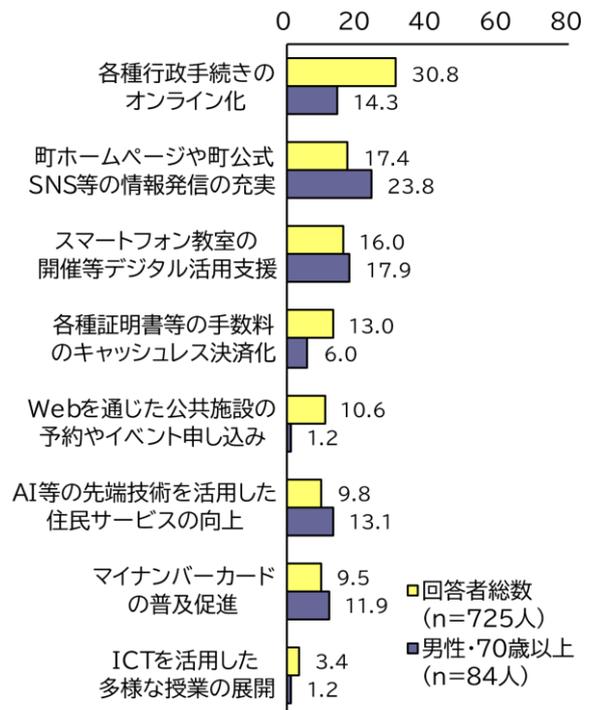
④男性・50歳代



⑤男性・60歳代

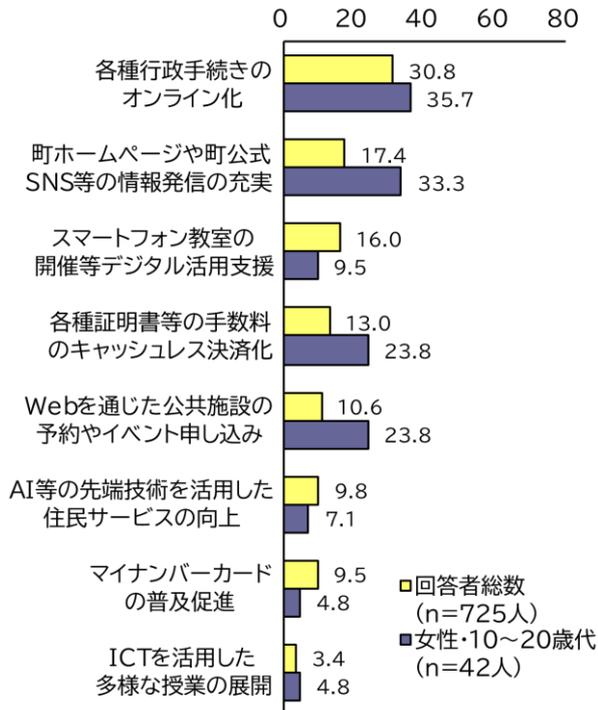


⑥男性・70歳以上

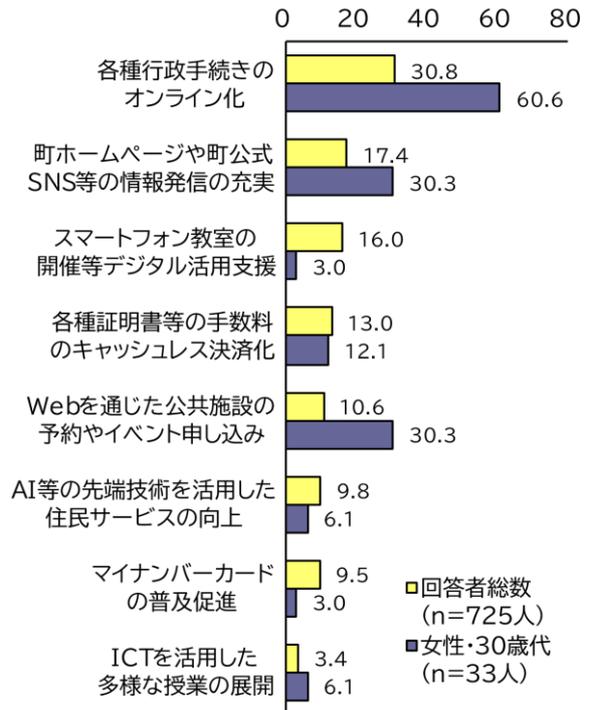


5-3 デジタル化推進のための取組（問17）

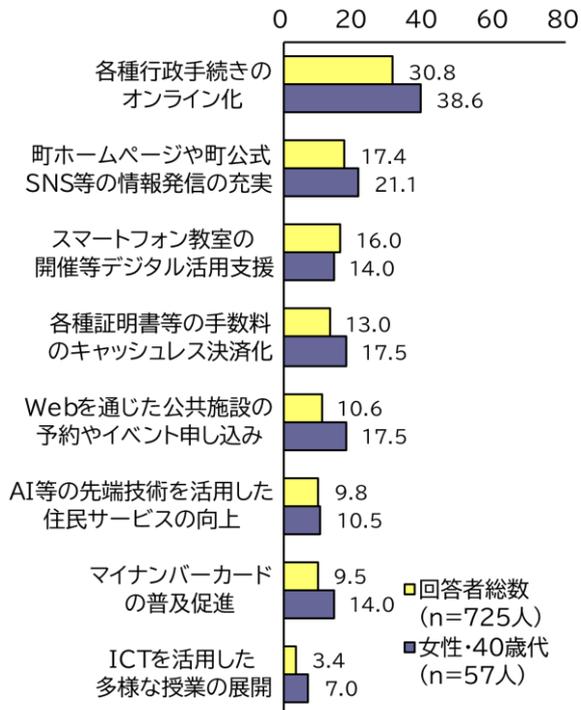
⑦女性・10～20歳代



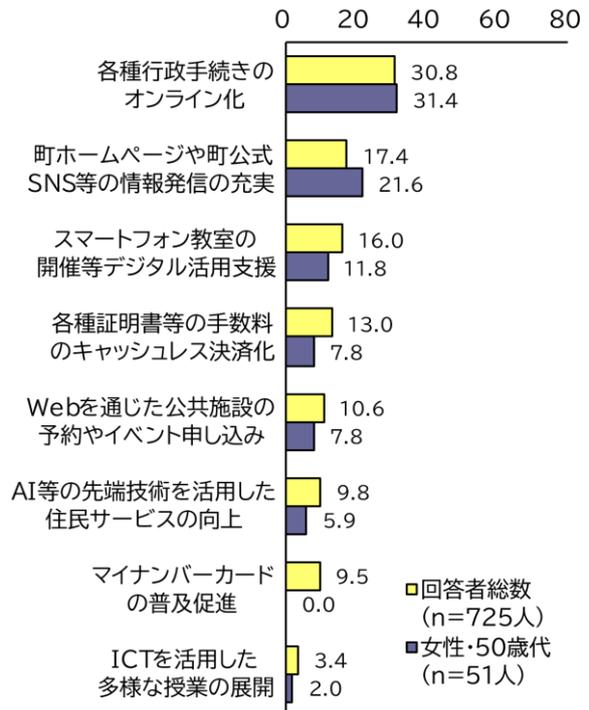
⑧女性・30歳代



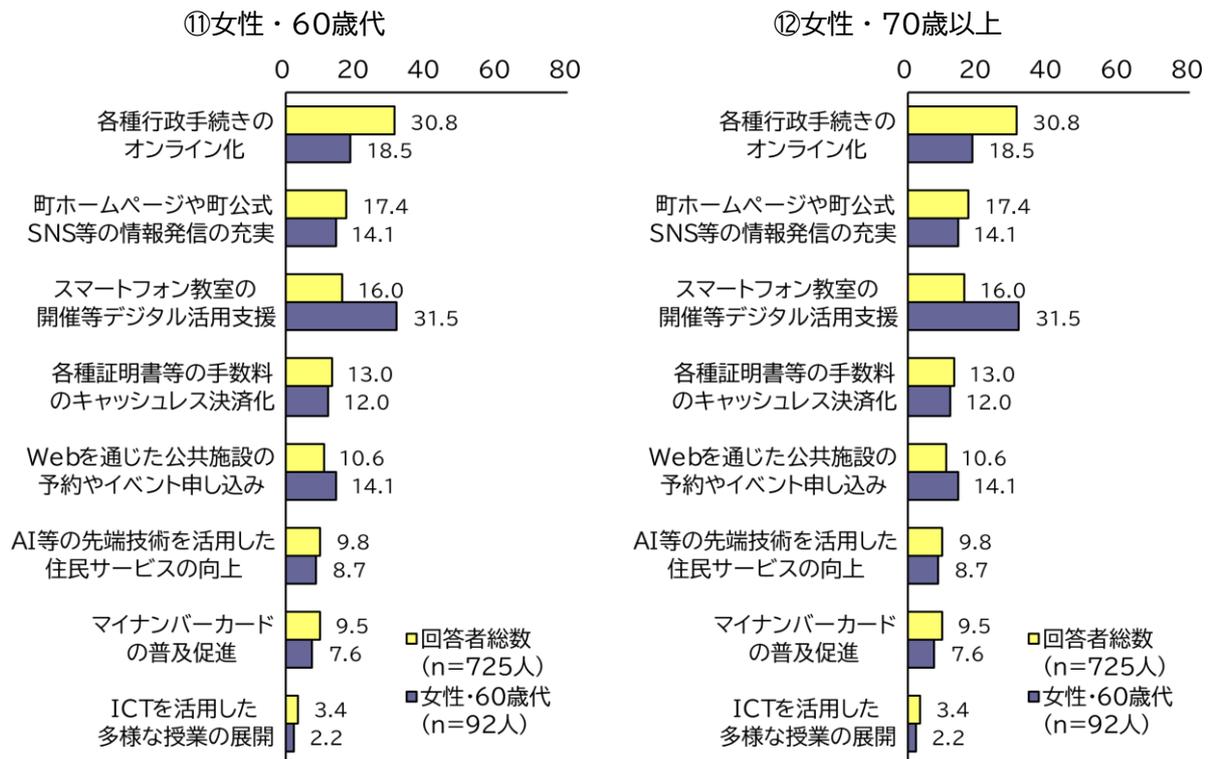
⑨女性・40歳代



⑩女性・50歳代



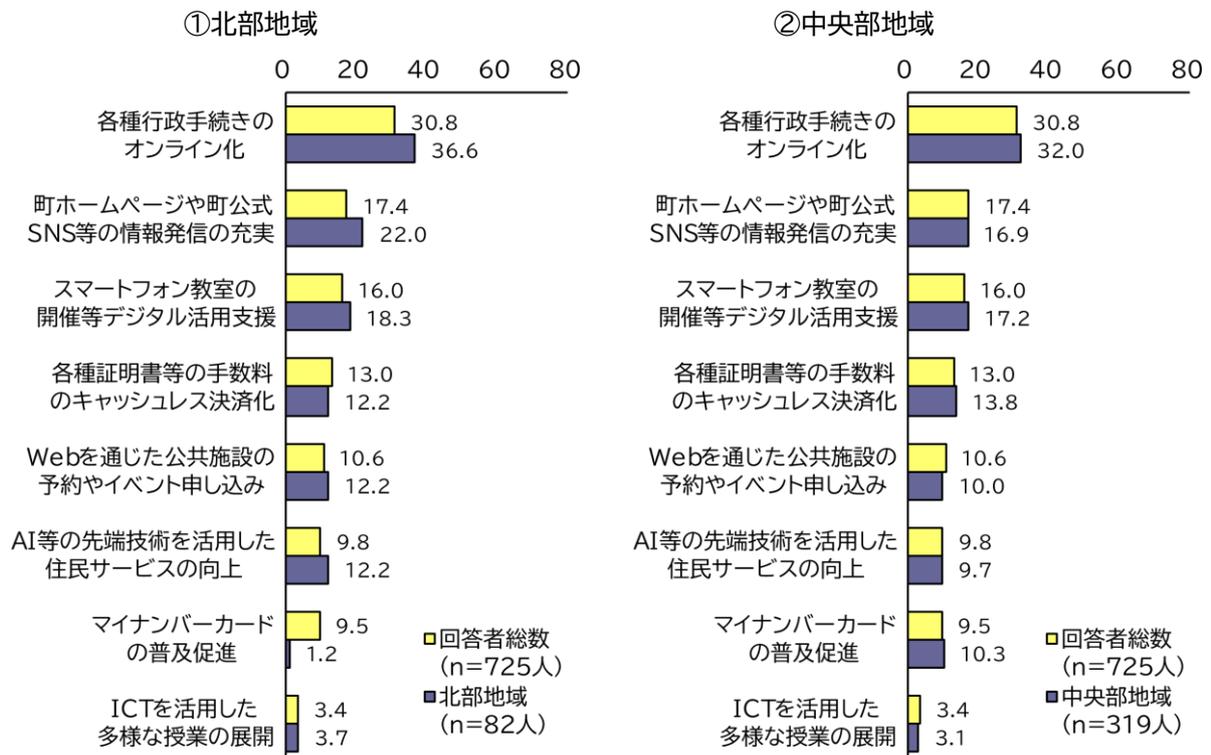
5-3 デジタル化推進のための取組（問17）



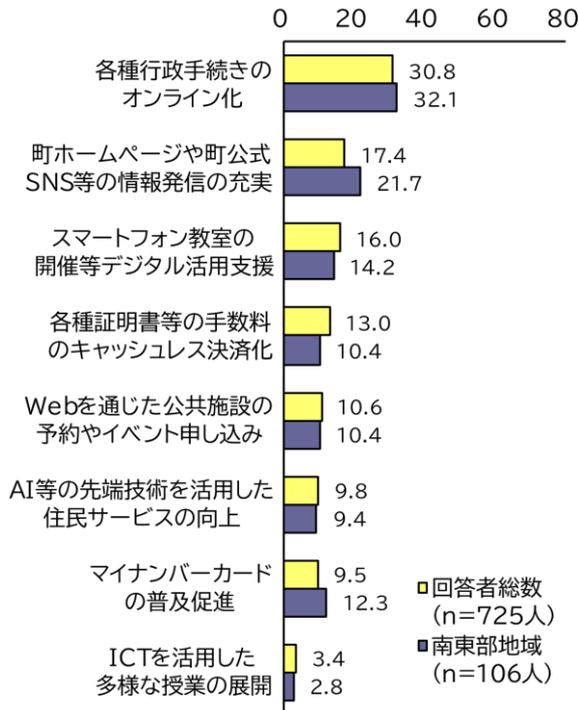
【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域は他の地域に比べて「各種行政手続きのオンライン化」の割合が高くなっています。

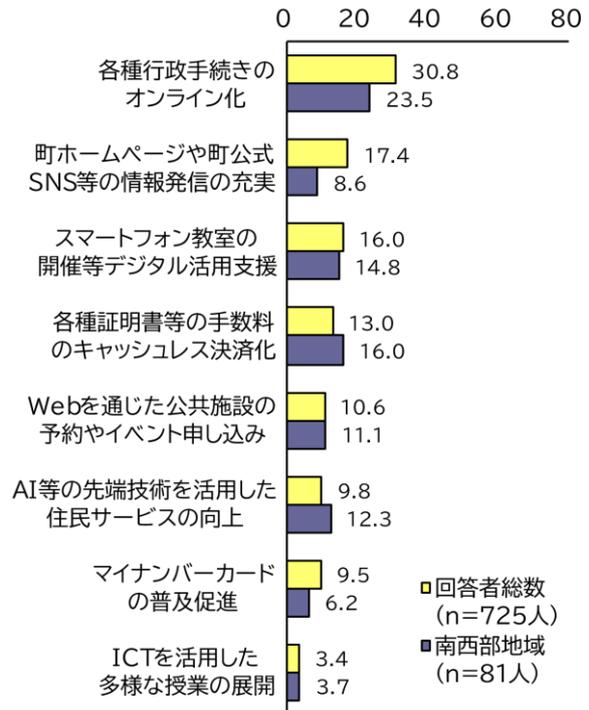
図 居住地域別でみたデジタル化推進のための取組（複数回答）（単位：％）



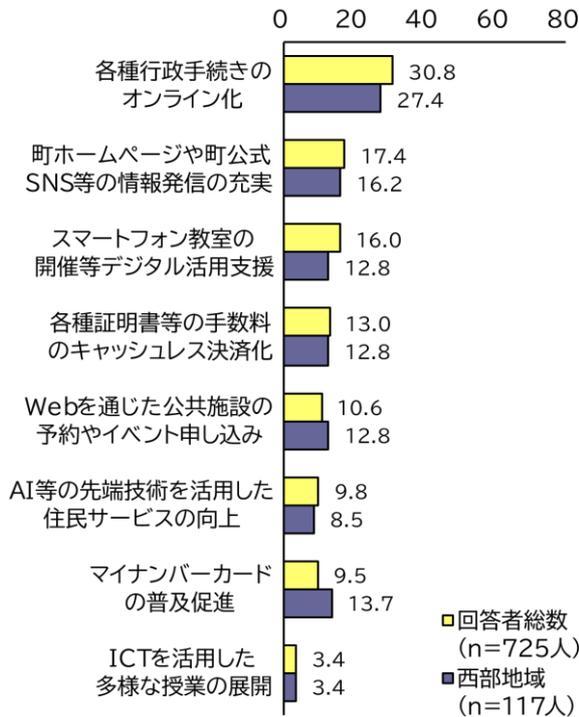
③南東部地域



④南西部地域



⑤西部地域



5-4 今後の公共施設のあり方（問18）

問 18 越生町では、過去に建築された公共施設等が更新時期を迎え、今後、大規模改修や建替えをするためには、多額の経費がかかると見込まれています。あなたは、今後の公共施設のあり方についてどのように考えますか。（1つに○印）

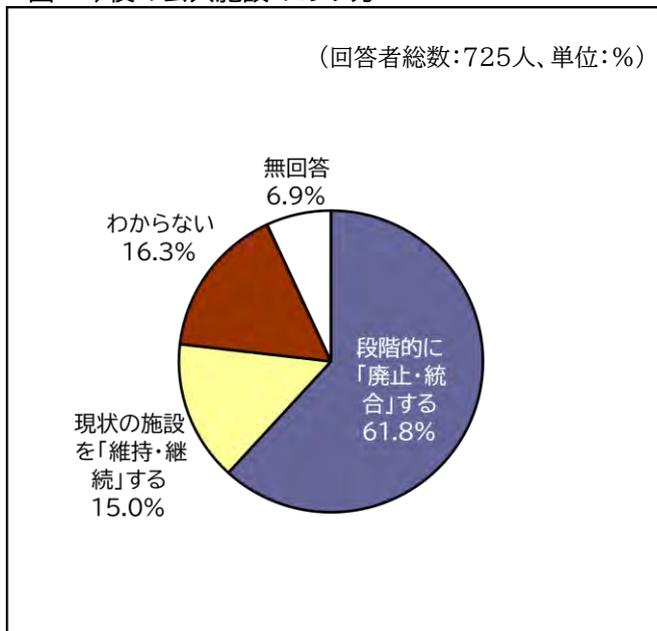
「段階的に『廃止・統合』する」が61.8%

今後の公共施設のあり方については、「段階的に『廃止・統合』する」が61.8%、「現状の施設を『維持・継続』する」が15.0%、「わからない」が16.3%となっています。

表 今後の公共施設のあり方

区 分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
段階的に「廃止・統合」する	448 (61.8)
現状の施設を「維持・継続」する	109 (15.0)
わからない	118 (16.3)
無回答	50 (6.9)

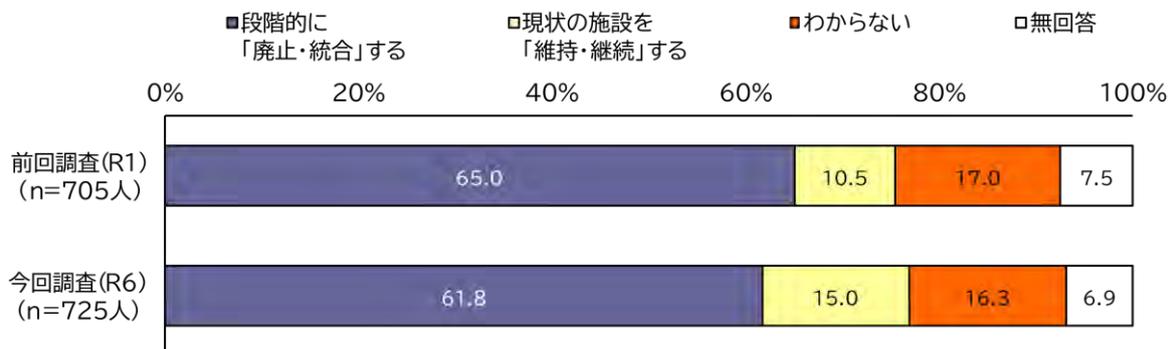
図 今後の公共施設のあり方



【時系列比較】

これを時系列でみると、前回調査から今回調査にかけて特に顕著な違いはみられません。

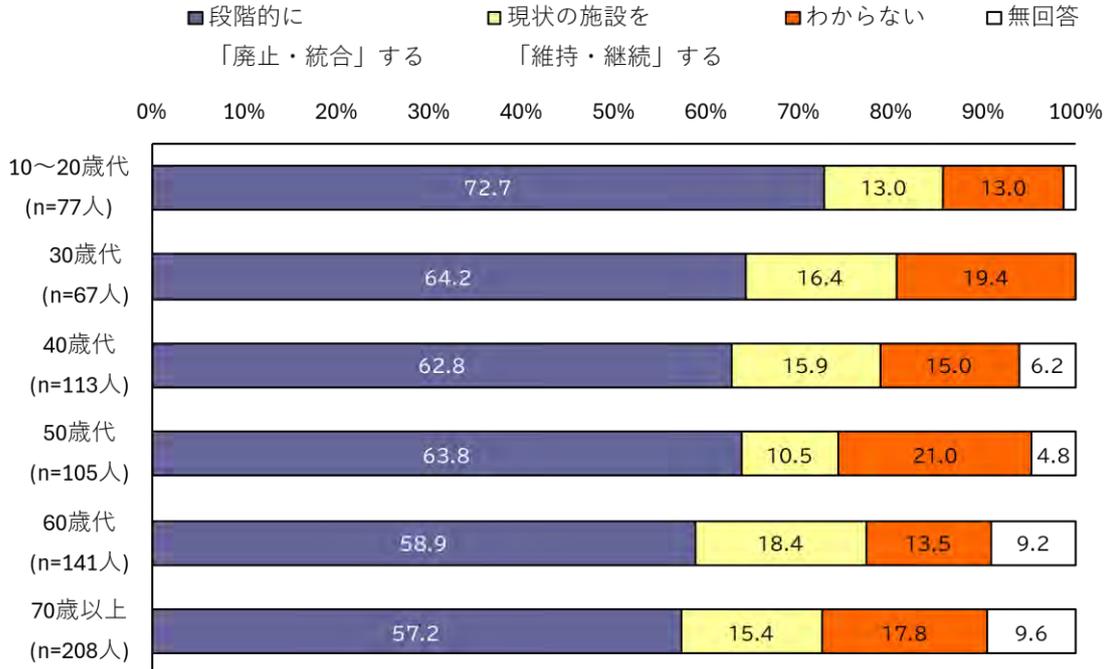
図 時系列でみた今後の公共施設のあり方



【年齢別】

これを年齢別にみると、10～20歳代は他の回答者に比べて「段階的に『廃止・統合』する」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた今後の公共施設のあり方

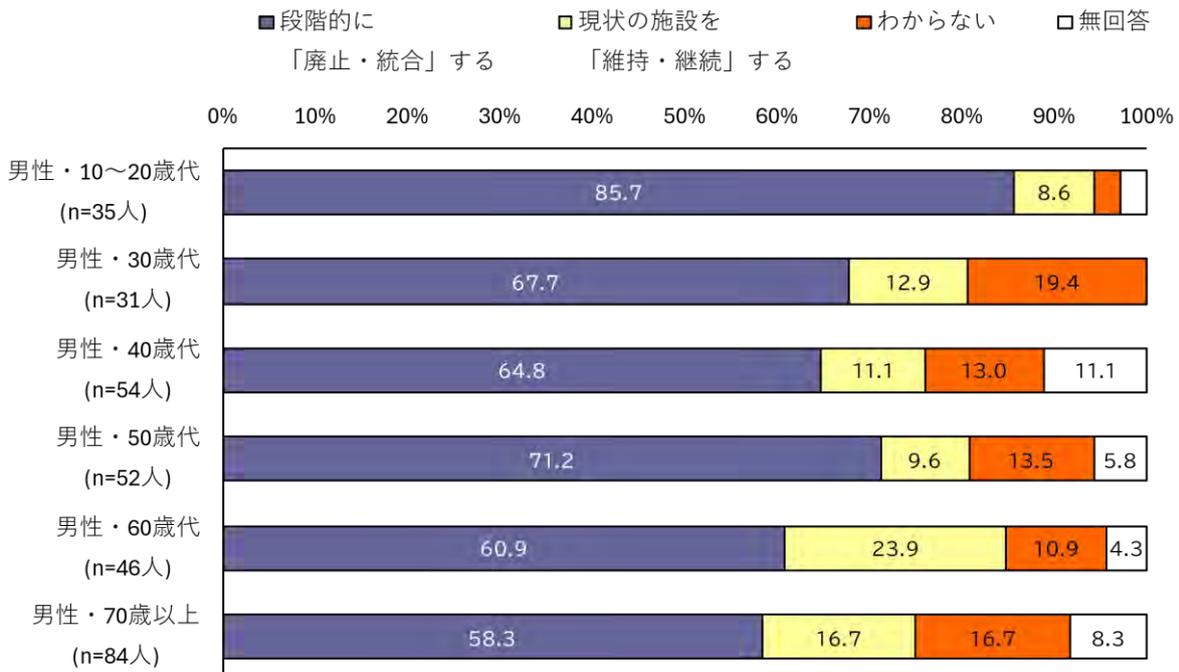


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【性・年齢別】

これを性・年齢別にみると、男性・10～20歳代は他の回答者に比べて「段階的に『廃止・統合』する」の割合が高くなっています。

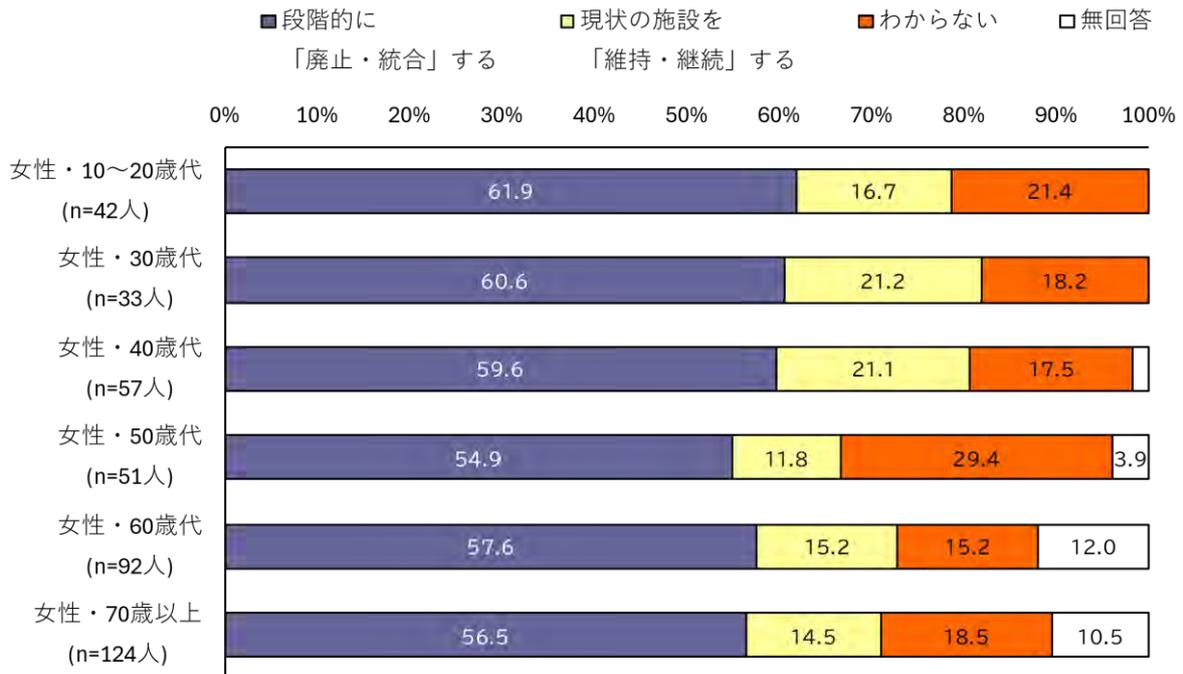
図 性・年齢別でみた今後の公共施設のあり方（①男性）



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

5-4 今後の公共施設のあり方（問18）

図 性・年齢別でみた今後の公共施設のあり方（②女性）

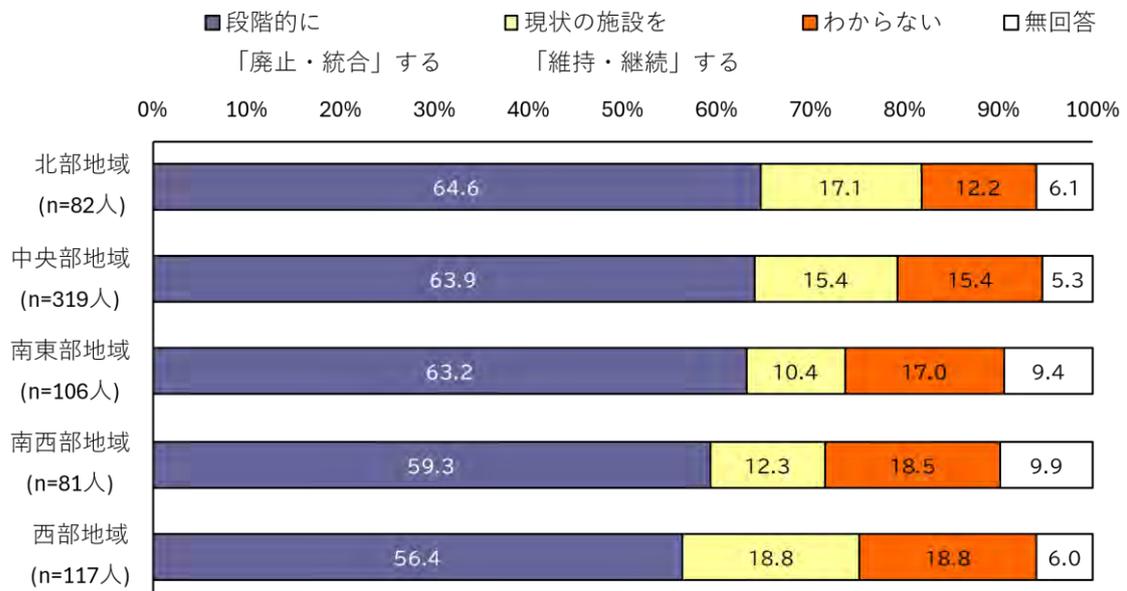


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、北部地域、中央部地域及び南東部地域は「段階的に『廃止・統合』する」の割合が6割超となっています。

図 居住地域別でみた今後の公共施設のあり方



5-5 広域的な行政のあり方（問19）

問 19 越生町では、効率的かつ適切なサービスの提供のため、消防・救急、ごみ処理、下水道、斎場等の分野で、近隣市町と共同で広域的な取組をしています。あなたは、今後、こうした広域的な行政のあり方についてどのように思いますか。（1つに○印）

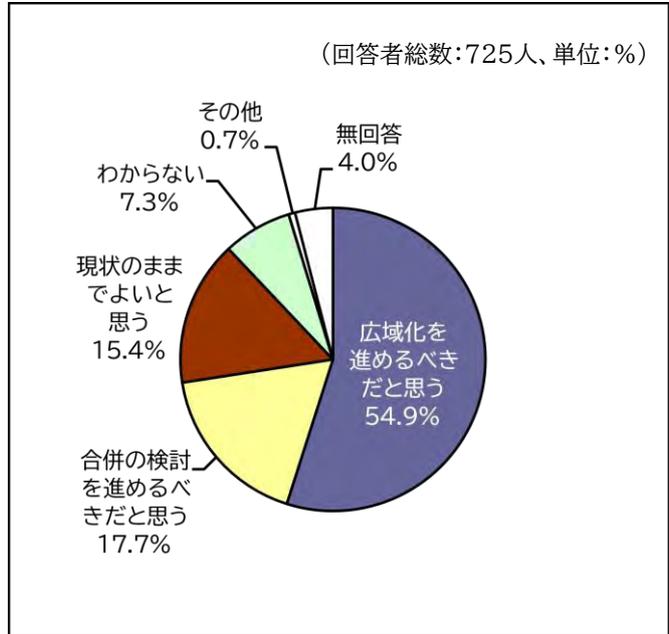
「広域化を進めるべきだと思う」が54.9%

広域的な行政のあり方については、「広域化を進めるべきだと思う」が54.9%で最も多く、次いで「合併の検討を進めるべきだと思う」が17.7%、「現状のままでよいと思う」が15.4%が続いています。

表 広域的な行政のあり方

区分	人 (%)
回答者総数	725 (100.0)
広域化を進めるべきだと思う	398 (54.9)
合併の検討を進めるべきだと思う	128 (17.7)
現状のままでよいと思う	112 (15.4)
わからない	53 (7.3)
その他	5 (0.7)
無回答	29 (4.0)

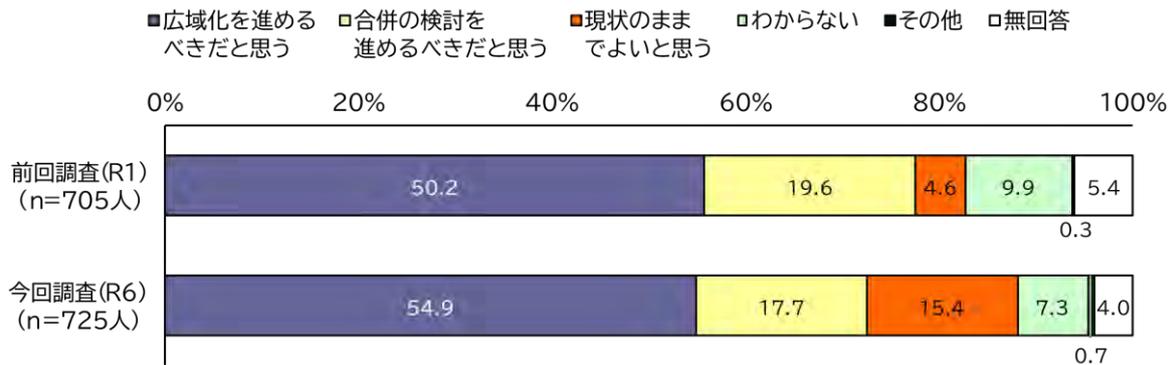
図 広域的な行政のあり方



【時系列比較】

これを時系列で見ると、前回調査から今回調査にかけて「現状のままでよいと思う」の割合が高くなっています。

図 時系列でみた広域的な行政のあり方

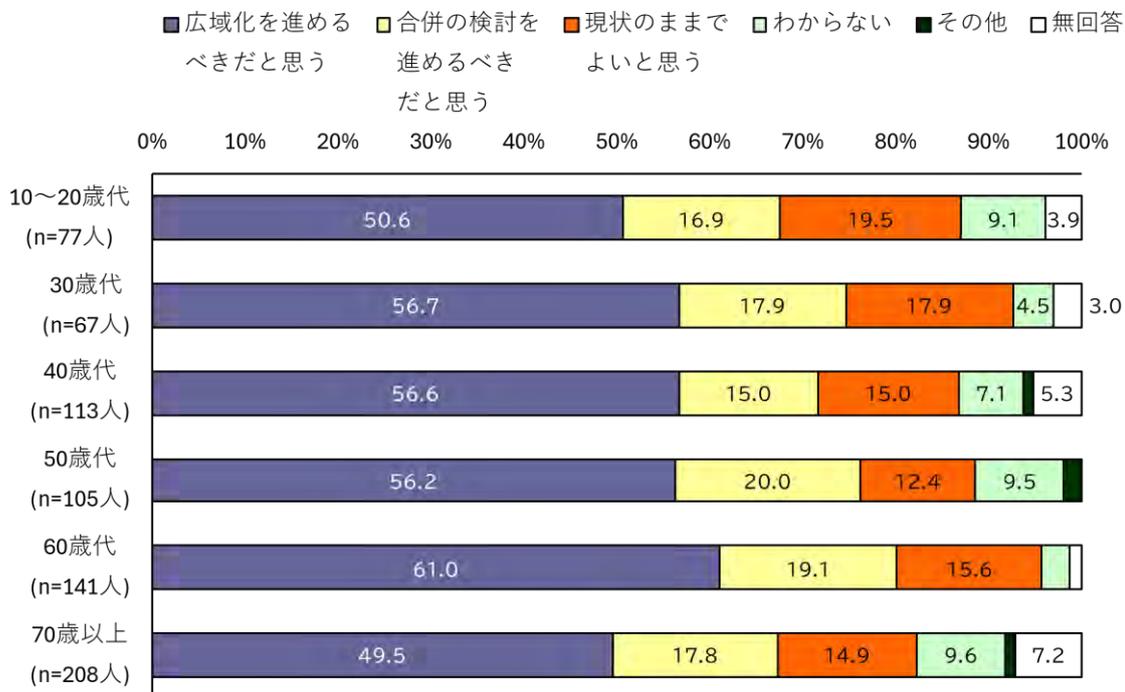


5-5 広域的な行政のあり方（問19）

【年齢別】

これを年齢別にみると、60歳代は他の回答者に比べて「広域化を進めるべきだと思う」の割合が高くなっています。

図 年齢別でみた広域的な行政のあり方

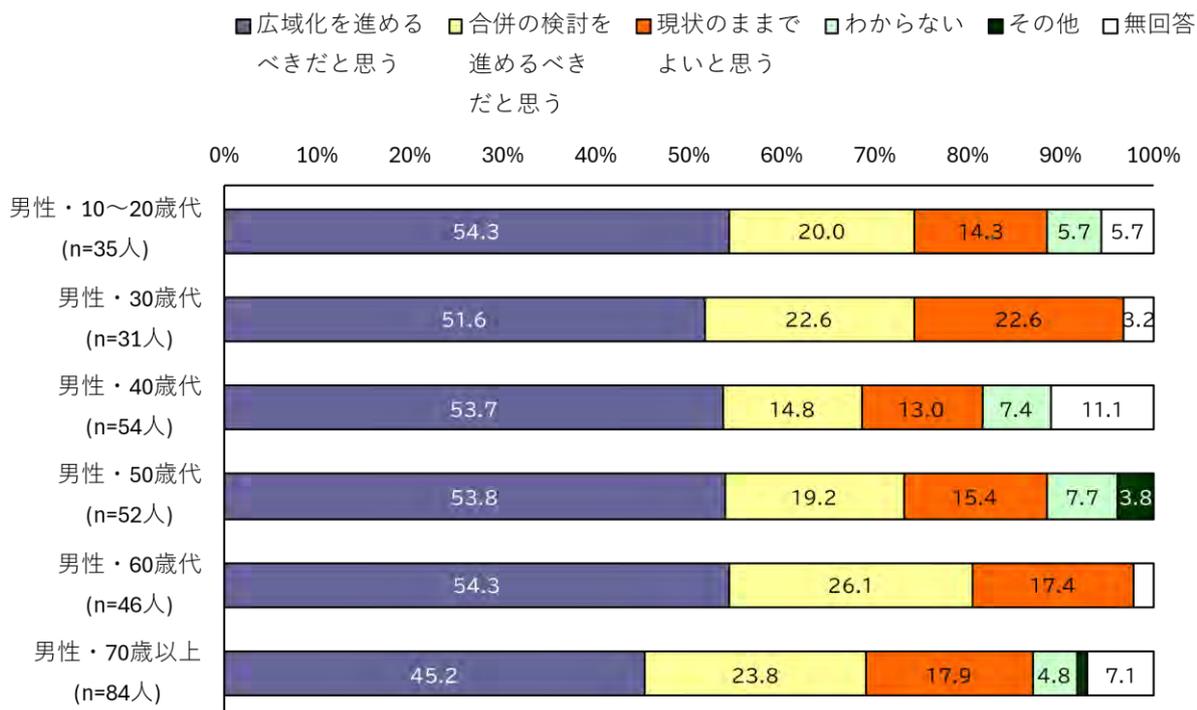


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【性・年齢別】

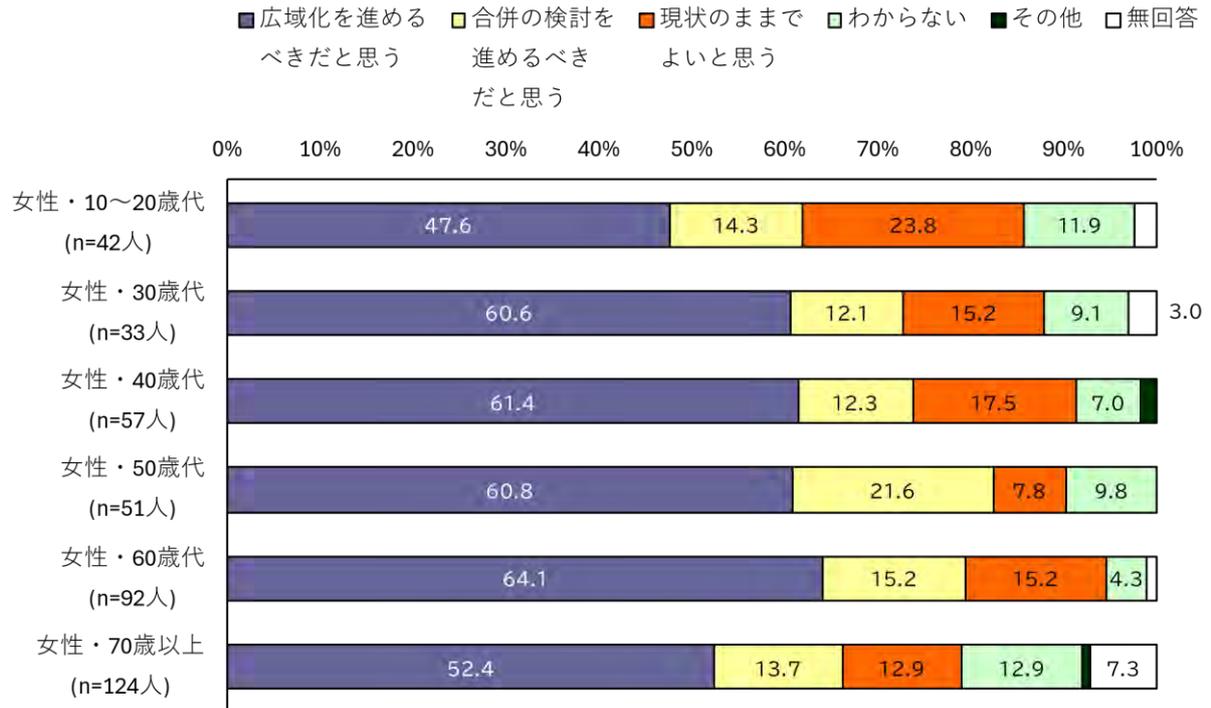
これを性・年齢別にみると、女性の30歳代から60歳代までの回答者は他の回答者に比べて「広域化を進めるべきだと思う」の割合が高くなっています。

図 性・年齢別でみた広域的な行政のあり方（①男性）



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

図 性・年齢別でみた広域的な行政のあり方（②女性）

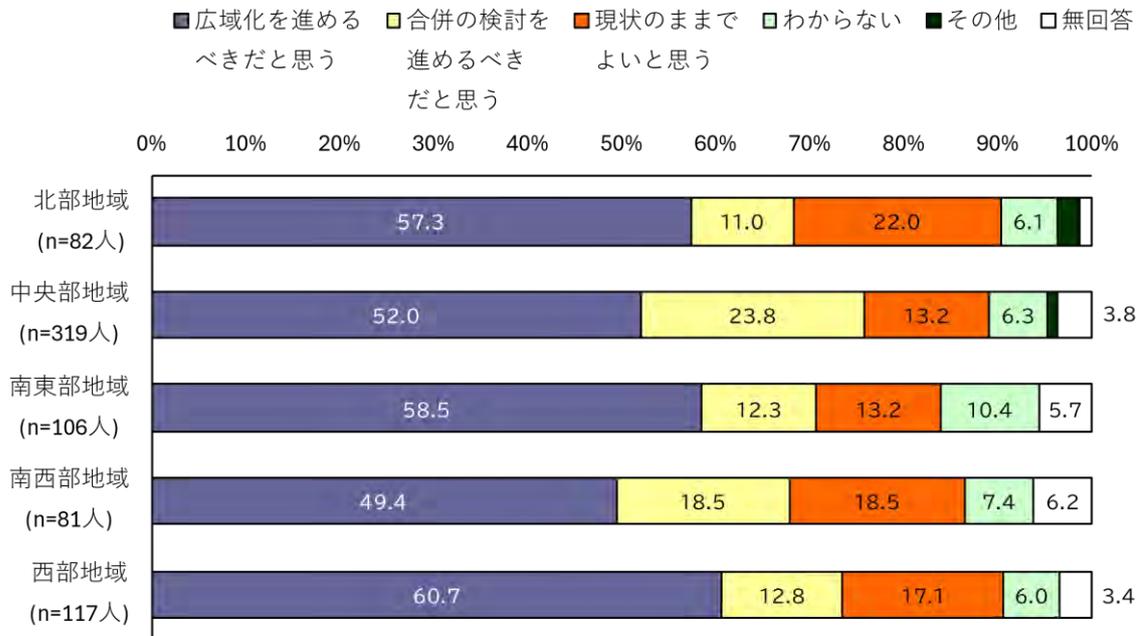


※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

【居住地域別】

これを居住地域別にみると、西部地域は他の地域に比べて「広域化を進めるべきだと思う」の割合が高くなっています。

図 居住地域別でみた広域的な行政のあり方



※図中、3%未満の数値は掲載を省略しています。

5-6 あなたが考える10年後の越生町について（問20）

5-6 あなたが考える10年後の越生町について（問20）

問 20 あなたは 10 年後の越生町が、どのようなまちになってほしいと考え、それを実現していくためには、行政や町民がどうすればよいと考えますか。また、長期総合計画に盛り込んでほしいキーワードや考え方、ご意見等、ご自由にお書きください。



（自由記入）

5-6 あなたが考える10年後の越生町について（問20）

資 料
調 查 票

越生町住民意識調査 ～調査にご協力をお願いします～

町民の皆様には、日頃から町行政に対し温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

越生町では現在、まちづくりの指針となる「第六次越生町長期総合計画・後期基本計画」（計画期間：令和8年度～令和12年度）の策定を進めています。

そこで、町民の皆様が日常生活のなかで感じていることや町行政に対するお考えをお聞かせいただくため、住民意識調査を実施することといたしました。

この調査にお答えいただく方は、町内在住の18歳以上の方から無作為に選ばせていただいたものです。調査は、無記名であり、調査結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方の情報等が漏れることは一切ありません。

是非、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださるようお願いいたします。

令和6年8月

越生町長 新井 康之

1 調査用紙記入にあたってのお願い

宛名のご本人がお答えください。ただし、記入が困難な場合には、家族の方等が代わりに記入いただいても差し支えありません。また、回答したくない項目は、無理にお答えいただく必要はありません。

2 調査の方法について

(1) 回答は、設問ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

また、「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。

(2) この調査票は、**8月20日（火）までに**同封の返信用封筒にいれ、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

3 個人情報の保護について

この調査は、無記名で、統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

4 お問い合わせ先

越生町役場 企画財政課 企画担当

電話：049-292-3121（内線223）

FAX：049-292-5400

メール：kikaku@town.ogose.saitama.jp

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性	3. その他 4. 回答しない
(2) あなたの年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
(3) 現在一緒に住んでいる家族	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 2世代(親と子)	4. 3世代 5. 兄弟や親戚と同居 6. その他()
(4) あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業 2. 自営業・自由業 3. 会社員 4. 公務員・団体職員 5. パート・アルバイト	6. 家事専業 7. 学生 8. 無職 9. その他()
(5) あなたの出身地	1. 越生町に生まれてからずっと住んでいる 2. 越生町出身だが、町外での居住経験がある 3. 県内の他の市町村から転入してきた 4. 県外から転入してきた	
(6) あなたの居住年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満	4. 10年以上20年未満 5. 20年以上30年未満 6. 30年以上
(7) あなたの居住地域 (※カッコ内は行政区)	1. 北部地域 (大谷、鹿下、古池、成瀬、津久根) 2. 中央部地域 (河原町、新宿、上町、仲町、本町、上台、 越生東1、越生東2、唐沢、上野東、黒岩) 3. 南東部地域 (如意、如意東、しらすぎ、西和田) 4. 南西部地域 (上野1、上野2) 5. 西部地域 (小杉、大満、黒山、龍ヶ谷、麦原、上谷、堂山)	

住みごこち・愛着度・定住意向についておたずねします。

問2 あなたにとって、現在の越生町の住みごこちはいかがですか。(1つに○印)

1. 住みごこちほよい
2. どちらかという住みごこちはよい
3. 普通
4. どちらかという住みごこちは悪い
5. 住みごこちは悪い

問3 あなたは、越生町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。(1つに○印)

1. とても愛着を感じている
2. どちらかという愛着を感じている
3. どちらともいえない
4. あまり愛着を感じていない
5. 愛着を感じていない

問4 あなたは、今後も越生町に住みたいと思いますか。(1つに○印)

1. 住みたい
2. どちらかといえば住みたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みたくない
5. 住みたくない

問5 あなたは、越生町のどのようなところが魅力だと思いますか。(3つまで○印)

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. 人情味や地域の連帯感がある | 13. 買い物の便がよい |
| 2. 情報通信環境が整っている | 14. 働く場が整っている |
| 3. 町の知名度が高い | 15. 魅力ある観光資源がある |
| 4. 保健・医療環境が整っている | 16. 消防・防災・防犯体制が整っている |
| 5. 福祉環境が整っている | 17. 住みやすい住宅地がある |
| 6. 保育・子育て環境が整っている | 18. 道路・交通の便がよい |
| 7. 学校教育環境が整っている | 19. 生活環境施設(上下水道施設やごみ処理施設等)が整っている |
| 8. 生涯学習環境が整っている | 20. 自然環境・景観が豊かである |
| 9. 文化・スポーツ環境が整っている | 21. 公園・緑地が充実している |
| 10. 優れた歴史的遺産がある | 22. 特に魅力を感じない |
| 11. おいしい農産物・特産品がある | 23. その他 () |
| 12. 魅力的な企業がある | |

問6 あなたは、越生町のどのようなところが不足していると思いますか。

(3つまで○印)

1. 人情味や地域の連帯感が不十分	13. 買い物の便が悪い
2. 情報通信環境が不十分	14. 働く場が不十分
3. 町の知名度が低い	15. 魅力ある観光資源が少ない
4. 保健・医療環境が不十分	16. 消防・防災・防犯体制が不十分
5. 福祉環境が不十分	17. 住みやすい住宅地が少ない
6. 保育・子育て環境が不十分	18. 道路・交通の便が悪い
7. 学校教育環境が不十分	19. 生活環境施設（上下水道施設やごみ処理施設等）が不十分
8. 生涯学習環境が不十分	20. 自然環境・景観が悪い
9. 文化・スポーツ環境が不十分	21. 公園・緑地が不十分
10. 優れた歴史的遺産が少ない	22. 特に不足しているところは感じない
11. おいしい農産物・特産品が少ない	23. その他（ ）
12. 魅力的な企業が少ない	

町の現状と今後の取組についておたずねします。

問7 越生町では、第六次越生町長期総合計画・前期基本計画（令和3年度～令和7年度）に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めています。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

(2) あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視しますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

項目	(1) 現状の満足度					(2) 今後の重要度					
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない	
1. 新たなつながりが生まれるまち【交流・関係・移住定住分野】											
①魅力ある観光の振興（観光施設整備、観光イベントの開催やPR等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
②コミュニティ活動（コミュニティ・地域づくり活動、地域おこし協力隊、青少年健全育成等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1

項目	(1) 現状の満足度						(2) 今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である		重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
③移住・定住（空き家バンク制度、出会いの場の創出、結婚祝金の支給等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
④シティプロモーション（SNSやPR動画による町のプロモーション活動等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑤地域・国際交流（県内外の市区町村や近隣の大学との協力・連携等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
2. 健康で心豊かに安心して暮らせるまち 【保健・医療・福祉分野】											
①健康づくり（健康相談や健康づくりマイレージによる健康づくり、健康診査の促進等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
②地域医療体制（医療機関と連携した休日・夜間診療体制の確保、西入間広域消防組合との連携、感染症に対する体制等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
③高齢者福祉（難聴者補聴器購入費補助等の福祉・介護サービスの充実、シルバー人材センターによる生きがいづくりの推進等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
④子育て支援（こどもの医療費・給食費無償化、こども食堂運営費補助の充実等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑤障がい者福祉（福祉用具費支援、相談支援による地域生活を支える体制づくり等の障がい福祉サービスの充実）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑥国民健康保険・国民年金（制度の周知徹底、適正な運営、医療費通知等による医療費適正化等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑦消費者対策（消費者トラブル防止に向けた啓発、消費者生活相談の開催等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑧町営樹木葬墓苑（町営樹木葬墓苑の適切な運営管理を通じた町民等の福祉の向上等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
3. 安全・安心で快適なまち 【まちづくり分野】											
①土地利用計画（時代の変化に対応した土地利用の推進等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
②住環境の整備（公園整備、空き家対策、区画整理事業等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1

項目	(1) 現状の満足度						(2) 今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である		重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
③道水路の整備（町道・水路の整備と維持管理等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
④交通体系の整備（高齢者等の移動手段確保、越生駅東西自由通路の維持管理等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑤交通安全対策（交通安全教育の充実、交通安全啓発運動の実施等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑥上下水道の整備（安心・安全な水の供給、施設の維持管理等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑦自然環境の保全対策（河川の水質検査等による公害の防止とゼロカーボンシティの推進等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑧ごみ処理対策（収集・処理体制の充実、減量化の促進等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑨し尿・雑排水処理対策（合併処理浄化槽等の維持管理や設置促進等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
⑩消防・防災・防犯対策（防災訓練の実施、消防団や駅前防犯パトロール隊による地域ぐるみの防災・防犯体制の充実等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
4. 魅力ある資源を活かすまち 【産業分野】											
①農業の振興（担い手の育成・確保、遊休農地の流動化、六次産業化、越生べに梅のPR等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
②林業の振興（森林の適正管理、地場産木材の活用、森林環境教育の充実等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
③工業の振興（企業の誘致、雇用の促進、地場産業のPR等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
④商業の振興（商工会と連携、創業者への支援、商店街の活性化等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1
5. 人を活かし人が活きるまち 【教育・文化・人権分野】											
①小・中学校教育の充実（学校のICT活用の推進、外国語指導の充実、教育環境の整備等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1

項目	評価						(1) 現状の満足度					(2) 今後の重要度				
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である		重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない					
②生涯学習の推進（各種講座・教室の充実、体育施設等生涯学習施設の整備等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
③郷土文化の振興と伝承（文化財や民俗芸能の保存、観光と連携した活用等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
④ボランティアの育成・確保（ボランティア組織の育成・確保等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑤人権教育の推進（人権教育・啓発の推進、相談体制の整備等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
⑥男女共同参画社会の確立（ジェンダー平等の推進、女性の社会参加等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
6. とともに創るまち																
【協働・参画分野】																
①町民と行政との協働 （町民参画の機会拡大、自助・協助・公助の連携強化）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					
②情報公開と広報・広聴活動（広報紙やホームページの充実等）	5	4	3	2	1	→	5	4	3	2	1					

問8 あなたは、今後のまちづくりについて、越生町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。 (2つまで○印)

1. 福祉・医療の充実を優先し、安心して暮らせる**健康福祉のまち**
2. 子育て環境やこどもの保育・教育環境が充実した**子育て教育のまち**
3. 生涯学習活動や文化・スポーツ活動を優先する**生涯学習文化のまち**
4. 企業誘致や産業振興を優先し、経済力を重視する**商工業のまち**
5. 梅等の四季折々の花や黒山三滝等の名所旧跡を活かした**観光のまち**
6. 快適で安全・安心な住環境の整備を優先する**快適な住環境のまち**
7. 自然環境の保全を優先しつつ農林業と調和のとれた**自然豊かなまち**
8. ICT、AI等高度情報化時代に対応した**情報化推進のまち**
9. その他 ()

あなたの日頃の行動等についておたずねします。

問9 あなたは、町政や町の行事等について、どこから情報を得ていますか。

(主なもの2つまで○印)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 広報おごせ | 6. 回覧板や自治会を通じて |
| 2. 越生町ホームページ | 7. 議会議員を通じて |
| 3. 越生町公式SNS | 8. 近所の人や家族・友人等から |
| 4. 越生町メール配信サービス | 9. その他 () |
| 5. 議会だより | |

問10 あなたは、町政に関心がありますか。

(1つに○印)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある | 4. あまり関心がない |
| 2. 関心がある | 5. 全く関心がない |
| 3. どちらでもない | |

問11 あなたは、友人等の来訪者があり、越生町の観光名所を案内することになった場合、どこを案内しますか(季節は問いません)。(1つに○印)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 越生梅林(梅まつり) | 6. 上谷の大クス |
| 2. さくらの山公園(さくら祭り) | 7. 世界無名戦士之墓(展望、花火大会) |
| 3. 五大尊つつじ公園(つつじ祭り) | 8. 自然な山や川(ハイキング) |
| 4. 黒山三滝(滝開き) | 9. その他 () |
| 5. 越生まつり | |

問 12 あなたは、文化活動やスポーツ活動、趣味を活かした活動に取り組む、生涯学習をしていますか。(1つに○印)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 興味ある学習に参加しており、今後も続けたい |
| 2. 学習に参加していないが、今後は参加したい |
| 3. 学習に参加しているが、今後はやめたい |
| 4. 学習に参加しておらず、今後も参加するつもりはない |
| 5. わからない |

問 13 あなたは、次のことについて主にどこに出かけますか。(それぞれ1つに○印)

	町内	毛呂山町	坂戸市 鶴ヶ島市 川越市	飯能市 日高市	東松山市 比企郡	その他 県内	県外
①食料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7
②雑貨、文房具等の日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7
③休日に出かけるレジャースポットや娯楽施設	1	2	3	4	5	6	7
④休日に過ごす場所	1	2	3	4	5	6	7
⑤かかりつけ医への通院	1	2	3	4	5	6	7

問 14 あなたの周りの生活環境は、10年前と比べてどう感じますか。

(1つに○印)

- | | |
|------------|------------|
| 1. よくなっている | 3. 悪くなっている |
| 2. 変わらない | 4. わからない |

第六次越生町長期総合計画・後期基本計画の策定に係る
住民意識調査 結果報告書

— 令和7年3月発行 —

発行：越生町
編集：越生町 企画財政課
〒350-0494 入間郡越生町大字越生900-2
電話049-292-3121 (代表)
